

H31-35 国営滝野すずらん丘陵公園
運営維持管理業務

別添資料（案）

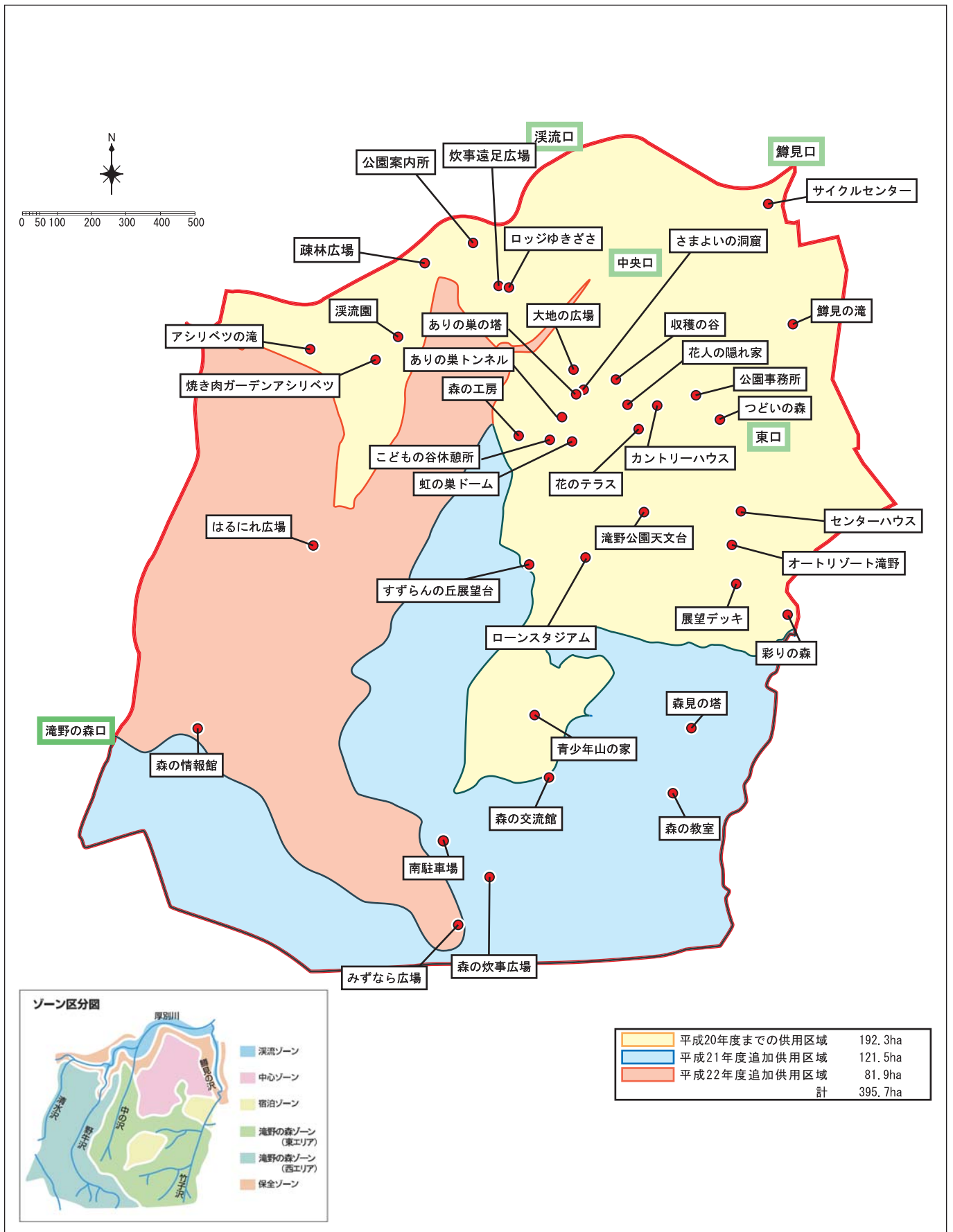
平成31年2月

国土交通省北海道開発局札幌開発建設部

仕様書に関連する別添・様式

【国営滝野すずらん丘陵公園】

分類	資料名		頁番号
共通仕様書	別添 1	公園平面図	別添 1
	別添 2	国土交通本省委託契約取扱要領	別添 2
	別添 3	管理事務所図	別添 15
	別添 4	滝野すずらん丘陵公園における行為の禁止等に関する取扱要領	別添 17
	別添 5	土地利用方針図	別添 22
	別添 6	設置・管理許可申請書	別添 23
	別添 7	「国営滝野すずらん丘陵公園 運営維持管理業務」における情報セキュリティについて	別添 26
	別添 8	運営維持管理業務 作業日誌(案)	別添 28
	別添 9	危機管理マニュアル(案) (災害対策部運営計画)	別添 41
	別添 10	滝野すずらん丘陵公園における事故対応について	別添 53
	別添 11	野生動植物危機管理マニュアル(案) (ヒグマ、スズメバチ)	別添 54
	別添 12	園内施設（設備等）位置図	別添 59
	別添 13	運営維持管理業務実施に要する提供施設等取扱いについて	別添 79
	別添 14	運営維持管理業務委託費で取得した備品の取扱いについて(案)	別添 84
計画立案 企画運営 管理	別添 15	業務入園について	別添 89
	別添 16	国営滝野すずらん丘陵公園 園内車両入園規則	別添 91
	別添 17	団体、持込イベント、ロケーション、施設占用利用の手続き	別添 95
	別添 18	国営滝野すずらん丘陵公園消防計画(案)	別添 112
	別添 19	防火管理自主検査チェック表(案)	別添 122
	別添 20	3年継続しているイベント・連携先	別添 123
	別添 21	行催事・利用プログラムについて	別添 124
	別添 22	滝野公園ボランティア規約	別添 127
	別添 23	PARK IDENTITY MANUAL	別添 136
	別添 24	マスコミ取材報告様式	別添 145
	別添 25	ペットをお連れのお客様へ	別添 147
	別添 26	パスポート発行	別添 148
	別添 27-1	巡視ルート、巡視ルート図(案)	別添 149
	別添 27-2	囲障巡視ルート図	別添 157
施設設備 維持管理	別添 28	門衛業務日誌(案)	別添 159
	別添 29	国営滝野すずらん丘陵公園 建物に係る点検整備（位置図）	別添 161
	別添 30	国営滝野すずらん丘陵公園 工作物に係る点検整備（位置図）	別添 163
	別添 31	自動ドア及び天体望遠鏡保守点検等対象施設	別添 165
	別添 32	除雪工等実施要領(案)	別添 167
	別添 33	開閉園準備実施要領(案)	別添 171
	別添 34	遊具取扱説明書	別添 181
	別添 35	日常点検表	別添 185
	別添 36	ロープトウ安全点検	別添 187
	別添 37	ロープトウ設置撤去実施要領	別添 188
	別添 38	国営滝野すずらん丘陵公園ロープトウ取扱説明書	別添 190
	別添 39	滝野スノーワールド「そりゲレンデ」運営マニュアル	別添 198
植物管理	別添 40	芝生管理区域図	別添 199
	別添 41	中低木管理区域図	別添 200
	別添 42	高木管理区域図	別添 201
	別添 43	林地管理区域図	別添 202
	別添 44	植栽管理区分図【草花管理】	別添 203
	別添 45	滝野の森ゾーン(西エリア)植物維持管理計画書	別添 205
収益施設運 営規定書	別添 46	収益施設運営対象区域図および備品一覧	別添 207
	別添 47	臨時売店指定設置場所および指定設置期間	別添 263
	別添 48	公園利用重点調整区域	別添 264
	別添 49	施設の定期点検項目	別添 265
	別添 50	収益施設に係る自主点検一覧	別添 268
	別添 51	滝野第1リフト運転操作取扱説明書	別添 271
	別添 52	自動販売機(単独設置)位置図	別添 275
	別添 53	自主事業における飲食・物販施設等の設置運営可能範囲と指定する既存施設の改修運営の対象	別添 276
	別添 54	指定する既存施設の改修運営の対象一覧表	別添 277
様式	様式 1	管理運営月報	別添 278
	様式 2	管理運営月報総括表（案）	別添 279
	様式 3	管理四半期報	別添 280



公園平面図(供用区域図)

国土交通本省委託契約取扱要領

平成13年4月2日

国官会第293号

改正 平成27年3月21日 国官会第4049号

(通 則)

第1 国土交通本省の所掌業務を委託契約を締結して国以外の者に委託する場合の取扱いについては、他の法令等に定めるもの並びに各委託事業に係る委託契約書又は委託費の取扱いに関する要領等に定めるもののほか、この要領の定めるところによる。

(委託業務実施要領)

第2 支出負担行為担当官（分任支出負担行為担当官を含む。以下「担当官」という。）は、業務委託をしようとするときは、次に掲げる項目を明らかにした委託業務実施要領（以下「実施要領」という。）を、委託しようとする者に送付するものとする。

- 一 名称
- 二 委託料の限度額
- 三 業務の目的及び内容
- 四 業務の実施場所
- 五 業務の実施期間
- 六 その他必要な事項（成果物の仕様）

(委託料の算定)

第3 担当官は、実施要領に基づく委託料の積算調書を作成する。

(実施計画書等の提出)

第4 担当官は、第2により実施要領の送付を受けこれを受託しようとする者（以下「受託者」という。）から、次に掲げる計画書等を提出させるものとする。なお、変更しようとするときも同様とする。

- 一 実施計画書（別記様式第1）
- 二 四半期別必要経費内訳書（別記様式第2）
- 三 承諾書
- 四 実施体制書（別記様式第3）
- 五 その他担当官が必要とする書類

(契約の締結)

第5 担当官は、受託者から第4に掲げる書類を受理し、その内容を審査のうえ適当と認めたときは、別紙委託契約書により委託契約を締結するものとする。

2 委託契約書の各条項により難い特別の事情がある場合においては、必要に応じ適宜条項を変更することができる。

（再委託等）

第6 受託者は、業務の一部（「主たる部分」を除く。）を第三者に委任し、又は請け負わせようとするとき（以下「再委託」という。）は、あらかじめ再委託（変更等）承諾申請書（別記様式第4）を委託者に提出し、承諾を得なければならない。なお、変更しようとするときも同様とする。

2 前項の承諾を得た場合において、再委託の相手方がさらに再委託を行うなど複数の段階で再委託が行われるときは、その履行体制に関する書面（別記様式第5）を委託者に提出しなければならない。なお、変更しようとするときも同様とする。

（報告書等の提出）

第7 担当官は、受託者が当該業務の委託を完了したときは、遅滞なく、次に掲げる報告書（正副2通）を成果物に添えて提出させるものとする。

- 一 完了報告書（別記様式第6）
- 二 精算報告書（別記様式第7）
- 三 委託費経費内訳報告書（別記様式第8）
- 四 残存物件報告書（別記様式第9）

2 担当官は、受託者が第8第3項による補正命令に基づき当該業務の委託を完了したときは、遅滞なく、次に掲げる報告書（正副2通）を成果物に添えて提出させるものとする。

- 一 補正完了報告書（別記様式第6に準ずる様式）
- 二 精算報告書
- 三 残存物件報告書

（検査等）

第8 担当官は、第7第1項の成果物及び完了報告書等を受理したときは、自ら又は国土交通本省会計事務取扱細則（以下「細則」という。）第33条に基づき補助者に命じて検査を行うものとする。

2 前項により検査を命じられた職員（以下「検査職員」という。）は、前項の検査の結果不合格と認めたときは、細則第34条に定める検査調書に次に掲げる事項を付記して担当官に提出するものとする。

- 一 不合格である旨
- 二 不合格と認めた理由
- 三 その措置についての意見

3 担当官は、第1項の検査の結果不合格と認めたとき、又は前項の検査調書を受理したときは、受託者に対し補正を命ずるものとする。

4 第1項の規定は、第7第2項の成果物及び補正完了報告書等を受理した場合に準用する。

5 検査職員は、第1項（第4項において準用する場合を含む。）の検査の結果合格と認めたときは、細則第34条により検査調書を担当官に提出するものとする。

（担当職員の任命等）

第9 担当官は、必要があると認めたときは、次に掲げる事務を行わせるため、担当職員を任命し、任命後すみやかに受託者に通知するものとする。

- 一 委託業務の処理状況についての調査
- 二 委託料の経理状況についての監査

三 その他委託業務についての必要な指示

(概 算 払)

第 10 担当官は、必要があると認めたときは、受託者に対し概算払を請求させることができる。

(委託費の精算)

第 11 担当官は、受託者から第 7 の報告を受けたときは、遅滞なくその内容を審査し、適正と認めたときは、委託費の額を確定し、これを受託者に通知するものとする。

(請求書の受理)

第 12 担当官は、受託者から官署支出官官職宛ての請求書を受理するものとし、受理後は、必要書類を添えて官署支出官に回付するものとする。

附則

1. この要領は、平成 13 年 4 月 2 日から適用する。

附則（平成 27 年 3 月 31 日国官会第 4049 号）

1. この要領は、平成 27 年 4 月 1 日から適用する。

実 施 計 画 書

(受託の名称)

(単位:千円)

受託の内容	実施期間	経 費 積 算 内 訳	成果物	摘要

(備 考)

1. 用紙の大きさは、日本工業規格A列4縦とする。
2. 必要に応じ適宜項を加除して使用すること。
3. 受託の内容は、調査項目毎に区分すること。
4. 経費積算内訳は、直接人件費、技術経費、謝金、旅費、庁費、再委託費及び諸経費に区分し、庁費にあつては、備品費、消耗品費、印刷製本費、通信運搬費、光熱水料、賃金、会議費及び雑役務費に細分して計上すること。なお、区分等は必要に応じ適宜加除して計上すること。
5. 変更にあつては、変更前の部分を上段に()書きし、変更後を下段に記載すること。
6. 業務委託の処理を第三者に委託する必要があるときは、摘要欄にその事務の内容及び委託先等必要な事項を記載すること。

四 半 期 別 必 要 経 費 内 訳 書

(受託の名称) _____

(単位:千円)

四半期別 経費区分	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	計	摘 要

- (備 考) 1. 用紙の大きさは、日本工業規格A列4横とする。
2. 経費区分は、直接人件費、技術経費、謝金、旅費、庁費、再委託費及び諸経費の区分により記載すること。なお、区分は必要に応じ適宜加除して記載すること。
3. 変更にあたっては、変更前の部分を上段に()書きし、変更後を下段に記載すること。

別記様式第3（第4）

実 施 体 制 書

(受託の名称)

再委託先等の名称等

名称		代表者名	
所在地			
電話番号			
再委託を予定する業務内容			
再委託の必要性			
契約予定金額			
備考			

名称		代表者名	
所在地			
電話番号			
再委託を予定する業務内容			
再委託の必要性			
契約予定金額			
備考			

名称		代表者名	
所在地			
電話番号			
再委託を予定する業務内容			
再委託の必要性			
契約予定金額			
備考			

(注) 再々委託先の場合にはその旨を備考欄に記載すること。

(備考)

本様式は、適宜加除して差し支えないものであるが、次の項目は必須事項とする。

- ①相手方の名称および代表者名
- ②所在地
- ③再委託を予定する業務内容及び必要性
- ④契約予定契約

-別添8-

履行体制に関する書面 (実施計画書の別紙資料)

平成 年 月 日

○当該履行体制に関する書面は、「委託契約書第4条」に基づいて作成したものである。

(受託者)

住 所

氏 名

受託者 ××株式会社	(再委託先1)	〇〇〇有限会社	(再々委託先1)	〇〇〇株式会社
	住 所		住 所	
	電 話 番 号		電 話 番 号	
	代 表 者 氏 名		代 表 者 氏 名	
	担当業務範囲 若しくは内容	△△に関する□□地区基 礎調査	担当業務範囲 若しくは内容	
	(再委託先2)	〇〇〇株式会社(予定)		
	住 所			
	電 話 番 号			
	代 表 者 氏 名			
	担当業務範囲 若しくは内容			
(再委託先3)	〇〇〇合資会社	(再々委託先2)	〇〇〇株式会社	
住 所		住 所		
電 話 番 号		電 話 番 号		
代 表 者 氏 名		代 表 者 氏 名		
担当業務範囲 若しくは内容		担当業務範囲 若しくは内容		
(再委託先□)			

(備 考) 本様式は、適宜加除して差し支えないものであるが、次の項目は必須事項とする。

- ①再委託の相手方の住所
- ②氏名(若しくは代表者氏名)
- ③再委託を行う業務の範囲

完了報告書

平成 年 月 日

支出負担行為担当官

国土交通省 ○ ○ ○ ○ 殿

受託者 住 所

氏 名

印

平成 年 月 日付契約(契約金額 ￥◆◆, ◆◆◆, ◆◆◆円)の○○○○が完了したので、成果物及び下記の書類を添えて報告します。

記

1. 精 算 報 告 書

通

2. 残存物件報告書

通

(備考) 用紙の大きさは、日本工業規格A列4縦とする。

精 算 報 告 書

(単位:円)

経 費 区 分	予定経費(A)	支出額(B)	過不足額	摘 要
			(A)-(B)	
計				

- (備 考)
1. 用紙の大きさは、日本工業規格A列4横とする。
 2. 経費区分は、別紙様式第1備考4により記載すること。
 3. 第6第2項に基づき提出する場合は、その旨を付記すること。

平成〇〇年度 ××× 委託費経費内訳報告書

(備考)

1. 用紙の大きさは、日本工業規格A列4横とする。
2. 年月日は、契約毎に、その都度、記載すること。
3. 支出費目は、直接人件費、技術経費、謝金、旅費、庁費、再委託費及び諸経費に区分し、庁費にあっては、備品費、消耗品費、印刷製本費、通信運搬費、光熱水料、賃金、会議費及び雑役務費に細分して計上すること。なお、区分等には必要に応じ適宜加除して計上すること。また、各区分の上段は予定経費額、中段は支出額、下段は過不足額である。

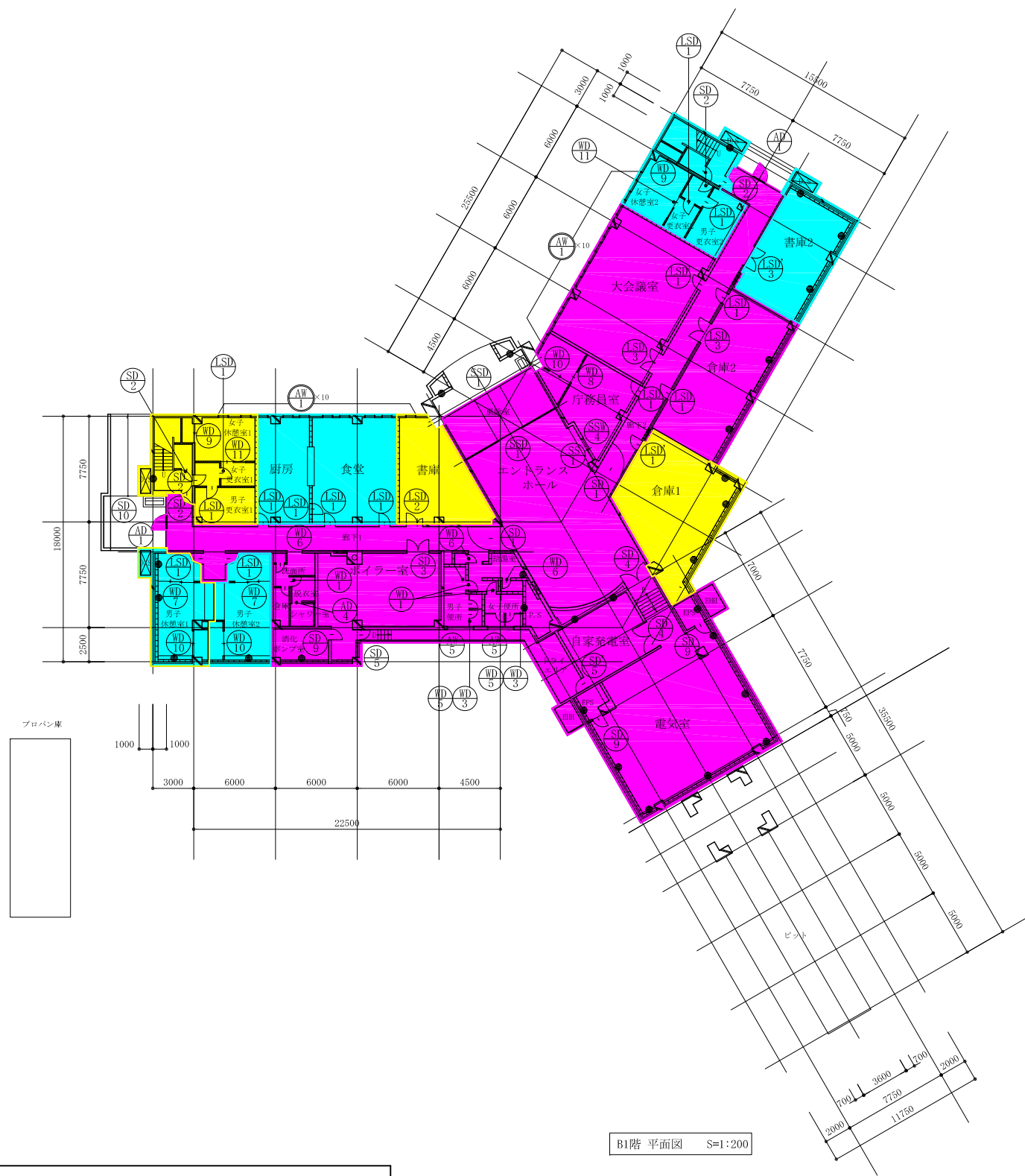
(単位:円)

[illegible]

残 存 物 件 報 告 書

取得年月日	物 件 名	規 格	数 量	単 価	価 格	経費区分	摘 要

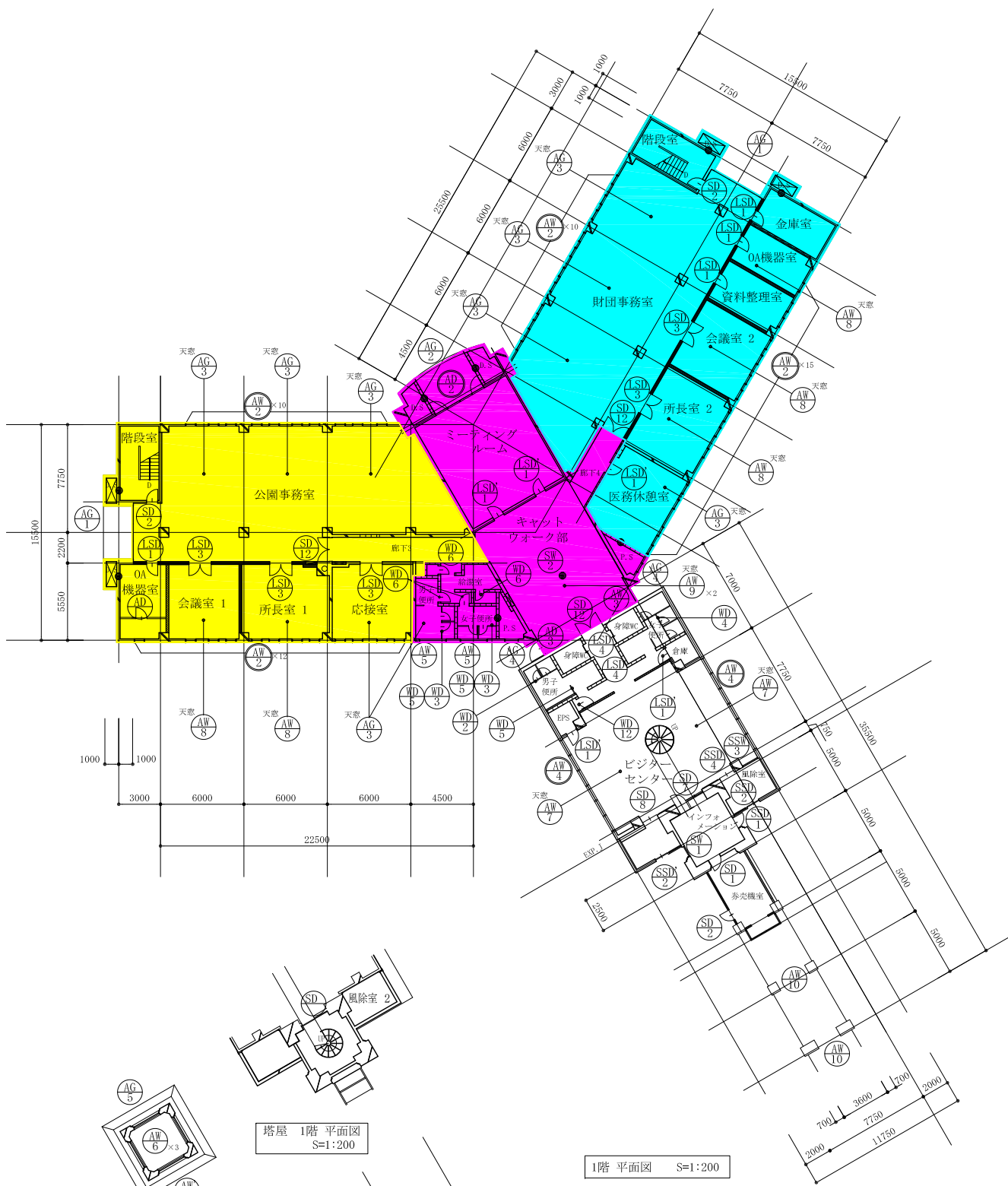
- (備 考)
1. 用紙の大きさは、日本工業規格A列4横とする。
 2. 価格は取得価格を記載し、受託中に派生的に取得した物件については、見積額を記載すること。
 3. 経費区分は、別記様式第1備考4の区分により記載し、区分が明らかでないものは、摘要に取得の理由を記載すること。
 4. 第6第2項に基づき提出する場合は、その旨を付記すること。



B1階 平面図 S=1:200

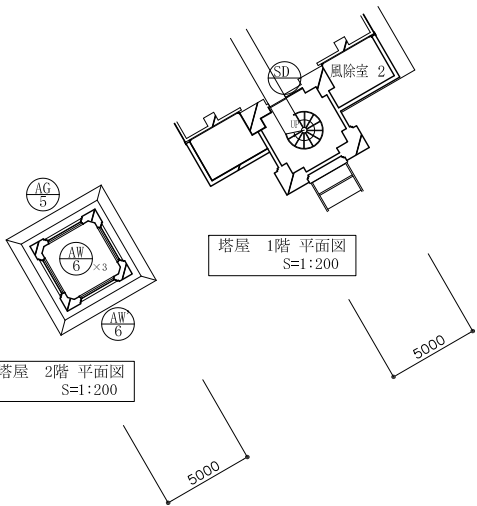
●印 (SD) ×28 (BS, PS, ライニング部分改め口)
○印 は プラインド設置箇所を示す。(応接室はロールブラインドとする)

施設使用区分	
国	黄色
事業者	青色
共通部分	桃色

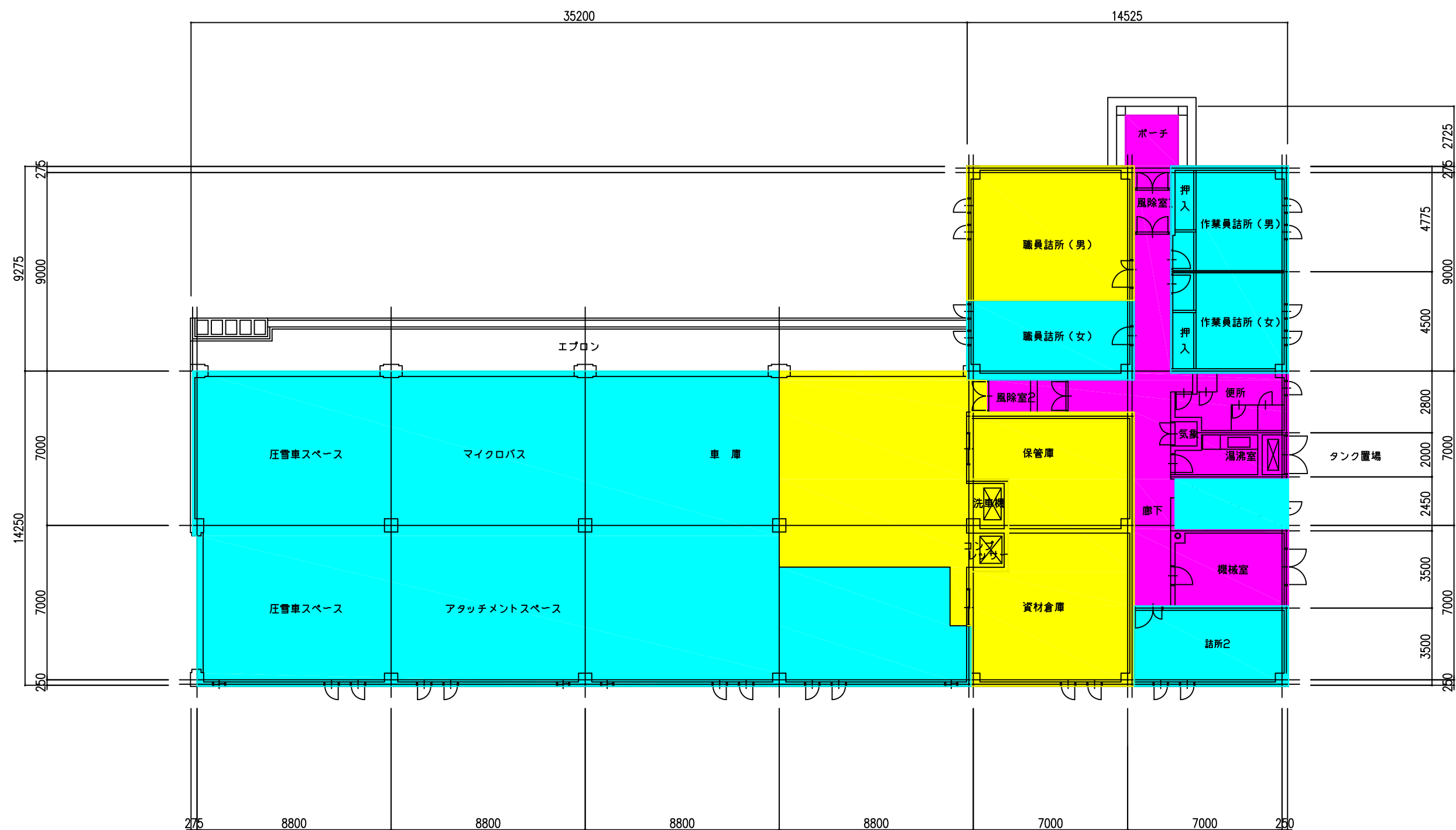


1階 平面図 S=1:200

●印 (SD) ×9 (BS, PS 改め口)
○印 は プラインド設置箇所を示す。(応接室はロールブラインドとする)



工事名	滝野公園 中心ゾーン公園事務所		図面番号
図面名	管理事務所図	縮尺	1:200
部局名	北海道開発局札幌開発建設部		年月日



平面図 S=1:200

施設使用区分	
国	黄色
事業者	青色
共通部分	桃色

滝野すずらん丘陵公園					50
管理事務所(車庫) 平面図 S:1/200					
札幌開発建設部					

札建滝公第〇〇号
平成〇〇年〇〇月〇〇日

滝野すずらん丘陵公園における行為の禁止等に関する取扱要領

国営滝野すずらん丘陵公園事務所

(目的)

第1条 この要領は、滝野すずらん丘陵公園（以下「公園」という。）における行為の禁止等に関する運用方針を定め、もって安全で快適な公園利用に資することを目的とする。

(運用)

第2条 公園内における行為の禁止等については、都市公園法（以下「法」という。）、北海道開発局都市公園における行為に係る事務取扱手続及びその他関連法令に定めるほか、この要領によるものとする。

(定義)

第3条 この要領において「公園内」とは、法の定めるところにより滝野すずらん丘陵公園として公告された次の各号に掲げるものをいう。

- 一 法第2条の2により、すでに供用が開始されている区域
- 二 法第33条第2項により定められた区域のうち、すでに公園管理者が権限を取得している区域
- 2 この要領において、「職員等」とは、次の各号に掲げるものをいう。
 - 一 北海道開発局（以下、「国」という。）の公園担当職員
 - 二 国から公園の管理に関する業務を受託した機関（以下「管理センター等」という。）に属する職員
 - 三 札幌市から野外活動拠点（以下「青少年山の家」という。）の施設管理を委託された機関の職員
 - 四 管理センター等との契約により、管理センター等の指揮監督を受けて公園の利用上の指導等の業務を行う者
- 3 この要領において、「職員等の管理行為」とは、次の各号に掲げるものをいう。
 - 一 前項一、二及び四に該当する者が公園全域を対象に行う公園管理
 - 二 前項三に該当する者が、法第5条第3項による協議の対象となる区域内で、協議事項の範囲内で行う施設管理
- 4 この要領において「利用者」とは、勤務中の職員等を除く公園に入る全ての者をいう。

(禁止する行為)

第4条 公園内における行為のうち、次の各号に掲げるものは法第11条に準ずる行為とみなし、その行為を禁止する。

- 一 花卉または果実種子等を採取する行為
- 二 別に指定する場所以外の場所でガスコンロ、石油コンロ等の火気（たき火は除く）を使用する行為
- 三 別に指定する場所以外の場所で花火を使用する行為
- 四 自転車の利用に関し、公園の安全かつ快適な利用に支障を及ぼす行為で別に定める行為
- 五 別に指定する場所へペット（盲導犬・介助犬・聴導犬は除く）を持ち込む行為
- 六 別に指定する場所で一輪車、キックボード、スケートボード、ローラースケート、インラインスケート類を使用する行為
- 七 別に指定する場所以外の場所でパラソル、テント、タープ類を設営する行為

- 八 別に指定する場所以外の場所でスキー類（クロスカンリースキーを除く）、スノーボードを使用する行為
- 九 別に指定する場所以外の場所でクロスカンリースキーを使用する行為
- 十 別に指定する場所以外の場所でスノーシューを使用する行為
- 十一 別に指定する場所以外の場所でチューブそりを使用する行為
- 十二 別に指定する場所以外の場所でプラスチックそり（子供用）、手作りそり、ミニスキー（子供用）を使用する行為
- 十三 他の利用者の快適性を損なう音響の発生を伴う行為
- 十四 他の利用者の安全または公園施設の正常な利用に支障を及ぼす行為
- 十五 公園の利用に際し、許可無く次の各号に掲げる物件を持ち込みまたは、使用する行為
 - イ 銃及び刀剣類（モデルガン、木刀、竹刀等含む。）
 - ロ 花火（手持ち花火を除く）、火薬、大量のガス、油脂類
 - ハ 野球バット（ビニール製を除く）及び野球用の硬球
 - ニ ゴルフクラブ
 - ホ ブーメラン、弓矢、パチンコ、スポーツカイト、ラジコン飛行機類
 - ヘ 変形自転車類（二人乗りタンデム自転車等）
 - ト 職員等が安全かつ快適な公園利用に支障を及ぼし公園施設を毀損する恐れがあると認められたもの

（法第 11 条の規定に関する適用除外）

第 5 条 公園内における行為のうち、次の各号に掲げるものは、法第 11 条の規定を適用しない。

- 一 職員等の管理行為として行うもの
- 二 法第 12 条の申請により許可された行為
- 三 緊急車両及び別に定める許可を受けた車両を令第 18 条第五号に指定する場所以外の場所に乗り入れる行為

（場所の指定）

第 6 条 都市公園法施行令（以下「令」という。）第 18 条第三号、第四号及び第五号に指定する場所は、別に定めるものとする。

（許可を要する行為）

第 7 条 公園内における行為のうち、次の各号に掲げるものは、法第 12 条に準ずる行為とみなし、公園管理者の許可を受けるものとする。

- 一 アンケート調査又は動植物等の調査
- 二 公園内の一定の場所を独占的に使用する行催事
- 三 開催日時を事前に告知することにより参加者を公募して行う行催事
- 四 ステージ、テント、マイクロホン、机、椅子等を公園内に設置して行うもの
- 五 営利を目的として、または会費などを徴収して写真等の撮影を行うもの
- 六 公園内に標識または横断幕を掲示して行うもの
- 七 駐車場及びその進入路以外の場所へ自動車の乗り入れを行うもの
- 八 その他、事務所長が公園の利用上または管理上から必要と認めたもの

（法第 12 条の規定に関する適用除外）

第 8 条 公園内における行為のうち、職員等の管理行為として行うものについては、法第 12 条の規定を適用しない。

（利用指導）

第 9 条 職員等は、その責務に応じ、法令等及びこの要領に定める禁止行為または許可条件に違反する行為を発見したときは、必要の都度、入園の制限または、適切な利用指導を行うものとする。

附則 この要領は平成〇〇年〇〇月〇〇日から適用する。

滝野すずらん丘陵公園における行為の禁止等に関する取扱要領の細目

平成〇〇年〇〇月〇〇日
国営滝野すずらん丘陵公園事務所

(火気)

第1条 要領第4条第二号で指定する場所は次の各号とする。

- 一 炊事遠足広場、溪流園炊事コーナー、鱒見口炊事コーナー、森の炊事広場(チップ敷箇所を除く)
- 二 スタダードカーサイト、キャンピングカーサイト、フリーテントサイト、キャビンA・B・Sのサイト及びテラス(建物内を除く)
- 三 建物内の炊事施設及び燃焼施設
- 四 職員等の管理のもと、くわの実広場、どんぐり広場、くるみ広場、しらかば広場その他行催事等で使用する場所
- 五 職員等の管理のもと行われる行催事等で使用する場所
- 六 法第12条の申請により使用が許可された場所

(花火)

第2条 要領第4条第三号で指定する場所は次の各号とする。

- 一 オートリゾート滝野(建物内を除く)
- 二 職員等の管理のもと、くわの実広場、どんぐり広場、くるみ広場、しらかば広場その他行催事等で使用する場所
- 三 法第12条の申請により使用が許可された場所

(ペット)

第3条 要領第4条第五号で指定する場所は次の各号とする。

- 一 オートリゾート滝野
- 二 公園内全ての建造物内

(一輪車等)

第4条 要領第4条第六号で指定する場所

- 一 中心ゾーン(幹線園路及び補助幹線園路を除く)

(パラソル等)

第5条 要領第4条第七号で指定する場所は次の各号とする。

- 一 スタダードカーサイト、キャンピングカーサイト、フリーテントサイト、キャビンA・B・S(建物内を除く)
- 二 くわの実広場、どんぐり広場、くるみ広場、しらかば広場、風のはらっぱ、屋外ステージその他職員等の管理のもと行われる行催事等で使用する場所
- 三 法第12条の申請により使用が許可された場所

(スキー類等)

第6条 要領第4条第八号で指定する場所は次の各号とする。

- 一 ファミリーゲレンデ(12月23日から3月31日までの間に限る)
- 二 職員等の管理のもと行われる行催事等で使用する場所
- 三 法第12条の申請により使用が許可された場所

(クロスカントリースキー)

第7条 要領第4条第九号で指定する場所は次の各号とする。

- 一 ファミリーゲレンデ、歩くスキーコース（12月23日から3月31日までの間に限る）
- 二 職員等の管理のもと行われる行催事等で使用する場所
- 三 法第12条の申請により使用が許可された場所

(スノーシュー)

第8条 要領第4条第十号で指定する場所は次の各号とする。

- 一 スノーシューエリア（12月23日から3月31日までの間に限る）
- 二 職員等の管理のもと行われる行催事等で使用する場所
- 三 法第12条の申請により使用が許可された場所

(チューブそり)

第9条 要領第4条第十号で指定する場所は次の各号とする。

- 一 そりゲレンデ、プッチそりコーナー（12月23日から3月31日までの間に限る）
- 二 風のはらっぱ（12月23日から3月31日までの間に限る）
- 三 職員等の管理のもと行われる行催事等で使用する場所
- 四 法第12条の申請により使用が許可された場所

(プラスチックそり等)

第10条 要領第4条第十号で指定する場所は次の各号とする。

- 一 ちびっこそりコーナー、プッチそりコーナー（12月23日から3月31日までの間に限る）
- 二 風のはらっぱ（12月23日から3月31日までの間に限る）
- 三 職員等の管理のもと行われる行催事等で使用する場所
- 四 法第12条の申請により使用が許可された場所

(たき火)

第11条 令第18条第三号で指定する場所は次の各号とする。

- 一 炊事遠足広場、溪流園炊事コーナー、鱒見口炊事コーナー、森の炊事広場
- 二 建物内の燃焼施設
- 三 職員等の管理のもと、くわの実広場、どんぐり広場、くるみ広場、しらかば広場その他行催事等で使用する場所
- 四 法第12条の申請により使用が許可された場所

(立入禁止区域)

第12条 令第18条第四号で指定する区域は次の各号とする。

- 一 保全ゾーン（園路を除く）
- 二 車庫、苗圃
- 三 滝野の森ゾーンの歩くスキーコース（4月20日から11月10日までの間に限る）
- 四 不老の谷、白帆の谷並びに平成の森、疎林広場及び鱒見の谷の一部で立入禁止の標示をしている区域
- 五 事務所長が公園の安全上、管理上から臨時に立入禁止が必要と認めた区域

(車両の乗り入れ)

第13条 令第18条第五号で指定する場所は次の各号とする。

- 一 アプローチ園路
- 二 鱒見口駐車場、溪流口駐車場、中央口駐車場、東口駐車場、南第1駐車場、南第2駐車場、滝野の森口駐車場、及びそれらの進入路
- 三 オートリゾート滝野のアスファルト舗装を施している園路及び駐車場並びにスタンダードカーサイト、キャンピングカーサイト、キャビンA・B・S（芝生を除く）

(自転車利用)

第 14 条 要領第 4 条第四号に定める行為は次の各号とする。

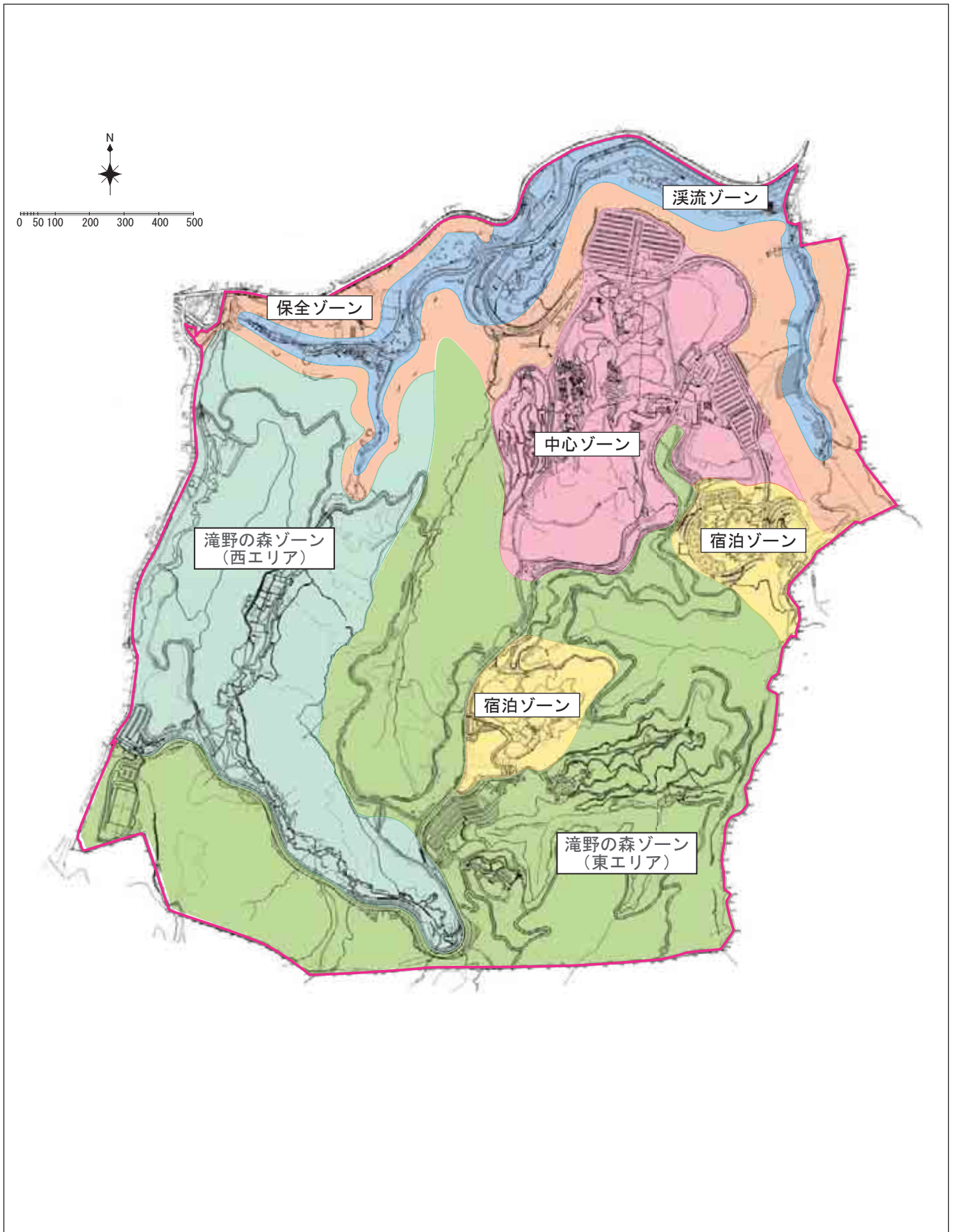
- 一 定められた区域(溪流ゾーンのアスファルト舗装が施されている園路、アプローチ園路、オートリゾート滝野のアスファルト舗装を施している園路、滝野の森口駐車場から森の交流館前駐輪場までのアスファルト舗装を施している園路)以外に自転車を乗り入れること
- 二 定められた場所(駐輪場)以外の場所に自転車を駐輪すること
- 三 スピードの出し過ぎ、無理な追い越し等、他の利用者の安全に支障が及ぶ行為

(車両許可)

第 15 条 要領第 5 条第三号に定める許可を受けようとする者は、「車両入園許可申請書」(別紙様式第 1 号)を事務所長に提出しなければならない。

- 2 事務所長は、公園内の工事に使用する車両その他公園の管理上やむを得ないと認められる場合に限り、前項の申請に基づき「車両入園許可書」(別紙様式第 2 号)を交付するものとする。
- 3 事務所長は前項の許可に公園の管理上、必要な範囲内で条件を付することができる。

附則 この要領は平成〇〇年〇〇月〇〇日から適用する。



土地利用方針図

設置・管理許可申請書

設置・管理許可申請書

様式ア

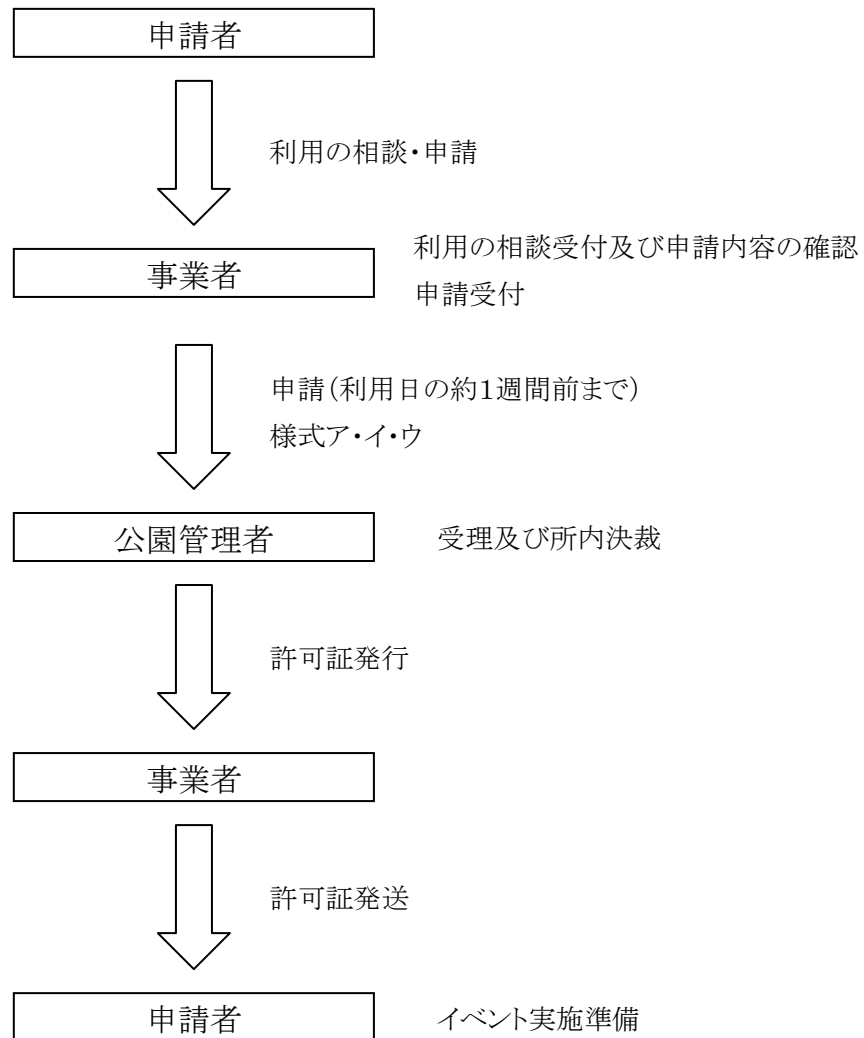
調査職員等以外の方が、公園内に売店等の公園施設を設け、又はその公園施設を管理しようとするときは、申請書（様式ア）を調査職員等に提出してその許可を受ける必要があります。

許可を受けた事項を変更しようとするときも、同様です。

発注者との協議が成立することをもって許可します。その際には許可証の発送を行います。

都市公園法（昭和 31 年法律第 79 号）第 5 条

申請手続きの流れ
(都市公園法（昭和 31 年法律第 79 号）第 5 条)



※原則として事業者は窓口となり、申請の補助業務を行う。

平成 年 月 日

公園施設の設置等許可申請書

北海道開発局長 殿

申請者 住所
電話
氏名

担当部署

都市公園法第5条第1項の許可を受けたいので、下記により申請します。

記

1 設置の目的		
2 設置の期間	(自) 平成 年 月 日 (至) 平成 年 月 日	
3 設置の場所		
4 公園施設の構造		
5 公園施設の外観	寸法	
	色彩	
6 公園施設の管理の方法		
7 工事の実施方法		
8 工事の着手及び完了の時期	着手 完了	
9 都市公園の復旧方法		

「国営滝野すずらん丘陵公園 運営維持管理業務」における情報セキュリティについて**(情報資産の取り扱い)**

第1条 事業者は、情報資産（情報及び情報システム等）の機密性、完全性及び可用性を維持するよう、情報資産の取り扱いを適正に行わなければならない。

(秘密の保持)

第2条 事業者は、業務に関して知り得た情報を他に漏らしてはならない。また、契約が終了し、又は解除されたときも同様とする。

(安全確保の措置)

第3条 事業者は、業務に関して取り扱う情報資産について、漏えい、滅失及びき損の防止その他の情報資産の適正な管理のための必要な措置を講じなければならない。

(収集の制限)

第4条 事業者は、業務を処理するために情報を収集するときは、業務を処理するために必要な範囲内で適正かつ公正な手段により収集しなければならない。

(目的外利用及び第三者への提供の禁止)

第5条 事業者は、発注者の指示又は承諾があるときを除き、業務に関して知り得た情報を、本契約の目的外に利用し、又は第三者に提供してはならない。

(複写または複製の禁止)

第6条 事業者は、発注者の指示又は承諾があるときを除き、業務を行うため発注者から提供を受けた情報が記録された資料等を複写し、又は複製してはならない。

(下請負の制限)

第7条 事業者は、発注者の承諾があるときを除き、業務について、第三者に委託してはならない。

(資料等の返還等)

第8条 事業者は、業務を行うため、発注者から提供を受け又は事業者自らが収集し、若しくは作成した情報が記録された資料等（電子媒体を含む）は、当該契約終了後直ちに発注者に返還し、又は引き渡さなければならない。

(事故等の報告)

第9条 事業者は、第1条から第8条に違反する事態が生じ、又は生じるおそれのあることを知ったときは、速やかに発注者に報告し、発注者の指示に従わなければならない。

(体制の整備)

第10条 事業者は、情報セキュリティを確保するための体制を整備し、責任者や従事させる者の名簿及び連絡体系図を発注者に提出しなければならない。

(管理状況の調査)

第11条 発注者は、事業者が業務を行うに当たり、取り扱っている情報資産の管理の状況について、必要に応じて調査することができ、事業者はそれに協力しなければならない。

(契約解除及び損害賠償)

第12条 発注者は、事業者が本要領に違反していると認めたときは、本契約の解除及び損害賠償の請求をすることができる。

国営滝野すずらん丘陵公園
運営維持管理業務 作業日誌(案)

平成 年 月 日() の利用者数

天気:

気温:

積雪深:

記入者:

有 料 区 域					無料区域	総入園者数
大 人	シルバー	無料小人	無 料	合 計		

オートキャンプ場	
延利用者数	宿泊者数

貸自転車貸出台数		
大 人	小 人	合 計

イベント開催状況
滝野の森ゾーンでの利用プログラム

滝野の森ゾーン3施設	利用者数	GS合計	WS合計	年間合計
森の情報館				
森の交流館				
森の教室				

取材・放映状況			
今週の報道件数 (毎週金曜日入力)		報道件数累計	

ホームページアクセス件数(毎週金曜日)		
1週間の件数	前回までの総数	アクセス総数

その他報告事項

駐車台数 (有料+無料)	駐 車 台 数 及 び 満 車 状 況						※溪流口・中央口・東口・南・滝野の森口駐車場の駐車台数は駐車場管制システム測定値に基づく推定値					
	溪流口駐車場	台	鱒見口駐車場	台	中央口駐車場	台	東口駐車場	台	南駐車場	台	滝野の森口駐車場	台
	満車時間		満車時間		満車時間		満車時間		満車時間		満車時間	

平成 年 月 日() までの累計

有 料 区 域					無料区域	総入園者数
大 人	シルバー	無料小人	無 料	合 計		

オートキャンプ場	
延利用者数	宿泊者数

貸自転車貸出台数		
大 人	小 人	合 計

駐車台数	今年度目標 (前年度目標)	目標達成率 (前年度同日累計人数・目標達成率)	昭和58年7月30日 開園からの総入園者

業務日誌(●●口料金所) ※案

平成 年 月 日()曜日 天候: 氏名 ㊞

●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●
●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	9:00の気温	12:00の気温	15:00の気温
				℃	℃	℃
業務内容	本日の業務内容(通常業務及び臨時的に行った作業等) 安全点検の実施(臨時点検等) 注意伝達事項等(事故防止のための確認作業等)					
	遺失物件数	件	拾得物件数	件	筆談器利用	件
	来園駐車台数 (お客様のみ)	台	安全点検	異常 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	貸出物品点検	異常 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
入園者からの 苦情・要望事項等	(苦情・要望等の内容、現場の対処・回答の内容、入園者の性別・年齢を記入)					
	(センターのコメント)					
怪我・急病人の 有無とその対応						
ヒヤリ・ハット の事例	(いつ・どこで・どうしていた時にヒヤっとしたのか、そのあらましを記入)					
その他 特記事項	(現場からの提案・要望事項等)					
	(センターのコメント)					

業務日誌(案内所) ※案

平成 年 月 日 () 曜日 天候: 氏名 ⑩

●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●				
●●●●	●●●●	●●●●								
業務内容	本日の業務内容(通常業務及び臨時的に行った作業等) □ 手指用消毒液残量なし(補充必要) <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 灯油メーター(4900) 0(毎週月曜) </div>									
	安全点検の実施(臨時点検等)									
	注意伝達事項等(事故防止のための確認作業等)									
			安全点検	異常 □有 □無		貸出物品点検	異常 □有 □無			
	遺失物件数	件	拾得物件数	件	迷子取扱件数	件	車イス貸出	件	電動カート貸出	件
	ベビーカー貸出	件	NW用ポール貸出	件	杖貸出	件	筆談器利用	件	スタンプラリー	人
	団体受付	件	下見受付	件	NW100kmコンペ	人	NW100km新規登録	人		
入園者からの 苦情・要望事項等	(苦情・要望等の内容、現場の対処・回答の内容、入園者の性別・年齢を記入)									
	(センターのコメント)									
怪我・急病人の 有無とその対応										
ヒヤリ・ハット の事例	(いつ・どこで・どうしていた時にヒヤっとしたのか、そのあらましを記入)									
その他 特記事項	(現場からの提案・要望事項等)									
	(センターのコメント)									

業務日誌(●●ロゲート) ※案

平成 年 月 日 () 曜日 天候: 氏名 ⑨

●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●
●●●●	●●●●	●●●●				

業務内容	本日の業務内容(通常業務及び臨時的に行った作業等) <div style="float: right;"> <input type="checkbox"/> 手指用消毒液残量なし(補充必要) 東口休憩所灯油メーター(1,500ℓ) ℓ </div>					
	<input type="checkbox"/> パークゴルフコースの整備及び防球ネット等の安全点検実施 安全点検の実施(臨時点検等)					
	注意伝達事項等(事故防止のための確認作業等)					
			安全点検	異常 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	貸出物品点検	異常 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	遺失物件数	件	拾得物件数	件	迷子取扱件数	件
	車イス貸出	件	電動カート貸出	件	ベビーカー貸出	件
	杖貸出	件	筆談器利用	件	スタンプラリー	人
	日本人観光客	人	外国人観光客	人	/	/

入園者からの 苦情・要望事項等	
	(センターのコメント)

怪我・急病人の 有無とその対応	
--------------------	--

ヒヤリ・ハット の事例	(いつ・どこで・どうしていた時にヒヤッとしたのか、そのあらましを記入)
----------------	-------------------------------------

その他 特記事項	(現場からの提案・要望事項等)
	(センターのコメント)

業務日誌(カントリーハウス)

※案

平成 年 月 日 () 曜日 天候: 氏名 ㊞

●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	
●●●●	●●●●	●●●●		9:00の気温	12:00の気温	15:00の気温	
				℃	℃	℃	
業務内容	本日の業務内容(通常業務及び臨時的に行った作業等) <input type="checkbox"/> 手指用消毒液残量なし(補充必要) 地下タンク灯油メーター(3,000ℓ) ℓ <input type="checkbox"/> シャワー更衣室清掃・確認(毎週月曜日) 安全点検の実施(臨時点検等) 注意伝達事項等(事故防止のための確認作業等)						
				安全点検	異常 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	貸出物品点検	異常 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	遺失物件数	件	拾得物件数	件	迷子取扱件数	件	
	車イス貸出	件	NW用ポール	件	筆談器利用	件	
	パークゴルフ貸出	組 人	NW100kmコンペ	人	NW100km新規登録	人	
入園者からの 苦情・要望事項等	(苦情・要望等の内容、現場の対処・回答の内容、入園者の性別・年齢を記入)						
	(センターのコメント)						
怪我・急病人の 有無とその対応							
ヒヤリ・ハットの 事例	(いつ・どこで・どうしていた時にヒヤとしたのか、そのあらましを記入)						
その他 特記事項	(現場からの提案・要望事項等)						
	(センターのコメント)						

業務日誌(こどもの谷)

※案

平成 年 月 日 () 曜日 天候:

氏名

㊞

●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●
●●●●	●●●●	●●●●		9:00の気温	12:00の気温	15:00の気温
			I 期	℃	℃	℃
			II 期	℃	℃	℃
業務内容	本日の業務内容(通常業務及び臨時的に行った作業等) 秘密の抜け道:気温()℃ 湿度()% 地下タンク灯油メーター(2,000ℓ) ℓ					
	安全点検の実施(臨時点検等)					
	注意伝達事項等(事故防止のための確認作業等)					
	遺失物件数	件	拾得物件数	件	迷子取扱件数	件
筆談器利用	件	安全点検	異常 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	貸出物品点検	異常 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
入園者からの 苦情・要望事項等	(苦情・要望等の内容、現場の対処・回答の内容、入園者の性別・年齢を記入)					
	(センターのコメント)					
怪我・急病人の 有無とその対応						
ヒヤリ・ハットの 事例	(いつ・どこで・どうしていた時にヒヤッとしたのか、そのあらましを記入)					
その他 特記事項	(現場からの提案・要望事項等)					
	(センターのコメント)					

業務日誌(そりゲレンデ)

※案

平成 年 月 日 () 曜日 天候:

氏名

㊞

●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●
●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	9:00の気温	12:00の気温	15:00の気温
				℃	℃	℃
業務内容	本日の業務内容(通常業務及び臨時的に行った作業等) <input type="checkbox"/> 手指用消毒液残量なし(補充必要)					
	安全点検の実施(臨時点検等)					
	注意伝達事項等(事故防止のための確認作業等)					
			ロープトウ利用	人	地下タンク灯油メーター (2,000ℓ)	ℓ
	遺失物件数	件	拾得物件数	件	迷子取扱件数	件
●●●●	●●●●	安全点検実施	異常 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	貸出物品点検	異常 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
入園者からの 苦情・要望事項等	(苦情・要望等の内容、現場の対処・回答の内容、入園者の性別・年齢を記入)					
	(センターのコメント)					
怪我・急病人の 有無とその対応						
ヒヤリ・ハットの 事例	(いつ・どこで・どうしていた時にヒヤとしたのか、そのあらましを記入)					
その他 特記事項	(現場からの提案・要望事項等)					
	(センターのコメント)					

業務日誌(スキースクール)

※案

平成 年 月 日 () 曜日 天候:

氏名

㊞

●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	
●●●●	●●●●	●●●●	●●●●				
利用状況	受講者数	グループ数	お断りした人数	講師人数	<input type="checkbox"/> 手指用消毒液残量なし(補充必要)		
午 前							
午 後							
合 計							
業務内容	本日の業務内容(通常業務及び臨時的に行った作業等)						
	安全点検の実施(臨時点検等)						
	注意伝達事項等(事故防止のための確認作業等)						
					安全点検実施	異常 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	遺失物件数	件	拾得物件数	件	筆談器利用	件	
入園者からの 苦情・要望事項等	(苦情・要望等の内容、現場の対処・回答の内容、入園者の性別・年齢を記入)						
	(センターのコメント)						
怪我・急病人の 有無とその対応							
ヒヤリ・ハット の事例	(いつ・どこで・どうしていた時にヒヤっとしたのか、そのあらましを記入)						
その他 特記事項	(現場からの提案・要望事項等)						
	(センターのコメント)						

業務日誌(森の交流館)

※案

平成 年 月 日 () 曜日 天候: 氏名 ㊞

●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●
●●●●	●●●●	●●●●		9:00の気温	12:00の気温	15:00の気温
				℃	℃	℃
業務内容	本日の業務内容(通常業務及び臨時的に行った作業等) <input type="checkbox"/> 手指用消毒液残量なし(補充必要) 地下タンク灯油メーター(800ℓ) ℓ 安全点検の実施(臨時点検等) 注意伝達事項等(事故防止のための確認作業等)					
	安全点検	異常 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	貸出物品点検	異常 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	カウンター数	
	遺失物件数	件	拾得物件数	件	迷子取扱件数	件
	車イス貸出	件	電動カート貸出	件	ベビーカー貸出	件
	杖貸出	件	筆談器利用	件	スタンプラリー	人
	NW用ポール貸出	件	NW100kmコンペ	人	NW100km新規登録	人
入園者からの 苦情・要望事項等	(苦情・要望等の内容、現場の対処・回答の内容、入園者の性別・年齢を記入)					
	(センターのコメント)					
怪我・急病人の 有無とその対応						
ヒヤリ・ハット の事例	(いつ・どこで・どうしていた時にヒヤっとしたのか、そのあらましを記入)					
その他 特記事項	(現場からの提案・要望事項等)					
	(センターのコメント)					

業務日誌(森の情報館)

※案

平成 年 月 日 () 曜日 天候: 氏名 ㊞

●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●
●●●●	●●●●	●●●●		9:00の気温	12:00の気温	15:00の気温
				℃	℃	℃
業務内容	本日の業務内容(通常業務及び臨時的に行った作業等) <input type="checkbox"/> 手指用消毒液残量なし(補充必要) 地下タンク灯油メーター(904ℓ) ℓ 安全点検の実施(臨時点検等) 注意伝達事項等(事故防止のための確認作業等)					
	安全点検	異常 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	貸出物品点検	異常 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	カウンター数	
	遺失物件数	件	拾得物件数	件	迷子取扱件数	件
	車イス貸出	件	ベビーカー貸出	件	杖貸出	件
	筆談器利用	件	スタンプラリー	人	NW用ポール貸出	件
	NW100kmコンペ	人	NW100km新規登録	人		
入園者からの 苦情・要望事項等	(苦情・要望等の内容、現場の対処・回答の内容、入園者の性別・年齢を記入)					
	(センターのコメント)					
怪我・急病人の 有無とその対応						
ヒヤリ・ハットの 事例	(いつ・どこで・どうしていた時にヒヤっとしたのか、そのあらましを記入)					
その他 特記事項	(現場からの提案・要望事項等)					
	(センターのコメント)					

業務日誌(キャンプ場)

※案

平成 年 月 日 () 曜日 天候: 氏名 ㊞

●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●
●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	9:00の気温	12:00の気温	15:00の気温
				℃	℃	℃
業務内容	本日の業務内容(通常業務及び臨時的に行った作業等) 安全点検の実施(臨時点検等) 注意伝達事項等(事故防止のための確認作業等)					
	安全点検	異常 □有 □無	貸出物品点検	異常 □有 □無	外国人観光客	組
	遺失物件数	件	拾得物件数	件	迷子取扱件数	件
	筆談器利用	件	宿泊組数	組	ディキャンプ	組
区 分	キャンプ場での対応			センターへの報告		
入園者からの 苦情・要望事項等	※入園者の性別・年齢を記入					
怪我・急病人の 有無とその対応						
ヒヤリ・ハット の事例	(いつ・どこで・どうしていた時にヒヤっとしたのか、あらましを記入)					
その他 特記事項						

業務日誌(サイクルセンター)

※案

平成 年 月 日 () 曜日 天候: 氏名 ㊞

●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●
●●●●	●●●●	●●●●	●●●●			
業務内容	本日の業務内容(通常業務及び臨時的に行った作業等) □ 手指用消毒液残量なし(補充必要)					
	安全点検の実施(臨時点検等)					
	注意伝達事項等(事故防止のための確認作業等)					
			安全点検	異常 □有 □無	貸出物品点検	異常 □有 □無
	遺失物件数	件	拾得物件数	件	迷子件数	件
	車イス貸出	件	電動カート貸出	件	ベビーカー貸出	件
	筆談器利用	件	スタンプラリー	件	自転車貸出	大人 台 小人 台
入園者からの 苦情・要望事項等	(苦情・要望等の内容、現場の対処・回答の内容、入園者の性別・年齢を記入)					
	(センターのコメント)					
怪我・急病人の 有無とその対応						
ヒヤリ・ハット の事例	(いつ・どこで・どうしていた時にヒヤとしたのか、そのあらましを記入)					
その他 特記事項	(現場からの提案・要望事項等)					
	(センターのコメント)					

業務日誌(リフト)

※案

平成 年 月 日 () 曜日 天候: 氏名 ㊞

●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●
●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	9:00の気温	12:00の気温	15:00の気温
				℃	℃	℃
業務内容	本日の業務内容(通常業務及び臨時的に行った作業等) 安全点検の実施(臨時点検等) 注意伝達事項等(事故防止のための確認作業等)					
	安全点検実施			異常 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	利用状況	人
入園者からの 苦情・要望事項等	(苦情・要望等の内容、現場の対処・回答の内容、入園者の性別・年齢を記入)					
	(センターのコメント)					
怪我・急病人の 有無とその対応						
ヒヤリ・ハットの 事例	(いつ・どこで・どうしていた時にヒヤっとしたのか、そのあらましを記入)					
その他 特記事項	(現場からの提案・要望事項等)			●●●●		
	(センターのコメント)					

国営滝野すすらん丘陵公園 災害対策部運営計画

平成30年10月1日

北海道開発局札幌開発建設部
国営滝野すすらん丘陵公園事務所

国営滝野すずらん丘陵公園災害対策運営計画

第1条（目的）

この計画は、北海道開発局防災対策事務規程第12条に基づく国営滝野すずらん丘陵公園内における各種災害（地震、風水害、雪害、火災等）及び事故が発生した場合または発生の恐れがある場合において、災害対策時の組織運営について明確にし、適切かつ迅速な対応を図ることを目的とする。

第2条（災害対策部の設置及び体制）

国営滝野すずらん丘陵公園事務所長は、災害が発生または発生する恐れのある場合は、体制発令基準（別紙1）により以下の体制を発令するとともに、必要に応じて災害対策部（以下「対策部」という。）を設置する。

- ・注意体制
- ・警戒体制
- ・非常体制

また、体制を発令した場合は、速やかに札幌開発建設部道路防災推進官並びに北海道開発局事業振興部都市住宅課公園係長に報告することとする。

第3条（組織）

対策部は、対策部長、対策副部長、班長・副班長・班員及び災害対策部員をもって組織し、別紙2のとおりとする。

- ・対策部長は、滝野公園事務所長とし、対策部を統括する。
- ・対策副部長は、滝野公園事務所総務課長、工務課長及び滝野管理センター長とし、対策部長を補佐するとともに、対策部長に事故あるときは、工務課長が対策部長の業務を代行する。
- ・班長及び班員は、各班担当の災害対策業務に従事する。なお、各災害対策班の業務内容は別紙3による。
- ・災害対策部員は、各担当施設の被害・被災状況を把握し報告する。

第4条（災害対策体制の解除）

対策部長は、次に該当する場合、災害対策体制を解除することができる。

- ・災害応急復旧が概ね完了し、二次災害の恐れがなくなったとき。
- ・公園全施設の安全が確認され、災害の恐れがないと判断されたとき。
- ・その他、対策部設置の必要がなくなったと判断されたとき。

付 則

この計画は、平成30年10月1日から施行する。

体 制 発 令 基 準

各種災害	注意体制	警戒体制	非常体制
地 震 災 害	①札幌市（石狩地方中部）で震度４の地震が発生した場合	①札幌市（石狩地方中部）で震度５弱以上の地震が発生した場合	①札幌市（石狩地方中部）で震度６弱以上の地震が発生した場合
風 水 害	下記のいずれかの事象が発生 ①１時間雨量が30mmを超えた場合 ②連続雨量が80mmを超えた場合 ③瞬間最大風速が15m/sを超えた場合	下記のいずれかの事象が発生 ①１時間雨量が50mmを超えた場合 ②連続雨量が120mmを超えた場合 ③瞬間最大風速が18m/sを超えた場合 ④特別警報が発令された場合	下記のいずれかの事象が発生 ①風雨により公園内に重大な災害が発生した場合
雪 害	①大雪警報発表下で12時間降雪深さが50cmを超えた場合	①降雪により公園内に災害が発生した場合	①降雪により公園内に重大な災害が発生した場合
火 災 等	①園外で火災・爆発等が発生し、園内に延焼・危害の恐れがある場合	①園内で火災・爆発等が発生した場合、または園外で発生した火災・爆発等が園内に延焼又は危害を及ぼした場合 ②近隣で山火事等の大規模な火災が発生した場合	①火災・爆発等により、公園内に重大な災害が発生した場合
そ の 他	①事務所長が必要と判断した場合	①事務所長が必要と判断した場合	①事務所長が必要と判断した場合
参 集 体 制	<ul style="list-style-type: none"> ・参集要員は待機し情報収集に努めると共に、必要に応じて参集する。（ただし、地震の場合、原則参集要員は参集する。） ・異状時巡視ルート図の箇所を巡視 	<ul style="list-style-type: none"> ・特別警報が発令された場合、溪流ゾーンの部分閉園を検討 ・参集要員は待機し情報収集に努めると共に、必要に応じて参集する。（ただし、地震の場合、原則参集要員は参集する。） ・異状時巡視ルート図の箇所を巡視 	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員が参集する。
備 考	重大な災害とは、公園内で災害により人的被害が発生した場合、公園施設に重大な被害が発生した場合、周辺道路の通行止めにより滝野公園が孤立した場合等をいう。		

災害対策部組織表（非常体制時）

災害対策部長 滝野すすらん丘陵公園事務所長 (電話594-2101)					
災害対策副部長					
総務課長		工務課長	滝野管理センター長		
総務・情報収集班		広報・広聴 連絡・調整班	現場対策班	来園者対応班	災害対策部員
班長 総務課長 副班長 総務係長 班員 ○○○○○○ ○○○○○○		班長 建築設備係長 副班長 指導員 班員 ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○	班長 工務課長 副班長 ○○○○○○ 班員 工務係長 ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○	班長 ○○○○○○ 副班長 ○○○○○○ 班員 ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○	災害対策部員の 担当施設は、 下記に示す

国営滝野すすらん丘陵公園事務所

代表電話（０１１）５９４－２１００

滝野管理センター（○○○○○○○○○○○○○○○○○○）

代表電話（○○○）○○○－○○○○

なお、災害対策部員は、各担当施設の被害、被災状況の詳細を早急に把握し、情報収集班に報告する。（不在の場合は次席が代行する）

青少年山の家館長・・・・・・・・・・・・・・・・・・青少年山の家及び周辺

オートリゾート滝野マネージャー・・・・・・・・・・オートリゾート滝野エリア

○○○○○○○○○○マネージャー・・・・・・・・・・カントリーハウス、ロッジゆきざさ、焼き肉ガーデンアシリベツ、サイクルセンター、東口情報センター売店、「子供の谷」休憩所、中央口管理所売店、鱒見口売店、フィッシング滝野エリア

災害対策部体制編成表（参集要員）（案）

名 称	注意体制	警戒体制	非常体制	役 職（内 線）
○災害対策部				
対策部長		○	○	滝野公園事務所長（101）
対策副部長		○	○	（事）総務課長（110）
//		○	○	（事）工務課長（103）
//		○	○	センター長（〇〇）
対策部員		○	○	青少年山の家館長
//		○	○	収益運営マネージャー（〇〇）
//			○	〇〇〇〇〇〇〇
・総 務・ 情報収集班				
班 長		○	○	（事）総務課長（〇〇）
副班長	○	○	○	（事）総務係長（〇〇）
班 員	○	○	○	（セ）〇〇〇〇〇〇〇（〇〇）
//	○	○	○	（セ）〇〇〇〇〇〇〇（〇〇）
・広報・広聴 連絡・調整班				
班 長	○	○	○	（事）建築設備係長（〇〇）
副班長		○	○	（事）指導員（〇〇）
班 員	○	○	○	（セ）〇〇〇〇〇〇〇（〇〇）
//		○	○	（セ）〇〇〇〇〇〇〇（〇〇）
//		○	○	（セ）〇〇〇〇〇〇〇（〇〇）
・現場対策班				
班 長		○	○	（事）工務課長（〇〇）
副班長	○	○	○	（セ）〇〇〇〇〇〇〇（〇〇）
班 員	○	○	○	（事）工務係長（〇〇）
//		○	○	（セ）〇〇〇〇〇〇〇（〇〇）
//		○	○	（セ）〇〇〇〇〇〇〇（〇〇）
				（セ）〇〇〇〇〇〇〇（〇〇）
・来園者対応班				
班 長	○	○	○	（セ）〇〇〇〇〇〇〇（〇〇）
副班長	○	○	○	（セ）〇〇〇〇〇〇〇（〇〇）
班 員		○	○	（セ）〇〇〇〇〇〇〇（〇〇）
//		○	○	（セ）〇〇〇〇〇〇〇（〇〇）
//		○	○	（セ）〇〇〇〇〇〇〇（〇〇）

災害対策部各班の業務内容

災 害 対 策 班	業 務 内 容
総 務 ・ 情報収集班	1 職員の被災状況の取りまとめ及び被災職員の手当並びに救急車の手配 2 職員の安否の確認 3 公園施設等の被害状況の取りまとめ 4 連絡車の統制運用 5 各班との連絡調整 6 物資の調達及び会計 7 職員の健康、安全管理 8 各施設からの情報収集 ・ 青少年山の家、オートリゾート滝野、カントリーハウス等園内各主要施設の被災・被害情報を災害対策部員より収集し、総務班及び連絡・調整班に報告する。(第1報は電話連絡により連絡担当者周辺状況に対策部設置後30分以内に取りまとめる) 9 被災・避難状況の情報収集 ・ 巡視員及び来園者対応班より現地の状況並びに避難状況等の情報を収集し、総務班及び連絡・調整班に報告する。 10 園外の情報収集 ・ 道路通行止め箇所、公共交通機関の状況及び園外の被害状況等を把握し、総務班及び来園者対応班に伝達する。 11 気象情報の収集及び伝達
広報・広聴 連絡・調整班	1 報道機関用の災害状況及び災害対策情報の作成(発表は本部道路建設課及び広報官室と打ち合わせを行う) 2 報道機関との連絡調整 3 災害広聴に関する事務 4 ホームページによる被災状況等の情報提供 5 本部、本局及び他の防災関係機関との情報連絡、調整 6 部局間応援に関する事務 7 バス等交通機関との連絡、調整
現場対策班	1 災害発生箇所の点検・調査 2 災害応急対策の検討・実施 3 災害対策用建設機械、労務、資材の手配 4 災害対策に関わるコンサルタントの手配、打ち合わせ 5 災害恒久対策の検討 6 災害対策進捗状況の把握及び連絡・調整班への報告
来園者対応班	1 来園者の避難誘導 ・ 各施設の避難担当者とともに安全エリアに来園者を誘導し、待機注意事項について指示する。 2 被災者の介護及び飲料水、食料品の配給 3 臨時閉園時の案内板の設置(溪流口、鱒見口、滝野の森口) 4 来園者への園外情報の提供

災害発生時の初動体制

地震、水害等災害発生時の適切かつ円滑な対応を目的とし、

- ① 被災者の救助
- ② 来園者の避難誘導
- ③ 被災、被害状況の調査、報告を早急に実施する。

1 初動期の救助及び避難誘導

初動期の被災者の救助及び避難誘導については、各施設の担当者（別紙4）が迅速に行うこととし、施設内の安全が確認されるまでは公園利用者を避難場所で待機させることとする。待機中には、来園者対応班が人数、内訳、氏名、住所、連絡先等避難者の情報を収集する。

2 被災、被害状況の調査、報告

初動期の被災、被害状況の調査、報告は、状況調査報告担当者が目視により周辺の状況を速やかに電話連絡する。取りまとめ先は「総務・情報収集班」とする。

報告内容は被災者の有無、各施設内等の状況（キャビネットが倒れた、本棚から本が落ちた等）とする。

3 入園業務

重大な災害が発生又は発生するおそれがある時点で入園業務は災害対策部長が中止する。入園業務の再開は、公園内の全ての施設の安全が確認され、災害対策部長が入園可能と判断した時点とする。

ただし、公園周辺の被害が甚大で、当公園に避難することが地域の安全確保上必要と災害対策部長が判断した場合は、避難先として当公園の入園を認めるものとする。

4 その他

各施設の避難誘導並びに被災、被害状況の報告担当者は、別紙4による。

各施設利用者避難誘導場所等一覧

施 設 名	避難誘導場所	避 難 担 当	状況調査報告担当
青少年山の家	どんぐり広場	山の家 調整担当	山の家 管理担当
オートリゾート滝野	センターハウス広場	〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇
カントリーハウス	つどいの森	管理センター 〇〇〇	管理センター 〇〇〇
ロジックゆきざさ	炊事遠足広場	〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇
焼肉ガーデンソシアリティ	炊事広場	〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇
サイクルセンター	鱒見口駐車場	管理センター 〇〇〇	管理センター 〇〇〇
フィッシング 滝野	炊事広場	〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇
展望台・天文台	コースター厩	管理センター 〇〇〇	管理センター 〇〇〇
中央口案内所、休憩所	中央口駐車場	管理センター 〇〇〇	管理センター 〇〇〇
こどもの谷	コースター厩	管理センター 〇〇〇	管理センター 〇〇〇
公園事務所、車庫 国事務所等 管理センター等	つどいの森	事務所 総務係	事務所 施設設備係
	つどいの森	管理センター 〇〇〇	管理センター 〇〇〇
ビジターセンター	つどいの森	管理センター 〇〇〇	管理センター 〇〇〇
東口情報センター	つどいの森	管理センター 〇〇〇	管理センター 〇〇〇
森のすみか	コースター厩	管理センター 〇〇〇	管理センター 〇〇〇
森の情報館	滝野の森口駐車場	管理センター 〇〇〇	管理センター 〇〇〇
森の交流館	南駐車場	管理センター 〇〇〇	管理センター 〇〇〇
森の教室	南駐車場	管理センター 〇〇〇	管理センター 〇〇〇
森見の塔	南駐車場	管理センター 〇〇〇	管理センター 〇〇〇

※避難誘導場所については、状況により最寄りの駐車場へ適宜誘導する。

災害対策関係者連絡先一覧表 (H〇〇. 〇〇. 〇〇)

[illegible]

携帯電話欄の（防災）は、業務用の携帯電話番号である。

災害対策関係者連絡先一覧表 (H〇〇. 〇〇. 〇〇)

所 属・役 職	氏 名	自宅電話番号	携帯電話番号
滝野管理センター			
〇〇〇〇〇〇〇			
〇〇〇〇〇〇〇			
〇〇〇〇〇〇〇			
〇〇〇〇〇〇〇			
〇〇〇〇〇〇〇			
〇〇〇〇〇〇〇			
〇〇〇〇〇〇〇			
〇〇〇〇〇〇〇			
〇〇〇〇〇〇〇			
〇〇〇〇〇〇〇			
〇〇〇〇〇〇〇			
〇〇〇〇〇〇〇			
〇〇〇〇〇〇〇			
〇〇〇〇〇〇〇			
〇〇〇〇〇〇〇			
〇〇〇〇〇〇〇			
〇〇〇〇〇〇〇			
青少年山の家			
館 長			
〇〇〇〇〇〇〇			
〇〇〇〇〇〇〇			
〇〇〇〇〇〇〇			
〇〇〇〇〇〇〇			
〇〇〇〇〇〇〇			
札幌南警察署			
札幌南消防署			
石狩森林管理局			
札幌防衛施設局			
南区土木部維持管理課			
（夜間休日：道路情報管理室）			

携帯電話欄の（業）は、業務用の携帯電話番号である。

異状時巡視の対応方針(案)

1. 異状時巡視（注意体制）について

（１）目的

現段階で異状箇所がないかを確認する。

今後降雨が継続した場合に危険な箇所が発生する恐れがないかを確認する。

危険性は低いが、ぬかるみなど入園者の通行に支障が発生する恐れがないかを確認する。

（２）異状時巡視（注意体制）出動の時期

出動時期については、展望台局の観測値で１時間雨量が３０ mm、または連続雨量が８０ mm を超えた場合、風速については、展望台局の観測値で最大瞬間風速が１５ m／s を超えた場合、地震については、震度４以上とする。

異状時巡視（注意体制）以降の出動については、異状時巡視（注意体制）の状況により判断すること。閉園時間に異状時巡視（注意体制）出動の基準を超えた場合は、翌日朝の朝礼簿に記入し通常巡視よりも詳細に施設を巡視し確認すること。

（３）巡視点検箇所

巡視点検箇所を異状時巡視ルート図に示す。通常巡視に加え、厚別川沿い、鱒見の沢川沿い、森の教室、滝野の森（野牛沢川沿い）等とし、基本的に車両による巡視とする。必要に応じて徒歩やＣＣＴＶにより確認を行うこと。なお、点検箇所については、必要に応じて随時更新する。

（４）報告

巡視開始時間、完了時間、点検結果を速やかに国事務所に報告する。

また、点検箇所を巡視し、異常を発見したときは、立入禁止措置を行うと共に、速やかに国事務所に報告する。

2. 異状時巡視（警戒体制）について

（１）目的

上記巡視で発見された異状箇所を含め、新たな異状箇所の確認を行う。

立ち入り禁止及び閉園を検討するための情報収集を行う。

（２）異状時巡視（警戒体制）出動の時期について

出動時期については、展望台局の観測値で１時間雨量が５０ mm、または連続雨量が１２０ mm を超えた場合、風速については、展望台局の観測値で最大瞬間風速が１８ m／s を超えた場合、地震については、震度５弱以上とする。

異状時巡視（警戒体制）以降の出動については、異状時巡視（警戒体制）の状況により判断すること。閉園時間に異状時巡視（警戒体制）出動の基準を超えた場合は、翌日朝の朝礼簿に記入し通常巡視よりも詳細に施設を巡視し確認すること。

（３）巡視点検箇所

異状時巡視（注意体制）で行う点検箇所と同様とする。

（４）報告

異状時巡視（注意体制）で行う報告と同様とする。

3. 公園内施設への情報提供について

全面閉園及び部分閉園（立ち入り制限区域の設定等）について災害対策部長が判断し指示があった場合の公園内施設への連絡体制は、次のとおりとする。

青少年山の家：国事務所から情報を提供する。

オートキャンプ場：管理センターから情報提供する。

4. その他

各体制の出動基準については、開園時間内を想定しているため、展望台局の観測値としているが、深夜未明、休日等においては、雨量は川の防災情報（<http://www.river.go.jp/>）の「河川名：厚別川」「観測所名：滝野」の時間雨量、累計(連続)雨量を目安とする。また、風速は気象庁の暴風警報、降雪深さは大雪警報を目安とする。

なお、北海道防災情報(<http://www.bousai-hokkaido.jp/>)の警報注意報のメール配信サービスがあるので利用すること。

(参考) 暴風による閉園（立ち入り制限区域の設定等）の参考基準について

気象庁が発令する暴風警報発令を参考に全面閉園及び部分閉園（立ち入り制限区域の設定等）については、園内の気象観測データを参考に判断すること。全面閉園の参考基準は、最大瞬間風速20m/s以上とする。また、部分閉園（立ち入り制限区域の設定等）の参考基準は、瞬間最大風速18m/s以上とする。

滝野すずらん丘陵公園における事故対応について

種別	事故の程度		報告体制	事故発生後の対応
	人身との関わり	施設の設置・管理との関わり		
A	・死亡事故及び重大事故（失明又は切断等、及び全治30日以上の上の重傷のもの、直ちに判断できないものを含む）	_____	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 2px;">管理センター</div> <div style="margin: 0 5px;">→</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 2px;">公園事務所</div> <div style="margin: 0 5px;">→</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 2px;">札幌開発建設部公物管理課（道路整備保全課）</div> <div style="margin: 0 5px;">→</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 2px;">局都市住宅課</div> <div style="margin: 0 5px;">→</div> <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 2px;">本省</div> <div style="margin: 2px;">→</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 2px;">北海道局</div> </div> </div>	<p>(1) 報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・左記の報告体制に従い、迅速に報告する <p>(2) 原因調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記のうち施設の設置又は管理について重大な瑕疵が予想されるものについて管理センターは事故発生後、速やかに原因調査を行うものとし、調査終了時には、発生状況の詳細とその原因、および再発防止対策（案）を添えて、公園事務所に報告する <p>(3) 事故調査会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の設置又は管理について重大な瑕疵が予想されるものについて開催する。 ・上記報告を受けた公園事務所長の招集により開催し、参加者は以下の通りとする。 公園事務所 所長、総務課長、工務課長 管理センター センター長、総務課長、業務課長 （必要に応じて、事務所、センターの担当係長も参加） ・本調査会の目的は、事故の発生状況の詳細とその原因について確認すること、及び再発防止にむけて検討をおこない対策について方針を決定することである ・決定した内容について、左記の体制に従い、迅速に報告をおこなう
	_____	・施設の設置又は管理について重大な瑕疵が予想されるもの（直ちに判断できないものを含む）		
B	・管理センターで処置後に病院に搬送されたもの ・管理センターで処置後に病院で治療を受けたもののうち重傷（全治2週間以上）のもの（直ちに判断できないものを含む）	_____	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 2px;">管理センター</div> <div style="margin: 0 5px;">→</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 2px;">公園事務所</div> <div style="margin: 0 5px;">→</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 2px;">札幌開発建設部公物管理課（道路整備保全課）</div> <div style="margin: 0 5px;">→</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 2px;">局都市住宅課</div> <div style="margin: 0 5px;">→</div> <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 2px;">本省</div> <div style="margin: 2px;">→</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 2px;">北海道局</div> </div> </div>	<p>(1) 報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・左記の報告体制に従い、迅速に報告する <p>(2) 原因調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記のうち、施設の設置又は管理について瑕疵が懸念されるものについて、管理センターは事故発生後、速やかに原因調査を行うものとし、調査終了時には発生状況の詳細とその原因、および再発防止対策（案）を添えて、公園事務所に報告する ・施設の設置又は管理について瑕疵が懸念されるものについては、上記報告を基に、「滝野公園マネジメント会議」（状況に応じて臨時に開催）にて、事故の発生状況やその原因を確認し、必要に応じて対応策を検討する ・参加者は以下のとおりとする 公園事務所 総務課長、工務課長、施設管理係長 管理センター 総務課長、業務課長
	_____	・施設の設置又は管理について瑕疵が懸念されるもの（直ちに判断できないもの、被害者から施設又は管理状況に対し強いクレームがあるものを含む） ・施設等への被害が発生した場合		
C	・上記の他管理センターで処置したもの	_____	<p>救護日誌等による事後報告</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 2px;">管理センター</div> <div style="margin: 0 5px;">→</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 2px;">公園事務所</div> </div>	<p>(1) 報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・左記の報告体制に従い、管理月報とともに報告する。
	_____	・施設等に軽微な被害が発生した場合（日常の維持管理業務の範囲内で修繕できるもの）		

野生動植物危機管理マニュアル(案)
(ヒグマ、スズメバチ)

北海道開発局札幌開発建設部
国営滝野すずらん丘陵公園事務所

滝野公園ヒグマ対応マニュアル(案)



平成 25 年秋に園内に侵入した個体

平成29(2017)年 3月

北海道開発局札幌開発建設部
国営滝野すずらん丘陵公園事務所

滝野公園ヒグマ対応マニュアル(案)

目 次

滝野公園におけるヒグマ対応フロー

はじめに	1
総 論	2
Ⅰ. 日常点検・情報収集	6
1. 平常時の対応	7
2. 近隣でのクマ情報等への対応	10
Ⅱ. 園内へのクマ出没時の対応	11
作業 1. 情報の確認・痕跡の確認	12
作業 2. 閉園措置	13
作業 3. 専門家による原因特定・対応方針の確認	14
作業 4. クマ確認と園外退去策の実施	15
作業 5. 再侵入防止策の検討・対策	16
付録 1. 関係機関連絡先リスト	17
付録 2. 現地調査におけるポイント	18
付録 3. 問題グマとその対応について	20
付録 4. 報道用資料のフォーマット	21
付録 5. 自動撮影カメラの配置図(案)	22
付録 6. 巡視ルートの例	23
付録 7. 積極的攪乱措置の実施例	24
付録 8. 捕獲許可申請について	25
付録 9. 滝野公園周辺 10km の範囲	26

本マニュアルに基づく対応において、重要な事項の最終決定は事務所が行うものとする。

滝野公園スズメバチ等ハチ類対応マニュアル(案)

滝野公園スズメバチ等ハチ類対応マニュアル(案)

目次

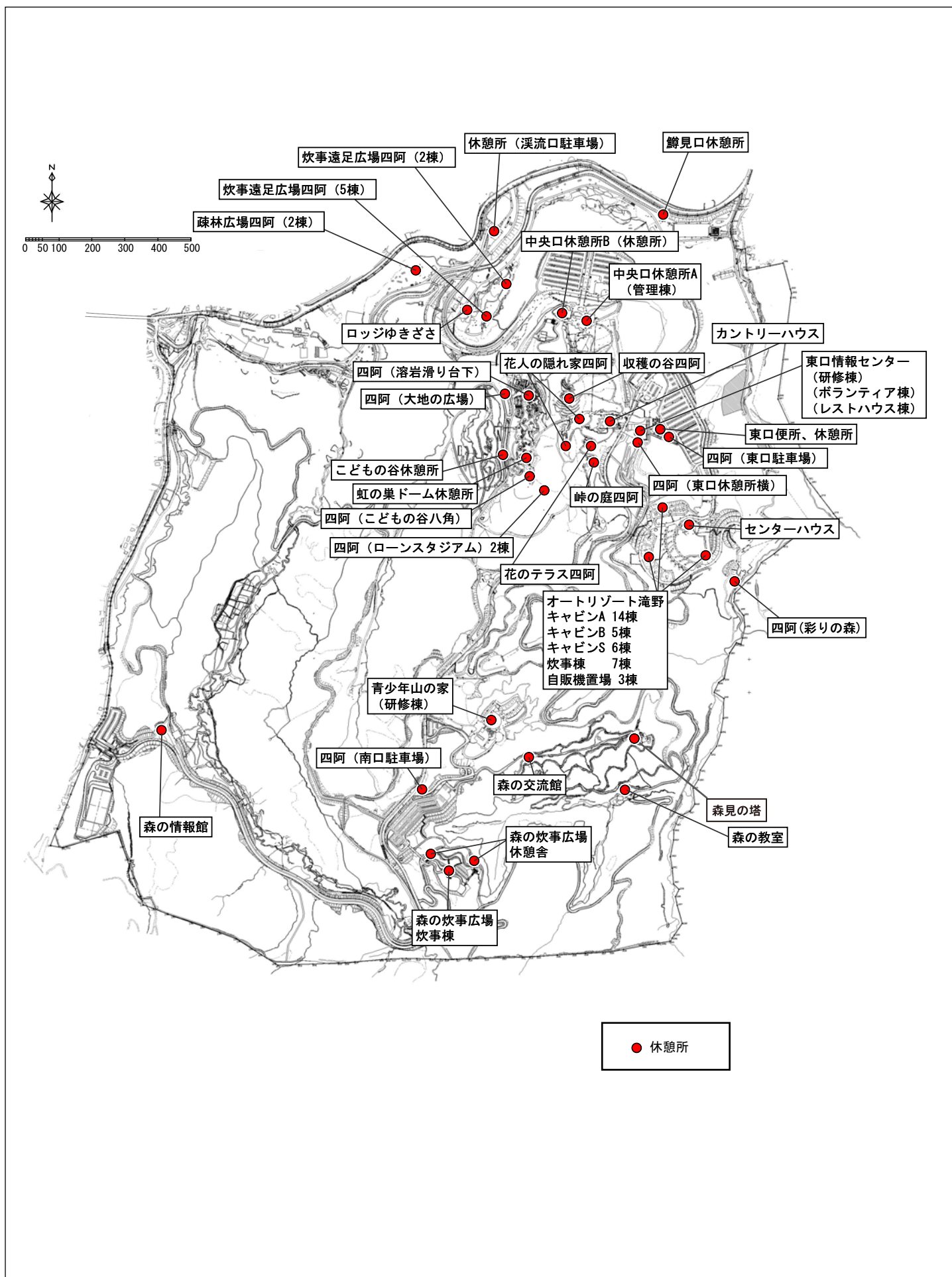
1．通常時（段階 1）	1
（ 1 ） 情報収集	
（ 2 ） 体制の整備	
（ 3 ） 誘引物の管理	
（ 4 ） 注意喚起・普及啓発	
2．ハチ情報把握時（段階 2）	3
3．確認調査（段階 3）	4
4．立入禁止区域設定（段階 4）	5
5．巣あるいは誘引物の除去（段階 5 - 1）	6
監視、注意表示（段階 5 - 2）	
6．立入禁止解除（段階 6）	7
7．注意表示（段階 7）	8
8．刺傷者救護（救護段階 1 ～ 3）	9

参考資料

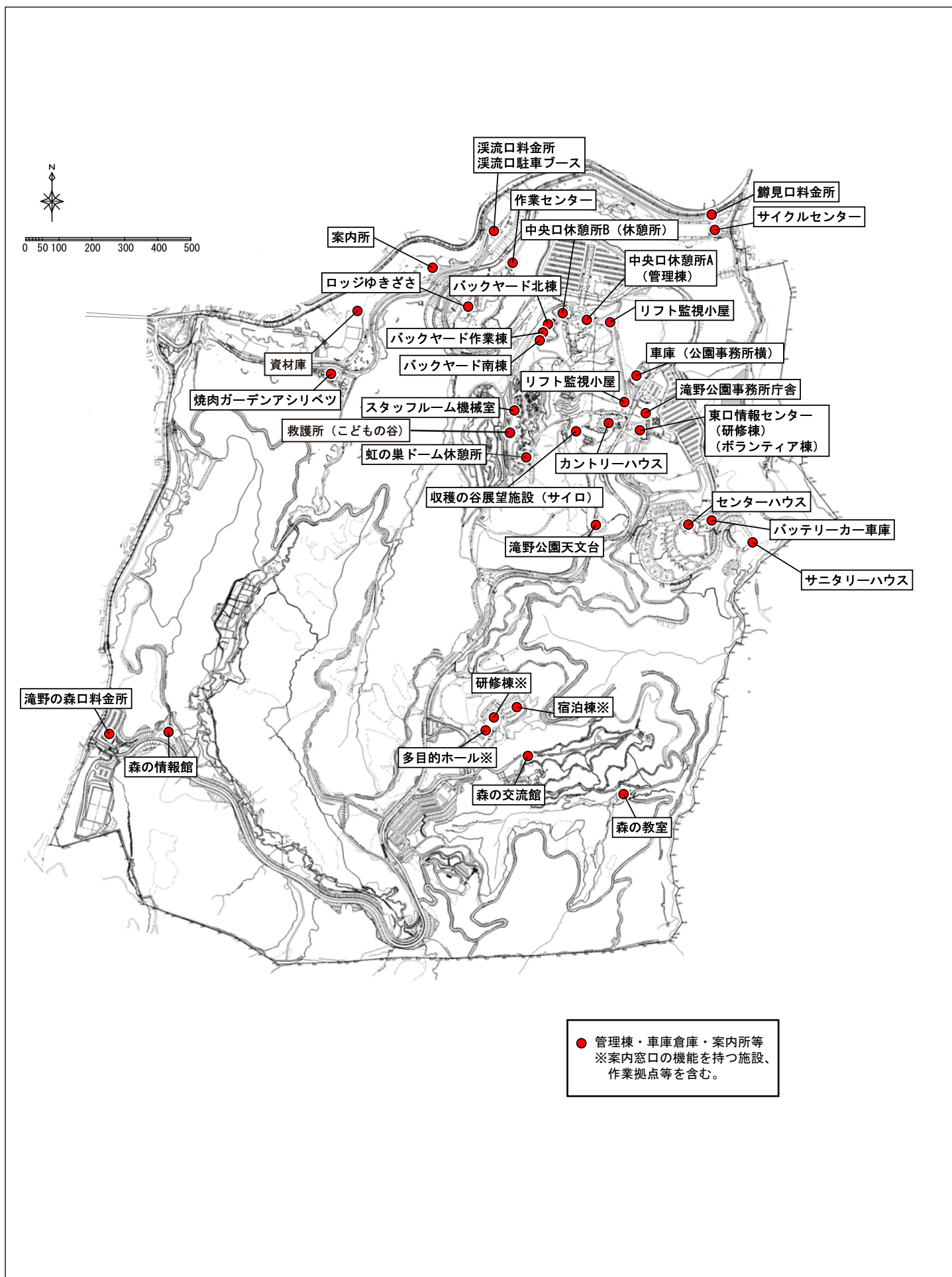
網掛け箇所は、主に新規開園区域においての対応を示す。

国営滝野すずらん丘陵公園

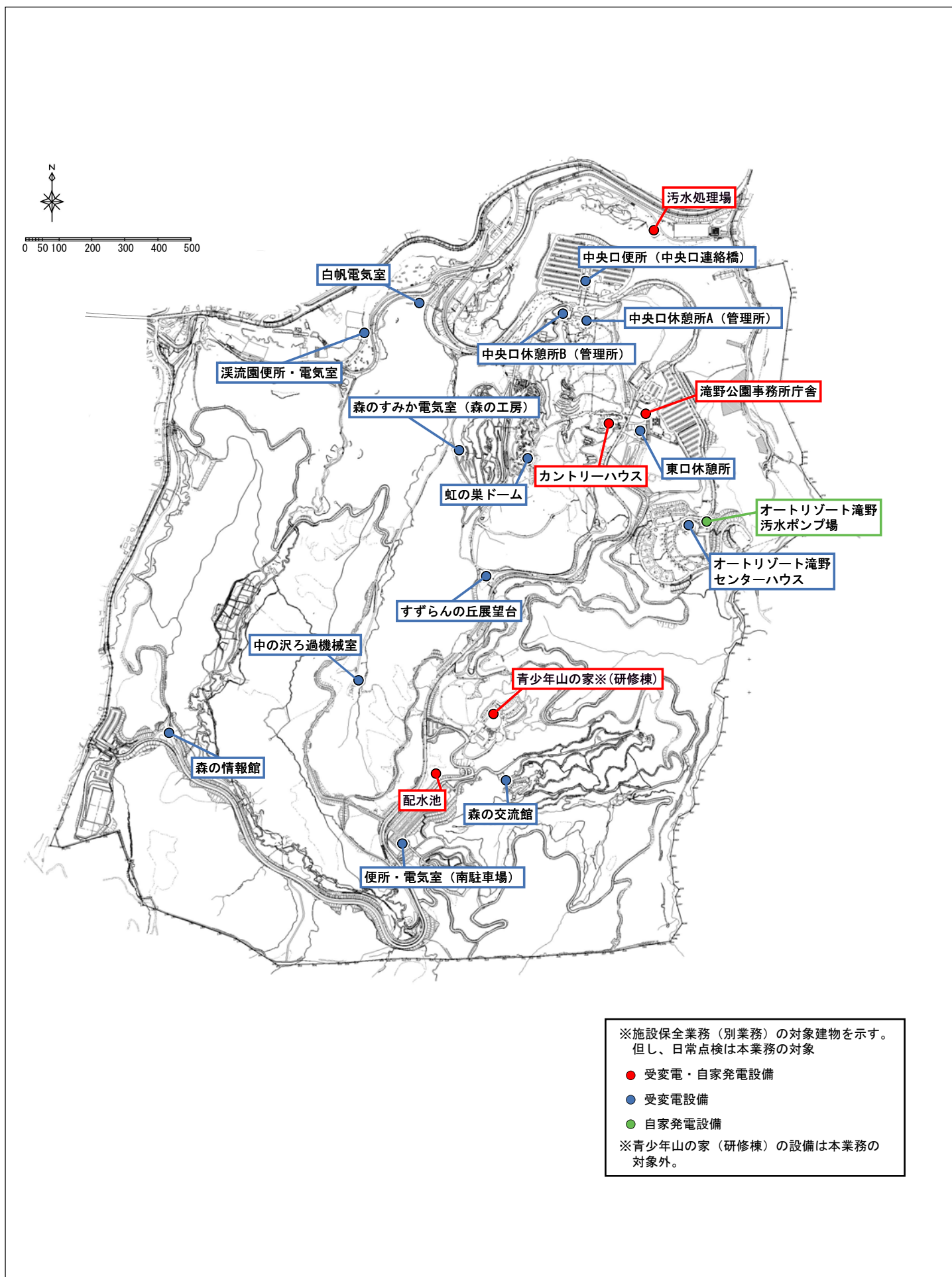
園内施設（設備等）位置図



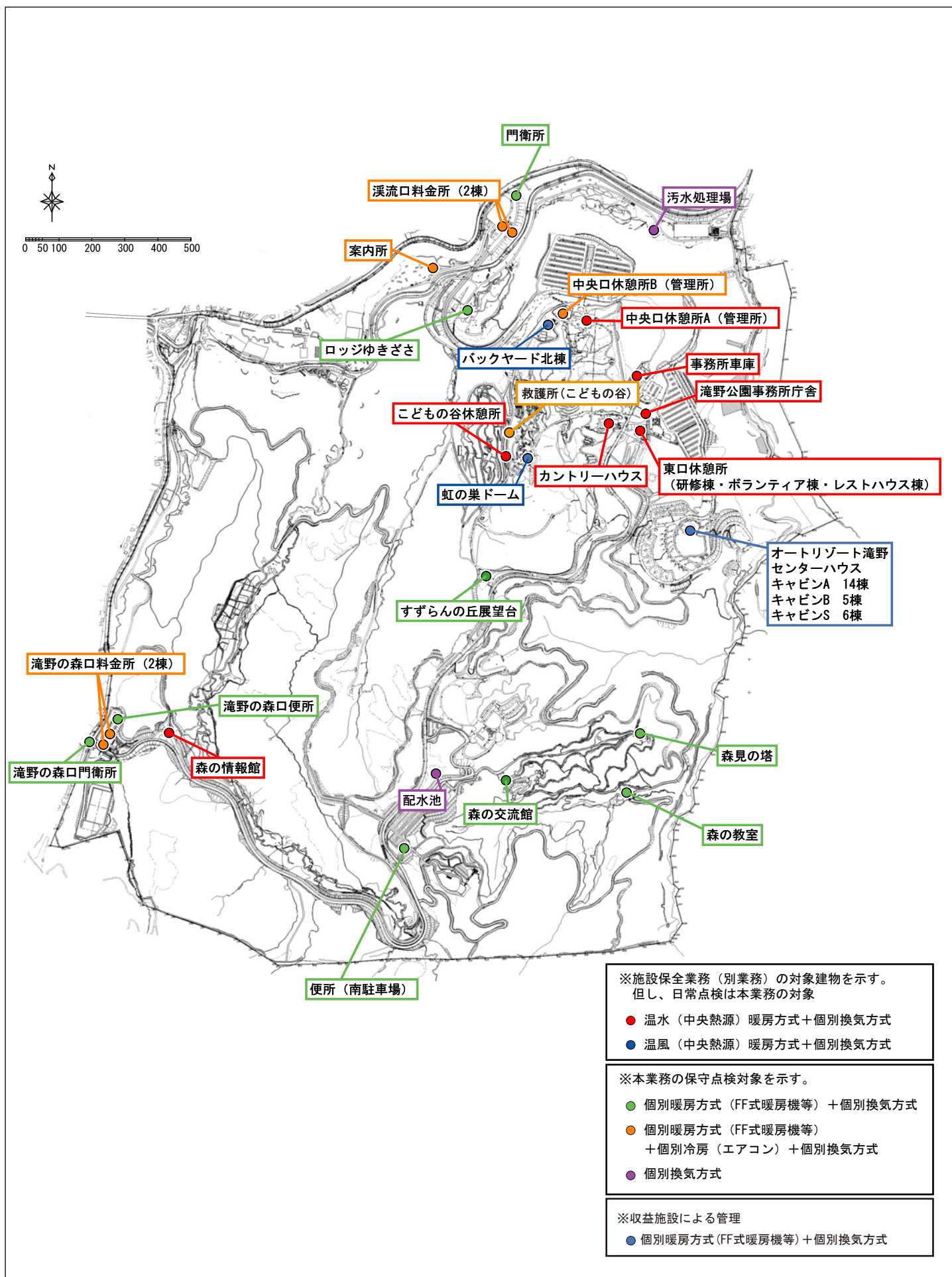
休憩所位置図



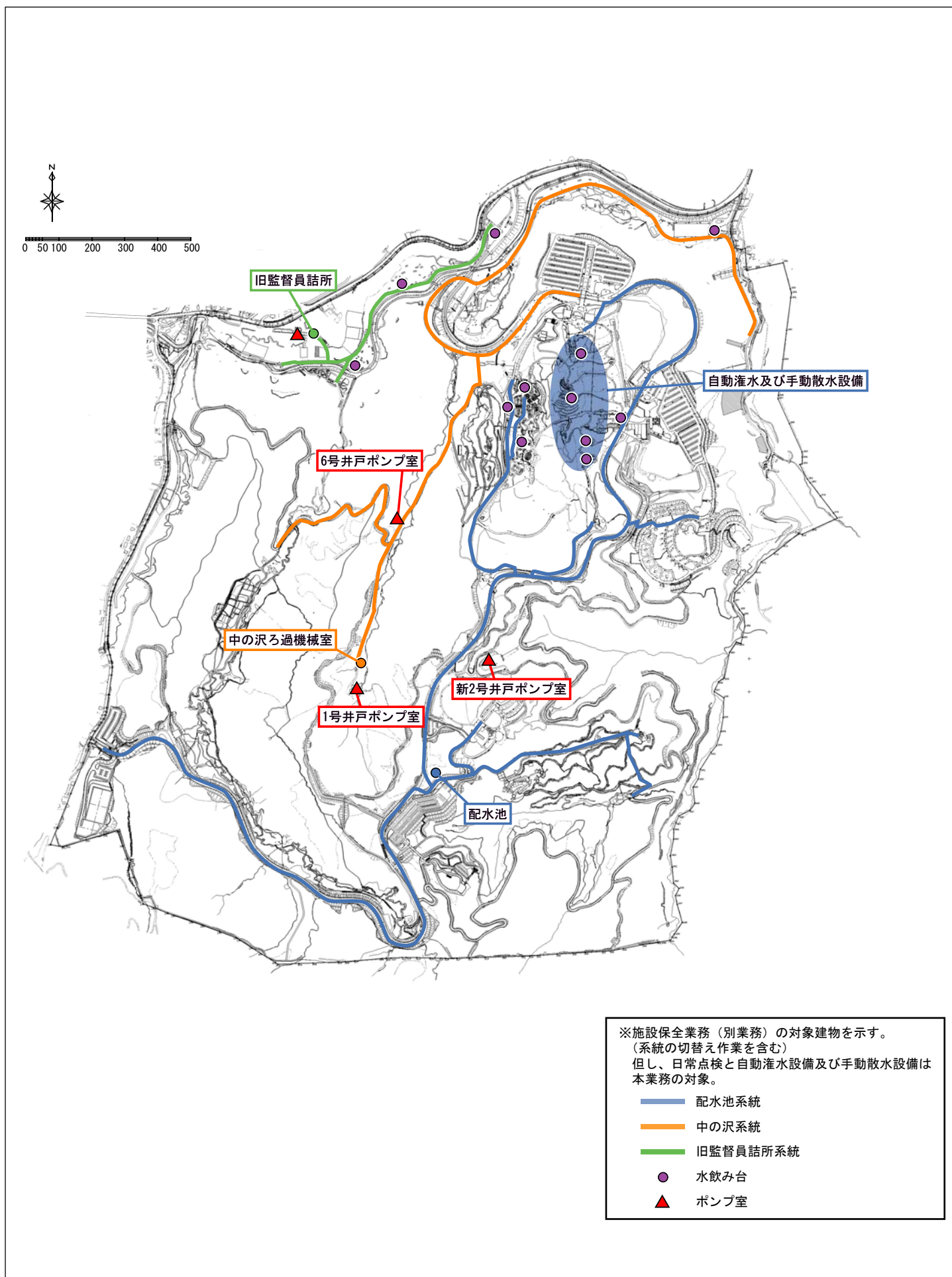
管理棟・車庫倉庫・案内所等位置図



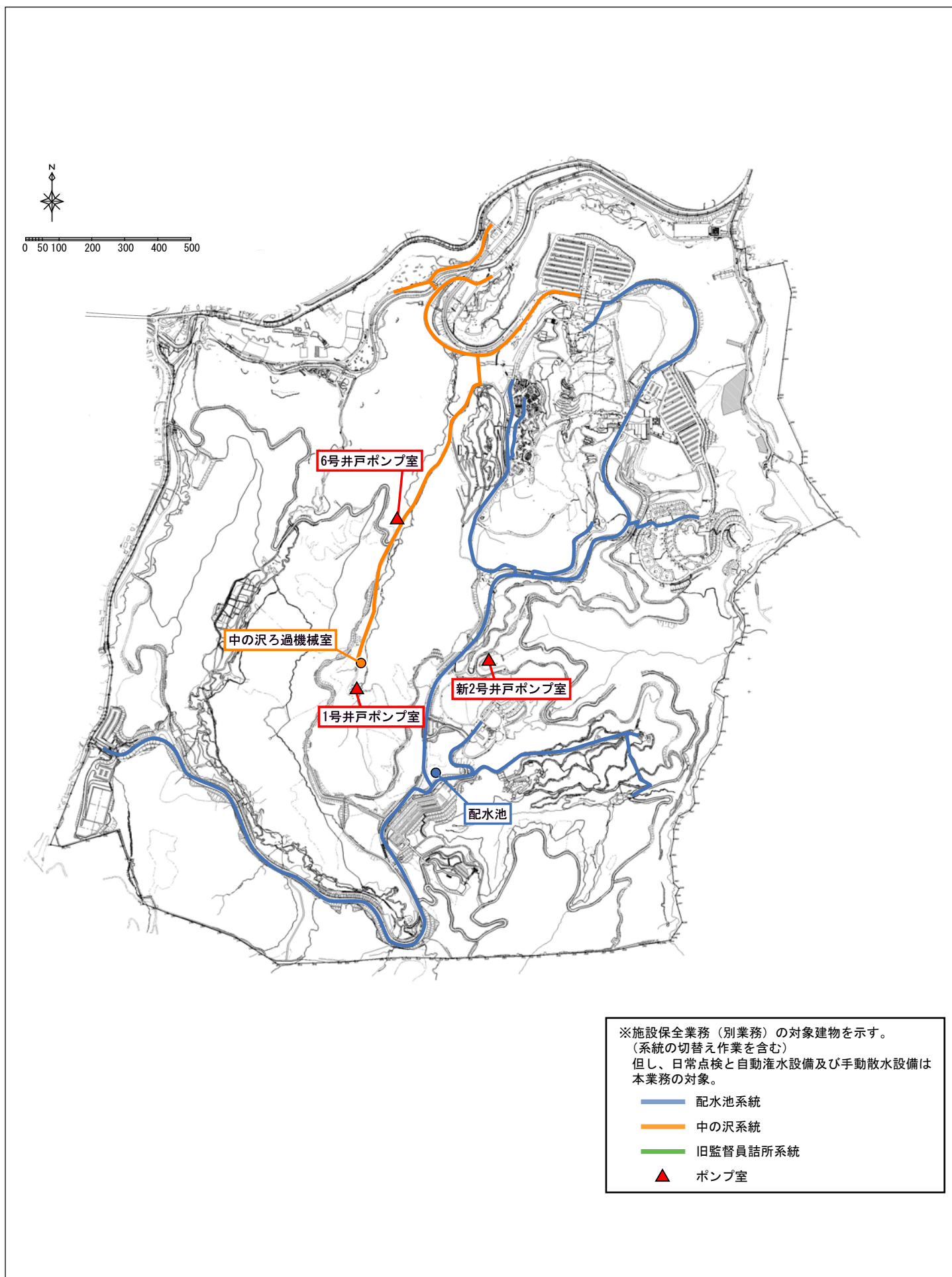
電気設備位置図



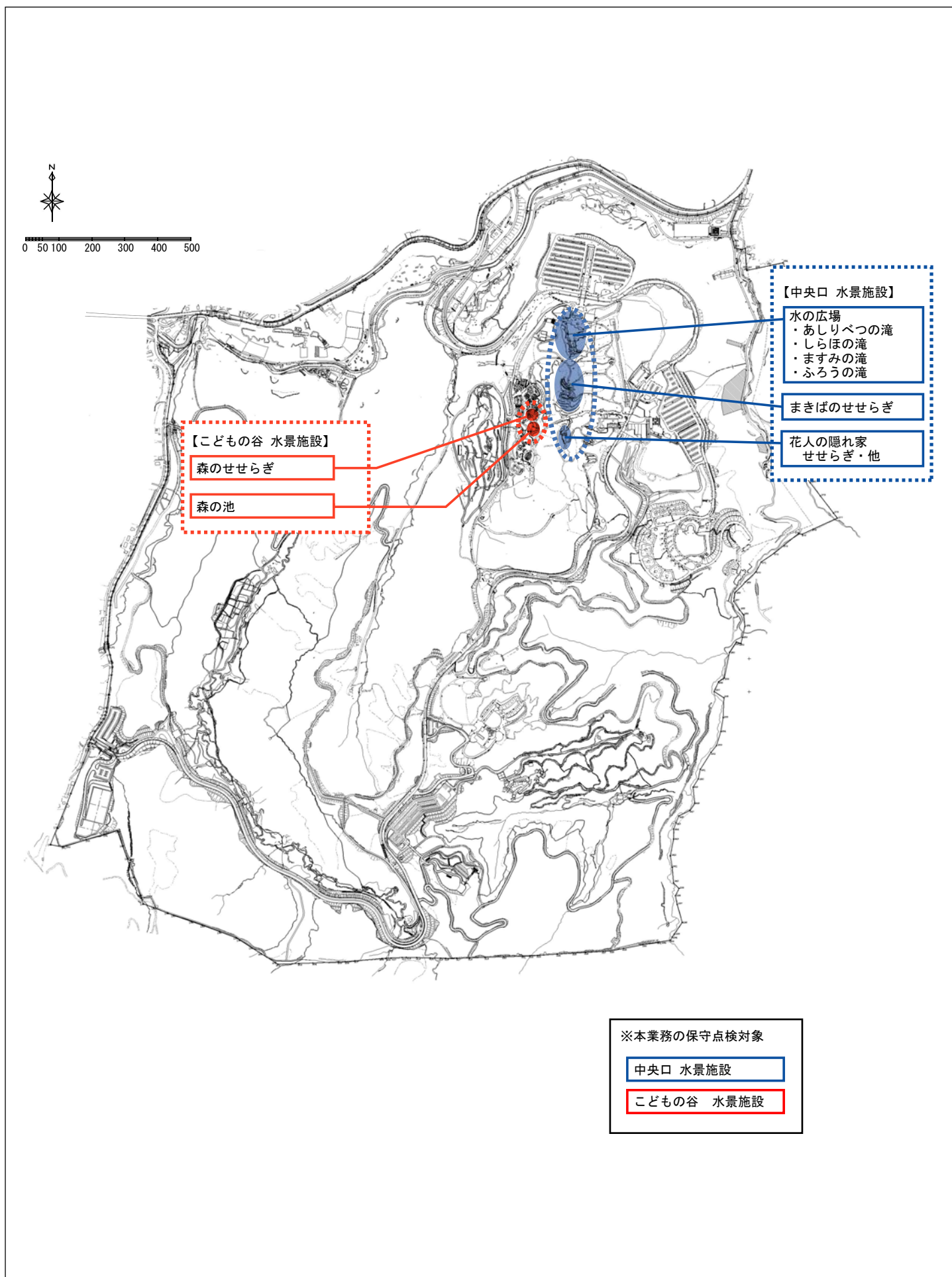
空調設備 設置箇所位置図



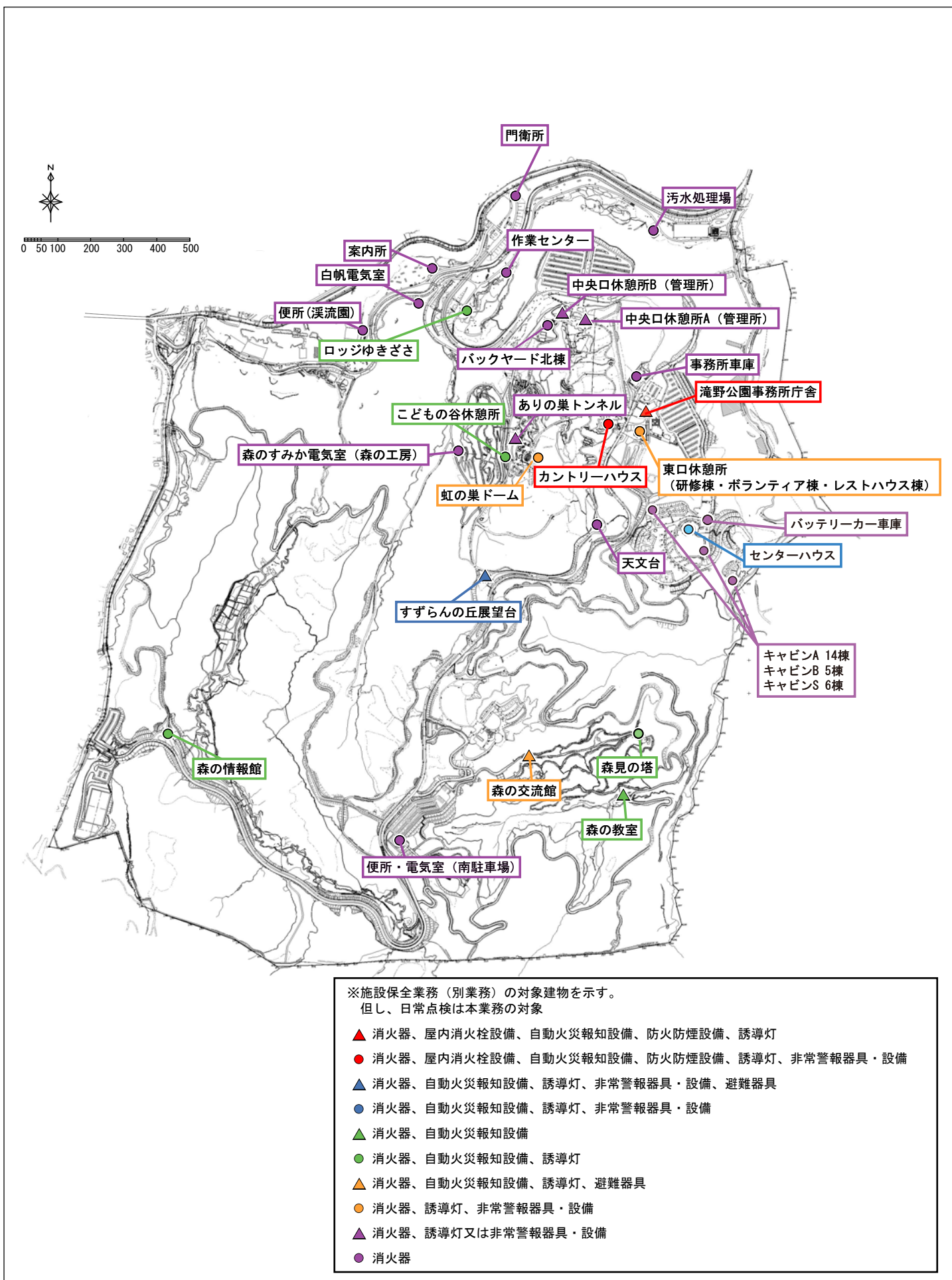
水道設備位置図（春・夏・秋）



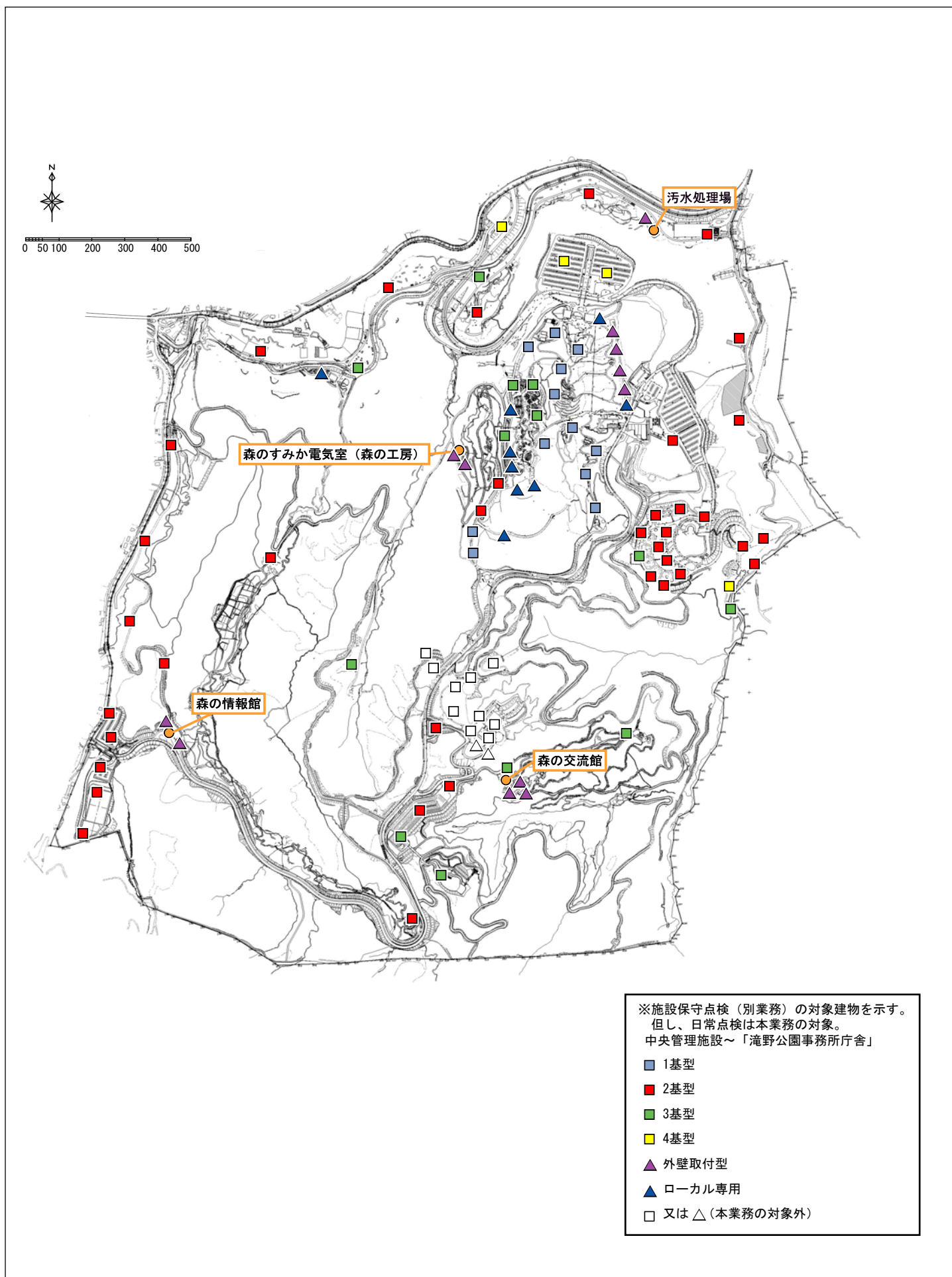
水道設備位置図（冬）



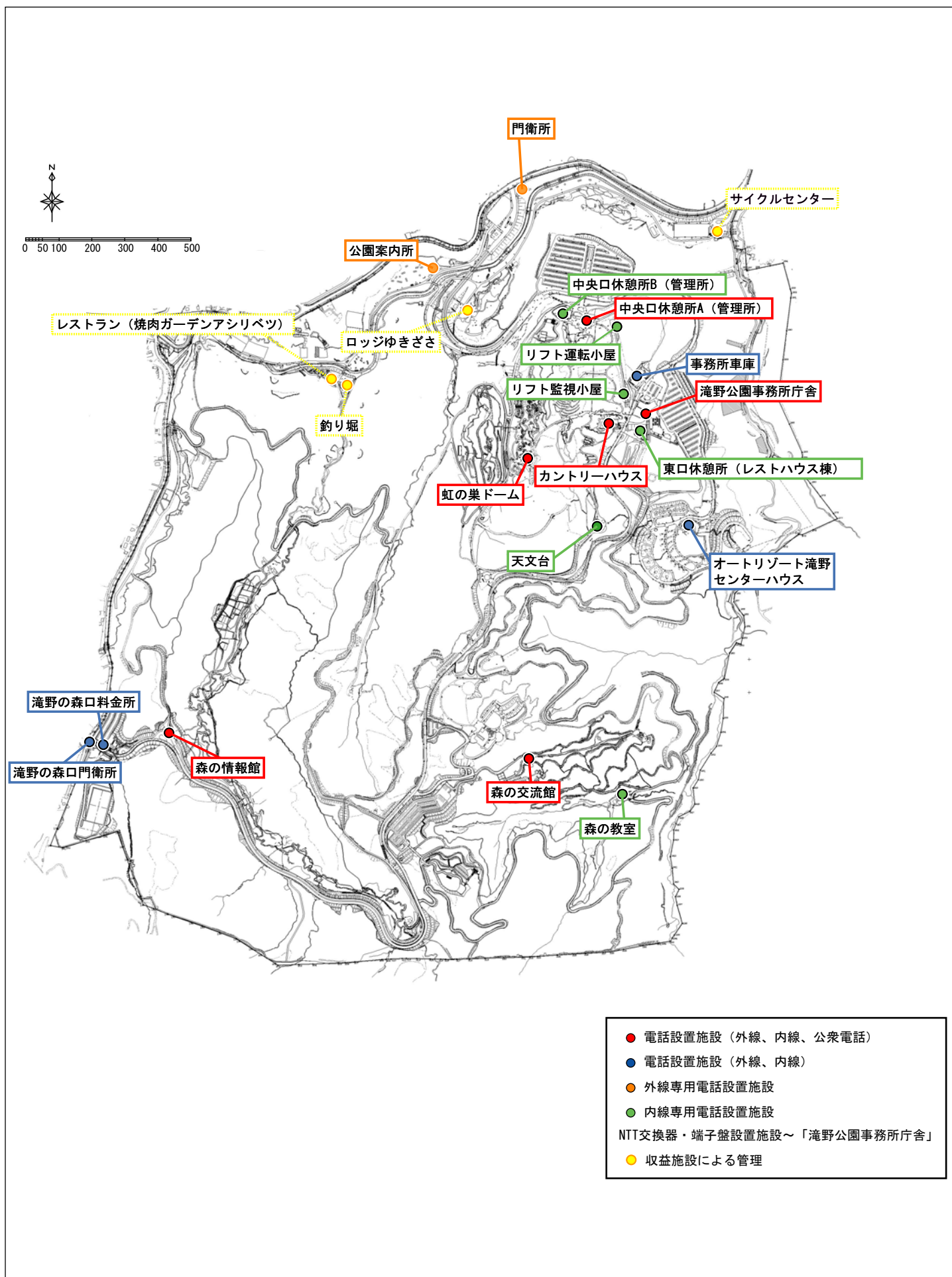
水景設備位置図



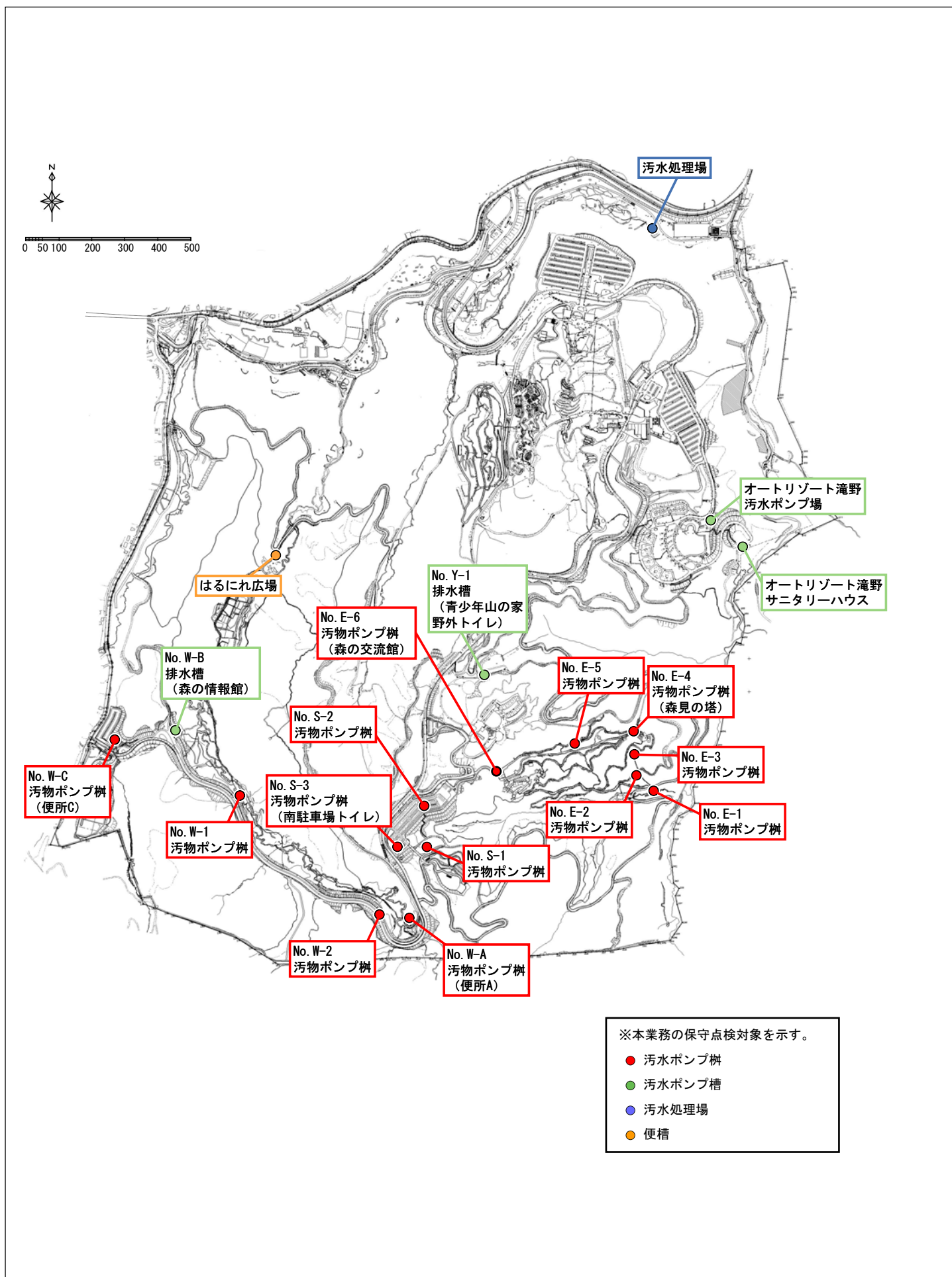
消防設備位置図



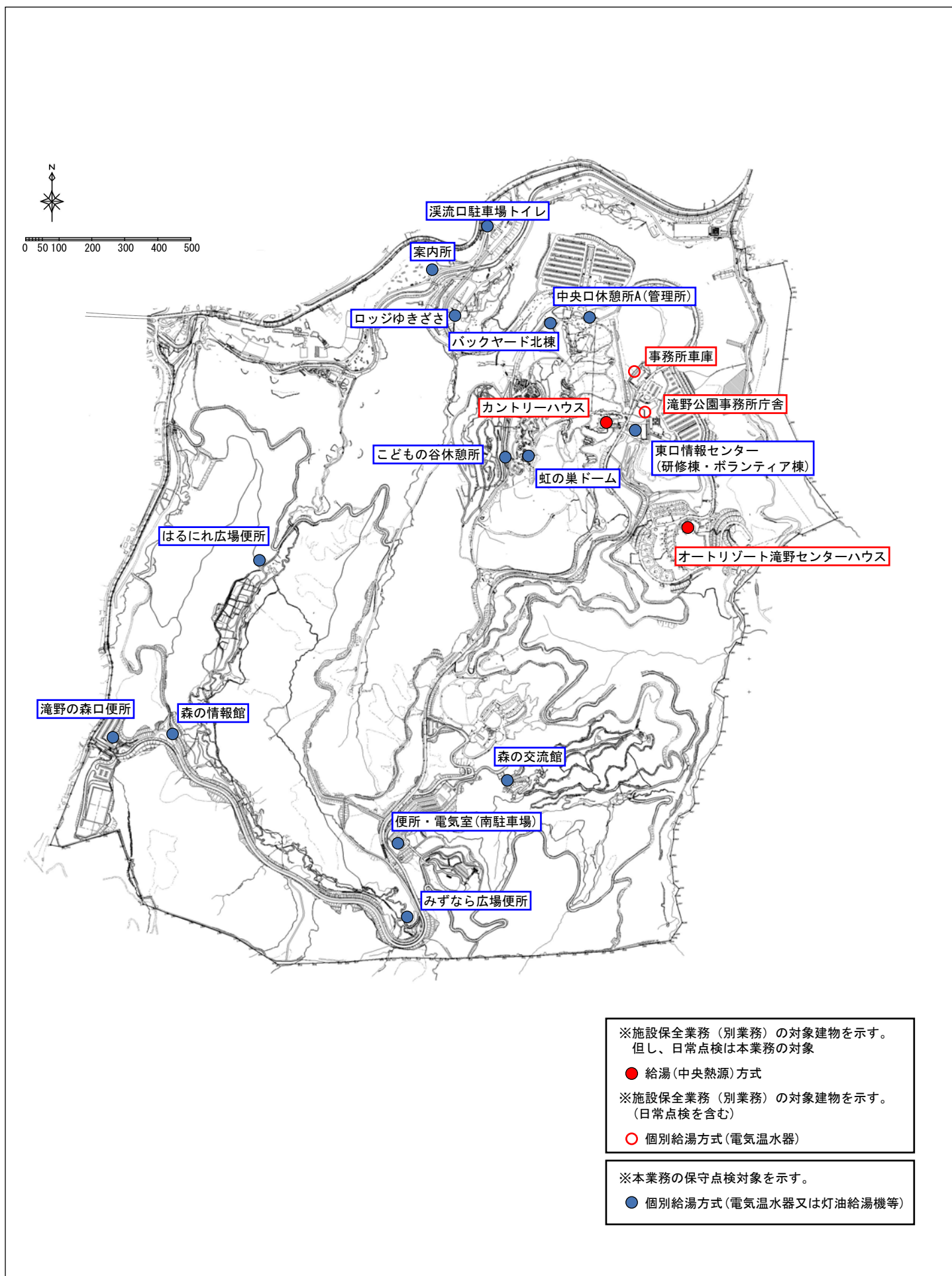
放送設備位置図



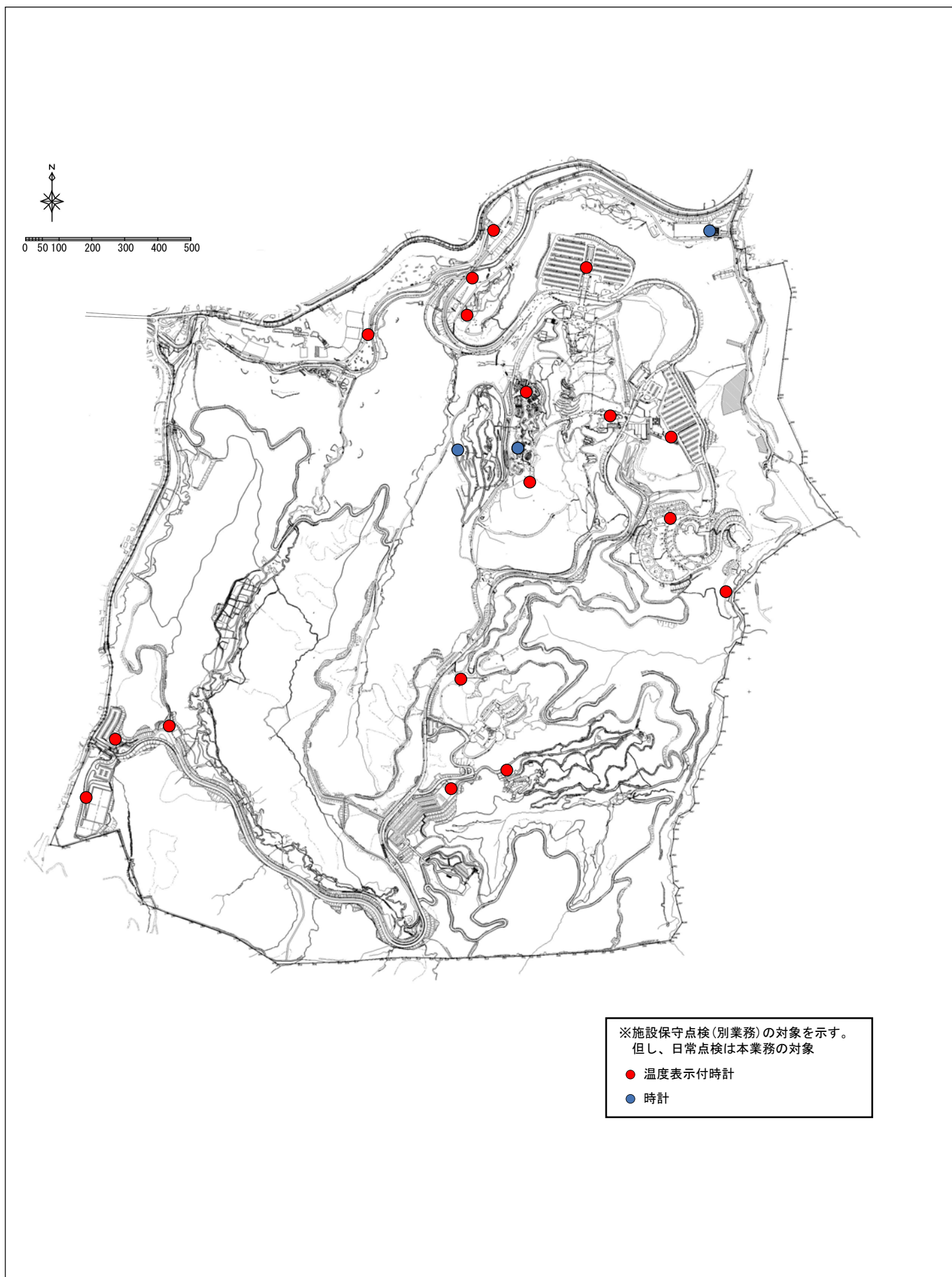
電話設備位置図



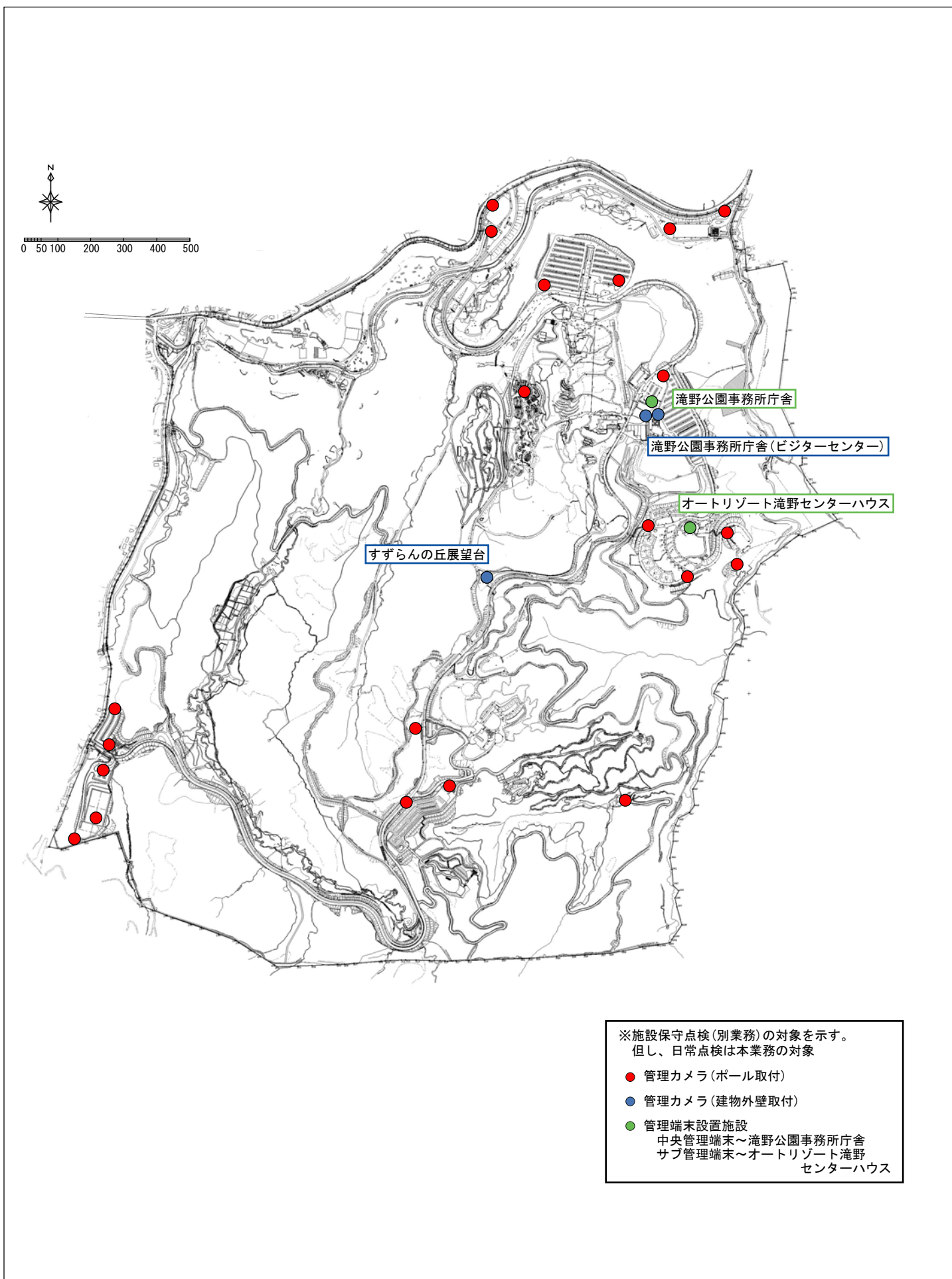
汚水処理設備位置図



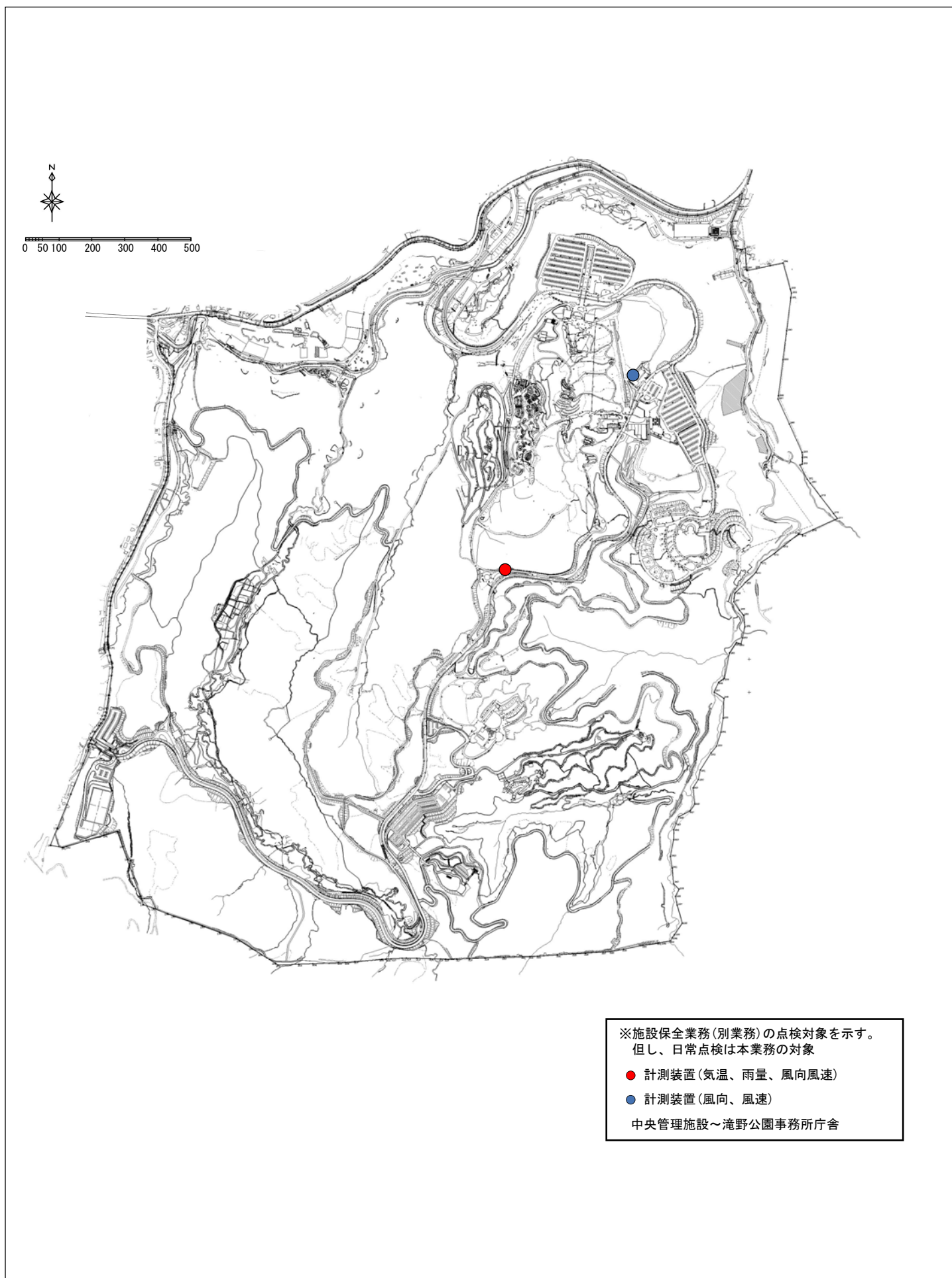
衛生（給湯）設備位置図



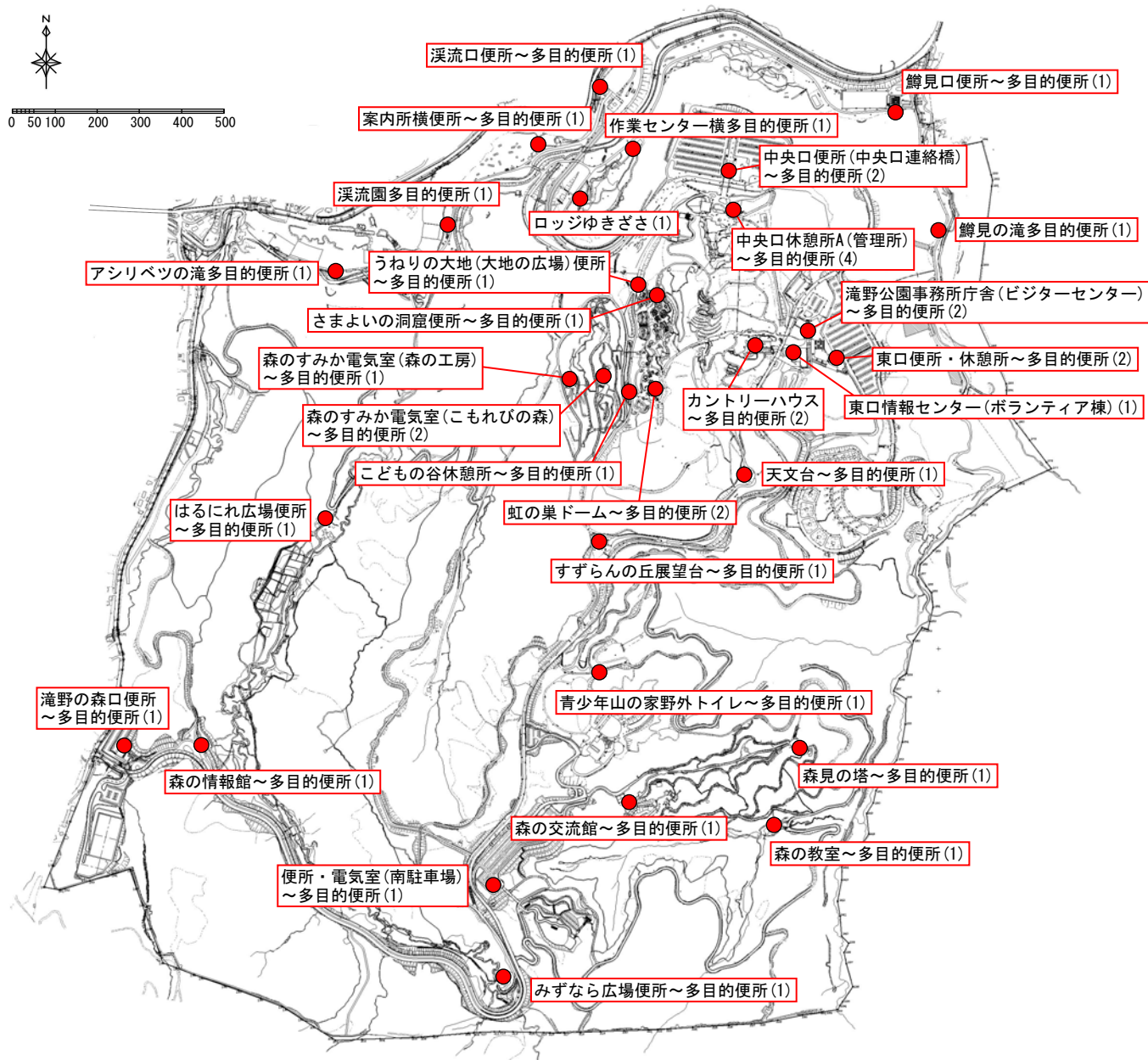
その他設備(情報表示設備)位置図



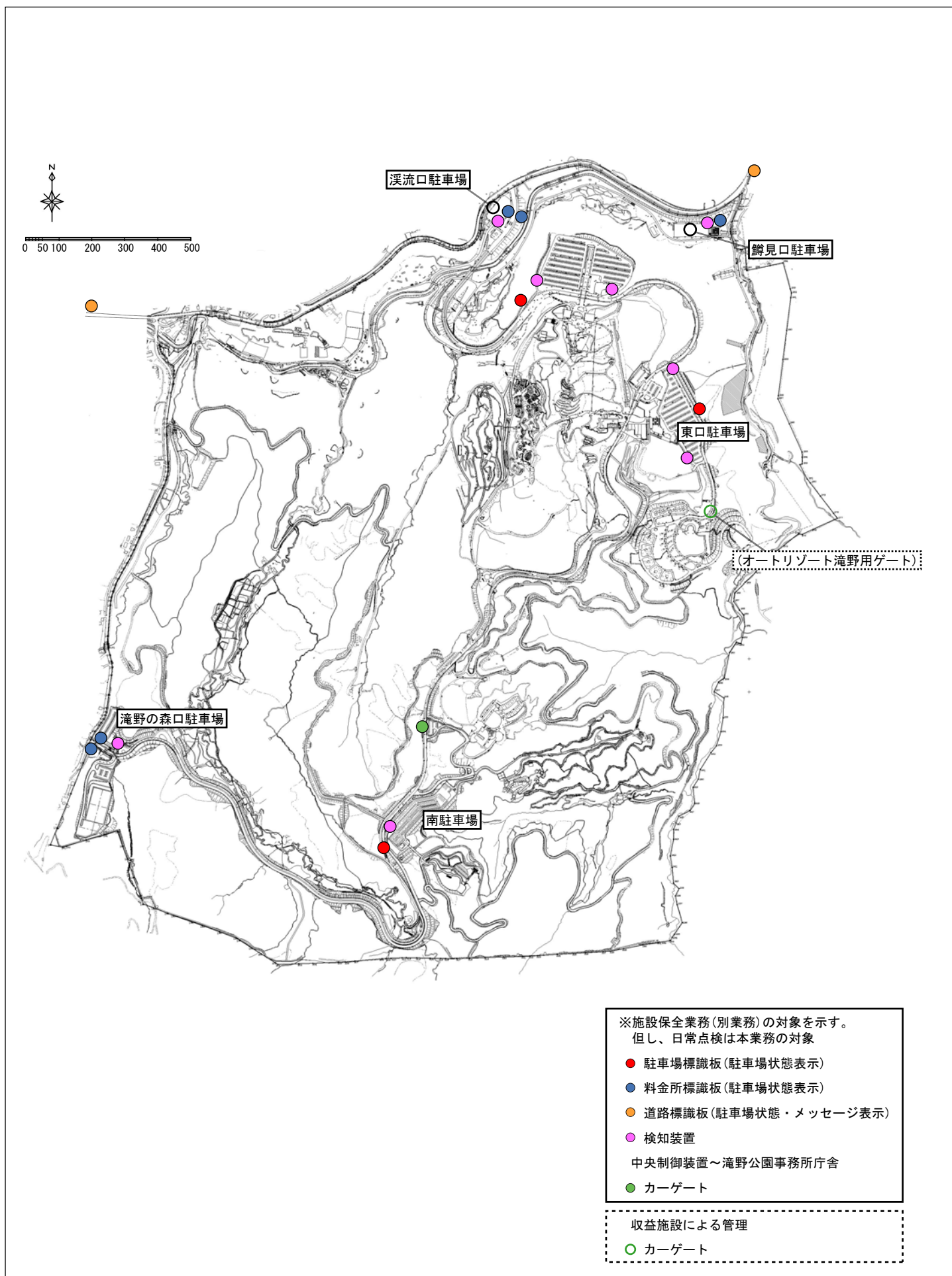
その他設備(中央管理システム設備(ITV))位置図



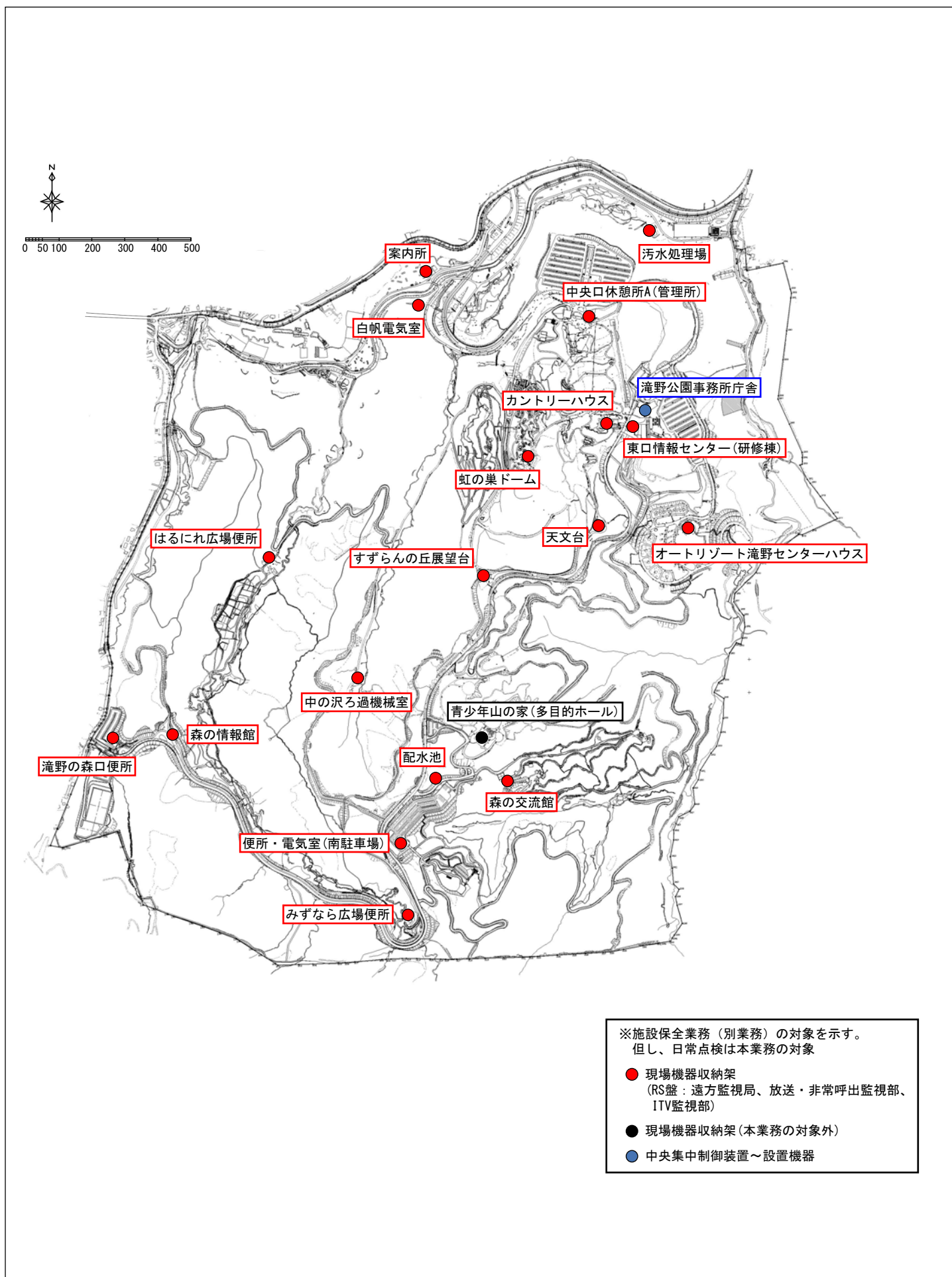
その他設備(気象観測設備)位置図



その他設備(中央管理システム設備(非常呼出設備))位置図



その他設備(駐車場管制設備)位置図



その他設備(中央管理システム設備(主要機器))位置図

H31-35 国営滝野すずらん公園運営維持管理業務実施に要する

提供施設等取扱いについて

別紙 5「共通仕様書」第 32 条に基づく提供施設等については、下記により取り扱うものとする。

記

1. 提供施設（別紙 21 提供施設一覧表参照）の取り扱い

- (1) 事業者（以下「乙」という。）は、提供施設等を善良なる管理者の注意を持って使用しなければならない。
- (2) 乙は、提供施設等を業務委託契約書第 1 条の業務以外に使用してはならない。
- (3) 乙は、提供施設等を適正に維持管理しなければならない。
- (4) 乙は、提供施設等の修繕、模様替え等の行為（維持のための修繕等で軽微なものを除く。）をしようとするときは、調査職員等（以下「甲」という。）の承認を受けなければならない。
- (5) 乙の責に帰すべき理由により提供施設等を滅失し又は棄損したときは、乙の負担において補てんし又は修理しなければならない。ただし、乙の故意又は重大な過失によらない場合は、この限りでない。
- (6) 乙は、業務委託契約が完了した場合、又は解除になった場合は、提供施設等を提供施設等返納書（別紙様式第 2）により、直ちに甲に返納しなければならない。

2. 貸付物品の取り扱い

- (1) 乙は、下記法令等を遵守しなければならない。
 - (i) 物品の無償貸付及び譲渡等に関する法律
 - (ii) 国土交通省所管に属する物品の無償貸付及び譲渡等に関する省令
 - (iii) 国土交通省所管に属する物品の無償貸付及び譲渡等に関する事務取扱規則
- (2) 物品とは国の所有に属する動産であつて、国有財産法の適用を受けないものをいう。（物品の無償貸付及び譲渡等に関する法律 第 1 条）
- (3) 乙は、物品の貸付を受けたときは、借受書（別紙様式第 1）を甲に提出しなければならない。

（国土交通省所管に属する物品の無償貸付及び譲渡等に関する省令 第 7 条）
- (4) 物品の貸付期間は特に必要と認める場合を除き、1 年を超えることができない。

（国土交通省所管に属する物品の無償貸付及び譲渡等に関する省令 第 3 条）

「特に必要と認める場合」とは、1 年を超える継続的な試験研究等又は長期に渡る災害復旧など、貸付を注しすることで貸付目的の趣旨が損なわれる場合をいう。

（国土交通省所管に属する物品の無償貸付及び譲渡に関する省令の運用について 第 3 条 関係）
- (5) 貸付物品の使用場所は本公園内とする。
- (6) 乙は業務委託契約が完了した場合、又は解除になった場合は、提供施設等返納書（別紙様式第 2）により、直ちに甲に返納しなければならない。乙は、返納する場合、甲行う検査に合格しなければならない

(別紙様式第1)

平成 年 月 日

殿

住所

氏名

印

提 供 施 設 等 返 納 書

下記のとおり提供物件を返納致します。

件 名				契約年月日	
物 件 名	規 格	単 位	数 量	提供年月日	備 考

(備考) 用紙の大きさは、日本工業規格A列4縦とする。

(別紙様式第 2)

借 受 書

借 受 物 品				
品 目	規 格	単 位	数 量	備 考
借 受 期 間	平成 年 月 日～平成 年 月 日 (日間)			
返 納 場 所				

上記物品を正に借り受けました。

なお、国土交通省所管に属する物品の無償貸付及び譲与に関する省令第 4 条に定める貸付条件を遵守します。

平成 年 月 日
物品管理官等 殿

借受人 住所
氏名 印

国土交通省所管に属する物品の無償貸付及び譲与に関する省令 抜粋

- 第四条** 国土交通大臣等は、第二条の規定により物品を貸し付ける場合には、次に掲げる条件を付さなければならない。
- 一 貸付物品の引渡し、維持、修理及び返納に要する費用(国土交通大臣等が貸付けの性質により、これらの費用を借受人に負担させることが適当でないと認めた場合を除く。)は、借受人において負担すること。
 - 二 貸付物品は、善良な管理者の注意をもって管理し、その効率的使用に努めること。
 - 三 貸付物品について修繕、改造その他物品の現状を変更しようとするときは、あらかじめ国土交通大臣等の承認を受けること。ただし、軽微な修繕については、この限りでない。
 - 四 貸付物品に投じた改良費等の有益費を請求しないこと。
 - 五 貸付物品は、転貸し、又は担保に供しないこと。
 - 六 貸付物品は、貸付けの目的以外の目的のために使用しないこと。
 - 七 貸付物品について使用場所が指定された場合は、指定された場所以外の場所では使用しないこと。
 - 八 貸付物品は、貸付期間満了の日までに、指定の場所において返納すること。
 - 九 借受人が貸付条件に違反したときは、国土交通大臣等の指示に従って貸付物品を返納すること。
 - 十 国土交通大臣等が特に必要があると認めて貸付期間満了前に返納を命じたときは、その指示に従って貸付物品を返納すること。
 - 十一 貸付物品を亡失し、又は損傷したときは、直ちに詳細な報告書を国土交通大臣等に提出し、その指示に従うこと。この場合において、その原因が天災、火災又は盗難に係るものであるときは、亡失又は損傷の事実を証する関係官公署の発行する証明書を当該報告書に添付すること。
 - 十二 国土交通大臣等が、貸付物品について、必要に応じて実地調査を行い、若しくは所要の報告を求め、又は当該物品の維持、管理及び返納に関して必要な指示をするときは、これに応ずること。
- 2 国土交通大臣等は、前項各号に掲げる条件のほか、必要と認める条件を付することができる。

(別紙様式第3)

返 納 書

平成 年 月 日

物品管理官等

殿

氏名

印

下記物品を返納しました。

借 受 物 品				
品 目	規 格	単 位	数 量	備 考
借 受 期 間	平成 年 月 日～平成 年 月 日 (日間)			
返 納 場 所				

受 領 書

上記物品を受領しました。

平成 年 月 日

殿

物品管理官等

印

注意事項

1. 用紙の大きさは、日本工業規格 A 列 4 縦とする。
2. 正副 2 部作成し、物品管理官等に提出するものとする。

(別紙様式第4)

提供施設等使用実績報告書

(自 日)
年 月分
(至 日)

借受人
作成者氏名
印

現場監督員の認印

提供物件名	提供物件番号	主な作業内容	主な作業の 作業量 (走行キロ数)	稼働状況		維持修理費	主な修理箇所 及び取替部品名	摘 要
				運転日数	運転時間			

- (備考) 1. 用紙の大きさは日本工業規格A列4横とする。
2. 主な作業内容の欄は、提供物件を二工種以上の異なる作業に使用したときは、運転時間又は運転日数の最も多い作業内容を記入する。
3. 主な作業の作業量の欄は、主な作業内容の欄に記入した作業の作業量を測定できるときに記入する。
4. 運転時間の欄は、運転時間の管理できない機械又は管理の必要のない機械については、記入を省略することができる。

H31-35 国営滝野すずらん公園運営維持管理業務委託費で取得した

備品の取扱いについて（案）

H31-35 国営滝野すずらん丘陵公園運営維持管理業務委託費で取得した備品については、下記により取り扱うものとする。

記

1. 取扱い

- (1) 事業者は（以下「乙」という。）、備品を善良なる責任者の注意をもって管理しなければならない。
- (2) 前号の備品は、備品台帳に登載し管理しなければならない。
- (3) 乙は、業務委託契約が完了した場合又は解除になった場合は、備品を業務委託契約書第9条に基づく検査の結果、合格通知があった後、備品引渡書（様式第1）により、国に引渡さなければならない。ただし、翌年度において、当該委託契約が引続き締結され当該業務に継続して使用する備品で備品継続使用承認申請書（様式第2）により国の承諾を得た場合はこの限りでない。
- (4) 乙は、乙の責に帰すべき事由により備品を滅失又は棄損したときは、乙の負担において補てんし、又は修理しなければならない。ただし、乙の故意又は重大な過失によらない場合はこの限りではない。

2. 処 分

- (1) 備品が、次の各号の一に該当すると認められる場合は、不用の決定をすることができる。
 - ① 備品の使用年数、能力等から勘案して当該備品を引続き使用することが困難であると認められる場合。
 - ② 備品が乙の責に帰さない事由により、老朽化、損傷等により利用価値がなくなったと認められる場合。
 - ③ 備品の修理用部品の補給が困難で、整備に多大の支障をきたすと認められる場合。
- (2) 処分の方法

乙は、前号に該当する備品を売払った場合は、その内容を証する書類を添えて国に書面により報告し、国の発行する納入告知書により国庫に納入するものとする。

また、売払うことが不利（備品の売払価格が、当該備品の売払いのために要する費用に満たないと認められる場合）又は、売払うことができないものは、破棄することができる。乙は破棄した場合はその都度その旨を書面により国に報告しなければならない。

(様式第1)

平成 年 月 日

殿

住 所

氏 名

印

備 品 引 渡 書

H31-35国営滝野すずらん丘陵公園運営維持管理業務委託にかかる別紙記載の備品を引渡します。

(備 考) 1. 用紙の大きさは、日本工業規格A列4縦とする。

[illegible]

(備 考) 1. 用紙の大きさは、日本工業規格A列A横とする。

(様式第2)

平成 年 月 日

殿

住 所

氏 名

印

備 品 継 続 使 用 承 認 申 請 書

H31-35国営滝野すずらん丘陵公園運営維持管理業務委託にかかる別紙について、平成 年
月 日まで継続して使用したく申請いたします。

(備 考) 1. 用紙の大きさは、日本工業規格A列4縦とする。

別 紙

取得年月日	品 名	規 格	数 量	単 価	価 格	経 費 区 分	摘 要

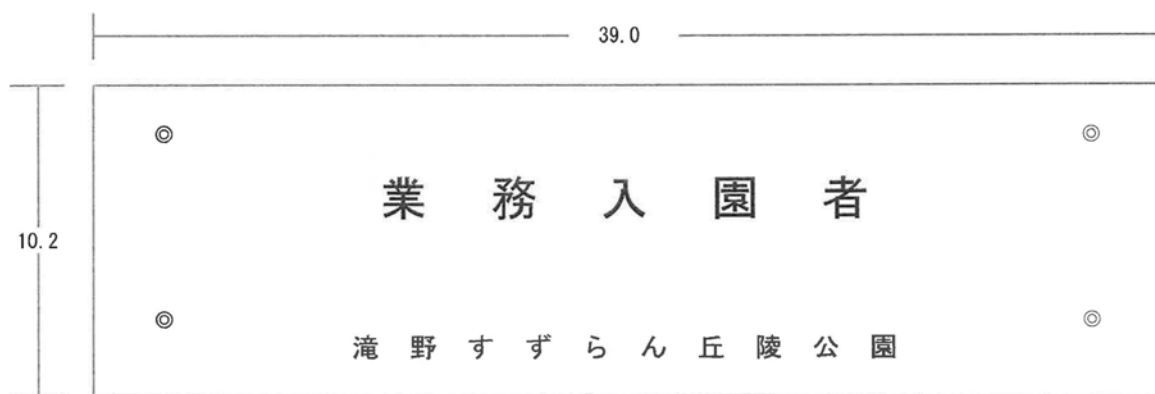
(備 考) 1. 用紙の大きさは、日本工業規格A列A横とする

業務入園について

業務で公園内に入園する場合は、車両入園申請をするとともに、業務入園者名簿（別紙様式 1）を事務所に提出して入園許可を受ける。そして、業務入園許可者は、腕章を装着して入園するものとする。

1. 業務入園許可者が公園内に立ち入る際に装着する腕章は、下記の仕様を標準とする。
2. 業務遂行者が腕章を作成した場合、数量を監督職員に届け出ること。
3. 業務完了後、腕章を速やかに事務所に返却すること。

腕章の仕様は下記のとおりとする。



1. 材料は布を使用し、透明ビニールで表面を覆うこと。
2. 下地は黄色とし、文字は緑色とする。
3. 文字の大きさは、大字は縦 3.7×横 3.5cm、小字は縦 1.2×横 1.3cm とする。

(別紙様式 1)

業務入園受付簿

平成 年 月 日 曜日 滝野すずらん丘陵公園「〇〇〇〇」業務入園 受付簿 No.

入園時間	退園時間	会社名	電話番号	氏名	車両番号	臨時許可番号	備考
:	:						
:	:						
:	:						
:	:						
:	:						
:	:						
:	:						
:	:						
:	:						
:	:						
:	:						
:	:						
:	:						
:	:						

国営滝野すずらん丘陵公園 園内車両入園規則

国営滝野すずらん丘陵公園の車両管理及び運行について、滝野すずらん丘陵公園利用規則に定めるものとする。

【滝野すずらん丘陵公園利用規則 抜粋】

(車両の入園制限)

第7条 公園利用者の安全等を図るため、公園内（公園管理者の指定した場所を除く。）への車両の乗り入れを禁止する。ただし、公園管理者は、次に掲げる車両に限り必要に応じ入園の許可をすることが出来る。

一 管理業務用車両

植物管理及び清掃等管理上必要があると認めた車両

二 特定公園施設業務用車両

三 工事用車両

公園整備等に関わる車両

四 その公園管理者が必要と認めた車両

(車両の入園許可等)

第8条 公園管理者は、前条に掲げる車両の入園許可にあたっては、「車両入園許可申請書」（別紙様式第1号）による申請に基づき、第2項各号に掲げる条件を付した「車両入園許可書」（別紙様式第2号、省略。）「車両入園許可証」（別紙様式第3号、省略。）の交付をもって行う。この場合、できる限り閉園時間帯での入園を指導するとともに、原則として乗用車の使用を認めてはならない。

(許可条件)

一 公園内では、必ず「車両入園許可証」をフロントガラスに掲示（入退園時を含む。）すること。

二 公園内では原則として駐車は認めない。やむをえず駐車をする場合は、一般入園者の通行及び利用の支障とならないよう配慮するとともに、タイヤの輪留を設置し、エンジンキーを抜き、ドアを施錠すること。

三 公園内では徐行し、歩行者、自転車、特に幼児の飛び出しに充分注意し、その安全の確保を行うこと。

四 公園内では、園路及び広場のみの走行とし、芝生への乗り入れは認めない。

(緊急車両の特例)

第9条 第7条及び第8条の規定は、緊急車両にはこれを適用しない。

【滝野すずらん丘陵公園内の事故防止基本方針】

滝野すずらん丘陵公園内の事故防止のため、工事用車両の開園区域内の通行にあたっては下記の措置を講じなければならない。

1. 原則として開園区域内への進入禁止。
2. 公園管理者の許可によりやむを得ず進入する場合は、監督職員と進入経路及び駐車場所について協議し、図面により承諾を得るほか、公園利用者（歩行者、自転車）と工事用車両及び工事現場を分離する措置を講じる。
 - 1) 広場等と進入経路が並行している所は安全ロープ等により区分し、立入禁止等の表示を行う。
 - 2) 必要に応じ現場及び道路の出入口に誘導員の配備。
 - 3) 必要に応じ公園利用者の園路利用を禁止し代替園路の設置。
 - 4) 交差点に交通整理員を配備。
3. 原則として園路以外の通行及び駐、停車の禁止。
4. 利用者（歩行者、自転車）の最優先。
5. 走行速度20km/h以下及び交差点の一旦停止。
6. 車両の黄色回転灯及び通行許可証の装添。
7. 作業車両の駐車時には、サイドブレーキを掛け、エンジンキーを抜き、輪留めを行うこと。
8. その他利用者の安全確保に必要な措置。

【車両入園許可申請書】

機材搬入等で車両を乗り入れる必要がある場合に、車両入園許可申請書（別紙様式第1号）を提出する。駐車料は徴収しない。

(別紙様式第1号)

平成〇〇年〇〇月〇〇日

車両入園許可申請書

公園管理者
北海道開発局長 殿

申請者	住所	
	氏名	印
	担当者名	
	連絡先 TEL	

滝野すずらん丘陵公園における行為の禁止等に関する取扱要領第5条の規定に基づき、
下記のとおり車両入園の許可を申請します。

記

公園名	滝野すずらん丘陵公園
目的	
期間	平成〇〇年〇〇月〇〇日 から 平成〇〇年〇〇月〇〇日 まで
時間	午前 午前 〇〇時 〇〇分 から 〇〇時 〇〇分 まで 午後 午後
台数等	〇〇台 乗車人数 計 〇〇名 (内訳は別紙のとおり)
その他	

■入園車両

	車種	車両番号	備考
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			

■乗車人員氏名

	乗車人員氏名		
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			

- ※ 入園車両はメーカー・車種・車両番号詳細を記入する。
- ※ 乗車人員氏名は各車両ごとに乗車する者全員の氏名を記入する。
- ※ 内容等に変更があった場合には、速やかに変更または追加申請を行うものとする。

団体、持込イベント、ロケーション、施設占用利用の手続き

(記 入 要 望)

1.

新規・更新・変更	}
第 号	
年 月 日	

 については、該当するものを○で囲み、更新及び変更の場合
は従前の許可書又は回答書の番号及び年月日を記載すること。
2. 申請者が法人である場合においては「氏名」は、その法人の名所及び代表者の氏名
を記載するとともに、担当者の所属、氏名及び電話番号を記載すること。

文書番号	
許可書 都市公園占用 回答	
住所 氏名	
年 月 日付で申請のあった都市公園の占用については、都市公園法 協議	
第 条の規定に基づき、下記の通り許可する。 回答	
年 月 日	
北海道開発局長 ㊟	
記	
都 市 公 園 名	
占 用 場 所 及 び 占 用 期 間	(自) 年 月 日 (至) 年 月 日
占 用 の 目 的	
占 用 物 件 の 名 称 ・ 規 模 ・ 構 造 及 び 数 量	
工事の実施方法及び 工事の着手及び完了 の 時 期	(掘削面積) 長 (自) 年 月 日 巾 (年 月 日) 面積 m ² (自) 年 月 日
使 用 料	総額 初年度 年度 年度 (履行期限) 納入通知書により指定する期限
許 可 条 件	(下記のほか別紙のとおり)
<p>この都市公園の占用許可について不服があるときは、行政不服審査法の定めるところにより、この許可書を受け取った日の翌日から起算して 60 日以内に国土交通大臣に審査請求することができる。ただし、この許可書を受け取った日の翌日から起算して 60 日以内であっても、処分の日から 1 年を経過すると審査請求することができなくなる。</p> <p>また、行政事件訴訟法の定めるところにより、この許可書を受け取った日（当該処分につき、審査請求した場合においては、これに対する裁決の送達を受けた日）の翌日から起算して 6 か月以内に、国を被告として（訴訟において国を代表するものは法務大臣となる。）、処分の取消しの訴えを提起することができる。ただし、この許可書を受け取った日又は裁決の送達を受けた日の翌日から起算して 6 か月以内であっても、処分の日又は裁決の日から 1 年を経過すると処分の取消しの訴えを提起することができなくなる。</p>	

許 可 条 件

1 原則

- (1) 管理の実施方法については、許可書に特別の定めがない限り申請書及びその添付図書により実施すること。
- (2) 管理の実施に当たっては、国営滝野すずらん丘陵公園事務所長の指導監督を受けること。

2 管理の権利の譲渡等の禁止

- (1) 管理の権利は、他人に譲渡し又は使用させ若しくは担保に供してはならない。
- (2) 法人の合併の場合には、その権利義務を継承しようとする者が届けることにより、管理の権利を継承することができる。

3 管理に関する手続き

- 2の(2)の届出のほか、次の異動があった場合は、すみやかに届けでること。
 - (1) 住所又は氏名を変更（譲渡による場合を除く。）したとき。
 - (2) 管理を廃止しようとするとき。

4 許可の取消等

次に掲げる場合には、許可の取消等の処分若しくは管理物件の保全又は原状回復等の必要な措置を命ずることがある。

- (1) 都市公園法若しくは都市公園法に基づく命令の規定又はこの許可に違反したとき。
- (2) この許可に付した条件に違反したとき。
- (3) 詐欺その他不正な手段により、この許可を受けていたとき。
- (4) 都市公園に関する工事のためやむを得ない必要が生じたとき。
- (5) 都市公園の保全又は公衆の都市公園の利用に著しい支障が生じたとき。
- (6) (4)及び(5)に掲げる場合のほか、都市公園の管理上の事由以外の事由に基づく公益上やむを得ない必要が生じたとき。

5 許可の取消等に係る費用の負担

4の規定により処分を受け又は必要な措置を命ぜられた場合で4(1)から(3)に該当するときは、当該義務履行に要する費用は、許可受者の負担とする。

6 原状回復

管理の期間が満了し又は管理を廃止しようとするときは、その日までに許可受者の費用で管理物件を原状に回復しなければならない。ただし、原状に回復することが不適当なとき又は都市公園の利用に支障を及ぼすおそれのある行為を伴う場合には、あらかじめ指示を受けて行うこと。

7 使用料の還付

既納の使用料は、還付しない。ただし、4(4)から(6)までに掲げる事由により許可の取消その他の変更の処分が行われた場合の当該処分により管理できなくなった分に相当する使用料については、この限りではない。

8 経費の負担

管理許可された物件の維持保全のため、通常必要とする経費のほか当該管理物件に付帯する電話、暖房、電気、ガス、水道等の諸設備の使用料を負担しなければならない。

9 損害賠償

許可受者は、その責めに帰する事由により管理を許可された物件の全部又は一部を滅失又は毀損したときは、当該滅失又は毀損による管理を許可された物件の損害額に相当する金額を損害賠償として支払わなければならない。

別記様式 2

許 可 書

札 建 滝 公 第 号
平成 年 月 日

殿

北海道開発局長

平成 年 月 日付け都市公園法第 1 2 条第 1 項の申請について、下記のとおり許可する。

なお、この処分に不服があるときは、行政不服審査法の定めるところにより、この許可書を受け取った日の翌日から起算して 6 0 日以内に国土交通大臣に審査請求することができる。ただし、この許可書を受け取った日の翌日から起算して 6 0 日以内であっても、処分の日から 1 年を経過すると審査請求することができなくなる。

また、行政事件訴訟法の定めるところにより、この許可書を受け取った日（当該処分につき、審査請求した場合においては、これに対する採決の送達を受けた日）の翌日から起算して 6 か月以内に、国を被告として（訴訟において国を代表する者は法務大臣となる。）、処分の取消しの訴えを提起することができる。

ただし、この許可書を受け取った日又は裁決の送達を受けた日の翌日から起算して 6 か月以内であっても、処分の日又は裁決の日から 1 年を経過すると処分の取消しの訴えを提起することができなくなる。

記

行為の種別	
日時又は期間	
場所	
目的	
内容	
許可条件	別紙のとおり

グリーンシーズン団体利用の手引き



豊滝野すずらん丘陵公園

2018. 4. 1

目 次

I. はじめに	1	IV. 当日の利用方法	2 2
II. 滝野公園の概要	〃	1. こどもの谷・カントリーガーデン (有料エリア)	〃
1. 基本事項	2	1) 入退園方法	〃
1) 開園日時	〃	2) こどもの谷・森のすみかの利用方法	2 3
2) 入園料金	〃	2. 炊事遠足広場 (無料エリア)	2 5
3) 駐車料金	3	1) 入退園方法	〃
2. 施設概要	4	2) 炊事遠足広場の利用方法	2 6
1) 溪流ゾーン	〃	3. 滝野の森ゾーン (有料エリア)	2 8
2) 中心ゾーン	8	1) 入退園方法	〃
3) 滝野の森ゾーン	1 2	2) 施設のご利用時間	〃
4) 休憩所	1 5	V. 救護	2 9
5) トイレ	1 7	1. 救護室	〃
6) コインロッカー設置場所	1 8	2. 緊急車両の要請	〃
7) 無料貸出物品	1 9	3. その他	〃
III. 団体受付・下見の方法	2 0	VI. 注意事項	3 0
1. 団体受付	〃	1. 禁止行為	〃
1) 受付方法	〃	2. ペット同伴のお客様へ	〃
2) 受付日	〃	3. 持ち込み禁止物品	3 1
3) 受付確認	〃	VII. よくある問い合わせ	3 3
2. 下見	2 1		
1) 受付方法	〃		
2) 下見可能日時	〃		
3) 下見当日の料金	〃		
4) 下見当日の利用方法	〃		
5) 注意事項	〃		

様式集

- ・様式-1 炊事遠足広場・一般遠足 利用申込書
- ・様式-2 身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳 所有証明書

申し込み日時 平成____年____月____日(____)曜日 ____時____分

FAX: 011-592-4061

☐炊事遠足広場
☐一般遠足
利用申込書

滝野すずらん丘陵公園 案内所

TEL: 011-592-3333

※該当する項目の□にチェック(☑)を付けてご記入の上、FAXにて利用日前日の閉園1時間前までにお申し込み下さい

申込者	団体名					
	担当者名					
	連絡先	住所 〒	-			
		TEL: - -	FAX: - -			
	当日の緊急時の連絡先(携帯電話番号): - -					
利用希望日時	平成____年____月____日(____)曜日 ____時____分 ~ ____時____分頃まで 天候不順の場合(<input type="checkbox"/> 実施する <input type="checkbox"/> 中止する <input type="checkbox"/> 後日再度申し込む)					
利用人数	大人(高校生以上)	小・中学生	小学生未満	シルバー (65歳以上)	身体障害者手帳・療育手帳・ 精神障害者保健福祉手帳 お持ちの方	合計
	人	人	人	人	人	人
交通手段	<input type="checkbox"/> 大型バス ____台(□駐車 □送迎)		ご希望 駐車場	<input type="checkbox"/> 溪流口 <input type="checkbox"/> 鱒見口 <input type="checkbox"/> 中央口 <input type="checkbox"/> 東口 <input type="checkbox"/> 滝野の森口 <input type="checkbox"/> 南		
	<input type="checkbox"/> マイクロバス ____台(□駐車 □送迎)			<input type="checkbox"/> 溪流口 <input type="checkbox"/> 鱒見口 <input type="checkbox"/> 中央口 <input type="checkbox"/> 東口 <input type="checkbox"/> 滝野の森口 <input type="checkbox"/> 南		
	<input type="checkbox"/> 普通車 ____台(□駐車 □送迎)			<input type="checkbox"/> 溪流口 <input type="checkbox"/> 鱒見口 <input type="checkbox"/> 中央口 <input type="checkbox"/> 東口 <input type="checkbox"/> 滝野の森口 <input type="checkbox"/> 南		
	<input type="checkbox"/> その他(____)			<input type="checkbox"/> 溪流口 <input type="checkbox"/> 鱒見口 <input type="checkbox"/> 中央口 <input type="checkbox"/> 東口 <input type="checkbox"/> 滝野の森口 <input type="checkbox"/> 南		
※身障者手帳等または所有証明書を提示して 入園料 ・ 駐車料金 の 免除を(<input type="checkbox"/> 受ける <input type="checkbox"/> 受けない)						
領収書について						
利用施設	溪流ゾーン		中心ゾーン		滝野の森ゾーン	
	<input type="checkbox"/> 鱒見の滝 <input type="checkbox"/> 炊事遠足広場 <input type="checkbox"/> 平成の森 <input type="checkbox"/> アシリベツの滝 <input type="checkbox"/> 厚別川 <input type="checkbox"/> パークブリッジ下広場 <input type="checkbox"/> その他(____)		<input type="checkbox"/> カントリーガーデン <input type="checkbox"/> こどもの谷 <input type="checkbox"/> すずらんの丘展望台 <input type="checkbox"/> 森のすみか <input type="checkbox"/> ローンスタジアム <input type="checkbox"/> つどいの森 <input type="checkbox"/> その他(____)		<input type="checkbox"/> 滝野の森西エリア <input type="checkbox"/> 森の情報館 <input type="checkbox"/> 滝野の森東エリア <input type="checkbox"/> 森の交流館 <input type="checkbox"/> 多目的広場 <input type="checkbox"/> その他(____)	
利用希望研修室等	利用希望研修室等 <input type="checkbox"/> 森の情報館レクチャールーム <input type="checkbox"/> 森の交流館研修室 <input type="checkbox"/> 森の教室 <input type="checkbox"/> 多目的広場				希望時間帯 : ~ :	

下見 申込書

※下見は平日のみ受け付けております。ご希望の場合には、以下もご記入下さい
 ※下見は1団体1回に限り、入園料はその団体関係者である大人5名まで、駐車料金は1台まで無料です

下見希望日時	平成____年____月____日(____)曜日 ____時____分頃ご来園				
下見予定人数	____人	交通手段	<input type="checkbox"/> 車両____台 <input type="checkbox"/> 路線バス <input type="checkbox"/> その他		

申し込み日時 平成 年 月 日 () 曜日 時 分

FAX : 011-592-4061

記入例

☒炊事遠足広場
☒一般遠足 利用申込書

滝野すずらん丘陵公園 案内所

TEL : 011-592-3333

※該当する項目の□にチェック (☒) を付けてご記入の上、FAXにて利用日前日の閉園1時間前までにお申し込み下さい

申込者	団体名	たきのアウトドアクラブ				
	担当者名	滝野 一郎				
	連絡先	住所 〒005 - 0862 札幌市南区滝野 247 番地				
		TEL : 011 - 592 - 3333	FAX : 011 - 592 - 4061			
		当日の緊急時の連絡先 (携帯電話番号) : 090 - ●●●● - ●●●●				
利用 希望日時	平成 ●● 年 ● 月 ●● 日 (月) 曜日 10 時 30 分 ~ 15 時 30 分頃まで 天候不順の場合 (<input type="checkbox"/> 実施する <input type="checkbox"/> 中止する <input checked="" type="checkbox"/> 後日再度申し込む)					
利用人数	大人(高校生以上)	小・中学生	小学生未満	シルバー (65歳以上)	身体障害者手帳・療育手帳・ 精神障害者保健福祉手帳 お持ちの方	合計
	12 人	58 人	人	人	17 人	87 人
交通手段	<input checked="" type="checkbox"/> 大型バス 1 台 (<input checked="" type="checkbox"/> 駐車 <input type="checkbox"/> 送迎)		ご希望 駐車場	<input type="checkbox"/> 溪流口 <input type="checkbox"/> 鱒見口 <input checked="" type="checkbox"/> 中央口 <input type="checkbox"/> 東口 <input type="checkbox"/> 滝野の森口 <input type="checkbox"/> 南		
	<input checked="" type="checkbox"/> マイクロバス 1 台 (<input checked="" type="checkbox"/> 駐車 <input type="checkbox"/> 送迎)			<input type="checkbox"/> 溪流口 <input type="checkbox"/> 鱒見口 <input type="checkbox"/> 中央口 <input type="checkbox"/> 東口 <input type="checkbox"/> 滝野の森口 <input type="checkbox"/> 南		
	<input checked="" type="checkbox"/> 普通車 1 台 (<input checked="" type="checkbox"/> 駐車 <input type="checkbox"/> 送迎)			<input type="checkbox"/> 溪流口 <input type="checkbox"/> 鱒見口 <input checked="" type="checkbox"/> 中央口 <input type="checkbox"/> 東口 <input type="checkbox"/> 滝野の森口 <input type="checkbox"/> 南		
	<input type="checkbox"/> その他 ()			<input type="checkbox"/> 溪流口 <input type="checkbox"/> 鱒見口 <input checked="" type="checkbox"/> 中央口 <input type="checkbox"/> 東口 <input type="checkbox"/> 滝野の森口 <input type="checkbox"/> 南		
※身障者手帳等または所有証明書を提示して 入園料 ・ 駐車料金 の 免除を (<input checked="" type="checkbox"/> 受ける <input type="checkbox"/> 受けない)						
領収書に ついて	記入例) 領収書は、レシートではなく、宛名入りの領収書にしてほしい。 宛名は、団体名と異なり、「たきのアウトドアクラブセンター」としてほしい。					
利用施設	溪流ゾーン		中心ゾーン		滝野の森ゾーン	
	<input type="checkbox"/> 鱒見の滝 <input checked="" type="checkbox"/> 炊事遠足広場 <input type="checkbox"/> 平成の森 <input type="checkbox"/> アシリベツの滝 <input type="checkbox"/> 厚別川 <input type="checkbox"/> パークブリッジ下広場 <input type="checkbox"/> その他 ()		<input type="checkbox"/> カントリーガーデン <input type="checkbox"/> こどもの谷 <input type="checkbox"/> すずらんの丘展望台 <input type="checkbox"/> 森のすみか <input checked="" type="checkbox"/> ローンスタジアム <input type="checkbox"/> つどいの森 <input type="checkbox"/> その他 ()		<input type="checkbox"/> 滝野の森西エリア <input type="checkbox"/> 森の情報館 <input type="checkbox"/> 滝野の森東エリア <input type="checkbox"/> 森の交流館 <input type="checkbox"/> 多目的広場 <input type="checkbox"/> その他 ()	
利用希望 研修室等	利用希望研修室等 <input type="checkbox"/> 森の情報館レクチャールーム <input type="checkbox"/> 森の交流館研修室 <input type="checkbox"/> 森の教室 <input type="checkbox"/> 多目的広場				希望時間帯 : ~ :	

※下見は平日のみ受け付けております。ご希望の場合には、以下もご記入下さい

下見 申込書

※下見は1団体1回に限り、入園料はその団体関係者である大人5名まで、駐車料金は1台まで無料です

下見希望日時	平成 ●● 年 ● 月 ●● 日 (●) 曜日 10 時 30 分頃ご来園				
下見予定人数	4 人	交通手段	<input checked="" type="checkbox"/> 車両 1 台 <input type="checkbox"/> 路線バス <input type="checkbox"/> その他		

様式- 1 (dl)

身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳 所有証明書

来園日 平成____年____月____日

滝野管理センター長 殿

団 体 名 _____

住 所 _____

代表者氏名 _____ 印

当団体は、滝野すずらん丘陵公園に入園する際に、身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳を所有していることを下記のとおり証明します。

記

NO	氏名	手帳の種類 (いずれかを○で囲む)	手帳の番号	備考
1		身体障害者手帳 ・ 療育手帳 ・ 精神障害者手帳		
2		身体障害者手帳 ・ 療育手帳 ・ 精神障害者手帳		
3		身体障害者手帳 ・ 療育手帳 ・ 精神障害者手帳		
4		身体障害者手帳 ・ 療育手帳 ・ 精神障害者手帳		
5		身体障害者手帳 ・ 療育手帳 ・ 精神障害者手帳		
6		身体障害者手帳 ・ 療育手帳 ・ 精神障害者手帳		
7		身体障害者手帳 ・ 療育手帳 ・ 精神障害者手帳		
8		身体障害者手帳 ・ 療育手帳 ・ 精神障害者手帳		
9		身体障害者手帳 ・ 療育手帳 ・ 精神障害者手帳		
10		身体障害者手帳 ・ 療育手帳 ・ 精神障害者手帳		
11		身体障害者手帳 ・ 療育手帳 ・ 精神障害者手帳		
12		身体障害者手帳 ・ 療育手帳 ・ 精神障害者手帳		
13		身体障害者手帳 ・ 療育手帳 ・ 精神障害者手帳		
14		身体障害者手帳 ・ 療育手帳 ・ 精神障害者手帳		
15		身体障害者手帳 ・ 療育手帳 ・ 精神障害者手帳		

※手帳の代わりとなりますので、必要事項を記入の上、当日、駐車料金所と各入園ゲートにて提示して下さい。
※記入欄が足りない場合は、この証明書をコピーしてお使い下さい。

ホワイトシーズン団体利用の手引き



 豊滝野すずらん丘陵公園

2018. 4. 1

目 次

I. はじめに	1	V. 当日の利用方法	2 3
II. 滝野公園の概要	〃	1. ファミリーグレンデの利用方法	〃
1. 基本事項	2	1) 入退園方法	〃
1) 開園日時	〃	2) リフト運行時間	2 4
2) 入園料金	〃	3) 利用方法	〃
3) 駐車料金	3	4) 注意事項	〃
4) リフト券	4	2. そりグレンデの利用方法	2 5
5) スキーのレンタル	5	1) 入退園方法	〃
2. 施設概要	6	2) そりグレンデ内各施設の利用時間	〃
1) 渓流ゾーン	〃	3) 利用方法	2 6
2) 中心ゾーン	8	4) 注意事項	2 7
3) 滝野の森ゾーン東エリア	1 1	VI. 救護	2 8
4) 休憩所	1 2	1. 救護室	〃
5) コインロッカー	1 4	2. 緊急車両の要請	〃
6) 無料貸出物品	1 5	3. その他	〃
III. アクティビティ	1 6	VII. 注意事項	2 9
1. グレンデスキー	〃	1. 禁止行為	〃
2. チューブそりすべり	〃	2. ペット同伴のお客様へ	〃
3. 歩くスキー	1 7	3. 持ち込み禁止物品	3 0
4. スノーシュー	2 0	VIII. よくある問い合わせ	3 2
IV. 団体受付・下見の方法	2 1		
1. 団体受付	〃		
1) 受付方法	〃		
2) 受付日	〃		
3) 受付確認	〃		
2. 下見	2 2		
1) 受付方法	〃		
2) 下見可能日時	〃		
3) 下見当日の料金	〃		
4) 下見当日の利用方法	〃		
5) 注意事項	〃		

様式集

- ・ 様式- 1 ホワイトシーズン利用申込書
- ・ 様式- 2 身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳 所有証明書

申し込み日時 平成____年____月____日 () 曜日 ____時____分

ホワイトシーズン利用申込書

滝野すずらん丘陵公園 案内所

TEL : 011-592-3333

FAX : 011-592-4061

※該当する項目の□にチェック (☑) を付けてご記入の上、FAXにて利用日前日の 15:00 までにお申し込み下さい

申込者	団 体 名				
	担当者名				
	連 絡 先	住所：〒 -			
		TEL : - -	FAX : - -		
	当日の緊急時の連絡先 (携帯電話番号) : - -				
利用希望日時	平成____年____月____日 () 曜日 ____時____分 ~ ____時____分頃まで ※天候不順の場合 (<input type="checkbox"/> 実施する <input type="checkbox"/> 中止する <input type="checkbox"/> 後日再度申し込む)				
利用予定人数	大人(高校生以上)	小・中学生	小学生未満	身体障害者手帳・療育手帳・ 精神障害者保健福祉手帳お持ちの方	合計
	人	人	人	人	人
交通手段	区 分			希望駐車場	
	<input type="checkbox"/> 大型バス _____台 (<input type="checkbox"/> 駐車 <input type="checkbox"/> 送迎)			<input type="checkbox"/> 溪流口 <input type="checkbox"/> 中央口 <input type="checkbox"/> 東口 <input type="checkbox"/> 南	
	<input type="checkbox"/> マイクロバス _____台 (<input type="checkbox"/> 駐車 <input type="checkbox"/> 送迎)			<input type="checkbox"/> 溪流口 <input type="checkbox"/> 中央口 <input type="checkbox"/> 東口 <input type="checkbox"/> 南	
	<input type="checkbox"/> 普通車 _____台 (<input type="checkbox"/> 駐車 <input type="checkbox"/> 送迎)			<input type="checkbox"/> 溪流口 <input type="checkbox"/> 中央口 <input type="checkbox"/> 東口 <input type="checkbox"/> 南	
	<input type="checkbox"/> その他 (_____)			<input type="checkbox"/> 溪流口 <input type="checkbox"/> 中央口 <input type="checkbox"/> 東口 <input type="checkbox"/> 南	
※身障者手帳等または所有証明書を提示して駐車料金の減免を (<input type="checkbox"/> 受ける <input type="checkbox"/> 受けない)					
利用場所	<input type="checkbox"/> ファミリーゲレンデ		<input type="checkbox"/> そりゲレンデ		<input type="checkbox"/> 歩くスキーコース
	<input type="checkbox"/> プッチそりコーナー		<input type="checkbox"/> ちびっ子そりコーナー		<input type="checkbox"/> スノーシューコース
希望休憩所	希望休憩所			希望時間帯	
	<input type="checkbox"/> 東口休憩所休憩コーナー <input type="checkbox"/> 中央口休憩所B棟			<input type="checkbox"/> 11:00~12:00 <input type="checkbox"/> 12:15~13:15	

※ファミリーゲレンデご利用の場合は、以下もご記入下さい

リフト券の種類	<input type="checkbox"/> 学校利用券 <input type="checkbox"/> 一般券	
支払方法及び 当日の目印	支払方法	<input type="checkbox"/> 当日現金 <input type="checkbox"/> 後納 (<input type="checkbox"/> 現金 <input type="checkbox"/> 銀行振込)
	当日の目印	引率者 (_____) 生徒 (_____)

下見 申込書

※下見は、平日のみ受け付けております。ご希望の場合には、以下もご記入下さい
※下見は、1団体1回に限り、駐車料金は1台まで、リフト料金はその団体関係者である大人5名まで無料です

下見希望日時	平成____年____月____日 () 曜日 ____時____分頃ご来園				
下見予定人数	_____人	交 通 手 段	<input type="checkbox"/> 車両_____台 <input type="checkbox"/> 路線バス <input type="checkbox"/> その他		

申し込み日時 平成____年____月____日 () 曜日 ____時____分

ホワイトシーズン利用申込書

滝野すずらん丘陵公園

記入例

TEL : 011-592-

FAX : 011-592-4061

※該当する項目の□にチェック (☑) を付けてご記入の上、FAXにて利用日前日の15:00までにお申し込み下さい

申込者	団体名	すずらん小学校			
	担当者名	滝野一郎			
	連絡先	住所：〒 005 - 0862 札幌市南区滝野 247 番地			
		TEL : 011 - 592 - 3333	FAX : 011 - 592 - 4061		
	当日の緊急時の連絡先 (携帯電話番号) : 090 - ●●●● - ●●●●				
利用希望日時	平成 ●● 年 ● 月 ●● 日 (●) 曜日 10 時 30 分 ~ 15 時 30 分頃まで ※天候不順の場合 (<input type="checkbox"/> 実施する <input type="checkbox"/> 中止する <input checked="" type="checkbox"/> 後日再度申し込む)				
利用予定人数	大人(高校生以上)	小・中学生	小学生未満	身体障害者手帳・療育手帳・ 精神障害者保健福祉手帳お持ちの方	合計
	8 人	71 人	人	5 人	84 人
交通手段	区 分			希望駐車場	
	☑大型バス 2 台 (☑駐車 □送迎)			□溪流口 ☑中央口 □東口 □南	
	□マイクロバス 台 (□駐車 □送迎)			□溪流口 □中央口 □東口 □南	
	☑普通車 2 台 (☑駐車 □送迎)			□溪流口 ☑中央口 □東口 □南	
	□その他 ()			□溪流口 □中央口 □東口 □南	
※身障者手帳等または所有証明書を提示して駐車料金の減免を (<input checked="" type="checkbox"/> 受ける <input type="checkbox"/> 受けない)					
利用場所	☑ファミリーゲレンデ		☑そりゲレンデ		□歩くスキーコース
	□プッチそりコーナー		□ちびっ子そりコーナー		□スノーシューコース
希望休憩所	希望休憩所			希望時間帯	
	□東口休憩所休憩コーナー ☑中央口休憩所B棟			□11:00~12:00 ☑12:15~13:15	

※ファミリーゲレンデご利用の場合は、以下もご記入下さい

リフト券の種類	☑学校利用券 □一般券	
支払方法及び 当日の目印	支払方法	□当日現金 ☑後納 (□現金 ☑銀行振込)
	当日の目印	引率者 (腕章) 生徒 (青色のゼッケン)

下見 申込書

※下見は、平日のみ受け付けております。ご希望の場合には、以下もご記入下さい
※下見は、1団体1回に限り、駐車料金は1台まで、リフト料金はその団体関係者である大人5名まで無料です

下見希望日時	平成 ●● 年 ● 月 ●● 日 (●) 曜日 10 時 30 分頃ご来園				
下見予定人数	4 人	交通手段	☑車両 1 台 □路線バス □その他		

身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳 所有証明書

来園日 平成____年____月____日

滝野管理センター長 殿

団 体 名 _____

住 所 _____

代表者氏名 _____ 印

当団体は、滝野すずらん丘陵公園に入園する際に、身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳を所有していることを下記のとおり証明します。

記

NO	氏名	手帳の種類 (いずれかを○で囲む)	手帳の番号	備考
1		身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者手帳		
2		身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者手帳		
3		身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者手帳		
4		身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者手帳		
5		身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者手帳		
6		身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者手帳		
7		身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者手帳		
8		身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者手帳		
9		身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者手帳		
10		身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者手帳		
11		身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者手帳		
12		身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者手帳		
13		身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者手帳		
14		身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者手帳		
15		身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者手帳		

※手帳の代わりとなりますので、必要事項を記入の上、当日、駐車料金所と各入園ゲートにて提示して下さい。
※記入欄が足りない場合は、この証明書をコピーしてお使い下さい。

国営滝野すずらん丘陵公園消防計画（案）

【総 則】

（目的）

第1条 この消防計画は、消防法第8条第1項の規定に基づき、国営滝野すずらん丘陵公園における、火災、震災その他の災害等の予防及び防止並びに人命の安全確保のため、防火管理についての必要な事項を定める。

（諸規定との関係）

第2条 消防法の規定のほか、「国土交通省庁舎の管理に関する訓令（平成13年国土交通省訓令第65号）」に定める規定を準用する。

【防火管理組織】

（防火管理委員会）

第3条 防火管理の目的を達成するため「防火管理委員会」を設け、下記について審議する。

- (1) 消防計画及び実践に関すること
- (2) 消防用設備等の改善強化について
- (3) 防火思想の普及教育について
- (4) 管理区分における消防計画の調整
- (5) その他防火管理に関すること

（委員会の構成）

第4条 前条の委員会は、国営滝野すずらん丘陵公園事務所（以下「事務所」という。）においては、所長、総務課長、工務課長、総務係長、工務係長、建築設備係長をもって、滝野管理センター（以下「センター」という。）においては、センター長、〇〇課長、〇〇課長、〇〇〇〇、〇〇〇〇をもって、事務所とセンターの合同により構成する。

2 防火管理委員会の総括担当者は防火管理者の総務課長とし、議長は工務課長とする。

（委員会の開催）

第5条 防火管理委員会は、総括担当者又は議長が必要と認めたときに招集する。

（副防火管理者の指定）

第6条 管理者は、公園施設一円の防火管理体制に万全を期すため、センターの〇〇課長を副防火管理者に指定する。

2 副防火管理者の任務は「別記1」のとおり。

（補助者の指名）

第7条 管理者は、防火管理業務の遂行に必要な補助者を指名する。

2 補助者の指名及び任務は「別記2」のとおり。

（火気責任者の指名と任務）

第8条 日常の火災予防を期するため、防火管理者は、火気責任者を指名する。

2 火気責任者の指名及び任務は、「別記3の1」及び「別記3の2」のとおり。

（自衛消防組織）

第9条 火災その他の災害等の発生時の被害を最小限に止めるため、自衛消防隊を編成する。

2 自衛消防隊の組織及び任務は、「別記4の1」及び「別記4の2」のとおり。

【消防用設備等の検査等】

（自主検査）

第10条 防火管理者は、消防用設備等の機能の良否について、自主検査を実施するものとし、その対象及び項目等は、「別記5」のとおりとする。

2 副防火管理者は、国の施設以外に維持管理業務を受託している施設について、消防用設備施設を運営している期間中は毎月1回、施設の消防用設備等の自主検査を実施し、防火管理者に報告するものとする。

（検査及び報告等）

第11条 管理権原者は、消防用設備等の機能維持のため、有資格者による点検を「別記5」により実施し、南消防署長に報告する。

【震災対策】

（震災予防措置）

第12条 防火管理者及び副防火管理者並びに火気責任者は地震時の災害発生を予防するため、次の事項の自主点検を行うものとする。

- (1) 建物及び施設内に陳列又は設置してある物の倒壊、転倒及び落下の恐れのあるものの点検
- (2) 火気使用設備器具の転倒及び落下の防止についての点検
- (3) 火気使用設備器具の自動消火装置及び燃料停止装置の作動についての点検
- (4) 危険物施設及び当該施設内の物品等の転倒及び落下並びに流出の防止についての点検

（地震時の活動）

第13条 地震時の活動は、第9条によるほか、次の措置をとらなければならない。

- （1） 火気責任者又は火気を使用している者は、火気使用設備器具の使用を停止するとともに、燃料の供給を遮断し出火の防止に努めること。
- （2） 地震が発生したときは、情報収集のため通報連絡係は、テレビ、ラジオ及び関係機関からの情報を収集し自衛消防隊長に報告すること。
- （3） 自衛消防隊長は施設等の被害状況及び地震状況を各班員等に把握させるとともに、必要な事項を指示すること。
- （3） 避難又は移動は隊列を組み避難するとともに、先頭と最後尾に避難誘導係を配置すること。

（地震後の安全確認）

第14条 防火管理者及び副防火管理者並びに火気責任者は、地震動の終了後、建物等及び消防用設備等の点検を行い、安全を確認するものとする。

【教育訓練】

（訓練等）

第15条 自衛消防活動の一環として、火災等の災害が発生したことを想定し、人的・物的な被害を最小限に止めるための「消火」・「通報」・「避難誘導」の各訓練を実施する。

2 訓練の実施要領は別に定める。

附則 この計画は、平成16年4月1日から施行する。

平成23年4月1日一部変更し施行する。

「別記1」

副防火管理者の指定及び任務

管理者は副防火管理者として維持管理業務の受託者である「センター」〇〇課長を副防火管理者に指定する。

副防火管理者は防火管理者の指示を受け、公園施設の防火管理の指導監督にあたる。

「別記2」

補助者の指名及び任務

管理者は防火管理業務遂行に必要とする補助者として、下記の者を指名する。

所 属	職 名	補 助 者 の 任 務
事 務 所	総務係長	防火管理者の事務に関する補助
事 務 所	建築設備係長	電気設備・消防施設保守点検業務の監督及び施設管理
センター	〇〇〇〇	副防火管理者の指示を受け、公園施設についての防火管理事務を補助する。

火 気 責 任 者 の 指 名 (案)

「別記3の1」

施設の区域	主施設の名称	付随施設の名称		管理 権原者	火気責任者		副火気責任者		備 考
庁舎等エリア	庁舎(事務所使用区域)			国	事務所	総務係長	事務所	工務係長	
	〃 (センター使用区域)			国	センター	〇〇〇〇	センター	〇〇〇〇	
	車庫棟(事務所使用区域)			国	事務所	総務係長	事務所	工務係長	
	〃 (センター使用区域)			国	センター	〇〇〇〇	センター	〇〇〇〇	
溪流口エリア	料金所・門衛所	(便所)	溪流口駐車場	国	センター	〇〇〇〇	センター	〇〇〇〇	
	案内所		案内所横	国	センター	〇〇〇〇	センター	〇〇〇〇	
	ロッジゆきざさ		炊事遠足広場(2)	国	センター	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	
	レストランシリベツ		アシリベツの滝、溪流園	国	センター	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	
	釣り堀			国	センター	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	
	白帆電気室	(四阿)	溪流口、炊事遠足広場	国	センター	〇〇〇〇			
	作業センター		炊事遠足広場(2)	国	センター	〇〇〇〇			
	污水处理場			国	センター	〇〇〇〇			
鱒見口エリア	鱒見料金所	(便所)	鱒見口、鱒見の谷	国	センター	〇〇〇〇	センター	〇〇〇〇	
	サイクルセンター			国	センター	〇〇〇〇	センター	〇〇〇〇	
	鱒見口売店			国	センター	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	
中央口エリア	中央口休憩所(A)	(便所)	中央口駐車場	国	センター	〇〇〇〇	センター	〇〇〇〇	
	中央口売店			国	センター	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	
	中央口休憩所(B)			国	センター	〇〇〇〇	センター	〇〇〇〇	
東口エリア	カントリーハウス	(四阿)	収穫小屋、展望の庭、峠の庭	国	センター	〇〇〇〇	センター	〇〇〇〇	
	カントリーハウス内レストラン・売店		花人の隠れ家、収穫の谷展望台	国	センター	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	
	(仮称)休憩棟			国	センター	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	
	(仮称)ボランティア棟			国	センター	〇〇〇〇	センター	〇〇〇〇	
	(仮称)研修棟			国	センター	〇〇〇〇	センター	〇〇〇〇	
	東口レストハウス		つどいの森	国	センター	〇〇〇〇	センター	〇〇〇〇	
こどもの谷エリア	すずらんの丘展望台	(管理施設)	貯水槽(配水池)、ポンプ場(No.1)	国	センター	〇〇〇〇	センター	〇〇〇〇	
	滝野天文台		ポンプ場(No.2)、排水槽	国	センター	〇〇〇〇	センター	〇〇〇〇	
	虹の巣ドーム			国	センター	〇〇〇〇	センター	〇〇〇〇	
	あり塚の塔			国	センター	〇〇〇〇	センター	〇〇〇〇	
	ありの巣トンネル			国	センター	〇〇〇〇	センター	〇〇〇〇	
	子供の谷休憩所			国	センター	〇〇〇〇	センター	〇〇〇〇	
滝野の森エリア	森の交流館		森の炊事場	国	センター	〇〇〇〇	センター	〇〇〇〇	
	森の教室		南駐車場トイレ	国	センター	〇〇〇〇	センター	〇〇〇〇	
	森見の塔			国	センター	〇〇〇〇	センター	〇〇〇〇	
宿泊エリア	オートリゾート滝野	(四阿)	彩りの森	国	センター	〇〇〇〇	センター	〇〇〇〇	
宿泊エリア	青少年山の家			札幌市					

【略称】 国土交通省 = 国 滝野管理センター = センター

火気責任者の任務

（平成13年1月6日国土交通省訓令第65号）

国土交通省庁舎の管理に関する訓令（抜粋）

（火気責任者）

第14条 管理者は、庁舎等の場所単位に火気責任者を定めて、火気を直接使用する設備及び器具を管理させるものとする。

2 火気責任者は、火災予防のため次に掲げる措置を講じなければならない。

- 一 使用していない電気のスイッチを切ること。
- 二 使用していないガスの元栓を締めること。
- 三 残火を点検し、完全に消滅させること。
- 四 引火のおそれのある物件を処理すること。
- 五 前各号に掲げるもののほか、発火防止のため必要な措置を講じなければならない。

（副火気責任者）

（指名）管理者は、施設に即して副火気責任者を指名する。

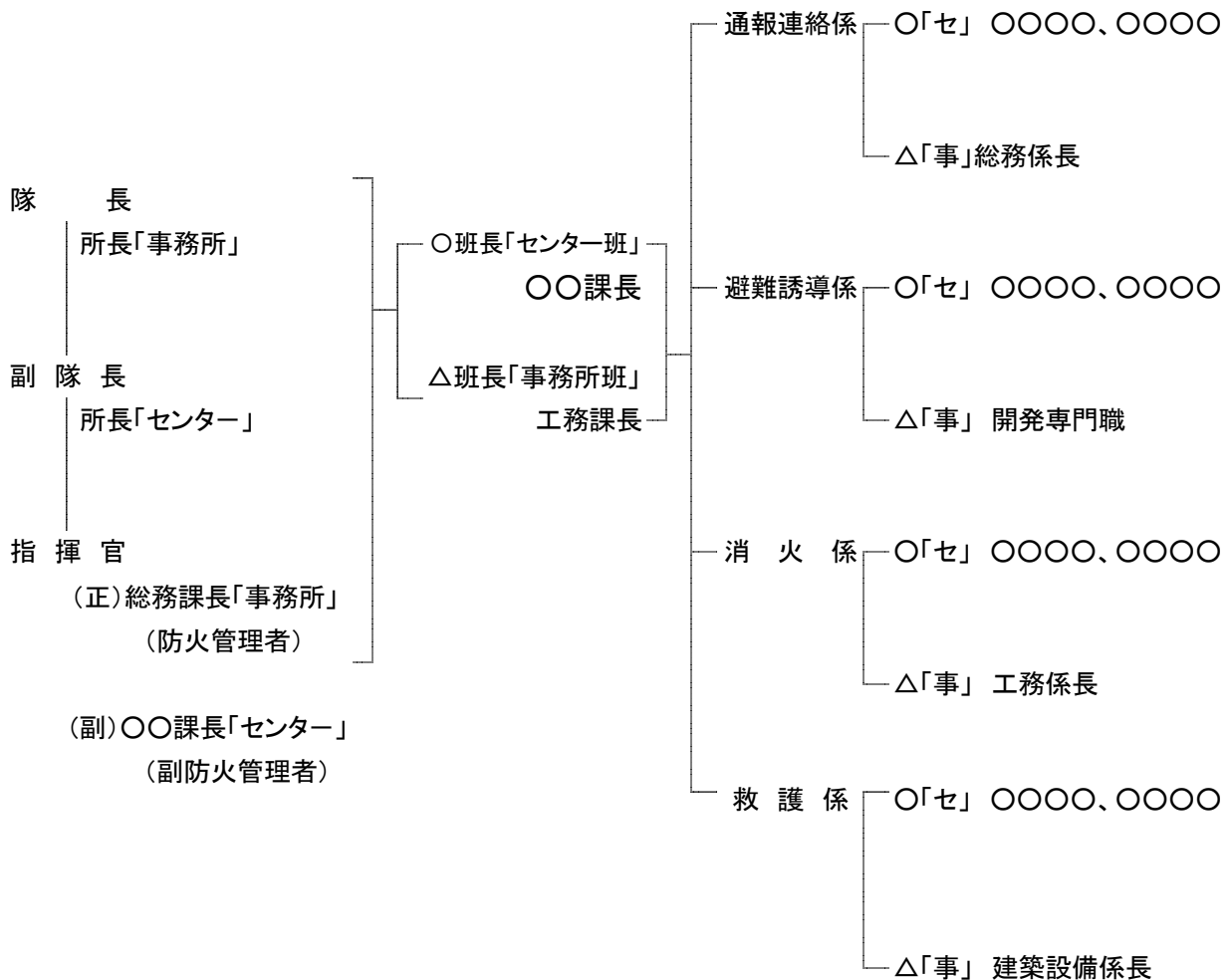
（任務）① 副火気責任者は、火気責任者の指示を受け火気を直接使用する設備及び器具を管理するものとする。

② 副火気責任者は、火気設備及び器具に異常がある場合は、火気責任者に報告しなければならない。

国営滝野すずらん丘陵公園自衛消防隊編成表(案)

○印は責任者「セ」はセンター職員

△印は副責任者「事」は事務所職員



自衛消防隊任務分担表

消 防 隊 役 職		任 務 の 分 担
隊 長	所長「事務所」	①火災発生時における自衛消防隊活動の総指揮及び状況の掌握 ②その他必要な事項
副 隊 長	所長「センター」	①隊長の全般的な補佐 ②隊長不在時の隊長代行 ③その他必要な事項
指 揮 官	正「防火管理者」	①隊長の指示による自衛消防活動の指揮及び監督
	副「副防火管理者」	②「事務所班」通報連絡係に消防車の入園路誘導を指示(溪流口で待機)
		③「センター班」通報連絡係に事務所横の門扉の開閉を指示
		④その他必要な事項
	※指揮官は火災発生場所により交代する。	
	「公園施設火災の時は、副防火管理者が指揮をとる。」	
	(理由、施設の状況を熟知している者が指揮を執る。)	
班 長	事務所班	①班における自衛消防活動の指示
	センター班	②各係の消防活動の掌握
		③その他必要な事項
		※各係の活動状況を隊長に報告
通報連絡係		①在庁者に対する火災発生の周知、避難指示(庁舎等で火災発生の場合)
		②入園者に対する火災発生の周知、避難指示(公園内で火災発生の場合)
		③消防署への通報
		④その他必要な事項
		※通報連絡状況を班長に報告
避難誘導係		①在庁者を避難場所へ誘導(庁舎等で火災発生の場合)
		②入園者を避難指定場所へ誘導(公園内で火災発生の場合)
		③未避難者の確認
		④その他必要な事項
		※避難状況を班長に報告
消 火 係		①最寄りの消火器、消火栓による初期消火
		②その他必要な事項
		※消火活動の状況を班長に報告
救 護 係		①負傷者の応急救護
		②救急隊(119番)への連絡
		③その他必要な事項
		※救護活動の状況を班長に報告
搬出警護係		①非常持ち出し文書(重要文書)の搬出及び管理
		②危険区域の立ち入り警護
		③その他必要な事項
		※搬出警護の状況を班長に報告

「別記5」

消 防 用 設 備 点 検 計 画

	点 検 実 施 項 目 及 び 時 期			点 検 実 施 者
	作動点検 外観点検 (6ヵ月に1回) 機能点検		総合点検 (年1回)	
自動火災報知器	6月	12月	12月	有資格者による点検
消 火 器				
屋 内 消 火 栓				
ガス漏れ警報機				
排 煙 装 置				
誘 導 灯				
火気使用設備等	6月	12月	12月	有資格者による点検
危 険 物 施 設				
電 気 設 備				

※12月期の総合点検結果については、南消防署長に報告する。

※点検の実施者は「別記6」による。

防火管理業務の委託状況

(平成30年4月1日現在)

委託の方式	<p>(業務委託名)</p> <p>滝野公園 自家用電気工作物保守点検外一連業務</p> <p>*一連業務に下記業務を含む。</p> <p>防災設備、地下オイルタンクの保守及び点検</p>
<p>受託者の名称及び住所</p> <p>〔 法人にあっては 名称及び主たる 事務所の所在地 〕</p>	<p>氏名(名称)</p> <p>千翔エンジニアリング株式会社</p> <p>代表取締役 稲見 希</p> <p>住所(所在地)</p> <p>札幌市東区北23条東10丁目1番7号</p> <p>TEL 011-721-8921</p> <hr/> <p>担当事務所</p> <p>札幌市東区北23条東10丁目1番7号</p> <p>TEL 011-721-8921</p>
受託者の行う防火管理業務の範囲	<p>滝野公園「危険物製造所等」の保安監督、点検</p> <p>滝野公園 消防用設備点検業務「別記5」</p> <p>滝野公園 電気施設の保守</p> <p>滝野公園 火気使用施設の自主点検及び巡回指導</p>
受託者の行う防火管理業務方法	有資格者による保守、監督、検査を実施する。

防火管理自主検査チェック表(案)

(報告日) 平成 年 月 日 (点検者)

施設の 区 域	主施設 の名称	厨 房（給湯設備含む。）				暖 房 設 備			喫 煙 管 理		避 難 管 理				防 火 設 備			電 気 関 係	地下タンク	備 考
		火気と可燃物の距離	ガス配管の異常	排気ダクトの清掃	周囲に可燃物の放置	ボイラー室の整理	異常音の有無	濾水・濾油確認	吸殻の処理	喫煙場所の状況	避難路の支障物	防火戸の作動範囲	避難器具の定位置	誘導灯の異常	消火栓の周りに支障物	消火器の定位置	火災報知器の表示	タコ足配線等	目視による異常の確認	指導指摘事項

※該当のない項目は、横棒線を引いてください。

※対象は全施設

3 年継続しているイベント・連携先

	名称	時期	イベント内容・連携先
主 催	滝野わんぱくフェスタ	4 月下旬～5 月上旬	紙ヒコーキづくりや風車づくりなど NPO 法人こども共育サポートセンター
	花のある北のくらし塾 誰でも簡単ハーブ活用術	5 月～9 月	ハーブの効用とハーブを活用したさまざま なクラフト体験など ハーブコーディネーター 狩野亜砂乃氏
	札幌南マルシェ	9 月又は 6 月	地域文化や特産品などの紹介 南区商店街連絡協議会
	滝野公園歩くスキー大会	1 月	6km・10km・16km のコースを完歩する 大会 北海道新聞社・NPO 法人北海道歩くス キー協会
共 催	サッカーでエンジョイ	7 月	元日本代表選手によるサッカー教室 コンサドーレ北海道スポールクラブ、ク ルール編集部
	パーク雪合戦	10 月	冬季に開催する雪合戦大会の前哨戦と して開催。 北海道雪合戦連盟道央ブロック
	ニューイヤー歩くスキー大会	1 月	大人から子どもまでを対象とした6km・ 10km・16km のコースを完歩する大会 読売新聞社・NPO 法人北海道歩くスキ ー協会
	スノーデュアスロン北海道	2 月	スノーバイクとクロスカントリースキーの 合計タイムを競う大会 NPO法人花サイクルクラブ、NPO 法人 北海道歩くスキー協会
	道民・札幌市民歩くスキーの 集い	3 月	シーズン最後の大会 NPO 法人北海道歩くスキー協会

行催事・利用プログラムについて

1. 国費の支出対象となる行催事・利用プログラムについて

- 1) 国営滝野すずらん丘陵公園運営維持管理基本方針に則していること
- 2) 公園・緑化に関する意識の高揚や知識の普及に資するもの
- 3) 歴史や自然に関する学術的なもの
- 4) その他公園のイメージアップや利用促進に資するもので国営公園内の行催事としてふさわしいものの

2. 国費を充当できる支出項目について

国費を充当できる支出項目は、当公園の行催事としてふさわしいものであるとともに、公共性が高く、利用者全体に関わるもので、社会通念上理解の得られる範囲内での必要十分な経費に限られる。

なお具体には以下のとおりとする。

- 1) 会場設営費
- 2) 会場運営費（飲食費については不可）
- 3) 資機材費（参加者が持ち帰らない工作物等材料費は可）
- 4) 講師謝礼金
- 5) パンフレット類等広報物作成費

3. 国費を充当できない支出項目について

国費の支出対象となる行催事であっても、以下の項目には国費を充当できない。

- 1) 参加者に配付する参加賞
- 2) 参加者が持ち帰る工作物等の材料費

ただし、いずれの場合にも国費以外の自主財源、または参加者からの参加費を充当することを妨げない。

4. 主催イベント

1) 行催事

事業者は、北海道開発局札幌開発建設部主催の行催事を適切に実施し、公園の設立趣旨の達成及び利用の促進に寄与する。

行催事は以下の 4 つの大型主催イベントを想定しているが、下記以外の行催事についても適切に行う。

- ・「チューリップ・すずらん」をメインとしたイベント（6月頃）
- ・「夏の花や遊び」をメインとしたイベント（7月頃）
- ・「コスモス」をメインとしたイベント（9月頃）
- ・「雪」をメインとしたイベント（2月頃）

2) 利用プログラム

事業者は、計画に基づく利用プログラムを適切に実施し、公園の設立趣旨の達成及び利用の促進に寄与する。

利用プログラムは、本公園の基本方針に即した、事業者が主催する 10 人程度以上を想定した体験系、コンテスト系、展示系、講習会系の 4 つのプログラムで、入園者に対するサービス水準向上の一貫として提供されるサービスとする。

なお上記期間中に開催する主催イベントについては、各大型主催イベント名を冠につけて、広報してもよい。

5. 補完イベント

国費の支出対象となる事業について自主財源を充当するものを補完事業といい、補完事業として実施する行催事を「補完イベント」という。

補完イベントについては、一の行催事の支出項目の中で、人件費等は国費を充当し、その他は自主財源を充当することができる。

具体的な内容については、提案の内容を踏まえて発注者と協議の上、年間行事計画書に記載して実施するものとする。

6. 自主イベント

本業務の目的達成や利用促進の一環として、人件費を含む国費を一切充当せず、都市公園法（昭和 31 年法律第 79 号）第 5 条、第 6 条又は 12 条に基づく許可を得た上で実施する事業を自主事業といい、自主事業として実施する行催事を「自主イベント」という。

自主イベントに実施にあたっては、都市公園法施行令（昭和 31 年政令 290 号）第 20 条に基づき、占有した土地または建物の使用料を納めることが必要となる。ただし、公共性の高い行催事を公園管理者との共催により行う場合、使用料が不要となる場合がある。

具体的な内容については、提案の内容を踏まえて発注者と協議の上、年間行事計画書に記載するものとする。

7. 持ち込みイベント

第 3 者が都市公園法（昭和 31 年法律第 79 号）第 5 条、第 6 条又は 12 条に基づく許可を得た上で実施する行催事を「持ち込みイベント」という。

事業者は、実施に向け必要な調整を行わなければならない。なお、継続する可能性の高い持ち込みイベントは以下の通りである。

- ・ 歩くスキー講習会
- ・ 障害者歩くスキーの集い
- ・ 滝野の森 10 マイルレース
- ・ 手作りジェルキャンドル製作体験

8. 行催事における印刷、名義使用等について

1) 印刷物の作成及び行事の実施についての協議

当公園内で行事を実施する場合又は委託費（一部他の資金を活用する場合を含む。）により広報宣伝又は利用者指導等に関する印刷物を作成し、又は行事を実施する場合には、十分時間的余裕をもって協議の上、書面により事前に国の承諾を得るものとする。

2) 行催事における北海道開発局の名義使用等について

公園内行事における北海道開発局の名義使用等は、以下に従って施行するものとする。

①委託費が投入（一部他の資金の活用を含む。）される場合

北海道開発局は「主催」または「共催」とする。

②委託費の投入がなく、他の資金により行われる場合

その内容が

（１）宗教的・政治的色彩がないこと

（２）公共性が高く、公園内のイメージアップにつながること

の条件を両方とも満たすものについては（後援依頼文書の提出を受けて）、「後援」をするものとする。この場合、主催者は文書により北海道開発局の名義使用の許可を得なければならない。

3) 印刷物及び行事に係わる表示

委託費（一部他の資金を活用する場合を含む。）により印刷物を作成し、又は行事を実施する場合には当該印刷物を作成し、又は行事を実施する者として、次に掲げる表示を行うものとする。ただし、表示の詳細については個別に協議をして定めるものとする。

滝野公園ボランティア規約

滝野公園ボランティア規約	
第1章 総則	
(目的)	
第1条	<p>本ボランティアは、国営滝野すずらん丘陵公園(以下「本公園」という。))において、“自然とのふれあい”を実現するために、本公園にふさわしいレクリエーション活動の場を創造し、また、地域や市民との連携による新しい社会づくりへ貢献するための活動を行っていただくことを目的とします。</p> <p>本規約は、当該活動を円滑に推進することを目的として、国営滝野すずらん丘陵公園滝野管理センター(以下、管理センターという。)が定めるものです。</p>
(名称)	
第2条	<p>本活動に参加するボランティア組織及びその構成員の総称を、滝野公園ボランティア(以下本会という。)と称します。各ボランティア組織の構成員個人については、本会においてはメンバーと称します。</p>
(構成及び資格・ボランティア組織登録)	
第3条	<p>本会は、本公園で活動する全てのボランティア組織によって構成します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 2 本会を構成するボランティア組織は、管理センターが入会を認定・登録した組織・団体とします。 3 本会を構成するボランティア組織の認定・登録は、1年度毎の更新とさせていただきます。 4 次の各号に掲げる条件を満たした場合に、本会を構成するボランティア組織及びその構成メンバーとして認定します。 <ol style="list-style-type: none"> 一 公園の管理運営方針に適合した活動を実施する場合 二 維持管理上・運営管理上必要な作業を企画・実施または補助している場合 三 団体・組織としての規約・会則等が明確であり、公園として認められる内容である場合 四 公園スタッフの一員として必要な研修(当公園についての基本情報、活動時における安全管理、来園者への対応のあり方等)を修了していただいている場合 五 活動についての対価が無償である場合 5 新たに活動を希望する本会を構成するボランティア組織は次の各号に掲げる内容について記載した「ボランティア活動実施計画書」を作成、管理センターに提出していただきます。 <ol style="list-style-type: none"> 一 活動(団体)名 二 活動目的 : なぜこの活動を行うのかについて記載 三 活動内容 : 実際に行う活動を具体的に記載 四 活動エリア : どこを活動範囲、活動拠点とするかについて記載 五 活動期間・時間 : いつ活動するのかについて記載 六 登録者名簿 : 本会に登録するメンバーの氏名、連絡先等について記載 七 代表者名、連絡先 八 その他 : 過去の活動実績、母体団体の存在等管理センターが記載を必要とする事項について記載 6 「ボランティア活動実施計画書」は、当該ボランティア組織の活動を認定する際及び年度毎の更新時にも作成・提出していただきます。 7 登録の有効期間は年度末までとします。 8 本会を構成するボランティア組織が、事情によりやむを得ず1年以上活動を休止する場合には、その期間を書面にて管理センターに提出いただいた上で休会扱いとします。一度休会した後に復帰する場合には、その構成メンバーについては、管理センターによる再研修を受講していただいた後に再登録して活動を行うこととします。
第2章 事務局及び役員等	
(事務局)	
第4条	<p>本会の事務局は管理センターの担当係に置きます。</p>
(役員)	
第5条	<p>本会には、次の役員を置きます。</p> <p>世話人 各構成ボランティア組織より1名 代表世話人 世話人の中から1名</p> <ol style="list-style-type: none"> 2 代表世話人は本会を代表し、事務局との連絡調整を行い、ボランティア活動全体の円滑な運営に努めていただきます。 3 世話人は代表世話人を補佐し、メンバー相互の連絡調整を図り、活動の円滑な運営に努めていただきます。

(選 任)	
第6条	<p>本会の世話人は、各構成ボランティア組織内において、構成メンバーの立候補または推薦により選任されます。</p> <p>2 代表世話人は、世話人の互選により選任されます。</p>
(任 期)	
第7条	各役員の任期は1年とし、再任は妨げません。
(役員会)	
第8条	<p>役員会は、代表世話人、世話人、事務局担当者で構成し、活動の状況に応じて代表世話人の召集により開催します。</p> <p>2 役員会(世話人会議)は、世話人またはメンバーから提案される活動方針や活動内容の連絡調整、活動で生じる様々な課題等を討議します。</p>
(総 会)	
第9条	総会は、本会の活動状況の報告や活動計画及びその他の案件の意見交換や承認・決議等を行う場として、代表世話人と事務局担当者との協議により必要に応じて開催します。
第3章 構成メンバーの登録	
(構成メンバーの登録)	
第10条	<p>各構成ボランティア組織は研修終了後に構成メンバーへの登録の意思確認を行っていただき、同意された方をメンバーとして登録し、「ボランティア活動実施計画書」の登録者名簿に記載して提出していただきます。提出後に登録メンバーを追加される場合については、その登録の旨を別途書面にて提出いただきます。なお、住所等の個人情報は、登録メンバーから直接管理センターへ提出していただくこととします。</p> <p>2 各構成ボランティア組織は、年度当初に構成メンバーへの登録更新の確認を行っていただき、同意された方をメンバーとして登録し、「ボランティア活動実施計画書」の登録者名簿に記載して提出していただきます。提出後に登録メンバーを追加される場合については、その登録の旨を別途書面にて提出いただきます。なお、住所等の個人情報は、登録メンバーから直接管理センターへ提出していただくこととします。</p> <p>3 メンバーは、登録する年度の3月31日に11歳以上であることとします。また、18歳未満の者については、活動時に保護者同伴であることとします。</p> <p>4 前3号に適合する場合においても、活動内容について管理センターが適切でないと判断した場合には、未成年者の当該活動への参加を認めないものとします。</p> <p>5 登録の有効期間は年度末までとします。</p> <p>6 メンバーは、家庭の事情等でやむを得ず1年以上活動を休止する場合には、その期間を書面にて管理センターに届けていただいた上で休会扱いとします。一度休会した後に復帰される場合には、管理センターによる再研修を受講していただいた後に再登録して活動を行うこととします。</p>
(登録に必要な研修)	
第11条	<p>本会の活動を実施する際には、次の各号に掲げる事項に関する研修を受講していただきます。特に、一、二、三号については最初の園内活動前に研修を修了する必要があります。当研修は管理センターが行います。</p> <p>一 当公園についての基本情報</p> <p>二 活動時における安全管理</p> <p>三 来園者への対応のあり方</p> <p>四 別途指定する研修</p>
第4章 活動内容	
(活動内容)	
第12条	<p>第1条の目的を達成するため、次の各号に掲げる内容について活動していただきます。</p> <p>一 管理センターとの協議により定めた活動</p> <p>二 別途指定する活動</p> <p>2 本会の活動に当たっては公園規則を遵守し、公園のボランティアとして相応しい服装、言動、行動に十分ご配慮下さい。</p>
(活動エリア)	
第13条	本会の活動エリアは、原則として本公園供用区域内とします。但し、他の施設・団体等との交流や、活動上必要な研修を実施する場合等はこの限りではありません。
(活動日時)	
第14条	<p>本会の活動期間・時間は、原則として、国営滝野すずらん丘陵公園の開園期間・時間内とします。</p> <p>2 活動計画日以外の日または時間に活動する場合は、管理センターと協議していただきます。</p>

第5章 IDカード及び活動支援	
(IDカード)	
第15条	<p>管理センターは、登録したメンバーに対してIDカードを発行します。</p> <p>2 メンバーには、本公園内での活動中や入退園時には必ずIDカードを携帯していただきます。</p> <p>3 本会の活動を目的とするメンバー本人の来園については、管理センターの発行するIDカードを提示していただくことにより、活動日および自主研修日に限って入園料金、駐車料金ともに無料とします。</p> <p>4 IDカードは個人的な来園時には使用してはいけません。不正な利用があった場合、ボランティアの登録を抹消する場合があります。</p> <p>5 IDカードの有効期間は1年度内とし必要に応じて更新させていただきます。</p> <p>6 本会を休会、退会した場合及びIDカードの有効期間が終了した場合には、速やかにIDカードを返却していただきます。</p>
(活動支援)	
第16条	<p>活動に必要と認められる資材等は、管理センターが現物を提供します。</p> <p>2 活動にあたって必要な場合には、管理センターとの協議していただいた上で、活動拠点となる場所を提供します。ただし、公園施設として公平かつ清潔な利用に十分ご配慮下さい。</p> <p>3 公園までの交通費相当として、各メンバーに、活動実施した1回・日あたり、1000円を源泉徴収を行った後管理センターより支給します。</p>
第6章 ボランティア保険	
(ボランティア保険)	
第17条	<p>メンバーには、ボランティア活動保険への加入をお願いします。ただし、加入にかかる費用は各メンバーにご負担いただきます。</p> <p>2 ボランティア保険加入に関する事務手続きについては、事務局が支援します。</p> <p>3 ボランティア活動中に生じた事故や怪我については、ボランティア保険の適用範囲内で対応します。</p> <p>4 他組織にてボランティア保険に加入時は、証明できるもののコピーを事務局に提出していただきます。</p>
第7章 退会	
(退会)	
第18条	<p>本会を退会するボランティア組織もしくはその構成メンバーは、事前に事務局に報告していただいた上で、書面にてその旨を提出していただきます。</p>
(退会勧告)	
第19条	<p>次の各号に掲げる事項に該当したボランティア組織もしくはその構成メンバーについては、休会または退会勧告、もしくは登録を抹消します。</p> <p>一 他のメンバーを誹謗中傷する行為又は公序良俗に反する行為を行った場合</p> <p>二 来園者の安全・快適な公園利用を妨げる行為を行った場合</p> <p>三 都市公園法等法令等に違反している行為を行った場合</p> <p>四 本会及び国営滝野すずらん丘陵公園の名誉を傷つけ、他の会員に著しく迷惑を及ぼした場合</p> <p>五 無断遅刻・無断欠勤が続いた場合</p> <p>六 その他、本規約、及び活動の手引きのいずれかに違反した場合</p>
第8章 安全衛生管理	
(安全衛生管理)	
第20条	<p>活動にあたっては、活動内容に応じた服装、安全具の装着のほか、活動日の健康状態、自身の安全衛生に留意いただくとともに、公園利用者の安全についても十分に留意して下さい。</p>
第9章 その他	
(個人情報の取扱い)	
第21条	<p>各登録手続きによって提出された個人情報(氏名、住所、連絡先)は、認定及びIDカードの発行許可にかかる公園事務所への協議、活動に関する連絡のためのみに用い、その他の用途には使用しません。</p> <p>2 活動により取得した公園利用者の個人情報については、管理センターにおいて適切に管理します。</p>
(著作権の取扱い)	
第22条	<p>本会活動において制作・撮影された作品等の著作権は、管理センターに帰属します。</p>
付 則	<p>この規約は、平成28年4月24日から施行します。</p>

滝野公園フラワーガイドボランティア 細則(案)

滝野公園フラワーガイドボランティア細則

- 第1条 本ボランティアは、国営滝野すずらん丘陵公園（以下「本公園」という。）カントリーガーデンにおいて、来園者が適切に見どころに接することが出来るよう、さまざまなガイドを行うことを目的とします。
本細則は、「滝野公園ボランティア規約」に付随するものであり、当該活動を円滑に推進することを目的として、国営滝野すずらん丘陵公園滝野管理センター（以下、管理センターという。）が定めるものです。
- 第2条 本活動に参加するボランティアを、滝野公園フラワーガイドボランティア（以下本ボランティアという）と称します。
- 第3条 本ボランティアはフラワーガイドボランティア（以下、ガイドという。）をもって構成します。
- 第4条 本ボランティアの事務局は本ボランティアの役員により構成されます。
- 第5条 本ボランティアには、次の役員を置きます。
代表幹事 2～3名
- 2 代表幹事はガイドの互選により選任されるものとします。
- 3 代表幹事は本ボランティアを代表し、事務局との連絡調整を行い、ボランティア活動全体の円滑な運営を図るための業務を行っていただきます。また、代表幹事は滝野公園ボランティア規約 第5条に掲げられた「滝野公園ボランティア」世話人を兼務していただきます。
- 第6条 各役員の任期は1年とし、再任は妨げません。
- 第7条 役員会は、各代表幹事またはガイドから提案される活動方針や活動内容の連絡調整、活動で生じる様々な課題等を討議します。
- 2 役員会は、代表幹事、管理センター担当職員で構成し、活動の状況に応じて代表幹事もしくは管理センター担当職員の召集により開催します。
- 第8条 総会は、本ボランティアの活動状況の報告や活動計画及びその他の案件の承認・決議を行う場として、代表幹事と事務局担当者との協議により必要に応じて開催します。
- 2 総会は登録ガイドの3分の2の出席をもって成立とします。
- 第9条 滝野公園ボランティア規約第11条四号で掲げた研修は、次の各号とします。
- 一 サービス接遇研修
二 新規エリア、新規サービスに関する研修
三 一度休会した後に復帰する場合には、2時間を1単位とする自主的なガイド研修を最低2単位終了した後、再登録してガイド活動を行うこととします。
- 四 前年度の年間ガイド活動が5回に満たなかった場合には、新年度の活動開始時に、2時間を1単位とする自主的なガイド研修を最低2単位終了した後、ガイド活動を行うこととします。
- 第10条 滝野公園ボランティア規約第12条二号で掲げた活動は、次の各号とします。
- 一 フラワーガイド
・園内みどころの案内
・植物に関する各種の情報の提供
・公園に関する各種の案内や禁止事項の周知
- 二 その他別途指定する活動
- 第11条 管理センターは、本ボランティア円滑に活動できるように、各種の情報を速やかに提供します。
・公園に関する各種の情報や禁止事項、連絡体制、イベント情報等、来園者に案内する必要度が高いものについては、管理センターがマニュアル等を作成し、ガイドに提供します。
・花畑やプランターなどに植栽される植物については、それらの配植や性状などの情報を速やかにガイドに提供するとともに、ラベル等も正確なものを設置します。
- 第12条 本ボランティアの活動エリアは、基本的にカントリーガーデンを中心とした本公園供用区域内とします。
- 付 則
この細則は、平成30年4月21日から施行します。

滝野公園滝野森クラブ 細則(案)

滝野の森クラブ細則(案)

- 第1条 本ボランティアは、国営滝野すずらん丘陵公園(以下「本公園」という。))において、訪れた利用者に対し、滝野の自然の素晴らしさやそれを体験する方法を紹介し、また、保全管理の一部を補助出来る「滝野の森の案内人」となっていただくことを目的とします。
- 本細則は、「滝野公園ボランティア規約(案)」に付随するものであり、当該活動を円滑に推進することを目的として、国営滝野すずらん丘陵公園維持管理業務受託者(以下、管理受託者という。)が定めるものです。
- 第2条 本活動に参加するボランティアを、滝野の森クラブボランティア(以下本クラブという。)と称します。
ボランティア事務局所在地 〒005-0862 札幌市南区滝野248番地
- 第3条 本クラブはボランティアメンバー(以下、メンバーという。)をもって構成します。また、本クラブはその活動内容によって「森林ガイドボランティア」、「森づくりボランティア」、「インタプリターボランティア」に3区分されます。
- 2 「森林ガイドボランティア」は、滝野の森のフィールドをより深く楽しむために、セルフガイドコースを始めとしたネイチャーガイドを活動の中心とします。
- 3 「森づくりボランティア」は、森という素材そのものをより魅力的に、また、安全・快適に楽しめるように整える活動を中心とします。
- 4 「インタプリターボランティア」は、自然を感じ、自然とのふれあいを楽しんだり、その魅力に気づききっかけを作るための環境教育プログラムをコーディネートし、実施する活動を中心とします。
- 5 上記3区分に該当しない活動については、別途事務局と調整を行い、管理方針や活動方針と合致するものについてはリーダーを立てて実施することとします。
- 6 メンバー内に会計担当者を決め、メンバー内で集めた資金の管理を行う。
- 第4条 本クラブの事務局は本クラブの役員により構成されます。
- 第5条 本クラブには、次の役員を置きます。
世話人 副世話人 9名
代表世話人 世話人の中から1名
- 2 世話人は「森林ガイドボランティア」、「森づくりボランティア」、「インタプリターボランティア」各区分より1名ずつ、各登録メンバーの互選により選任されるものとします。また、代表世話人は、世話人の互選により選任されます。
- 3 代表世話人は本クラブを代表し、事務局との連絡調整を行い、ボランティア活動全体の円滑な運営を図るための業務を行っていただきます。また、代表世話人は滝野公園ボランティア規約(案)第5条に掲げられた「滝野公園ボランティア」世話人を兼務していただきます。
- 4 世話人は、代表世話人を補佐し、メンバー相互の連絡調整を図り、活動の円滑な運営を図るための業務を行っていただきます。
- 5 第4条の5にて認定された活動については、担当リーダーが活動の準備や企画進捗の管理を行います。
- 第6条 各役員の任期は1年とし、再任は妨げません。
- 第7条 役員会(世話人会議)は、各世話人またはメンバーから提案される活動方針や活動内容の連絡調整、活動で生じる様々な課題等を討議します。
- 2 役員会は、代表世話人、世話人、管理受託者担当職員で構成し、活動の状況に応じて代表世話人の召集により開催します。
- 第8条 総会は、本クラブの活動状況の報告や活動計画及びその他の案件の承認・決議を行う場として、代表世話人と事務局担当者との協議により必要に応じて開催します。
- 2 総会は登録メンバーの3分の2の出席をもって成立し、委任状を提出したメンバーは出席とみなします。
- 第9条 滝野公園ボランティア規約(案)第11条四号で掲げた研修は、次の各号とします。
- (森林ガイドボランティア)
- 一 セルフガイドコース研修
 - 二 スノーシュー研修
- (森づくりボランティア)
- 三 森林管理実技研修
- (インタプリターボランティア)
- 四 インタプリテーション研修
- (滝野の森クラブ全体)
- 五 その他、本クラブ内での活動上必要な安全管理に関わる研修
 - 六 その他、本クラブ内での活動に必要な技能に関する研修

第10条 滝野公園ボランティア規約(案)第12条二号で掲げた活動は、次の各号とします。

(森林ガイドボランティア)

- 一 ネイチャーガイド
- 二 スノーシューガイド

(森づくりボランティア)

- 三 森林管理作業の補助
- 四 世話人は代表世話を補佐し、メンバー相互の連絡調整を図り、活動の円滑な運営に努めるための業務を行っていただきます。

(インタープリターボランティア)

- 五 環境学習プログラムの企画・実施
- 六 プレーパークプログラムの企画・実施

(滝野の森クラブ全体)

- 七 その他、本クラブに関係する活動

第11条 本クラブの活動エリアは、基本的に滝野の森を中心とした本公園供用区域内とします。

設立日 平成21年5月1日

付 則
この細則は、平成28年4月24日から施行します。

豊滝野すずらん丘陵公園

PARK IDENTITY MANUAL





はじめに

このパークアイデンティティマニュアル (Park Identity Manual=PI)は、「国営滝野すずらん丘陵公園」の開園15周年を迎えるにあたり、札幌市民や道内外の来園者へのサービス向上と、広報の一環として、「より親しみ易く」、「より分かり易く」をコンセプトに、統一した“イメージの定着”と“差別化”をより明確に行ない、当公園のメインとなる中心ゾーンのオープンに向けた公園整備事業や広報活動への理解と認知度の向上、さらには「滝野すずらん丘陵公園」のブランドロイヤルティの確立を視野に獲えた幅広い活動のサポートツールとして、将来的にも汎用可能なデザイン機能を持たせることを目的として作成しました。

ご使用にあたってはこのPIマニュアルを運用規範としますが、内容・目的により運用規定がありますので、事前に「国営滝野すずらん丘陵公園事務所」までご連絡ください。

使用上の注意

シンボルマーク・ロゴタイプ・マスコットキャラクター等は本PIマニュアルの運用規定により正確に使用して下さい。また、カラー表現も同様に、モノクロ(単色)・カラー(多色)のそれぞれのマニュアル上のカラー指定に従って正確に使用して下さい。

シンボルマーク・ロゴタイプ・マスコットキャラクター等の確定書体組み合わせの使用は、ベーシックエレメントやシグネチャシステムの該当項目を参照とし、正確に表現して下さい。

INDEX

1 ベーシックエレメント

シンボルマーク	1	P1
シンボルマーク割り出し図	2	P2
シンボルマーク・カラー	3	P3
シンボルマーク・モノクローム	4	P4
ロゴタイプ・ロゴタイプ割り出し図	5	P5
テーマカラー・モノクローム	6	P6
マスコットキャラクター	7	P7
マスコットキャラクター・カラー	8	P8
マスコットキャラクター・アプリケーション	9	P9
指定書体・和文・英文	10	P10

2 シグネチャシステム

シンボルマーク・ロゴタイプ・カラー	1	P11
シンボルマーク・ロゴタイプ・モノクローム	2	P12
シンボルマーク・ロゴタイプ・和文指定書体	3	P13
シンボルマーク・ロゴタイプ・和文・英文指定書体	4	P14
シンボルマーク・英文指定書体	5	P15
マスコットキャラクター ^① ・ロゴタイプ・英文指定書体	6	P16
マスコットキャラクター・アプリケーション ^{①②③④} ・ロゴタイプ・英文指定	7~8	P17~18

3 禁止表示例

シンボルマーク・ロゴタイプ・マスコットキャラクター	1	P19
---------------------------	---	-----

4 アプリケーションアイテム

事務帳票類	1~5	P20~24
ステッカー・テレホンカード	6	P25
Tシャツ・ユニホーム	7	P26

5 カラーチャート

シンボルマークカラー・マスコットキャラクターカラー	1~2	P27~28
---------------------------	-----	--------

6 清刷り

ベーシックエレメント清刷り	1~6	P29~34
シグネチャシステム清刷り	7~14	P35~42

国営滝野すずらん丘陵公園 英文使用について

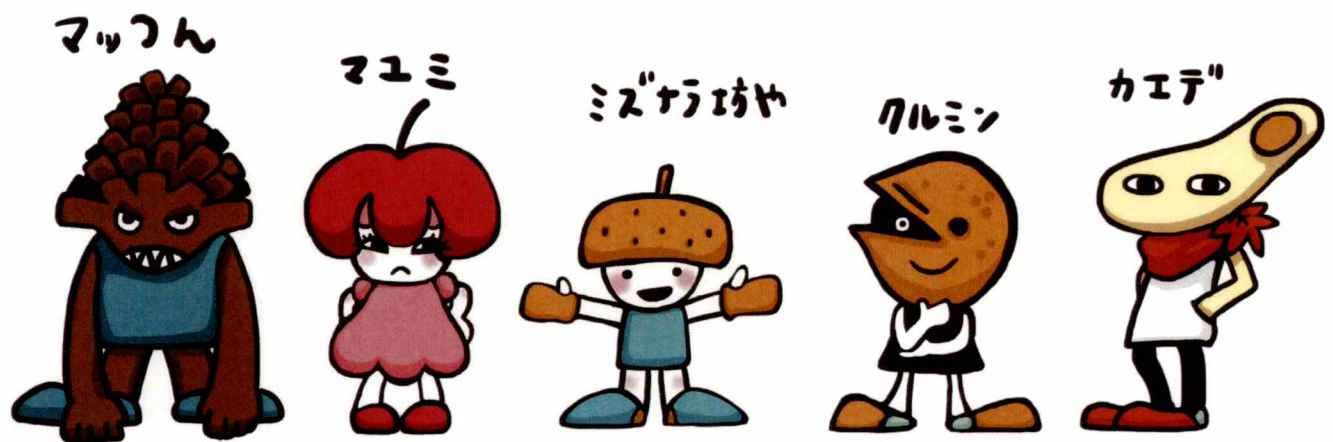
カテゴリー			名称	英語名称
名称			滝野すずらん丘陵公園	Takino Suzuran Hillside Park
交通施設	車両用入口	溪流ゾーン	溪流口	Keiryu Guchi Entrance
			鱒見口	Masumi Guchi Entrance
		滝野の森ゾーン	滝野の森口	Takino no MoriGuchi Entrance
	有料区ゲート	中心ゾーン	中央口ゲート	Chuo Guchi Gate
			東口ゲート	Higashi Guchi Gate
	滝野の森ゾーン	滝野の森口ゲート	Takino no MoriGuchi Gate	
	駐車場	溪流ゾーン	溪流口駐車場	Keiryu Guchi Parking
		中心ゾーン	中央口駐車場	Chuo Guchi Parking
			東口駐車場	Higashi Guchi Parking
		滝野の森ゾーン	南駐車場	Minami Parking
			滝野の森口駐車場	Takino no Moriguchi Parking
	その他	中心ゾーン	バス停	Bus Stop
タクシー乗り場			Taxi Stand	
溪流ゾーン		パークステーション(旧サイクルセンター)	Park Station	
		レンタサイクル	Rent-a-cycle	
景勝・地名	河川名	厚別川	Atsubetsu River	
		清水沢川	Simizusawa River	
		野牛沢川	Nousizawa River	
		中の沢川	Nakanosawa River	
		鶴見沢川	Tsurumizawa River	
		竹子沢川	Takekozawa River	
	滝名	アシリベツの滝	Ashiribetsu Falls	
		マスの滝 鱒見の滝	Masumi Falls	
		不老の滝	Furo Falls	
		白帆の滝	Shiraho Falls	
	その他	滝野パークブリッジ	Takino Park Bridge	
	ゾーン名	溪流ゾーン	溪流ゾーン	Keiryu Zone
中心ゾーン		中心ゾーン	Chushin Zone	
宿泊ゾーン				
滝野の森ゾーン		滝野の森ゾーン	Takino No Mori Zone	
サービス施設	宿泊施設区	オートリゾート滝野	Auto Resort Takino (Camping Site)	
		青少年山の家	Seisyonen Yamano Ie (Sapporo Youth Lodge)	
	溪流ゾーン	焼き肉ガーデンアシリベツ	Ashiribetsu BBQ Garden	
		ロッジゆきざさ	Lodge Yukizasa	
		案内所	Takino Park Information Center	
		溪流園	Keiryuen	
		養魚池	Fishing Pond	
		つり堀	Fishing Pond "Fishing Takino"	
		炊事コーナー	Keiryuen Outdoor Cooking Corner	
		疎林広場	Sorin Fields	
		炊事遠足広場	Suiji Ensoku Hiroba Outdoor Cooking Site	
		平成の森(すずらんの森)	Heiseino Mori Woods	
		鱒見口炊事コーナー	Masumi Guchi Outdoor Cooking Site	
	中央ゾーン	ビジターセンター	Visitor Center	
		中央口休憩所A	Chuo Guchi Rest Facility A	
		中央口休憩所B	Chuo Guchi Rest Facility B	
		公園事務所	Park Office	
		東口レストハウス・東口休憩所	Higashi Guchi Rest Facility	
		カントリーハウス	Countrv House	

カテゴリー		名称	英語名称
		こどもの谷休憩所	Kodomo no Tani Rest Facility
	森林体験ゾーン	まきばの丘	Makibano Oka Place
	全園	自転車置場	Bycicle Parking
		カントリーガーデン	Country Garden
		カントリーハウス	Country House
		カントリーハウスの庭園	Country House Garden
		収穫の谷	Shukakuno Tani (Harvest Valley)
		花人の隠れ家	Hanabito no Kakurega (Flower Master Retreat)
		花のテラス	Flower Terrace
		峠の庭	Toge no Niwa (Rock Garden)
		くらしの花園	Kurashi no Hanazono (Herb Garden)
		花のまきば	Hana no makiba (Flower Pasture)
		水の広場	Mizu no Hiroba (Water Place)
		まきばのせせらぎ	Makiba no Seseragi (Pasture Stream)
		山のお花畑	Yama no Ohanabatake (Flower Garden at the Ridge)
		スズランの小径	Suzuran no Komichi (Lily of the valley Trail)
		つどいの森 (旧東口の広場)	Tsudoi No Mori (Gathering Lawn)
		パークゴルフ場	Park Golf Cource
		子供の谷	Kodomo no Tani Playground
		あり塚の塔	Arizuka Tower (Ant Hill Tower)
		森のせせらぎ	Morino Seseragi (Stream)
		さまよいの洞窟	Samayoi Cave (Stray Cave)
		マウントコニーデ	Mount Conide
		虹の巣ドーム	Nijinosu Dome (Rainbow Web Dome)
		フワフワエッグ	Fuwa-Fuwa Egg
		オレンジエッグ	Orange Egg
		ありの巣トンネル	Arinosu Tunnel (Antnest Tunnel)
		鳥の巣デッキ	Torinosu Deck (Birdnest Deck)
		溶岩すべり台	Yougan Suberidai (Lava Slides)
	中心ゾーン	大地の広場	Daichi no Hiroba
		こどもの谷休憩所	Kodomo no Tani Rest Facility
		森のすみか	Mori No Sumika Playground
		探検の森	Tanken no Mori (Explorers' Woods)
		りすの散歩道	Risu no Sanpomichi (Squirrel's Promenade)
		きりかぶ迷路	Kirikabu Meiro (Stump Maze)
		木のぼりネット	Kinobori Net (Climbing Net)
		森の回廊	Mori no Kairou (Woodland Corridor)
		石造りの家跡	Ishidukuri no Ieato (Ruins of a Stonemason's House)
		こもれびの森	Komorebi no Mori (Sun-dappled Woods)
		森の隠れ家	Mori no Kakurega (Woodland Hiding Place)
		メロディーきのこ	Melody Kinoko (Melody Fungie)
		ゆらゆらきのこ	Yurayura Kinoko (Rocking Fungie)
		こもれびネット	Komorebi Net (Break-time Net)
		こもれびの小径	Komorebi no Komichi (Sun-dappled Path)
		森の吊り橋	Mori no Tsuribashi (Woodland Suspension Bridge)
		材木飛ばし	Zaimoku Tobashi (Timber Swing)
		森人の山小屋	Moribito no Yamagoya (Woodcutter's Lodge)
		森の工房	Mori no Kobo (Woodland Crafthouse)
		秘密の抜け道	Himitsu no Nukemichi (Secret Back Road)

カテゴリー		名称	英語名称
公園施設		トロッコ橋展望台	Torokkobashi Tenbodai (Observatory at Boxcar Bridge)
		ひだまりの丘	Hidamari no Oka (Sunny Hill)
		果実の丘	Kajitsu no Oka (Fruit Hill)
		ローンスタジアム	Lawn Stadium
		天文台	Astronomical Observatory
		すずらんの丘展望台	Suzuran no Oka Tenbodai (Observatory)
		青少年山の家	Seisyonen Yamano Ie (Sapporo Youth Lodge)
	宿泊ゾーン	どんぐり広場	Donguri Hiroba (Acorn Field)
		しらかば広場	Shirakaba Hiroba (Birch Filed)
		くるみ広場	Kurumi Hiroba (Walnut Field)
		くわの実広場	Kuwanomi Hiroba (Mulberry Field)
		風の原っぱ	Kazeno Harappa (Filed of Wind)
		こどもの森コース	Kodomo no Mori Cource
		彩りの森	Irodori no Mori Woods
	滝野の森東エリア	滝野の森東エリア	Takino no Mori East Area
		南駐車場	Minami Parking
		青少年山の家	Seisyonen Yamano Ie (Sapporo Youth Lodge)
		森の交流館	Mori no Koryukan Center
		森見の塔	Morimi no Tou Tower
		森見の炊事広場	Mori no Sujihiroba Outdoor Cooking Site
		ローラーすべり台	Roller Slides
		森のデッキ	Mori no Deck
		ネズミのみち	Nezumi no Michi Playground
		カラマツデッキ	Karamatsu Deck
		森の教室	Mori no Kyoshitsu Classroom
	滝野の森西エリア	滝野の森西エリア	Takino no Mori West Area
		滝野の森自然博物館	Takino no Mori Natural History Garden
		滝野の森口	Takino no Moriguchi Entrance
		滝野の森口ゲート	Takino no Moriguchi Gate
		滝野の森口駐車場	Takino no Moriguchi Parking
		森の情報館	Mori no Johokan Center
		滝野の森口広場	Takino no Moriguchi Hiroba
		ハルニレ広場	Harunire Hiroba
		エゾマツ広場	Ezo Matsu Hiroba
		森の観察デッキ	Mori no Kansatsu Deck
		沢広場	Sawa Hiroba
		ミズナラ広場	Mizu nara Hiroba
		野と水辺エリア	Field and Waterfront Area
		花の水辺エリア	Flowers by the Water Area
		花の溪流エリア	Gorge of Flowers Area
		たんぼの広場	Tanbo No Hiroba Space
		薪炭林	Forest of Fuel Woods
		ため池復元地	Reservoir Restoration Area
		シラネアオイの花斜面	Slope of Shiraneaoi Bloom
		ミズバショウの谷	Valley of Skunk Cabbage
		ヤナギランの湿地	Wetland of Yanagiran
		トドマツ植林地	Todomatsu planted area
		カラマツ植林地	Karamatsu planted area
		ケヤマハンノキ湿地林	hnKeyamahannoki Wetland
		草地復元地	Grassland restoration area
		リサイクルセンター	Recycle Center
	エリアまたぎ	キタキツネコース	Kitakitsune Trail(Fox Trail)
		ウサギコース	Usagi Trail(Rabit Trail)
		エゾリスコース	Ezorisu Trail(Squirrel Trail)

カテゴリー		名称	英語名称
		キャンプ場コース	Camping Area Trail
		ポンプ場	Pump Station

木の実の妖精 タキナッツ



キャラクターマニュアル

平成 29 年 4 月作成



滝野の森「自然博物館」

ビジュアルアイデンティティマニュアル

TAKINO NO MORI SHIZEN HAKUBATSUEN
VISUAL IDENTITY MANUAL

【取扱制限：関係者限り、複製・複写禁止】（１）

報道機関との対応等経過

所属部課室：〇〇〇 〇〇〇

平成〇〇年 〇月〇〇日（△）×：××～×：××		電話・自 席・会議室 その他（ ）
相手方	〇〇〇（マスコミ名） 〇〇〇（取材者）	電話 FAX 携帯
対応者	〇〇〇	
議題	〇〇〇について	
資料		
発言者	発 言 要 旨	

発 言 者	発 言 内 容

ペットをお連れのお客様へ

(グリーンシーズン用)

本日は滝野すずらん丘陵公園にご来園いただきありがとうございます。
ペットをお連れのお客様は、以下のルールをお守りください。

<公園内でのルール>

1. オートキャンプ場及びその他公園内の建物内へはペットを連れて入場はすることはできません(盲導犬・介助犬・聴導犬は除く)。
2. 公園内では必ずリードをつけて放さないようにして下さい。
3. ペットの排泄物の処理は飼い主が責任を持って行い、持ち帰るようにして下さい。
4. 園内の河川や水遊び施設等では、ペットを水の中に入れて下さい。
5. ペットを連れた状態での、こどもの谷の遊具等のご利用はご遠慮下さい。
5. 他のお客様に吠えたり飛びかかるなど、迷惑がかからないようにして下さい。
7. ペットによる事故・トラブルなどが発生した場合は、同伴されたお客様の責任とさせていただきます。
8. 上記のルール・マナーをお守りいただけない場合は、ただちに退園いただく場合があります。また、その際にはお支払いいただいた入園料金・駐車料金等は返却いたしませんのでご了承下さい。

国営滝野すずらん丘陵公園

ペットをお連れのお客様へ

(ホワイトシーズン用)

本日は、滝野すずらん丘陵公園「滝野スノーワールド」にご来園いただきありがとうございます。
ペットをお連れのお客様は、以下のルールをお守りください。

<公園内でのルール>

1. 滝野スノーワールド内の建物内(カントリーハウス、東口・中央口休憩所、虹の巣ドーム、売店、レストラン、すずらんの丘展望台)へは、ペットを連れて入場はすることはできません(盲導犬・介助犬は除く)。
2. 滝野スノーワールド内では、必ずリードをつけて放さないようにして下さい。
3. ペットの排泄物の処理は飼い主が責任を持って行い、持ち帰るようにして下さい。
4. 他のお客様に吠えたり飛びかかるなど、迷惑がかからないようにして下さい。
5. ペットによる事故・トラブルなどが発生した場合は、同伴されたお客様の責任とさせていただきます。
6. 上記のルールをお守りいただけない場合は、ただちに退場いただく場合がございます。また、その際にはお支払いいただいた駐車料金等は返却いたしませんのでご了承下さい。

国営滝野すずらん丘陵公園

パスポート発行

公園の利用者に対し、当該公園に限り 1 年間有効な年間パスポート券を発行する。

【対 象】 一般入園料

【料 金】 大人（15 歳以上）2,800 円、シルバー（65 歳以上）1,300 円

※なお、本料金は平成 30 年度（1 年間）の試行を予定しており、平成 30 年度以降については、別途指示する。

【使用について】 年間パスポートは、以下の国営公園で使用し入園が可能である。

また、発行した公園が以下の国営公園であれば、滝野すずらん丘陵公園で使用し入園が可能である。

1. 国営みちのく杜の湖畔公園
2. 国営常陸海浜公園
3. 国営武蔵丘陵森林公園
4. 国営昭和記念公園
5. 国営アルプスあづみの公園
6. 国営越後丘陵公園
7. 国営明石海峡公園
8. 国営備北丘陵公園
9. 国営讃岐まんのう公園
10. 国営海の中道海浜公園
11. 国営吉野ヶ里歴史公園

【有効期限】 購入日より 1 年間有効

【発行方法】 公園発券窓口及び駐車場窓口において申込み受付及び販売、領収書の発行を行う。

【チェック方法】 入園ゲート及び駐車場入口において確認する。

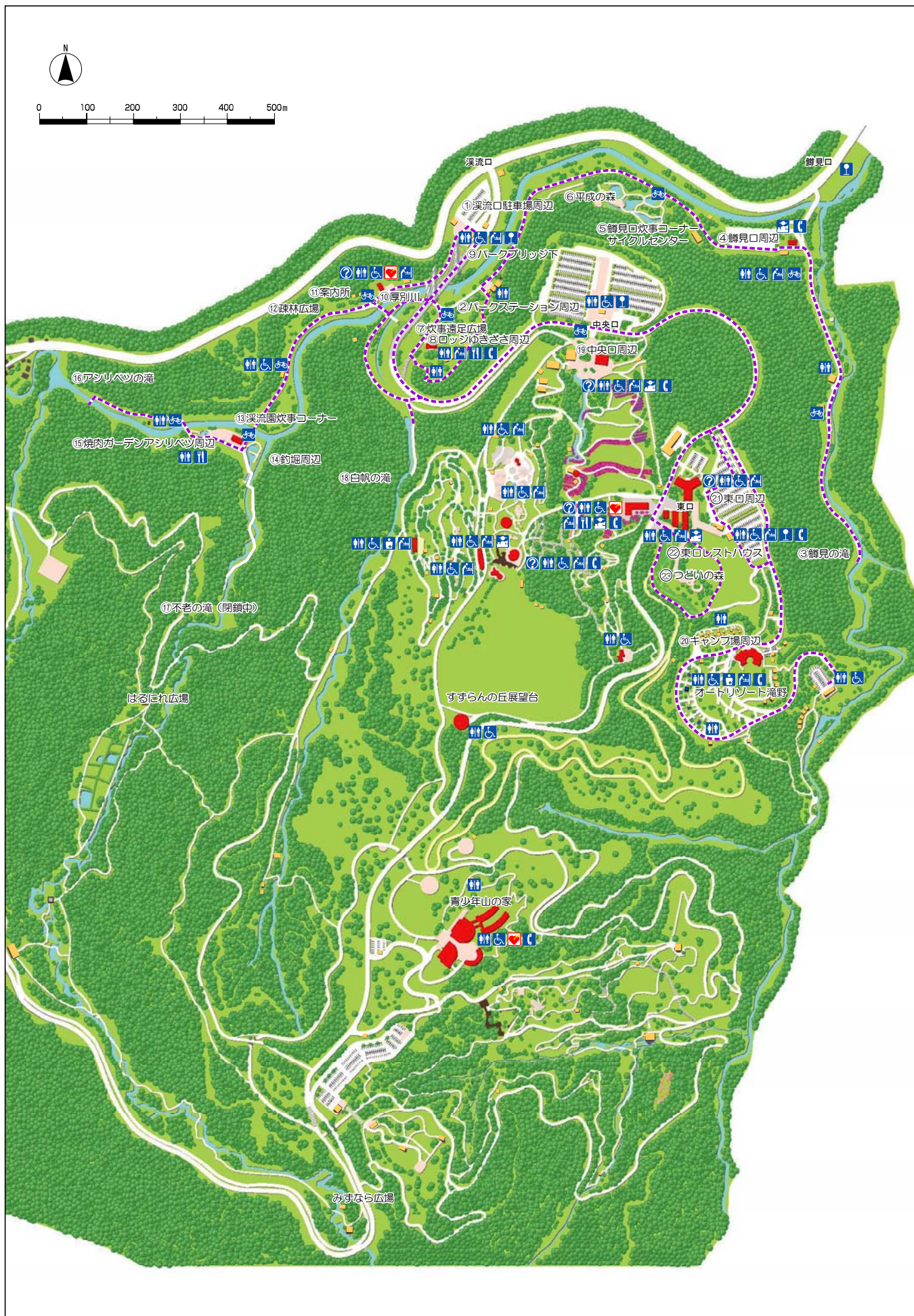
【備 考】 年間パスポート券の発行に必要な機械費及び材料費については、公園運営維持管理業務の事業者が負担する。

巡視ルート、巡視ルート図（案）

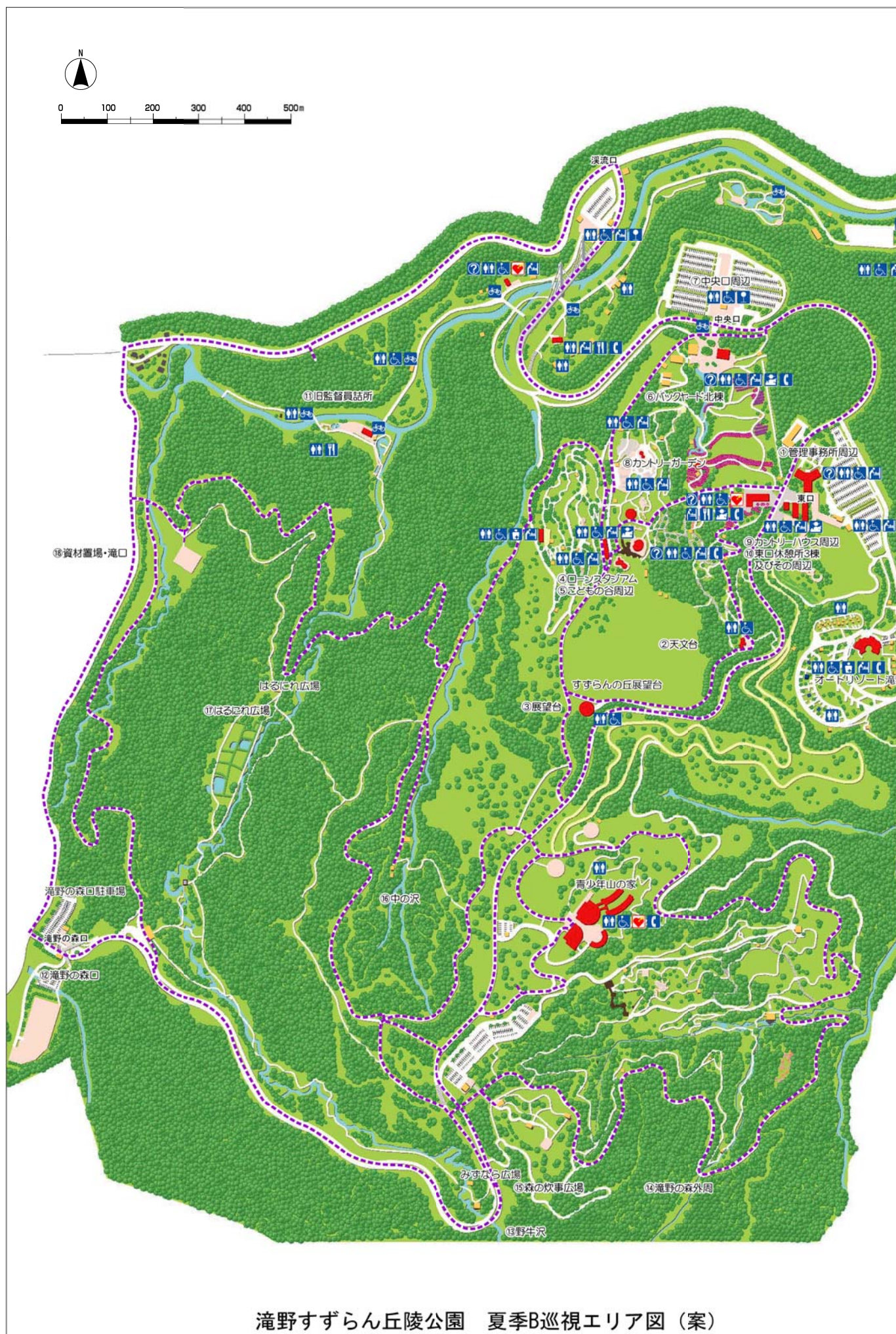
夏季園内巡視順路（案）

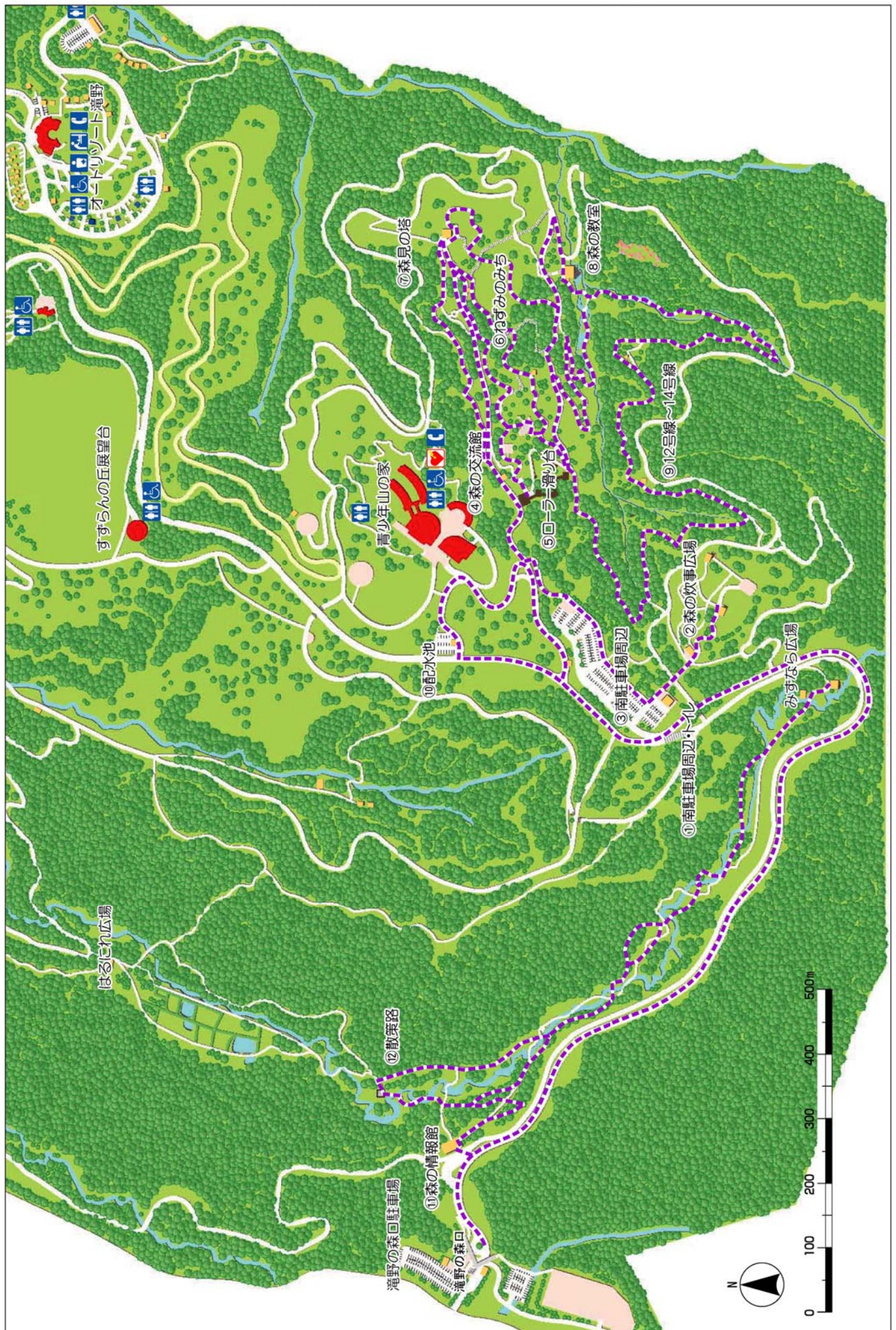
巡視区分	A巡視（通常巡視）	B巡視（通常巡視）	C巡視（繁忙日巡視）	D巡視（通常巡視）
発着地	管理センター	管理センター	管理センター	森の交流館
巡視ルート	管理センター ↓ （溪流口駐車場周辺） ↓ パークステーション周辺 ↓ 鱒見の滝 ↓ （鱒見口周辺） ↓ 鱒見口炊事コーナー サイクルセンター ※サイクルセンター屋外にある動物センターを確認すること。 ↓ 平成の森 ↓ 炊事遠足広場 ↓ ロッジゆきざさ周辺 ↓ パークブリッジ下 ↓ 厚別川 ↓ 案内所 ↓ 疎林広場 ↓ 溪流園炊事コーナー ↓ 釣堀周辺 ↓ 焼肉ガーデンアシリベツ周辺 ↓ アシリベツの滝 ↓ 白帆の滝 ↓ （中央口周辺） ↓ キャンプ場周辺 ↓ （東口周辺） ↓ 東口レストハウス ↓ つどいの森 ↓ 管理センター	管理センター ↓ 管理事務所周辺 ↓ 天文台 ↓ 展望台 ↓ ローンスタジアム ↓ こどもの谷周辺 ↓ バックヤード北棟 ↓ 中央口周辺 ↓ カントリーガーデン ↓ カントリーハウス周辺 ↓ 東口休憩所3棟及びその周辺 ↓ （旧監督官詰め所） ↓ 滝野の森口 ↓ 野牛沢 ↓ 滝野の森外周 ↓ 森の炊事広場 ↓ （中の沢） ↓ はるにれ広場 ↓ 資材置場・滝口 ↓ 管理センター	・混雑状況に応じて適宜入園ゲート周辺及び駐車場周辺を巡回し利用者指導及び案内・誘導を実施 ・東口周辺 ・中央口周辺 ・溪流口周辺 ・鱒見口周辺 ・滝野の森口周辺 ・南駐車場周辺 ・旧監督官詰め所 ・中の沢	・滝野の森ゾーンの主要施設を巡回し、利用者指導及び施設の開施設、点検等を実施 ・2回/日実施 南駐車場周辺・トイレ ↓ 森の炊事広場 ↓ （南駐車場周辺） ↓ 森の交流館 ↓ ローラー滑り台 ↓ ねずみのみち ↓ 森見の塔 ↓ 森の教室 ↓ 12号線～14号線 ↓ 配水池 ↓ 森の情報館 ↓ 散策路

* C巡視を配置している時は、（ ）箇所をC巡視で巡回



滝野すずらん丘陵公園 夏季A 巡視エリア図 (案)

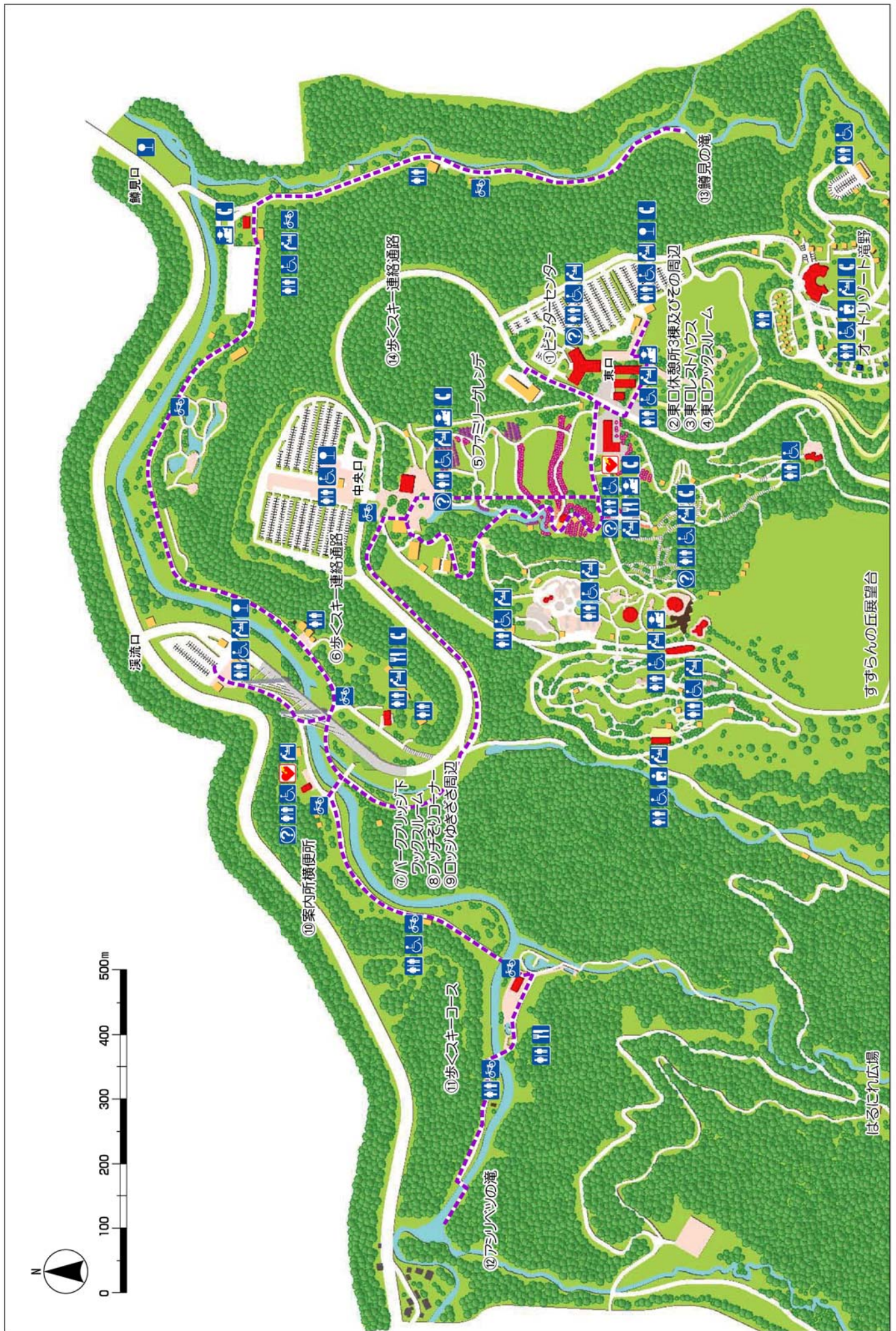




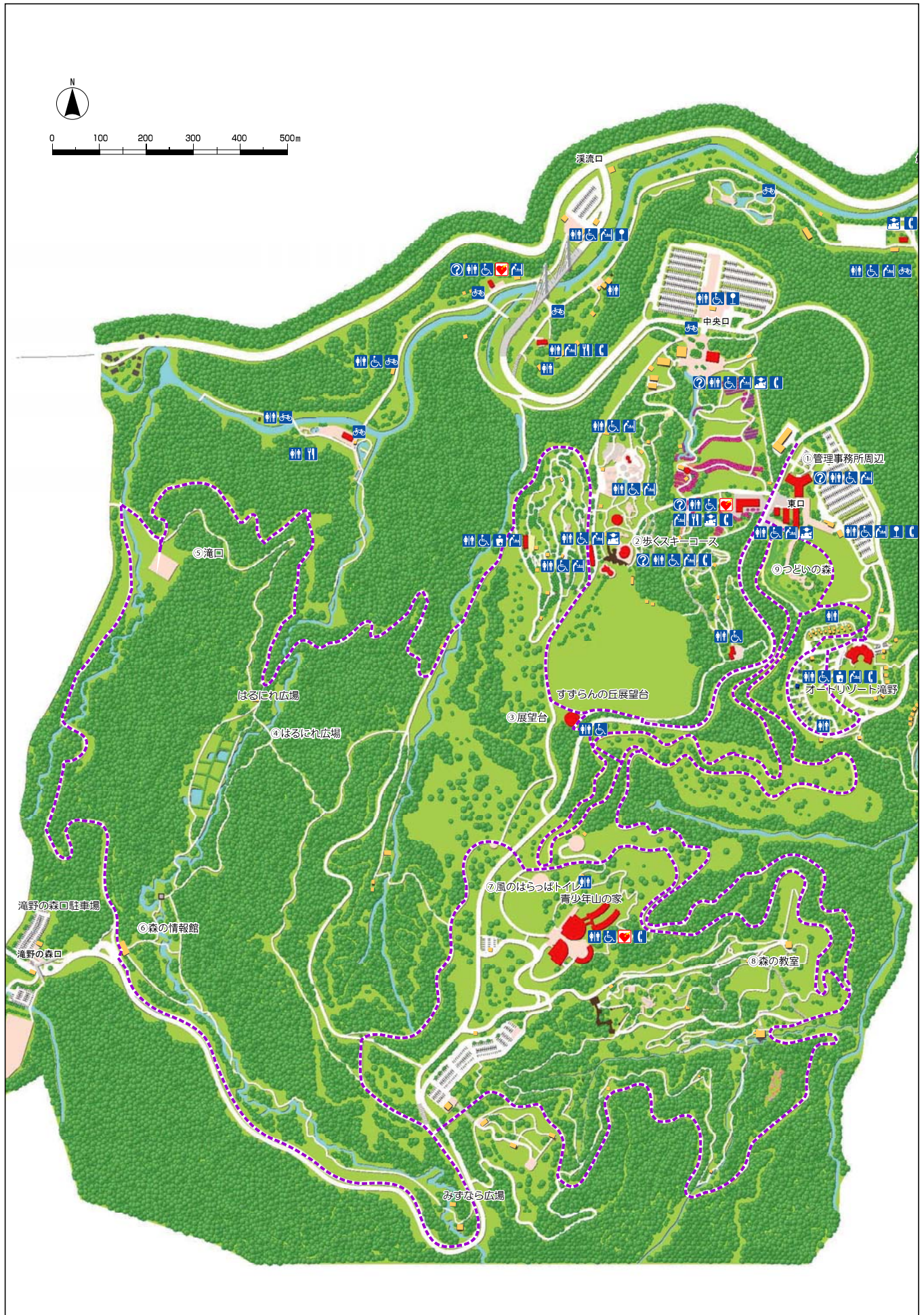
滝野すすらん丘陵公園 夏季D巡視エリア図（案）

冬季園内巡視順路（案）

巡視 区分	A巡視（通常巡視）	B巡視（通常巡視）	C巡視（通常巡視）	D巡視（通常巡視）
発着地	管理センター	管理センター	管理センター	森の交流館
巡視 ルート	管理センター ↓ ビジターセンター ↓ 東口休憩所3棟及びその周辺 ↓ 東口レストハウス ↓ 東口ワックスルーム ↓ ファミリーゲレンデ ↓ 歩くスキー連絡通路 ↓ パークブリッジ下ワックスルーム ↓ プッチソリコーナー ↓ ロッジゆきざさ周辺 ↓ 案内所横便所 ↓ 歩くスキーコース ・アシリベツの滝 ・鱒見の滝 ↓ 歩くスキー連絡通路 ↓ 管理センター	管理センター ↓ 管理事務所周辺 ↓ 歩くスキーコース ・展望台 ↓ はるにれ広場 ↓ 滝口 ↓ 森の情報館 ↓ 風のはらっぱトイレ ↓ 森の教室 ↓ つどいの森	・混雑状況に応じて適宜入園 ゲート周辺及び駐車場を巡回 し利用者指導、案内・誘導及 び軽微な除雪作業を実施 ・配水池は2回/日巡回 ・東口駐車場周辺 ・中央口駐車場周辺 ・溪流口駐車場周辺 ・滝野の森口周辺 ・南駐車場周辺 ・配水池	・滝野の森ゾーンスノーシュー エリア等を巡回し、利用者指 導及び施設の点検等を実施 ・平日は1回/日、土日祝日は 2回/日実施 ・森の情報館 ・森の交流館 ・スノーシューエリア ・南駐車場周辺 ・配水池



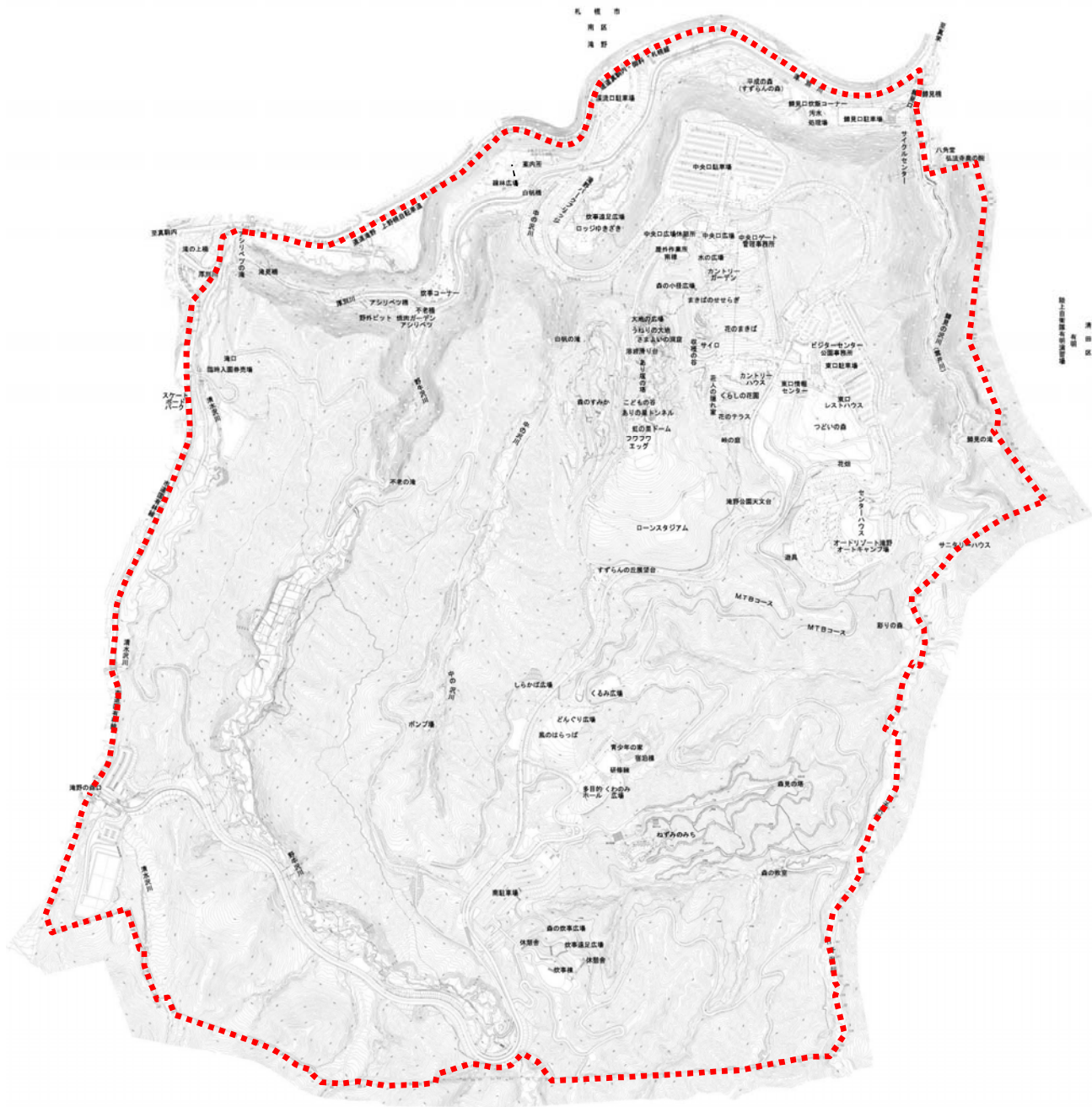
滝野すずらん丘陵公園 冬季A巡視エリア図 (案)



滝野すずらん丘陵公園 冬季B巡視エリア図（案）

困障巡視ルート図

囲障巡視ルート図

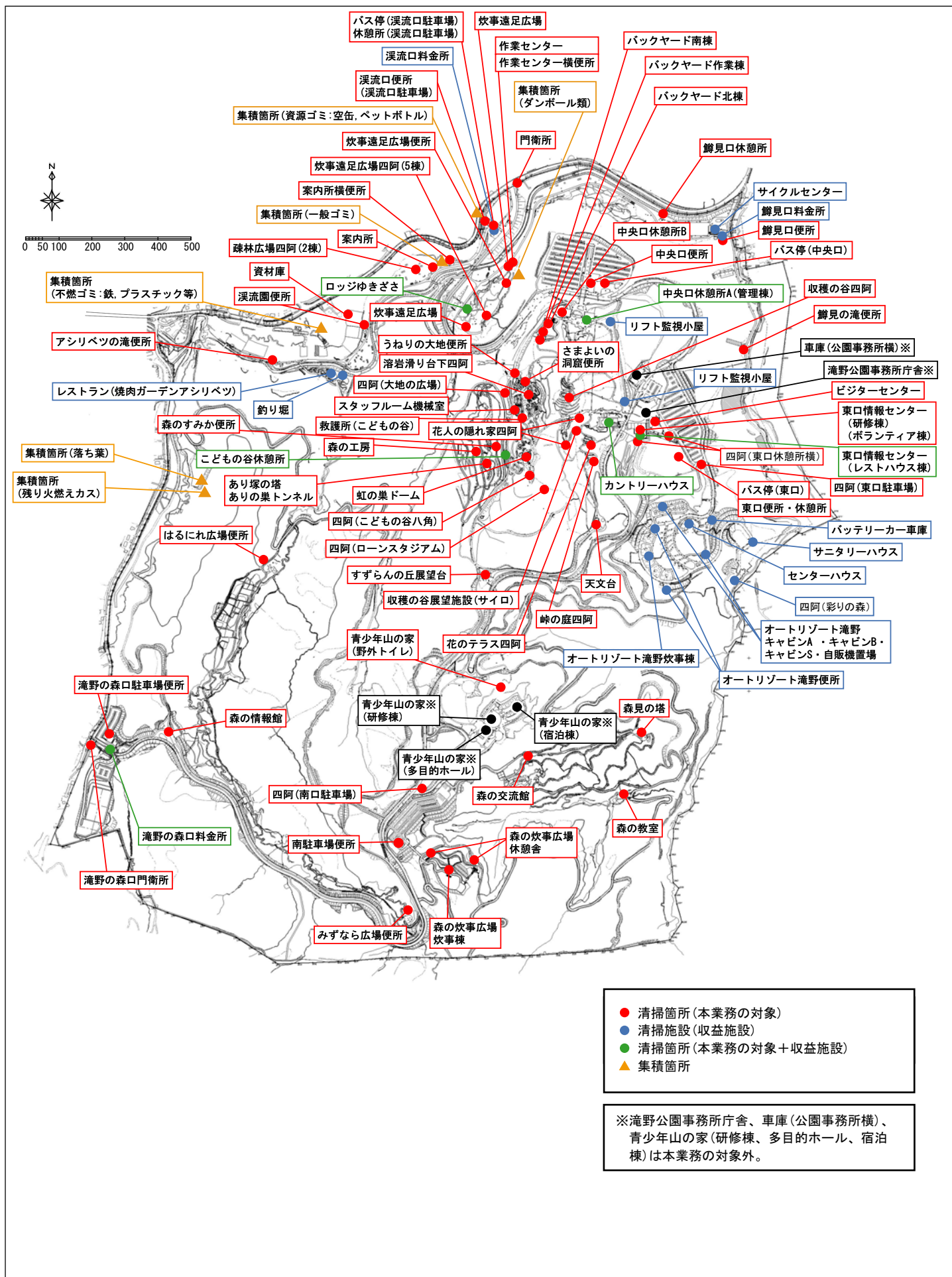


平成 年度 門衛業務日誌				担当者	担当者	
平成 年 月 日 曜日				記載者（氏名・印）		
入口名	番号	業務開始時間	業務終了時間	警備員氏名		備 考
湫 流 口	1	：	：			
	2	：	：			
	3	：	：			
	4	：	：			
	5	：	：			
	車両区分		入園台数	特記・注意事項		
	工事関係		台			
	業務関係		台			
	警察・消防等緊急		台			
	オートリゾート滝野利用者		台			
	その他		台			
	緊急事案処理報告内容					
	クマ侵入防止柵設置確認		着時 開・閉	撤去時間	：	設置時間

平成 年度 門衛業務日誌				担当者	担当者	
平成 年 月 日 曜日				記載者（氏名・印）		
入口名	番号	業務開始時間	業務終了時間	警備員氏名	備 考	
滝 野 の 森 口	1	:	:			
	2	:	:			
	3	:	:			
	4	:	:			
	5	:	:			
	車両区分		入園台数	特記・注意事項		
	工事関係		台			
	業務関係		台			
	警察・消防等緊急		台			
	オートリゾート滝野利用者		台			
	その他		台			
	緊急事案処理報告内容					
	クマ侵入防止柵設置確認		着時 開・閉	撤去時間	:	設置時間

国営滝野すずらん丘陵公園

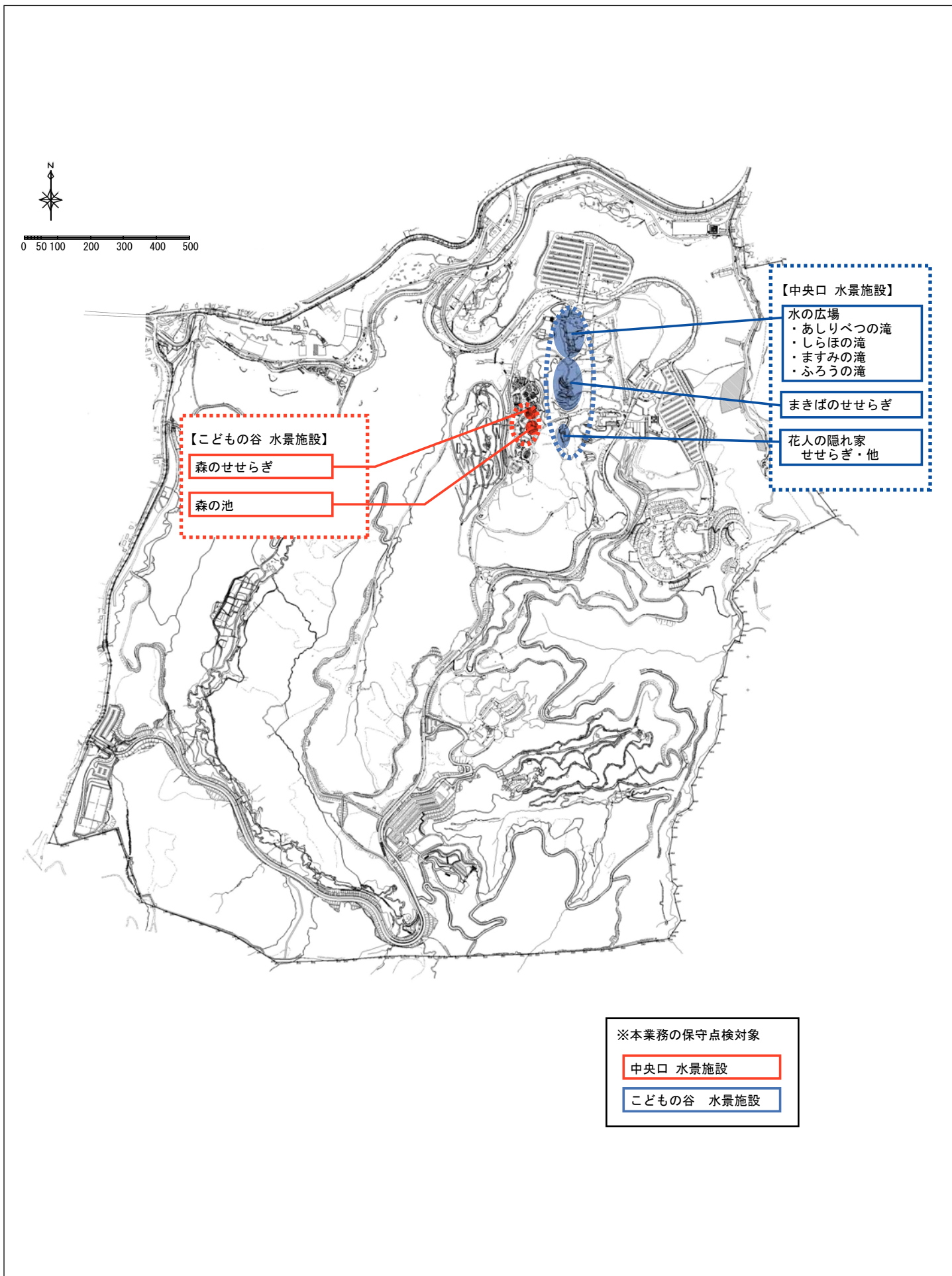
建物に係る点検整備（位置図）



建物に係る点検整備（位置図）

国営滝野すずらん丘陵公園

工作物に係る点検整備（位置図）



工作物に係る点検整備（位置図）

自動ドア及び天体望遠鏡保守点検等対象施設

■ 自動ドア保守点検等対象施設

設置箇所	仕様	製造会社（参考）
すずらの丘展望台正面	両引き分け式	寺岡ファシリティーズ（株）
滝野公園事務所庁舎 （ビクターセンター） 2 F ①外	片引き分け式	寺岡ファシリティーズ（株）
虹の巣ドーム	両引き分け式	寺岡ファシリティーズ（株）
東口情報センター 研修棟	両引き分け式	寺岡ファシリティーズ（株）
東口情報センター レストラン棟	両引き分け式	寺岡ファシリティーズ（株）
東口情報センター ボランティア棟	両引き分け式	寺岡ファシリティーズ（株）
こどもの谷休憩所 外右	両引き分け式	寺岡ファシリティーズ（株）
こどもの谷休憩所 外左	両引き分け式	寺岡ファシリティーズ（株）
こどもの谷休憩所 内右	片引き分け式	寺岡ファシリティーズ（株）
こどもの谷休憩所 内左	二重引き分け式	寺岡ファシリティーズ（株）
中央口休憩所A 内	両引き分け式	ナブコシステム（株）
中央口休憩所A 外	両引き分け式	ナブコシステム（株）
カントリーハウス1F 内	両引き分け式	ナブコシステム（株）
カントリーハウス1F 外	両引き分け式	ナブコシステム（株）
カントリーハウス2F	片引き分け式	ナブコシステム（株）
ロジックきざさ	片引き分け式	ナブコシステム（株）
案内所	片引き分け式	ミリオン自動ドア（株）
森の交流館 1 F 外	両引き分け式	ナブコシステム（株）
森の交流館 1 F 内	両引き分け式	ナブコシステム（株）
森の交流館 B 2 F 外	両引き分け式	ナブコシステム（株）
森の交流館 B 2 F 内	片引き分け式	ナブコシステム（株）
森見の塔 2 F	両引き分け式	ナブコシステム（株）
森見の塔 3 F	両引き分け式	ナブコシステム（株）
森の情報館 2 F 外	両引き分け式	YKK AP（株）
森の情報館 2 F 内	両引き分け式	YKK AP（株）
森の情報館 1 F 外	片引き分け式	YKK AP（株）
森の情報館 1 F 外	片引き分け式	YKK AP（株）
森の情報館 B 1 F 外	片引き分け式	YKK AP（株）
溪流口門扉	両開き式	（株）北辰
滝野の森口門扉	両開き式	ナブコシステム（株）

■ 天体望遠鏡保守点検等対象施設

設置箇所	型式	製造会社（参考）
15cm屈折望遠鏡（4基）	GNR-15	三鷹光器（株）
30cm反射望遠鏡（1基）	GNC-30	三鷹光器（株）
周辺機器（パソコン）		
可動式上屋・ドーム		

除雪工等実施要領(案)

第1章 共通事項

第1条 計画・準備

1. 事業者は、作業を円滑に実施できるよう無積雪時の状態を確実に把握すると同時に、スノーポール等を設置し、縁石等各工作物を破損することが無いよう備えなくてはならない。
2. 事業者は、使用機械・機種等の変更が必要な場合には、事前に調査職員等と協議するものとする。

第2条 情報収集

事業者は、作業を実施する箇所の気象に関する情報を集め、気象状況及び路面状況等を確実に把握しなければならない。また、早急に対応できるよう連絡体制を整えなければならない。

第3条 作業時間

作業(ハンドガイド式除雪機を除く)は特別な指示がない場合、原則として閉園時間内に行うものとし、それを過ぎて作業を行う場合には、公園利用調整を行うこと。

ただし、ハンドガイド式除雪機により行う除雪作業はこの限りではない。

※注 開園時間(12/23～3/31)9:00～16:00

第4条 機械作業に伴う安全の確保等

1. 機械作業中は、常に黄色回転灯を点灯し必要に応じサイレンを鳴らして利用者及び他の管理車輛等に注意を促すこと。
2. 機械作業を行う事業者は、自動車保険(対人無制限、対物 500 万円、免責無し、搭乗者傷害あり)に加入すること。また、加入の証明として保険証書の写しを提出すること。

第2章 除雪工(園内除雪工、運搬排雪工)

第5条 出動基準

出動の基準は、以下の通りとする。

1. 除雪作業

(1)降雪量による出動は以下を基準とする。(ソリゲレンデを除く)

昼間(5:00～22:00)…5～10cm以上の降雪(新たな積雪)があった場合。

夜間(22:00～5:00)…10cm以上の降雪(新たな積雪)があった場合。

(2)(1)に定める基準の他、路面状況・降雪強度・風雪・地吹雪・吹き溜まり等の状況を総合判断し、適切かつ迅速に出動すること。

(3)その他業務責任者が判断した場合。

2. 運搬排雪

(1)シーズン初期におけるソリゲレンデ、ファミリーゲレンデ等の運用に必要な成形用の雪は幹線園路や駐車場等から運搬するものとする。

(2)園路路肩及びパークブリッジ、公園事務所駐車場周辺等に雪堤が生じ、拡幅する余地がなく、必要な幅員の確保が困難となった時、又は次の除雪作業が困難となる恐れがある時には業務責任者が判断し、運搬排雪を行うものとする。

(3)その他業務責任者が判断した場合。

第6条 除雪箇所

1. 幹線園路(溪流口～東口駐車場)
2. 幹線園路(滝野の森口～青少年山の家)
3. 溪流口バス停周辺
4. 溪流口駐車場～案内所
5. 中央口駐車場プロムナードデッキ及び中央口バス停周辺～中央口ゲート周辺
6. 東口レストハウス周辺～東口バス停周辺
7. 東口ゲート及び東口情報センター周辺
8. 公園事務所周辺
9. 虹の巣ドーム及び子どもの谷休憩所周辺
10. 中央口通用口～子どもの谷管理用園路
11. 中央口通用門～中央管理A棟園路
12. すずらんの丘展望台入口周辺
13. 南駐車場～森の交流館
14. 公園事務所脇通用門～東口情報センター脇(給油作業時のみ)
15. ソリゲレンデ
16. その他業務責任者が判断する箇所
17. その他調査職員等の要請する箇所

第7条 除雪作業の仕上げ

除雪作業の仕上げは以下の通りとする。

1. 除雪作業
 - (1)園路の幅員を確保するよう仕上げること。
 - (2)園路面は、公園利用者の歩行及び車両の走行に支障がないよう仕上げること。
 - (3)凍結によって路面条件が悪くなり車両の走行及び歩行者に危険を及ぼす恐れがあると判断された場合は、幹線園路等に砂を散布すること。
 - (4)駐車場の出入口、通行の交差がある箇所等については安全視距の確保を行うこと。
 - (5)青少年山の家宿泊棟避難路については、災害時に支障のないよう適宜、圧雪を行うこと。
2. 運搬排雪
 - (1)路面等の堆雪を排除し、路面は通行上支障になる段差が生じないように仕上げること。
 - (2)排雪作業期間の雪捨て場は、事業者が常に良好な状態を保たなければならない。

第8条 その他

作業日報には、天候、気温、降雪量の気象情報と除雪作業機械の出動機種台数、出動時刻、終了時刻を記載すること。

第3章 滝野スノーワールド整備（園内圧雪工）

第9条 出動基準

出動の基準は、以下の通りとする。

1. 圧雪作業

圧雪作業の出動は以下を基準とする。

(1) スキーゲレンデ、ソリゲレンデ…降雪に関わらず原則として毎日出動する。

歩くスキーコース……………5cm以上の降雪(新たな積雪)があった場合。

(2) (1)に定める基準の他、圧雪面状況・地吹雪等の状況により圧雪が必要と判断された場合。

(3) その他業務責任者の指示する場合。

(4) 上記(1)～(3)基準を満たす場合においても、以下の場合、雪崩による事故が発生する危険性があるため該当箇所の圧雪作業は行わないものとする。

1). 圧雪作業中に雪崩を発見した場合。

2). 法面上の雪面に亀裂が確認された場合。

3). 圧雪作業開始時の気象情報において、雪崩注意報に加えて暴風雪警報又は大雪警報が発令されていた場合。気象情報は札幌管区気象台情報とし、該当地域は石狩中部とする。

4). その他業務責任者の指示する場合。

上記1)、2)、3)の理由により作業を中止した場合、すみやかに調査職員等に報告し、必要に応じ施設を閉鎖するものとする。

雪崩確認後の作業は、以下の基準もしくは調査職員等の指示に基づいて実施するものとする。

雪崩発生



雪崩発生区間閉鎖



降雪終了(24時間以内に10cm以上の降雪がなければ降雪終了とみなす)



48時間以内に10cm以上の降雪がなければ閉鎖解除、作業開始

第10条 圧雪箇所

1. 歩くスキーコース
2. 連絡通路
3. つどいの森
4. ファミリーゲレンデ
5. そりゲレンデ
6. プッチそりコーナー(パークブリッジ下)
7. 東口広場～こどもの谷園路
8. 風のはらっぱ
9. 車庫前～東口情報センター脇(灯油給油作業後埋戻し)
10. 中の沢機械室～中の沢分岐(適宜圧雪)
11. その他業務責任者の指示する箇所

※各歩くスキーコースは一部重複する。

第 1 1 条 圧雪作業の仕上げ

1. 圧雪面に凹凸などの危険箇所がないよう均一に仕上げること。
2. 歩くスキーコースで下記に示している区間にクラシカルスタイル用のトラックを設けること。
 - ・溪流ゾーンせせらぎコース
 - ・東口軽食コーナー裏ロータリー ～ すずらんの丘展望台下幹線園路
 - ・滝口 ～ わに口トンネル（トンネル内はトラック無し）
3. その他業務責任者の指示によるものとする。

第 1 2 条 圧雪車仕様等

1. 設計では、圧雪車 3 台(PB100-28×2 台、PB200TheEdge)を通年のリース契約で計上している。
2. 圧雪車は、運行前・運行後点検を確実にを行い、異常及び故障を発見した場合は、速やかに事業者の責任において対応するものとする。また、修理等により圧雪基準を満たされない恐れがある場合は調査職員等に報告・協議すること。
3. 圧雪車は、シーズンオフに年点検整備を行うこととする。

第 1 3 条 燃料給油等

1. バックヤード北棟横にある固定給油設備を使用することができる。
2. 圧雪車の給油作業は、丙種危険物取扱者が直接行うか、もしくは甲種危険物取扱者又は乙種第 4 類危険物取扱者の立会いのもとで行うこと。
3. 給油伝票は必ず保管すること。

第 1 4 条 その他

作業日報には、天候、気温、降雪量の気象情報と除雪作業機械の出動機種台数、出動時間、終了時間を記載すること。

第 4 章 附帯除雪工（屋根雪下ろし）

第 1 5 条 作業時間（屋根雪下ろし作業工）

原則として閉園時間内に行うものとし、それを過ぎて作業を行う場合には、必ず公園利用調整を行うこと。※注 閉園時間（12/23～3/31 16：00～9：00）

ただし、雪下ろし対象構造物が公園利用者等の影響の無い箇所であるときはこの限りではない。

第 1 6 条 施工箇所及び施工手順（参考）は次のとおりとする。

1. 屋根雪下ろし対象箇所
(1) 工作物の屋根の雪下ろし作業は、1 シーズン 1 ～ 2 回行うこと。

第 1 7 条 その他

屋根雪下ろし作業には、必ず安全帯を着用し、建物等からの墜落、転落、滑落、転倒などには十分注意すること。

開閉園準備実施要領(案)

第1章 共通事項

第1条 計画

1. 事業者は、作業計画において使用機械、作業方法等の変更が生じた場合は、事前に調査職員等と協議するものとする。

第2条 施工箇所及び施工方法

1. 春季開園準備工は、冬期撤去していた遊具の設置、雪囲いの撤去を行い、また、遊具の使用前点検を行うものとする。第2章の「春季開園準備作業手順」を参考とする。
2. 冬季開園準備工は、冬期間に備え、使用していた遊具の撤去、雪囲いの設置、リフト設備整備進入路等の作業を行うものとする。第3章の「冬季開園準備作業手順」を参考とする。

第3条 資材の搬入及び撤去

作業に必要な資材(部材)は、看板倉庫から搬出するものとし、撤去・解体した資材は、看板倉庫に整理整頓すること。

第2章 春季開園準備作業

以下に代表的な作業を示しているが、それ以外の作業についても適切に行う。

第4条 遊具等設置及び雪囲い(養生)撤去作業(代表事例)

(1) フワフワエッグ(大)養生撤去

- ・ 覆っているコンパネを撤去し、外周及び高さ調整に使用した土のうを撤去する。

(2) フワフワエッグ(小)養生撤去

- ・ 養生用シート及び土のうを撤去する。

(3) フワフワエッグバタフライ弁養生撤去

- ・ 子供の谷フワフワエッグ(大・小)のバタフライ弁グレーチング部(2箇所)ベースコンクリート部周囲(100×100)に設置の断熱材及び上部土のうの撤去を行う。パネル固定資材(土のう)を撤去した後、同寸大のスタイロホームを取り除く。
- ・ なお、グレーチング内の堆積雪を撤去した上で作業を実施する。

(4) マウントコニーデ搬入・設置

- ・ マウントコニーデ(64本)をありの巣トンネル内から搬入する。
- ・ 養生用シート及び土のうを撤去し、マウントコニーデを搬入した後、設置する。

(5) 光の遊具養生撤去

- ・ 光の遊具(3基)の養生用シートを撤去する。

(6) 標識取付

- ・ 溪流ゾーンからアプローチ園路沿いにある、サイクリング看板(11箇所/14基)を収納先から搬入し、設置する。なお、規制標識(2箇所/5基…基礎ごと外せて、「押して歩いてください」という標記のもの)については看板本体ごと設置、それ以外のもの(9箇所/9基…基礎が外せないタイプで園路沿いに設置されているもの)については板面のみを取り付ける。

(7) りすの散歩路養生撤去(トンネル)

- ・養生用シートを撤去する。
- (8) りすの散歩路養生撤去(ジャングルジム)
 - ・養生用シートを撤去し、単管のフレームを解体する。
- (9) 木登りネット養生撤去
 - ・養生用シートを撤去する。
- (10) こかげネットB 養生撤去
 - ・養生用シート及びコンパネを撤去し、単管のフレームを解体する。
- (11) 森の吊橋設置・養生撤去
 - ・養生用シートを撤去し、吊橋のネットを設置する。
- (12) トロッコ遊具・こもれびネット養生撤去
 - ・トロッコ遊具については、養生用シートを撤去する。
 - ・こもれびネット(1基)については、ありの巣トンネルより搬入し、設置する。
- (13) ありの巣トンネル雪囲い撤去
 - ・トンネル出入り口の固定ビスを抜き取り、コンパネを撤去する。コンパネ撤去後、枠を取外し、単管を解体する。
- (14) 秘密の抜け道雪囲い撤去
 - ・トンネル入口2箇所の松材の控柱を外し、内部へ進入可能な扉を備えた脱着式コンパネを取外す。
- (15) ねずみのみちロープ柵緊張
 - ・冬期間、弛めてあったロープ柵のロープを緊張させる。

第5条 建物雪囲い(養生) 撤去作業

- (1) 森の教室雪囲い設置
 - ・冬期間設置してあった森の教室窓用防雪板を撤去し、森の教室倉庫に収納する。
- (2) トロッコ橋展望台横便所雪囲い撤去
 - ・垂木の控柱を外し、コンパネを取外す。(正面1基、左右窓2基)
- (3) 天文台雪囲い撤去
 - ・設置している杭丸太、鉄ピン、ブルーシート、コンパネ、スタイロホーム、ヌキ、垂木、発泡材袋を全て撤去する。
- (4) 森見の塔雪囲い撤去
 - ・入口正面の外側階段のパネルを撤去し、単管骨組み及びジャッキベース等を解体する。
- (5) ワックスルーム移設(2棟)
 - ・冬期間使用していたパークブリッジ下及び、東口駐車場付近に設置のワックスルーム(7200×5400)の四隅にワイヤーを掛け、トラッククレーンにて吊上げ車両に積み込み、滝野の森口多目的広場(調査職員等の指示場所)に運搬した後、ブロック(6個)を置き、その上に仮置する。

第6条 スノーワールド撤去作業(代表事例)

- (1) 中央口クロスポイント鉄板撤去
 - ・中央口北園路とアプローチ園路のクロスポイントの鉄板9枚を撤去する。なお、作業方法は鉄板にワイヤーを掛け、トラッククレーンにて吊上げ車両に1枚ずつ積み込み、倉庫

に搬入保管する。

(2) 歩くスキースタート・ゴール看板撤去

- ・ 芝生の損傷を防止するため、積雪の残るうちにバックホウを使用して作業する。
- ・ 看板本体を養生した後、ベルトを掛け、バックホウにより、吊り下げ固定した状態で基部を人力掘削し撤去する。その後、看板部と脚部に分け運搬車両に積み込み、指定場所に運搬し整頓する。
- ・ 撤去掘削の際には地下埋設物(パークブリッジ下電線、つどいの森水道管)に損傷を与えないよう十分留意すること。
- ・ 芝生部分に重機が侵入する際にはパネル等により養生を行う。

(3) ロープトゥ防護柵撤去

- ・ 各ロープトゥの固定ビスを抜き取り、カラーコンパネを取外す。
- ・ カラーコンパネ撤去後、垂木を取外し、単管を解体する。

(4) 鯉のぼりポール設置・撤去(8箇所)

- ・ ポールの先端に矢車と滑車を取付け、基礎柱の間に建て込み、2箇所をボルトで固定し鯉のぼりを取り付ける。
- ・ 期間終了後、鯉のぼりを取外し、ボルトを抜き、ポールを横にし、矢車と滑車を取外し、運搬車両に積み込み指定場所に運搬し整頓する。

第7条 積雪柵撤去

撤去箇所は次のとおり。

1) 展望台から天文台間脱色アスファルト園路(地点A)

延長 115.6m、高さ 1.8m

2) 展望台裏幹線園路(地点B)

延長 73.1m、高さ 0.9m

3) やまびこトンネル上幹線園路(地点D)

延長 15.3m、高さ 0.9m

4) やまびこトンネル上幹線園路(地点E)

延長 15.3m、高さ 0.9m ※総延長 219.3m(合計)

第8条 資材の搬出・搬入撤去

資材は指定場所へ搬出・整理、また、使用資材は看板倉庫等より搬入するものとする。

第3章 冬季開園準備作業

以下に代表的な作業を示しているが、それ以外の作業についても適切に行う。

第9条 遊具等撤去及び雪囲い(養生)設置作業

(1) フワフワエッグ(大)養生

- ・ 該当する外周部に沿って土のう(150袋程度)を設置し、内側にはコンパネの高さを保持するための土のう(250袋程度)を設置する。
- ・ 土のうで高さが均等となるようにコンパネ(300枚程度)を平坦に設置していく。

(2) フワフワエッグ(小)養生

- ・ 内部の空気を抜き、養生用シートで覆ったうえ、土のうを全面に配置し、固定する。

- (3) フワフワエッグバタフライ弁養生
- ・ こどもの谷フワフワエッグ(大・小)のバタフライ弁グレーチング部(2箇所)にベースコンクリート部周囲(100×100)にシリコンコーキングを行い、その上にスタイロホームを設置し、同寸のパネルを乗せた上で土のうを設置する。
 - ・ なお、グレーチング内の堆積土砂を撤去した上で作業を実施する。
- (4) マウントコニーデ撤収・養生
- ・ マウントコニーデ(64本)を取り外したうえでありの巣トンネル内に撤収する。
 - ・ 突起物(ウレタン)を足元のボルトから外し、室内に保管する。突起物を外した状態でゴムチップ舗装部にブルーシートを敷く。
 - ・ マウントコニーデを撤収した後、養生用シートで覆ったうえで、土のうを全面に配置し、固定する。
- (5) 光の遊具養生
- ・ 光の遊具(3基)を養生用シートにて覆い、ナイロンロープにて結び固定する。
- (6) 標識取外
- ・ 溪流ゾーンからアプローチ園路沿いにある、サイクリング看板(11箇所／14基)についてこれを撤去し、別図に指定した倉庫に収納する。なお、規制標識(2箇所／5基…基礎ごと外せて、「押して歩いてください」という標記のもの)については看板本体ごと引き抜き、それ以外のもの(9箇所／9基…基礎が外せないタイプで園路沿いに設置されているもの)については板面のみを取り外す。
- (7) りすの散歩路養生(トンネル)
- ・ 養生用シートにて覆い、ナイロンロープにて結びつける。
- (8) りすの散歩路養生(ジャングルジム)
- ・ 単管にて外側にフレームを作り、その上を養生用シートにて覆いナイロンロープで結びつける。
- (9) 木登りネット養生
- ・ 養生用シートにて覆い、ナイロンロープで結びつける。
- (10) こかげネットB養生
- ・ 単管にて外側にフレームを作り、その上をコンパネと養生用シートにて覆いナイロンロープで結びつける。
- (11) 森の吊橋撤去・養生
- ・ 吊橋部のネットを外した後、養生シートにて覆い、ナイロンテープで結びつける。
- (12) トロッコ遊具・こもればいネット養生
- ・ トロッコ遊具については養生用シートで覆ったうえでナイロンロープで結びつける。
 - ・ こもればいネット(1基)については外したうえでありの巣トンネル内に収納する。
- (13) ありの巣トンネル冬囲い設置
- ・ トンネル出入り口をコンパネと単管にて固定し養生する。
- (14) 秘密の抜け道雪囲い設置
- ・ トンネル入口2箇所を垂木で入口内側に支柱を格子状に設置し、内部へ進入可能な扉を備えた脱着式コンパネを木ネジで固定する。
- (15) ねずみのみちロープ柵養生
- ・ ロープ柵のロープの緊張を弛める。

第10条 建物雪囲い（養生）設置作業

(1) 森の教室雪囲い設置

- ・ 森の教室倉庫収納してある教室窓用防雪板を設置する。

(2) トロッコ橋展望台横便所雪囲い設置

- ・ 便所(正面1基、左右窓2基)を垂木で内側に支柱を設置し、その支柱にパネルを木ネジで固定する。

(3) 天文台雪囲い設置

- ・ 天文台立ち上げ窓ガラス部8枚(7箇所)に雪囲いを設置する。
- ・ 窓全面にスタイロホームを張り、その後、ビニールシートでスタイロホームを覆い、ヌキと垂木で格子を作り、押さえとする。
- ・ ヌキ上部に控え用の杭丸太を斜に設置し、杭丸太基部は鉄ピンにて固定する。
- ・ 杭丸太上部にコンパネを敷き、ブルーシートで覆い、ヌキを使いコンパネとブルーシートを固定する。
- ・ 縦ヌキと杭丸太基部に張り止めのヌキを設置する。
- ・ テント状となった内部に発泡材粒子の詰まった袋を詰め込む。

(4) 森見の塔雪囲い設置

- ・ 外部階段入口に積雪時にも進入を防止できる構造・範囲で雪囲いを設置する。
- ・ 入口正面の外側階段にパネルをL字型に設置し、単管を骨組みしてジャッキベース、番線等使用し、パネルを固定する。
- ・ 2階及び3階出入り口全面にスタイロホームを張り、その後ビニールシートでスタイロホームを覆い、その上から土のう・テープ等で止水処理を行う。なお、各グレーチング部分に凍結防止ヒーターを設置する。

(5) ワックスルーム移設(2棟)

- ・ 冬期間、滝野の森口多目的広場に仮置していたワックスルーム(7200×5400)をパークブリッジ下及び、東口駐車場付近へ積み込み・運搬後、ブロック(6個)を置き、その上に設置する。

第11条 スノーワールド準備作業（代表事例）

(1) 中央口クロスポイント敷鉄板設置

- ・ 中央口北棟裏園路とアプローチ園路のクロスポイント(除雪路と歩くスキーコースの交差部)に敷鉄板を9枚設置する。

(2) 歩くスキースタート・ゴール看板設置

- ・ パークブリッジ下園路を跨ぐような形で歩くスキースタート・ゴール看板を設置する。
- ・ つどいの森に歩くスキースタート・ゴール看板を設置する。
- ・ 上記の2箇所については看板倉庫より部材を運搬し、現地にて組み立てる。その際、部材に腐食等により使用に耐えうることができないと思われる場合は調査職員等に報告し、指示を仰ぐ。
- ・ 建て込みの際には十分な据削深を保ち、埋め込み部は寝枷丸太を用いて十分な強度を達成すること。なお、振削の際には地下埋設物(とりわけパークブリッジ下電線、つどいの森水道管)に留意する。
- ・ 芝生部分に重機が進入する際には事前にパネルを敷設するなど養生を行う。

- ・ 設置箇所については調査職員等と現場にて協議のうえ決定するものとする。

(3) ロープトゥ防護柵設置

ロープトゥ山麓原動滑車巻き込み防止防護柵の設置、ロープトゥは原動滑車の前にコンパネ 1 枚分をロープと直角に設置する。

第 12 条 積雪柵設置作業

設置箇所は、撤去箇所による。

※資材の搬入及び撤去

作業に必要な資材は看板倉庫から搬出するものとし、撤去・解体した資材(部材)は看板倉庫に整理整頓すること。

また、不足資材等については、調査職員等と協議すること。

【参考資料】冬季開閉園準備作業

1. 降雪前に行う作業その1

①移動式木製ベンチ移動・設置・撤収・収納・冬囲い作業

《作業内容》

- ・ 木製ベンチを冬季利用実態に合わせて、建物内や建物周辺に移動する。
- ・ 溪流ゾーンのベンチは、サイクルセンターへ収納する。
- ・ 子供の谷内で必要のないベンチは、ありの巣トンネル内への収納と子供の谷皿期地区内のベンチは、森のせせらぎに集め雪が入らないよう、ブルーシートをかぶせてひもで縛る。
- ・ 子供の谷皿期地区内に重量があるイス6基については、ユニックで吊って1箇所にとまとめ整理し、ブルーシートをかぶせてひもで縛る。
- ・ カントリーガーデン内のベンチについては、峠の庭や花人の隠れ家・東口休憩所裏のあずまやなどへ集めてブルーシートをかぶせてひもで縛る。

②野外卓・イス移動・設置・撤収・収納作業

《作業内容》

- ・ カントリーガーデンからカントリーハウス2階と東口休憩所へ移動し、設置する。
- ・ 冬季必要のない野外卓については、中央口B棟倉庫へ収納する。

③半割丸太イス移動・設置・撤収・収納作業

《作業内容》

- ・ カントリーハウス軒先からワックスルーム内へ移動し、設置する。

④ブロック整理・冬囲い作業

《作業内容》

- ・ 来年使用可能な物と廃棄する物とに分別する。ブロックを各炊事場何箇所かに集めて丸太椅子と一緒に整理し、雪が入らないようブルーシートをかぶせてひもで縛る。

⑤残り火入れ撤収・収納作業

《作業内容》

- ・ 各炊事場の残り火入れを污水处理場に収納する。

⑥ゴミ箱移動・設置作業

《作業内容》

- ・ 冬季利用に合わせて建物内や建物周辺に移動し、設置する。必要のないゴミ箱は污水处理場へ収納する。

⑦バリケード(スチール製・木製)撤収・冬囲い作業

《作業内容》

- ・ 看板倉庫へ撤収してから1箇所に集め、ブルーシートをかぶせてひもで縛る。
- ・ 森のすみか内のバリケードについては、森の工房に集め、ブルーシートをかぶせてひもで縛る。

⑧バリカー撤収・収納作業

《作業内容》

- ・ 東口駐車場周囲とロッジ下駐輪場に設置されたバリカーを撤去し、污水处理場へ収納する。

⑨スキー立て移動・設置作業

《作業内容》

- ・ 中央口B棟倉庫、東口休憩所倉庫に収納されているスキー立てを、各現場前へ移動し設置する。

⑩ゲート移動式ブース(東ロゲート2基、中央ロゲート2基)移動・収納作業

《作業内容》

- ・ 各ゲートから中央ロB棟倉庫へ収納する。

⑪仮橋設置作業

《作業内容》

- ・ 地面を平らにしてから角材を敷いて、その上にコンパネを重ねて置いて釘を打ち込む。

⑫リヤカー、車イス撤収・収納作業

《作業内容》

- ・ 溪流口倉庫から移動し、サイクリングセンターへ収納する。

⑬温度計、積雪計設置作業

《作業内容》

- ・ 温度計、積雪計を中央ロB棟、東口休憩所倉庫、車庫から移動して設置する。温度計は、ワックスルーム2箇所については、1基ずつ木ネジで設置すること。
- ・ 他の4箇所は置くだけとする。積雪計は、3箇所の場所に鉄杭を打ち込み固定させる。

⑭鯨見サイクルセンター・売店テント撤収・収納作業

《作業内容》

- ・ トラックの荷台に上がりテントを外し、サイクルセンターへ収納する。

⑮看板撤収・収納・設置作業

《冬看板設置の作業内容》

- ・ 歩くスキーコース内が雪で車両等が使えなくなる前に、設置場所に鉄ピンを打ち込むかまたは、木に固定させて看板を設置する。

《夏看板撤収・収納作業》

- ・ 冬季開園に支障のある看板を撤収し、看板倉庫へ収納する。

⑯ビックリボール収納テント撤収・収納作業

《作業内容》

- ・ 虹の巣ドーム前に2張り設置されたテントを、解体してパーツごとに縛り、虹の巣ドーム内倉庫へ収納する。

⑰天文台オブジェ撤収・収納作業

《作業内容》

- ・ 天文台玄関上に設置した3体のオブジェは脚立を使い、オブジェを固定していたネジをはずして天文台倉庫へ収納する。天文台裏に設置した1体のオブジェは、地面についているネジをはずし、天文台倉庫へ収納する。

⑱マット設置作業

《作業内容》

- ・ 中央ロB棟から薄いマット厚いマットを出し、ファミリーグレンデ内山麓周辺(中央ロA棟の石柱や木)やリフト鉄柱へ設置する。また、歩くスキーコース内障害物(橋の柱や放送設備の鉄柱等)などに

⑲ロープトウ準備作業

《作業内容》

- ・ 車庫横から土嚢を車両にて運びそりグレンデロープトウの山頂降り場周辺に設置する。

2. 降雪前に行う作業その2

雪により場所が分からなくなる前に行う作業とする。作業項目は以下のとおりとする。

①植栽地周囲ロープ杭抜き取り作業

《作業内容》

- ・ カントリーハウス、平成の森周辺の植栽ロープ杭を抜いて、圧雪車の邪魔にならな

いよう周辺に寝かせておく。

②コンパネ切断・設置作業

《作業内容》

- ・ 雪が積もりマンホールや側溝がどこにあるのか分からなくなる前に、設置する場所の形に合わせコンパネを切断し、設置していく。

③スノーポール設置作業

《作業内容》

- ・ 園内の大部分は、スノーポール用の単管が設置されていることから、地面が見えている内に単管を探し設置する。また、単管のない場所には、スノーポール用の台を置くか、鉄ピン(スノーポールをピンに差し込む)を地面に打ち込んでスノーポールを設置する。

④カラーコーン撤収・収納・移動作業

《作業内容》

- ・ 駐車場等に設置されたコーンを撤去し、溪流ロトイレ裏倉庫に収納する。一部冬季使用するコーン(イベントや東口駐車場等)は、車庫へ移動する。

3. 降雪前に行う作業その3

雪などの影響により、腐食などを防ぐために降雪前に行う作業とする。作業項目は以下のとおりとする。

①固定式ベンチ・灰皿冬囲い作業

《作業内容》

- ・ 雪が入らないよう、ブルーシートやビニール袋をかぶせてひもで縛る。

②丸太イス清掃・冬囲い作業

《作業内容》

- ・ 来年使用可能な物と廃棄する物(木が腐っている物、地面に置いた時に不安定な物)とに分類する。使用可能な椅子は各炊事場にて洗浄後、各炊事場数箇所に集めてブロックと一緒に整理し、ブルーシートをかぶせてひもで縛る。

4. 荒天時等屋内作業

室内で行うことより荒天時等の作業とする。

①カントリーハウス風除室マット交換作業

《作業内容》

- ・ カントリーハウス地下室倉庫から冬用マットを出し交換する。

②ゴムスレー準備作業

《作業内容》

- ・ 東口休憩所倉庫から虹の巣ドームへ搬送し、ゴムスレーを組み立て(リング、チューブ、カバーの3点)空気を入れる。設置予定のあづまや2棟には、3箇所オレンジネットで覆い、その中に整理してゴムスレーを入れる。

③スキースクール受付関係物品設置作業

《作業内容》

- ・ 東口休憩所倉庫よりフルーシート(1枚)、パーテーション(13枚)、ワックス台(1台)及び工具箱(1箱)をスキーヤーズサロン内スクール休憩場所へ移動する。
- ・ スキーヤーズサロン内のロッカーの一部をスクール休憩場所へ移動する。
- ・ 冷蔵庫1台を東口発券場からスキーヤーズサロン内スクール休憩場所へ移動する。
- ・ スキーヤーズサロン受付前に、東口休憩所よりイスを18脚移動する。
- ・ 四角椅子・机をビジターセンターより移動して受付との境界に柱を挟んで横一列に設置する。
- ・ 横断幕をカントリーハウス2階ベランダへ設置する。

5. 積雪後の作業

ネットフェンス設置作業については、強風でネットフェンスが飛ばされる事態が多くみられることより積雪後にネットフェンスを取り付けてから雪でネットフェンスを固定する。

① ネットフェンス設置作業

《作業内容》

- ・ 強風でネットフェンスが飛ばされないよう積雪後、オレンジポールにネットフェンスを設置する。
- ・ ※ただし、橋に設置するネットフェンスについては、橋に結束するため、任意の時期に行う作業とする。

② ロープトウ準備作業その2

《作業内容》

- ・ ロープトウ乗り場、降り場を作るのに、必要な雪が積もってから乗り場、降り場を作る。

国営滝野すずらん丘陵公園

遊 具 取 扱 説 明 書

安全にご利用頂くために

ふわふわドーム

取扱説明書

“ふわふわドーム”は、子供たちに楽しく遊んで頂くための遊具です。
これを快適に、安全に使い、また長持ちさせるために、必ず本書をお読みいただくと共に、
ご使用中も取扱いの「手引き」としてお役立てください。

太陽工業株式会社

「安全上必ずお守りください」

運転・保守・点検の前に、必ずこの取扱説明書とその他の付属書類をすべて熟読し、正しくご使用ください。製品の知識・安全の情報・そして注意事項のすべてについて習得してからご使用ください。

この取扱説明書では、誤った取扱いによる事故を未然に防ぐための注意事項を、マークを付けて表示しています。マークの意味は次の通りです。



警告

- この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が死亡又は、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

- この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が傷害を負う可能性又は、物的傷害のみの発生が想定される内容を示しています。

目 次

“ふわふわドーム”を安全にご使用して頂くために	1
“ふわふわドーム”をより安全にご使用して頂くために	2
1. ふわふわドームの各部の名称及び機能	3
1-1 各部の名称	3
1-2 主要各部品の名称及び機能	3
1-3 機能の説明	4
2. 設計条件	5
2-1 荷重条件	5
2-2 使用条件	5～7
3. 操作	8
3-1 操作の前に	8
3-2 送風設備概要	9～10
3-3 運転操作	11～12
3-4 内圧調整と水抜き作業	13～14
危険防止の管理事項	15
4. 維持管理	16
4-1 始業点検、終業点検	16
4-2 ドーム未使用時の保管管理	16
4-3 日常点検、定期点検	17～18
4-4 標準使用期間及び消耗部品	18
4-5 故障と対策	19～20
本物件仕様	21
弊社連絡先	21

END 21

■点検例

日常点検表

点検期間	平成17年4月1日 ~ 平成17年9月30日		点検者名	管理責任者名 (本表の最終確認)		公園番号
設置場所	みなと公園		宮田	狩谷	日付印	50
施設名称/主材質	ぶらんこ (金属・木質・樹脂・他)					整理番号
設置年月/製造社名	年 月 不明					5
備考						
部位	重要度	点検内容	チェック欄	備考(気づいた点を具体的に記入する)		
A. 共通点検項目			1 2 3 4 5 6			
① 各部	○	身体に触れる部分に鋭利な状態等はないか	レ	レ	×	座面が割れたため、尖った箇所がある
② 落下防止	—	落下防止柵などにガタツキや変形はないか	—	—	—	—
③ 支柱部	◎	部材に亀裂、劣化はないか	レ	レ	×	地際の腐食を確認、業者の確認を要す
	○	ぐらつきはないか	レ	レ	×	ぐらつきあり、業者の確認を要す
④ 基礎部	○	設置面へ基礎が露出していないか	レ	レ	レ	
⑤ 着地面・周辺	○	着地面や遊具周辺に大きな凹凸や石などはないか	レ	レ	レ	
⑥ 接合部	○	ボルトの緩みや欠落はないか	レ	レ	レ	
	○	継手金具の破損はないか	レ	レ	レ	
⑦ 塗装・メッキ	△	著しい塗装剥離や退色、錆の発生等はないか	×	×	×	塗装が全体的にはがれている
⑧ 汚れ・異物	△	著しい汚れや落書き、異物等はないか	レ	レ	レ	
B. 個別点検項目						
<揺動系遊具>						
⑨ 着座部	○	破損や変形はないか	レ	レ	×	いたずらと思われる破損あり。交換検討。
	◎	着座側金具は摩耗していないか	レ	レ	レ	
⑩ 揺動部	◎	吊り金具は破損していないか	レ	レ	レ	
	○	吊り金具の回転不良はないか	レ	レ	レ	
	○	吊り金具から回転時に異音がしないか	レ	レ	×	可動部から異音あり。要業者確認。
	◎	チェーンは摩耗していないか	×	×	×	全体的に、摩耗している。要業者確認。
⑪ 梁部	○	部材の腐食、変形はないか	レ	レ	レ	
	○	部材の腐食、変形はないか	レ	レ	レ	
⑫ 境界柵部	○	部材の腐食、変形はないか	レ	レ	レ	

点検1回目の
チェック欄(左)と
実施日記入場所(下)

施設写真/略図

可動部から、異音がする
要業者確認
2005/7/8

塗装がさびて、鉄も朽ち始めて
おり、ふれると崩れる
要業者確認
2005/7/8

座板の破損あり。いたずら？
交換検討
2005/7/8

特記事項(利用時の状況、人気度等): 利用頻度は高い。柱、座板等に異常があり、7月8日現在、業者確認が済むまで使用禁止とした。 補修等履歴メモ: 補修等履歴無し	実施記録 7/8 6/10
---------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------

※チェック欄には、異常がなければ「レ」印を、異常があれば「×」印を記入し、備考欄もしくは写真欄に異常の状況を記入してください。
 ※本表は、6回の日常点検に使用できます。実施記録欄の該当する数字に「○」印をつけ、横に実施した日付を記入してください。

こどもの谷 II期地区 点検日報(1)

定時点検時間目安 10:30 12:00 14:00

平成 年 月 日 () 曜日 天候

記入者氏名

㊞

施設名	実施時間	点検名	点検結果	異常ありの場合の内容
ビーバーダム・森の池	:	始業点検	異常あり・なし	
	:	定時・混雑・終業	異常あり・なし	
	:	定時・混雑・終業	異常あり・なし	
	:	定時・混雑・終業	異常あり・なし	
	特記事項			
さまよいの洞窟 トイレ	:	始業点検	異常あり・なし	
	:	定時・混雑・終業	異常あり・なし	
	:	定時・混雑・終業	異常あり・なし	
	:	定時・混雑・終業	異常あり・なし	
	特記事項			
さまよいの洞窟	:	始業点検	異常あり・なし	
	:	定時・混雑・終業	異常あり・なし	
	:	定時・混雑・終業	異常あり・なし	
	:	定時・混雑・終業	異常あり・なし	
	特記事項			
フワフワエッグ (オレンジ)	:	始業点検	異常あり・なし	
	:	定時・混雑・終業	異常あり・なし	
	:	定時・混雑・終業	異常あり・なし	
	:	定時・混雑・終業	異常あり・なし	
	特記事項			
マウントコニーデ	:	始業点検	異常あり・なし	
	:	定時・混雑・終業	異常あり・なし	
	:	定時・混雑・終業	異常あり・なし	
	:	定時・混雑・終業	異常あり・なし	
	特記事項			
溶岩すべり台(小)	:	始業点検	異常あり・なし	
	:	定時・混雑・終業	異常あり・なし	
	:	定時・混雑・終業	異常あり・なし	
	:	定時・混雑・終業	異常あり・なし	
	特記事項			
溶岩すべり台(大)	:	始業点検	異常あり・なし	
	:	定時・混雑・終業	異常あり・なし	
	:	定時・混雑・終業	異常あり・なし	
	:	定時・混雑・終業	異常あり・なし	
	特記事項			

ロープトウ安全点検

装 置 名		点 検 箇 所	点検方法
線 路	索条及び ハンガー	①ロープの断線、損傷の状況	目視・計測
		②ロープの張りの状態	目視
原 動 装 置	ギヤード モーター	①運転中の異音、異常発熱、異常振動の状態	聴感・触感
		②歯車の噛み合いの状況	聴感
		③油量、油質の状況	目視
		④組付け状態	目視
	原動滑車	①滑車の回転状態	目視
		②滑車、軸等の変形、損傷、亀裂、溶接箇所のはく離の状態	目視
		③組み付けボルトのゆるみの状態	打検
		④滑車軸ボルトの状態	打検
	フレーム・ ガイド類	①部材の変形、損傷の状態	目視
		②溶接箇所のはく離、亀裂の状態	目視
		③組み付け、据え付けの状態	目視
緊 張 装 置	緊張滑車	①滑車の回転状態	目視
		②滑車、軸等の変形、損傷、亀裂、溶接箇所のはく離の状態	目視
		③組み付けボルトのゆるみの状態	打検
	フレーム・ ガイド類	①部材の変形、損傷の状態	目視
		②溶接箇所のはく離、亀裂の状態	目視
		③組み付け、据え付けの状態	目視
		④緊張装置(レバースロック)の作動状態	動作確認

ロープトウ設置撤去実施要領

第1条 設置撤去の時期

撤去作業は、毎年、4月1日～4月19日の間に行うこと。

設置作業は、毎年、11月11日～12月22日の間に行うこと。

第2条 作業内容

1. 第1ロープトウ設置作業

- ・虹の巣ドーム内倉庫（状況により山麓小屋）にある山頂支柱（1基）、中間支柱（2基）、山頂滑車（1基）、ロープ（1巻）、山頂支柱固定用チェンブロック（1基）、アンカーロープ（1本）をローンスタジアムまで運搬すること。
- ・山頂支柱及び、山頂滑車を設置すること。
- ・既存アンカーと山頂支柱をアンカーロープ及びチェンブロックにて固定すること。
- ・夏季の間、養生してあった山麓支柱及び原動機を適正な位置にすえつけること。
- ・中間支柱を設置すること。

2. 第2ロープトウ設置作業

- ・資材置場にある山頂・山麓支柱（2基）、山頂・山麓滑車（2基）、ロープ（1巻）、アンカーロープ（2本）、山麓支柱固定用チェンブロック（チンホール1基）、山頂支柱固定用ターンバックル（1基）、原動機（9.2KW／1基）、制御盤（1基）、非常停止鉋スタンド（1基）、乗越検出装置（1基）、ハンガー（ノーマル11個・ジョイント用ハンガー1個）、ハンガーガイド（1基）をローンスタジアムに運搬すること。
- ・山頂、山頂支柱および山頂、山麓滑車を設置すること。
- ・既存アンカーと山麓支柱をアンカーロープ及びチェンブロック（チンホール）にて固定すること。
- ・既存アンカーと山頂支柱をターンバックルで固定すること。
- ・原動機を設置すること。
- ・ロープを山麓滑車及び山頂滑車にかけ、ジョイントハンガーにてスプライス（結合）させること。
- ・制御盤を設置すること。
- ・運転操作盤を設置すること。
- ・ハンガーガイドを設置すること。設置する際、ロープとの当たりに留意すること。
- ・ハンガーを設置すること。設置数、設置間隔は下記のとおりとする。
 - a) ハンガー設置数…12基（片側6基、ジョイントハンガー含む）
 - b) 設置間隔……………26m毎
- ・乗越検出装置を設置すること。
- ・非常停止押しボタンボックスを山麓山頂に設置すること。

※第1、2ロープトウ山頂山麓滑車のゴムライナーの交換を行うこと。

3. 試運転—安全点検

- ・上記作業が終了した後、各ロープトウにおいて試運転—安全点検を実施すること。

第3条 撤去作業

1. 第1ロープトウ撤去作業

・第1ロープトウの下記の部材について、取り外したうえで虹の巣ドーム内倉庫(状況により山麓小屋)に運搬し、山麓支柱にブルーシートにてカバーをかけ養生すること。

- a) ワイヤー b) 中間支柱…2本 c) 山頂滑車及びカバー d) 山頂支柱
- e) 山頂支柱固定ワイヤー及びチェンブロック
- f) 巻き込み防止装置及び付属ケーブル g) 非常停止ボタン
- h) 非常停止電源用ケーブル i) Tバーフック回収スタンド
- j) 運転換作盤及び付属ケーブル

2. 第2ロープトウ撤去作業

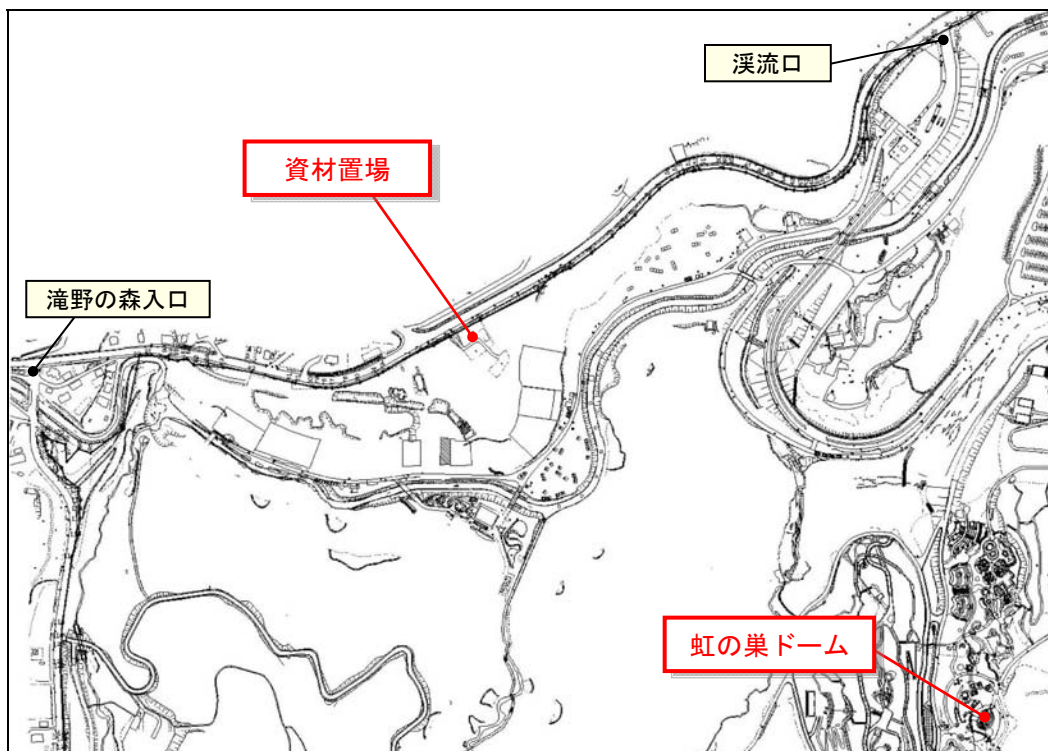
第2ロープトウのワイヤー、滑車(山頂・山麓)、支柱(山頂・山麓)、原動機、ハンガーを資材置場に搬出するものとする。

第4条 作業にあたっての注意事項

- 1. 作業の前に、床、壁、機器などを損傷や支障を与えないように養生を行うこと。
- 2. 作業終了後は、養生材や工具の撤去、床、壁、機器などを清掃すること。
- 3. 事業者は、管理する施設、設備及び備品等について異常が発生したとき又は異常を発見したときは直ちに調査職員等に報告すること。
- 4. 重機等を使用して作業する場合は、積雪状況にあわせて、コンパネ等を敷設し、芝生の養生に努めること。

第5条 点検作業

ロープトウ設置後は月1回点検すること。



ロープトウ保管位置図

国営滝野すずらん丘陵公園

ロープトウ取扱説明書

スカイバードリフト運転取扱注意事項

- 当リフトを運行させる前には、計画通り人員を配置し、起点・終点停留場及び線路に積雪、障害物が無いかを良く確認し、安全に運行できる環境を確保してから運行にあたって下さい。
- 当リフトは一般供給電源を利用して運転しますので、運転前に1次側キュービクルのブレーカーをONにし、リフト運転盤内のブレーカーを上げて（ONの状態にして）下さい。また、運転盤内ブレーカーを先に上げた状態で後から1次側電源を作動させると運転盤内のインバーターに悪影響を及ぼしますので、必ずブレーカーを下げた状態で一次側電源を作動させて下さい。
- 受電確認後、コントローラーを使ってリフトを運転します。まずFWDのつまみをONにし、速度調整つまみで徐々に速度を上げます。速度を上げてからしばらく（5分以上）回してみて異音、異臭等の異状が無いかを確認してから乗客を乗車させて下さい。特に寒い日はオイルがなじむまで充分回して下さい。
- 当リフトはラフティングソリのための搬送となっておりますが、ラフティングのみを搬送させる場合は、得られる荷重が少なく、フックが外れる可能性が高くなりますので、特に線路上の凹凸を無くすように整備をして下さい。その状態を確保した後、ゆっくりティーバー搬器のフック金具をワイヤーにかけて下さい。金具のワイヤー握索部の近くを持ってかける作業をすると手袋を巻き込まれる可能性がありますので、握索部からなるべく離れた箇所を持って作業にあたって下さい。
- 終点ではラフティングソリがスムーズに降りられるようスロープを作り、常に最適な傾斜を保つよう整備して下さい。
- ラフティングの利用客には、滑走前に握索（フック）金具をラフティングソリ前部にある収納装置に入れてから滑走するように指導して下さい。金具を外に出したままの滑走は危険です。

- 人間の集中力や忍耐力には限界があります。特に吹雪等厳しい気象条件の時などは係の方のローテーションをできるだけ短時間に行って下さい。
- リフトを運行すると必ずワイヤーが伸びてきます。ワイヤーがスリップしたり、著しく地面につくようになりましたら、終点停留場の緊張装置（レバーブロック）を引いて調整して下さい。
- リフト運行終了後は実線側（上り線）ワイヤーを空線側（下り線）に設置してある中間ポールフックに掛けて、降雪時に実線側ワイヤーが雪の下にならないようにして下さい。また運行再開時には必ず取り外しして下さい。
- リフト運転終了後は起点停留場にあるコントローラーの速度調整つまみを0にして、運転盤内のブレーカーを下げて下さい。コントローラー及びモーターには、専用のカバーを必ずお掛け下さい。
- 担当の係員以外の者が運転しないように運転盤の鍵は必ず掛け、きちんと保管して下さい。
- 習熟後の油断にはお気をつけ下さい。モーターで強いトルクを発生させている回転物ですので、注意を怠ると人命にかかわる事故が起きる可能性が充分にあります。運行中は係員以外の方をむやみに近づけないで下さい。

今後スキーヤーやラフティングソリに人を乗せて利用する場合

- スキーヤーを乗車させる際は、スキー板を線路に対し平行に揃えさせ、ティーバー搬器のプラスチックバーがお尻に対し平行にかかるよう調整し、ストックをワイヤーと逆側の手にまとめさせて下さい。ラフティングソリに乗客を乗せて搬送する場合は、利用者をチューブの中央部に乗るようにさせ、乗車中に足が雪面に着かないように状態を整えさせて下さい。それらの状態を確保した後、ゆっくりティーバー搬器のフック金具をワイヤーにかけて下さい。

○終点では乗客がスムーズに降りられるようスロープを作り、常に最適な傾斜を保つよう整備をして、乗客が降り場で留まらないようにして下さい。万が一乗客が転倒した場合は、非常停止装置の停止ボタンを押すか、起点の運転係にすぐ連絡をしてリフトを停止させて下さい。起点と終点とではすぐに連絡が取れるように無線機等の連絡手段を必ずご用意下さい。

○スキーリフト終点で回収するティーバー搬器は、十個単位ぐらいをヒモで結束してワイヤーの空線側（下り線側）に束の真ん中を乗せるとそのままワイヤーの上に乗って起点停留場のティーバー回収装置まで届きます。起点の係の方はティーバー搬器が届きましたら速やかにワイヤーから搬器を降ろして下さい。

○機器の異常が改善されない場合は、乗客がいてもリフトを停止し下記まですぐご連絡を下さい。

サカイエンジニアリング

代表 酒井 和直

新潟市美咲町1丁目9番21号1005

TEL・FAX 025-283-8684

携帯電話 090-314-80982

取扱説明書

ボーラー スターリフト
ボーラー スーパースターリフト
(スライディングチューブ搬送設備兼用)

運 転 操 作 編

目 次

項 目	ページ
1. 施設概要	4
※図面 1 起点停留場設備概要図	7
※図面 2 終点停留場設備概要図	8
※図面 3 スライディングチューブ搬送状態断面図	9
2. 運転取扱方法	10
2.1 運転前準備	10
2.1.1 設備の確認	10
2.1.2 人員の配置	10
2.1.3 始業点検	10
2.2 試運転	11
2.2.1 電源投入	11
2.2.2 停止状態での点検	11
2.2.3 運転	11
2.2.4 運転状態での点検	11
2.3 営業運転	12
2.3.1 運転状態の監視	12
※2.3.2 スライディングチューブ搬送の手順	12
2.3.3 異常発生時の対応	12
2.4 営業運転の終了	13
2.4.1 運転の停止	13
2.4.2 電源を切る	13
2.5 事故発生時の対応	13
表 1 始業点検一覧表	14
表 2 停止状態での点検一覧表	14
表 3 運転状態での点検一覧表	15
表 4 故障内容及び復旧方法一覧表	16

※はスライディングチューブ搬送設備のみ

取扱説明書

ボーラー スターリフト
ボーラー スーパースターリフト
(スライディングチューブ搬送設備兼用)

保守・点検編

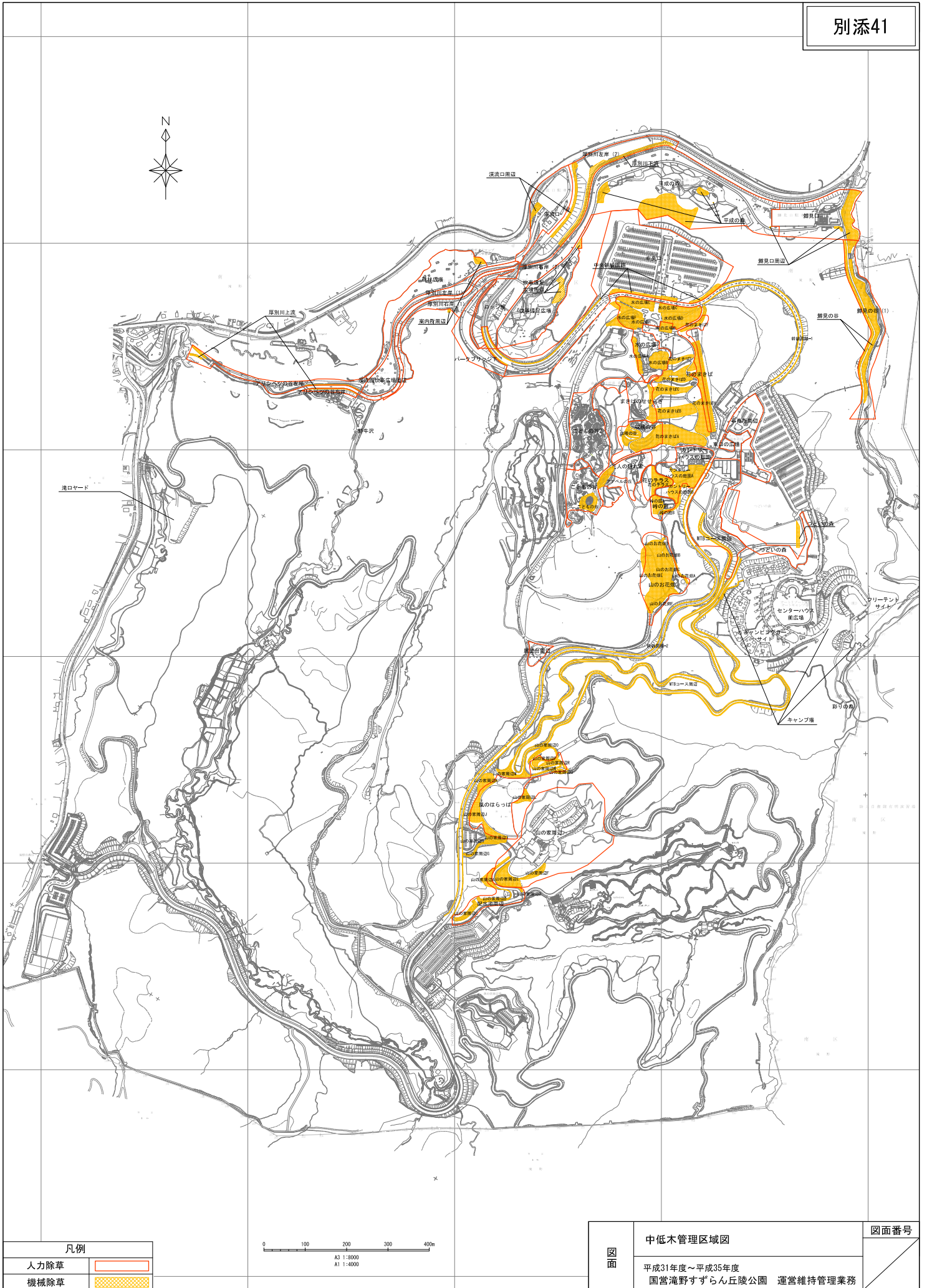
目 次

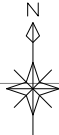
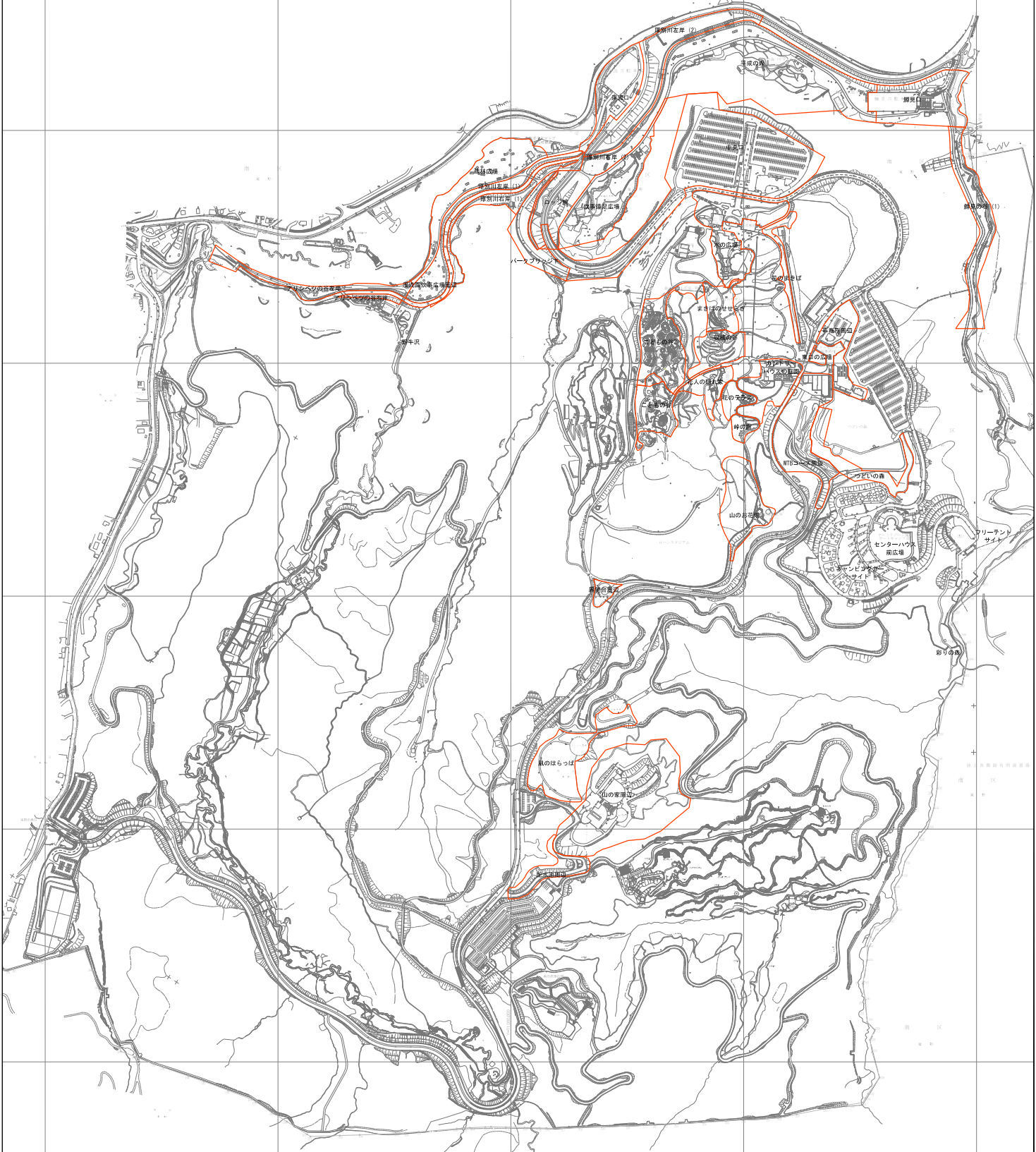
項 目	ページ
1. 線路中の設備	4
1.1 支えい索	4
2. ハンガー	4
図面 1 ハンガー構造図	5
3. ハンガーガイド	6
図面 2 ハンガーガイド取付位置図	7
4. 原動装置	8
4.1 原動滑車	8
4.2 原動フレーム	8
4.3 ギヤードモータ	9
図面 3-1 原動装置構造図（スターリフト）	10
図面 3-2 原動装置構造図（スーパースターリフト）	12
図面 4 ギヤードモータ構造図	14
5. 折返装置	17
5.1 折返滑車	17
5.2 折返フレーム	17
図面 5-1 折返装置構造図（スターリフト）	18
図面 5-2 折返装置構造図（スーパースターリフト）	20
図面 6 折返滑車軸構造図	22
6. 保安装置	23
6.1 乗越検出器	23
図面 7 乗越検出器外形図	24
7. 制御装置	25
図面 8 電気回路設計図	26
図面 9 制御盤組立図	27
図面 10 運転操作スタンド組立図	28
図面 11 停止押ボタンスタンド組立図（オプション）	29
8. 消耗品リスト	30
9. スライディングチューブ搬送設備	31
9.1 ハンガー	31
図面 12 ハンガー構造図	32
9.2 チューブ搬送用ハンガーガイド	33
図面 13 チューブ搬送用ハンガーガイド取付位置図	34
9.3 乗越検出器	35
図面 14 乗越検出器外形図	36

滝野スノーワールド「そりゲレンデ」運営マニュアル

目 次

1. ロープトウ	5
1) 始業前点検	5
2) 運行	9
3) 終業点検	14
2. そりゲレンデ	15
1) 始業前整備	15
2) コースの供用	15
3) 終了	16



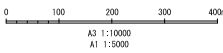


凡例	
高木管理施工範囲	

図面	高木管理区域図	図面番号
	平成31年度～平成35年度 国営滝野すずらん丘陵公園 運営維持管理業務	

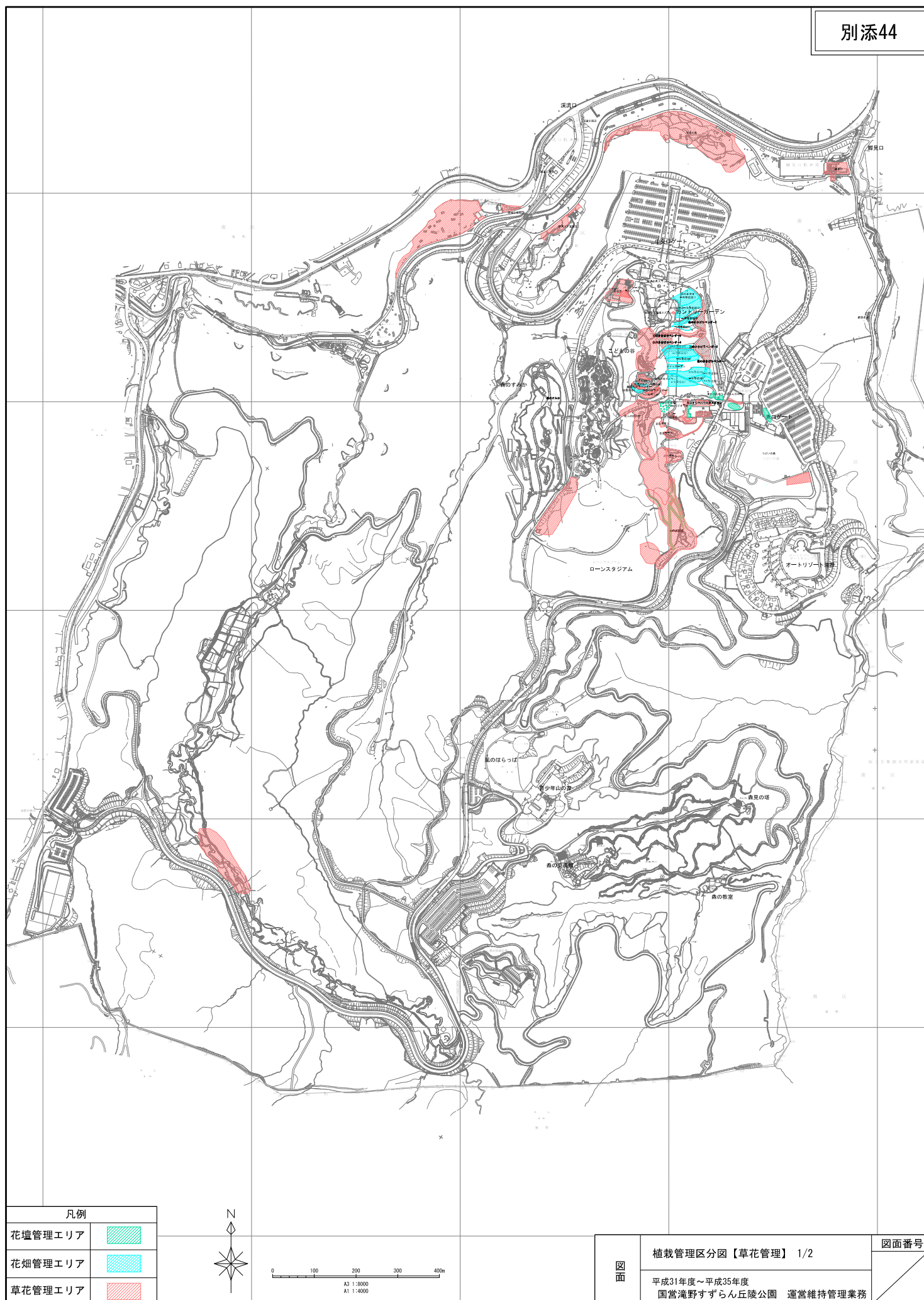


※河川、道路、駐車場、建物等の構造物、芝生地、
植栽地（花壇・花畑・中低木・高木）、
また収益施設運営対象区域（別添46）
を除く範囲とする。



凡例	
林地管理施工範囲	

図面	林地管理区域図	図面番号
	平成31年度～平成35年度 国営滝野すずらん丘陵公園 運営維持管理業務	



凡例	
花壇管理エリア	
花畑管理エリア	
草花管理エリア	



0 100 200 300 400m
A3 1:8000
A1 1:4000

図面

植栽管理区分図【草花管理】 1/2

平成31年度～平成35年度
国営滝野すずらん丘陵公園 運営維持管理業務

図面番号

滝野の森ゾーン（西エリア）
植物維持管理計画書

＝ 平成 29 年度 改訂版 ＝

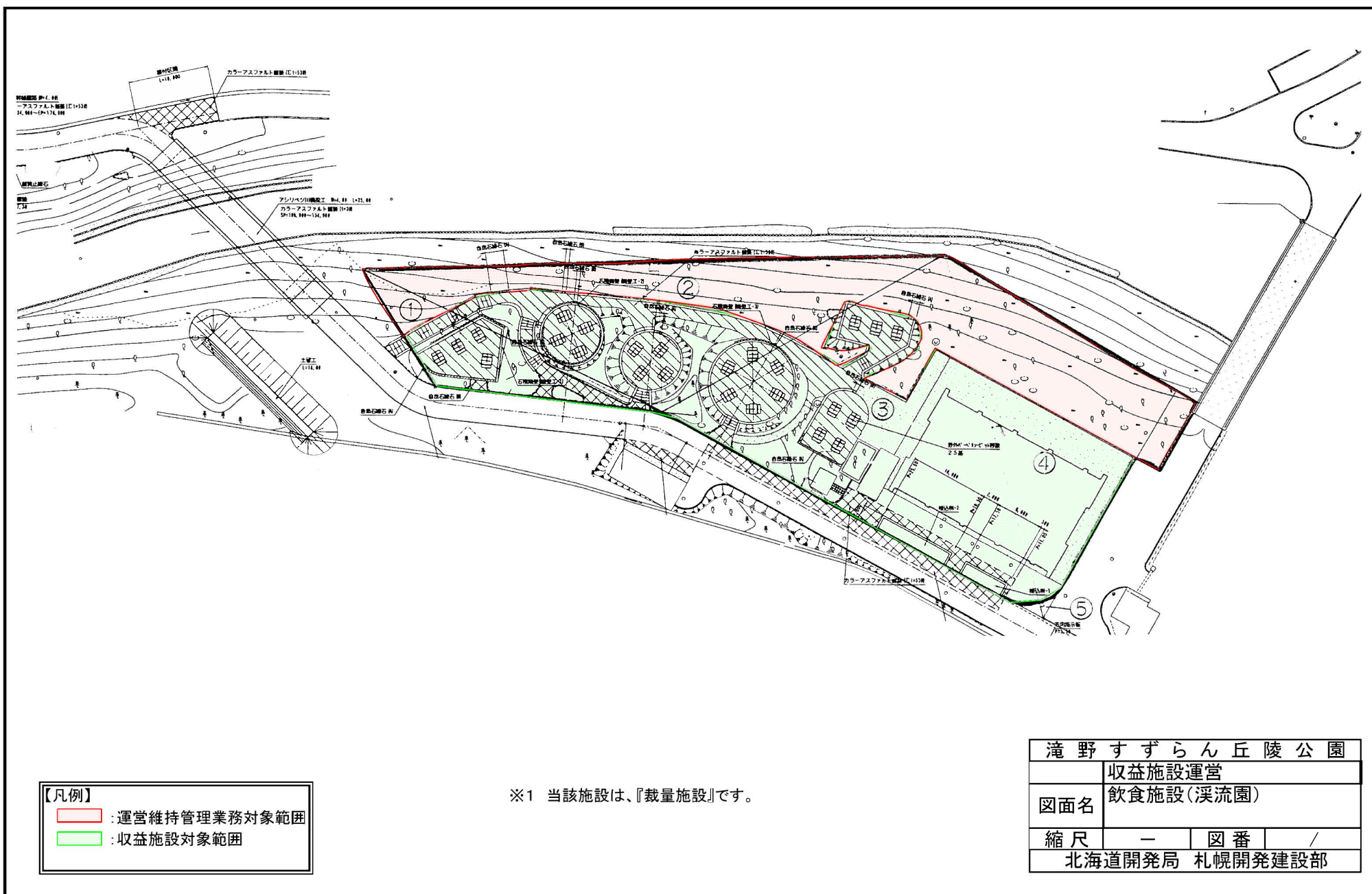
平成 29 年 12 月

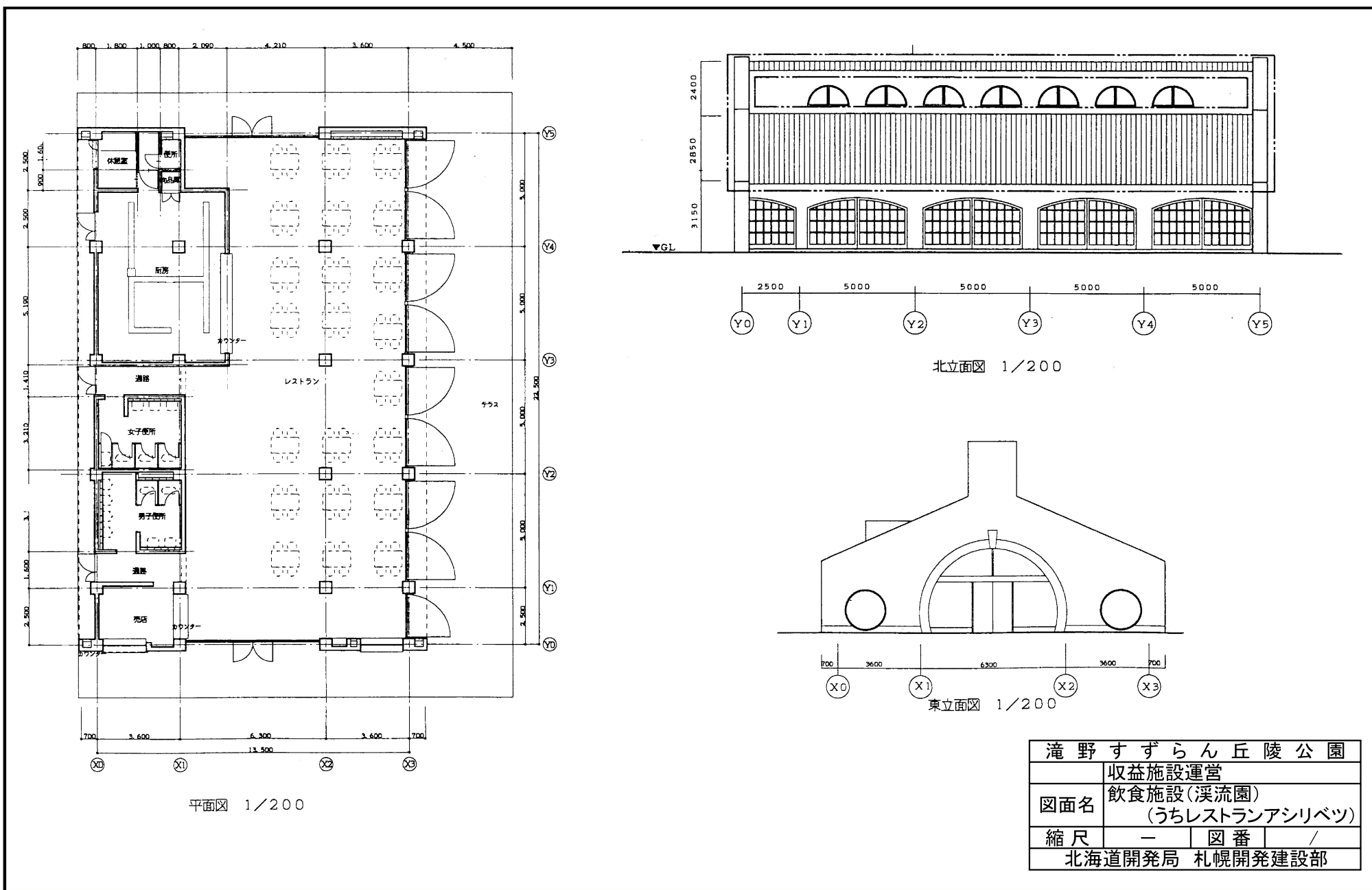
【 目 次 】

0. 平成 29 年度の調査結果をふまえた維持管理の重点事項	1
1. 滝野の森ゾーン（西エリア）における植物管理の考え方	2
2. 主要な利活用資源種と分布状況	5
3. 再生目標の区分	12
4. 管理目標植生区分	14
5. エリア区分ごとの管理目標、利活用のイメージ	15
6. 維持管理方針の考え方	18
7. 管理内容	20
8. ステージごとの管理内容	26
9. 管理水準	28
10. 主な植生区分ごとの管理内容	30
11. 重要種の増殖管理	82
12. 維持管理作業要領	93
● 維持管理計画書変更履歴	101

滝野すずらん丘陵公園

収益施設運営対象区域図および備品一覧





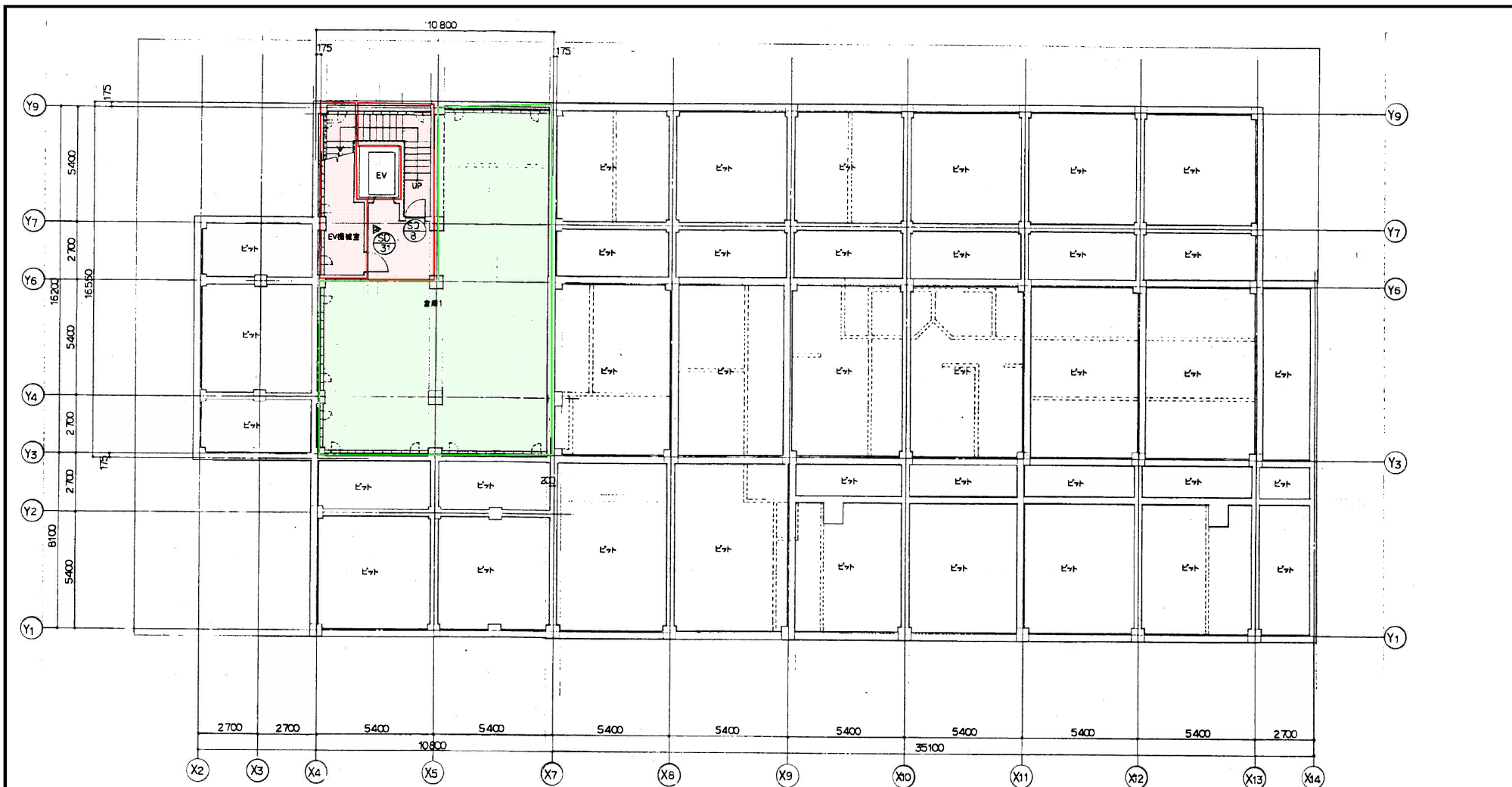


【凡例】

緑色 : 収益施設対象範囲

※1 当該施設は、『裁量施設』です。

滝野すずらん丘陵公園			
図面名	収益施設運営		
	飲食施設(魚釣り場)		
縮尺	—	図番	/
北海道開発局 札幌開発建設部			

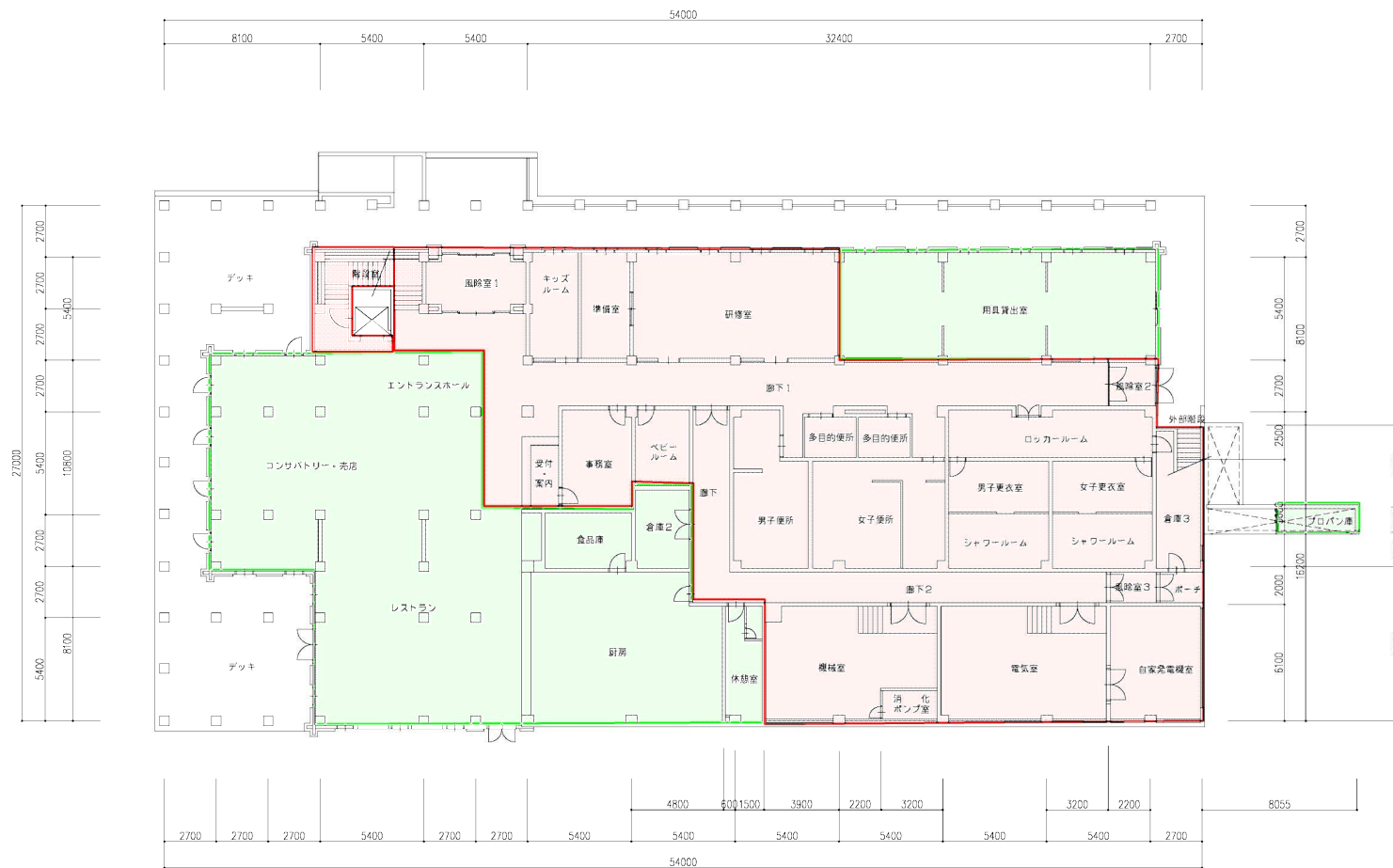


地下1階平面図

※1 当該施設は、『裁量施設』です。

【凡例】	
	: 運営維持管理業務対象範囲
	: 収益施設対象範囲

滝野すずらん丘陵公園	
図面名	収益施設運営
	飲食施設 (カントリーハウス売店)
縮尺	— 図番 /
北海道開発局 札幌開発建設部	



【凡例】	
	: 運営維持管理業務対象範囲
	: 収益施設対象範囲

※1 当該施設は、『裁量施設』です。

滝野すずらん丘陵公園			
図面名	収益施設運営		
	飲食施設 (カントリーハウス売店)		
縮尺	—	図番	/
北海道開発局 札幌開発建設部			



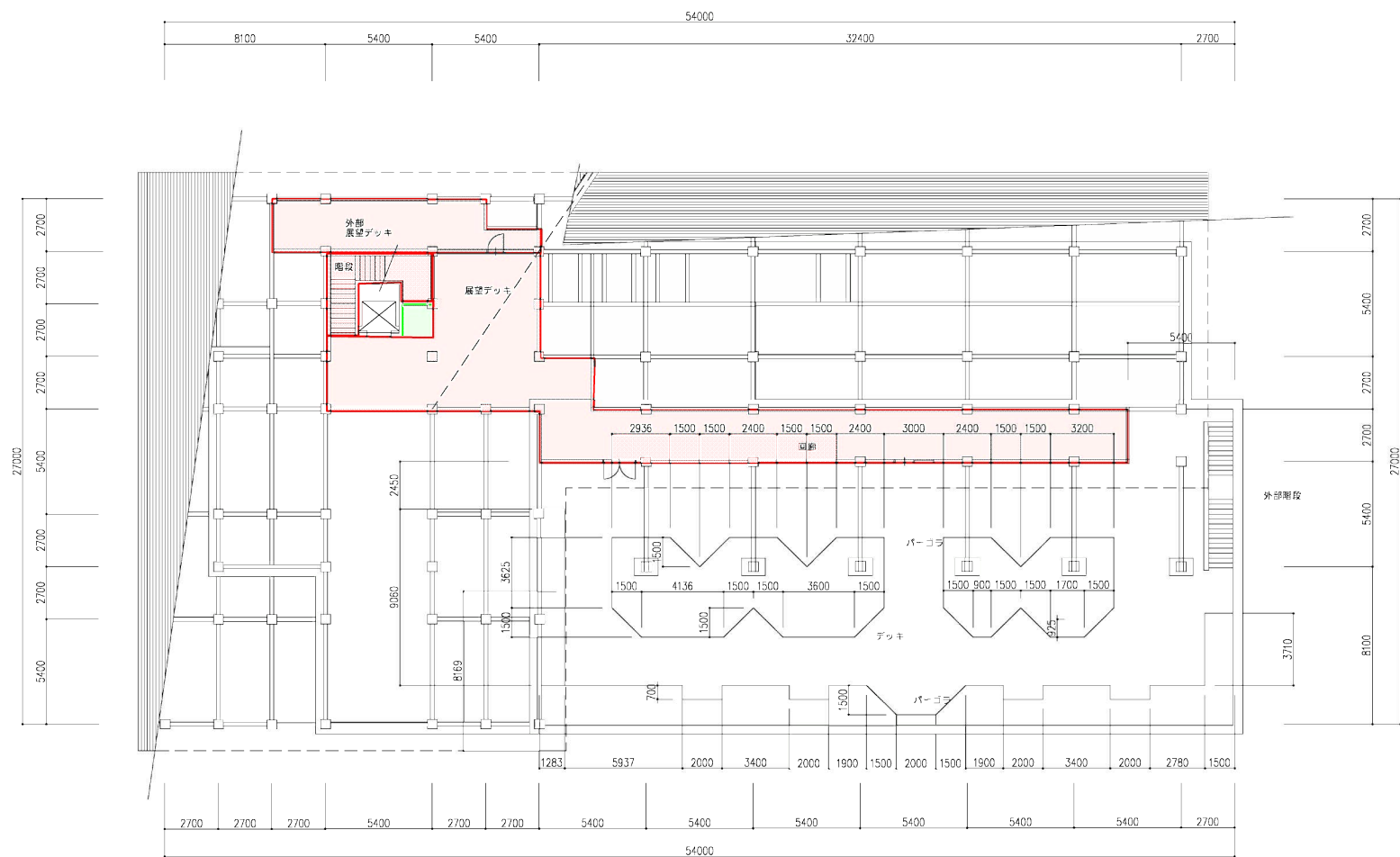
【凡例】

※1 当該施設は、『裁量施設』です。

厨 房 器 具 表

※厨房器具等の○印は、別途工事とする。

滝野すすらん丘陵公園			
	収益施設運営		
図面名	飲食施設 (カントリーハウス売店)		
縮尺	—	図番	/
北海道開発局 札幌開発建設部			



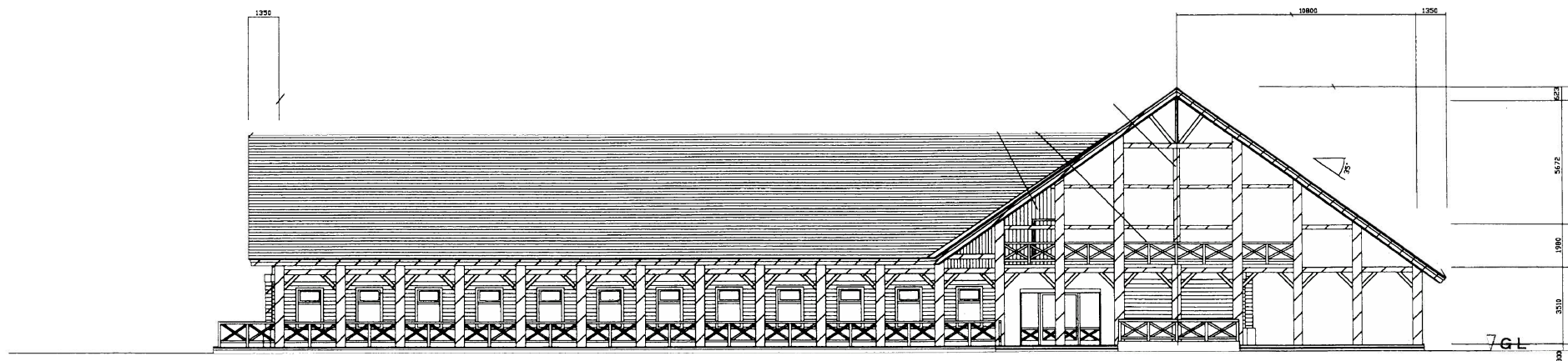
2階平面図 S=1:200

【凡例】

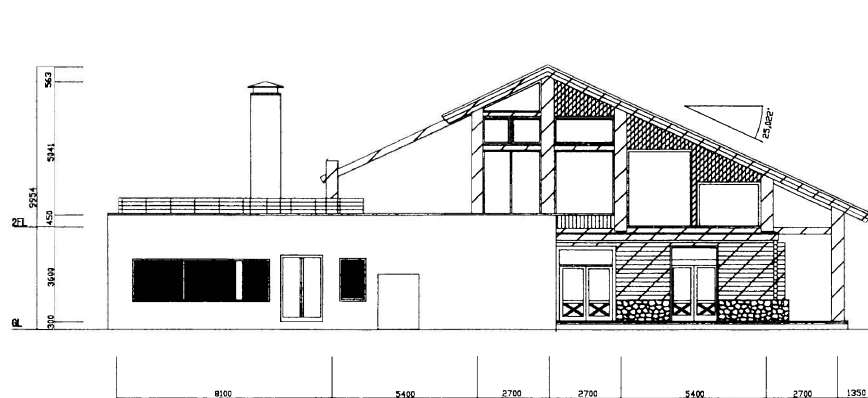
- : 運営維持管理業務対象範囲
- : 収益施設対象範囲

※1 当該施設は、『裁量施設』です。

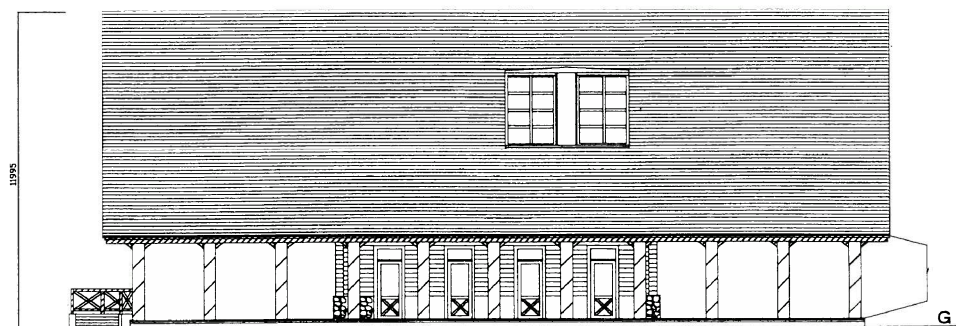
滝野すずらん丘陵公園			
図面名	収益施設運営		
	飲食施設 (カントリーハウス売店)		
縮尺	—	図番	/
北海道開発局 札幌開発建設部			



北側立面図

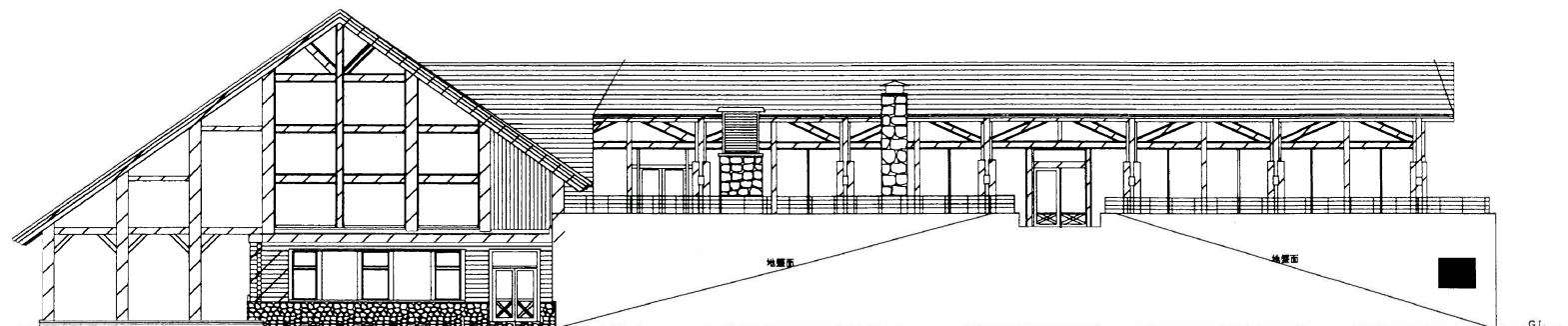


東側立面図

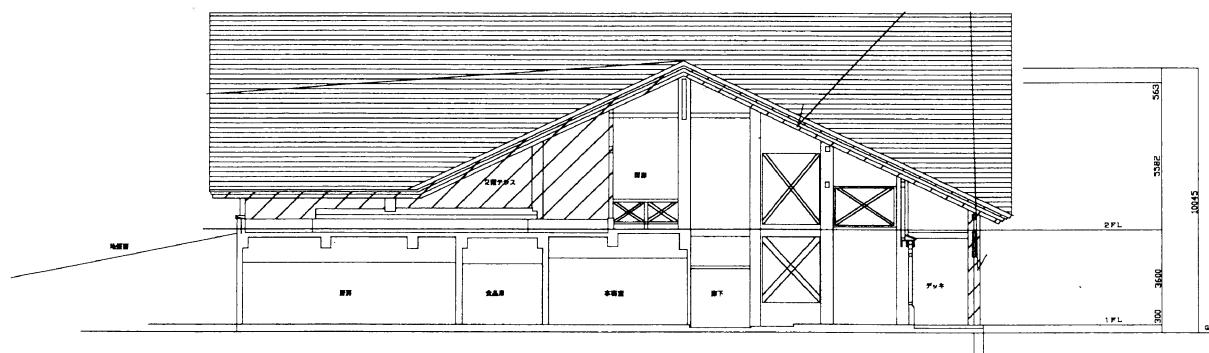


西側立面図

滝野すずらん丘陵公園			
図面名	収益施設運営		
	飲食施設 (カントリーハウス売店)		
縮尺	—	図番	/
北海道開発局 札幌開発建設部			

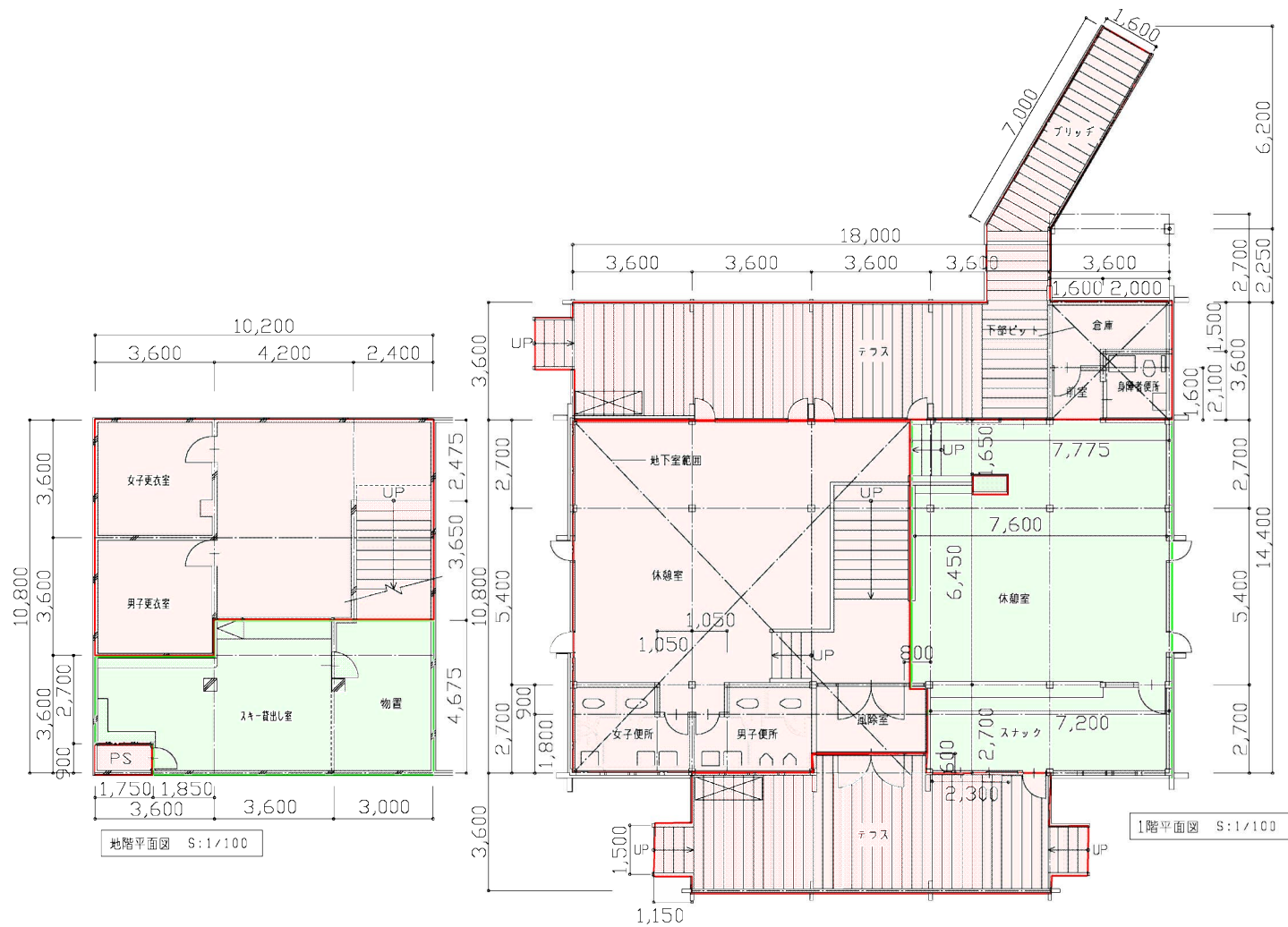


南側立面図



東側立面図

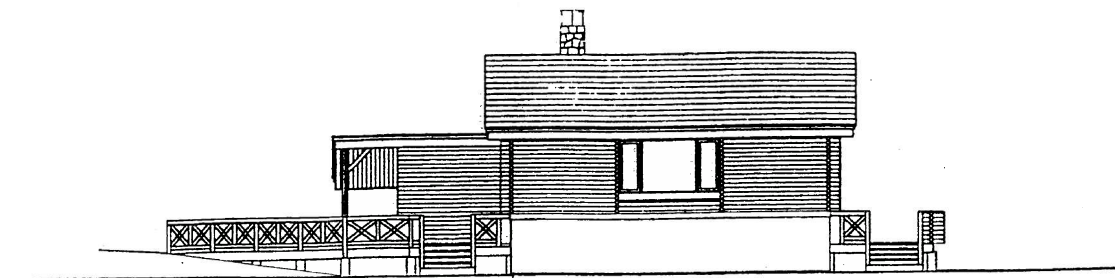
滝野すずらん丘陵公園			
図面名	収益施設運営		
	飲食施設 (カントリーハウス売店)		
縮尺	—	図番	— /
北海道開発局 札幌開発建設部			



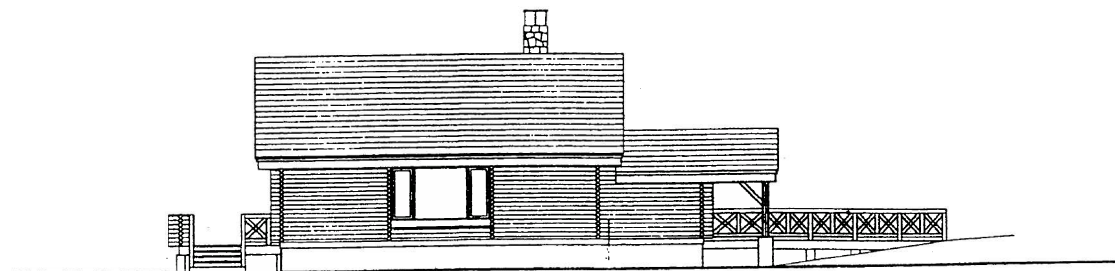
【凡例】	
	: 運営維持管理業務対象範囲
	: 収益施設対象範囲

滝野すずらん丘陵公園			
収益施設運営			
図面名	飲食施設(溪流口売店)		
	『呼称: ロッジゆきざさ』		
縮尺	—	図番	/
北海道開発局 札幌開発建設部			

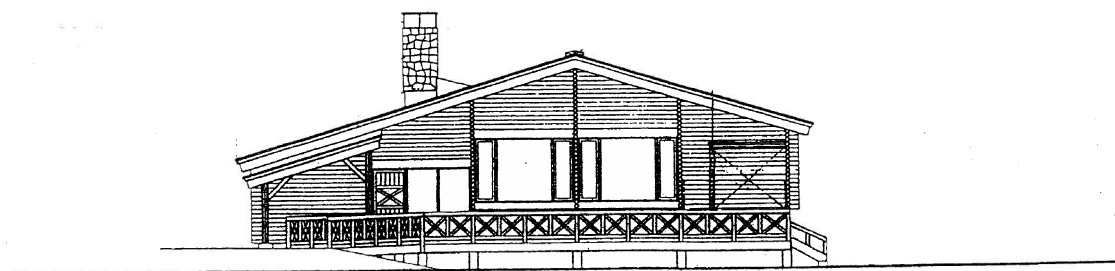
※当該施設は、『裁量施設』です。



立面図 S=1:100

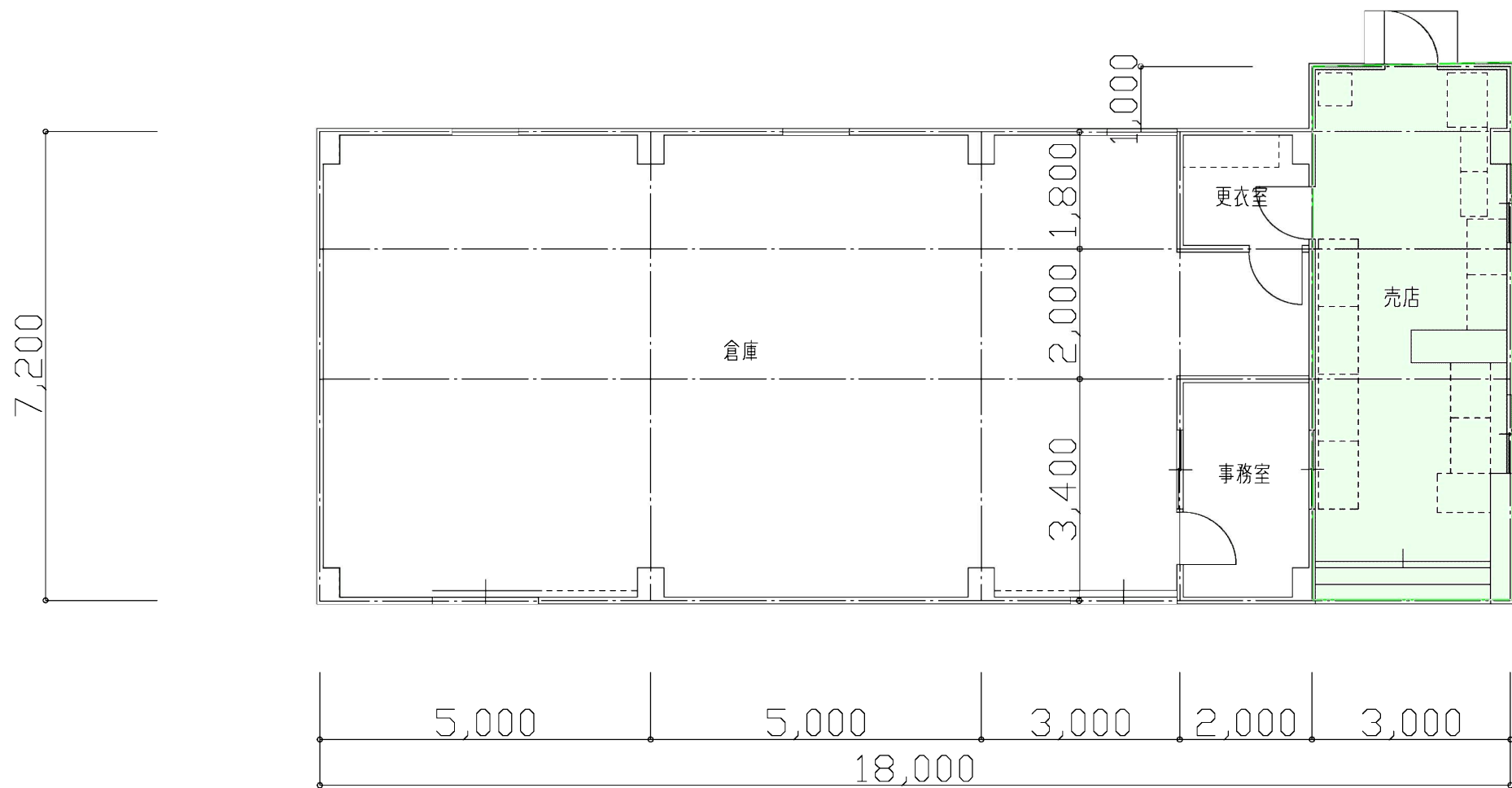


立面図 S=1:100



立面図 S=1:100

滝野すずらん丘陵公園			
収益施設運営			
図面名	飲食施設(溪流口売店)		
	『呼称:ロッジゆきざさ』		
縮尺	—	図番	/
北海道開発局 札幌開発建設部			

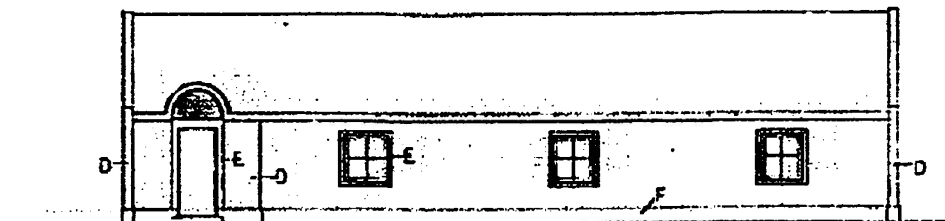


【凡例】

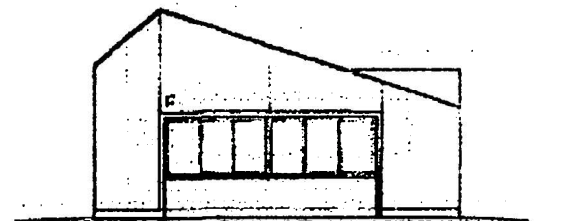
：収益施設対象範囲

※1 当該施設は、『裁量施設』です。

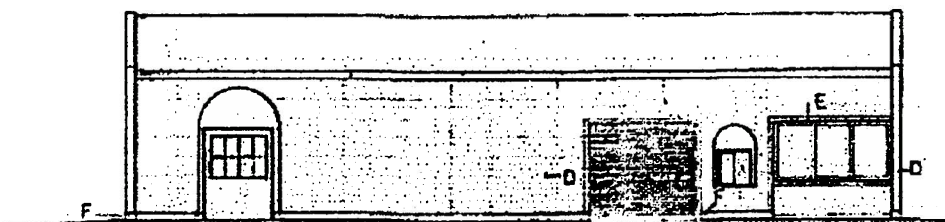
滝野すずらん丘陵公園			
図面名	収益施設運営		
	飲食施設(鱒見口売店)		
縮尺	—	図番	/
北海道開発局 札幌開発建設部			



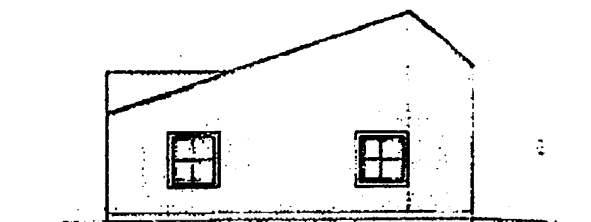
サイクルセンター南側



サイクルセンター西側

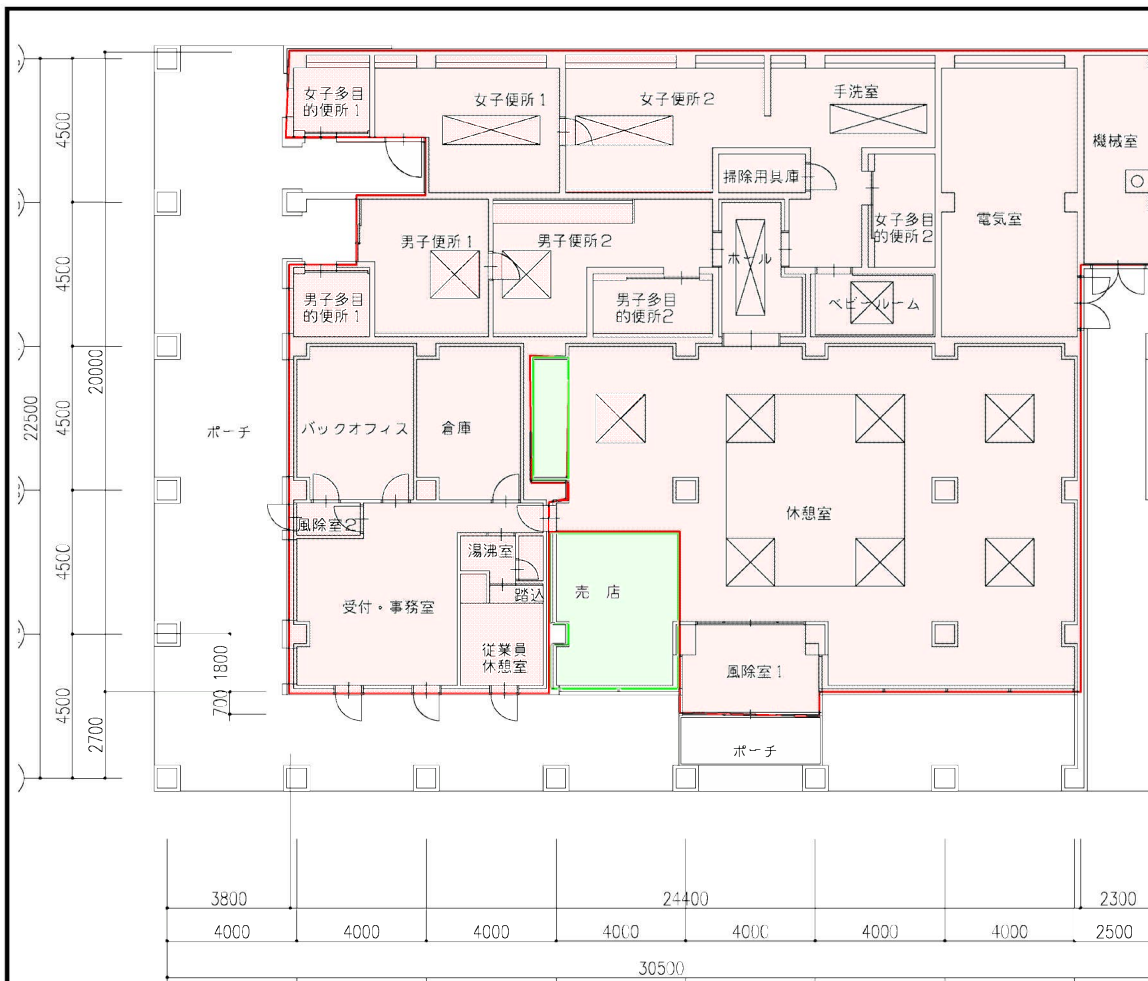


サイクルセンター北側



サイクルセンター東側

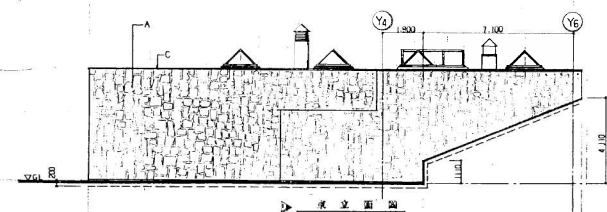
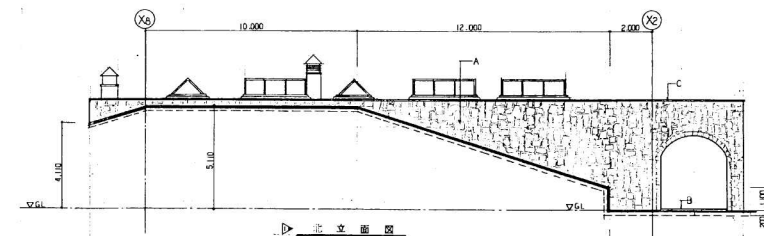
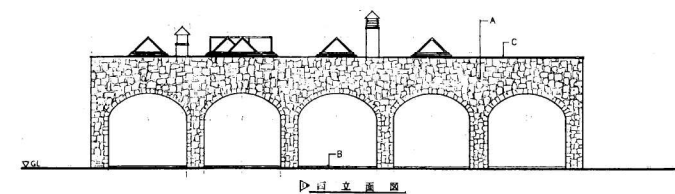
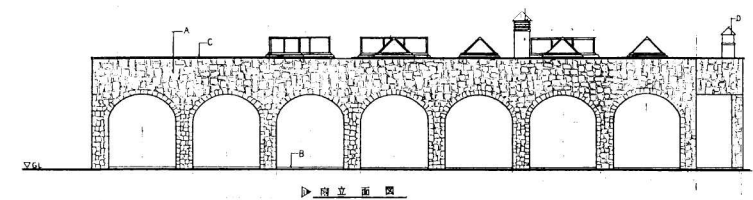
滝野すずらん丘陵公園			
図面名	収益施設運営		
	飲食施設(鱒見口売店)		
縮尺	—	図番	— /
北海道開発局 札幌開発建設部			



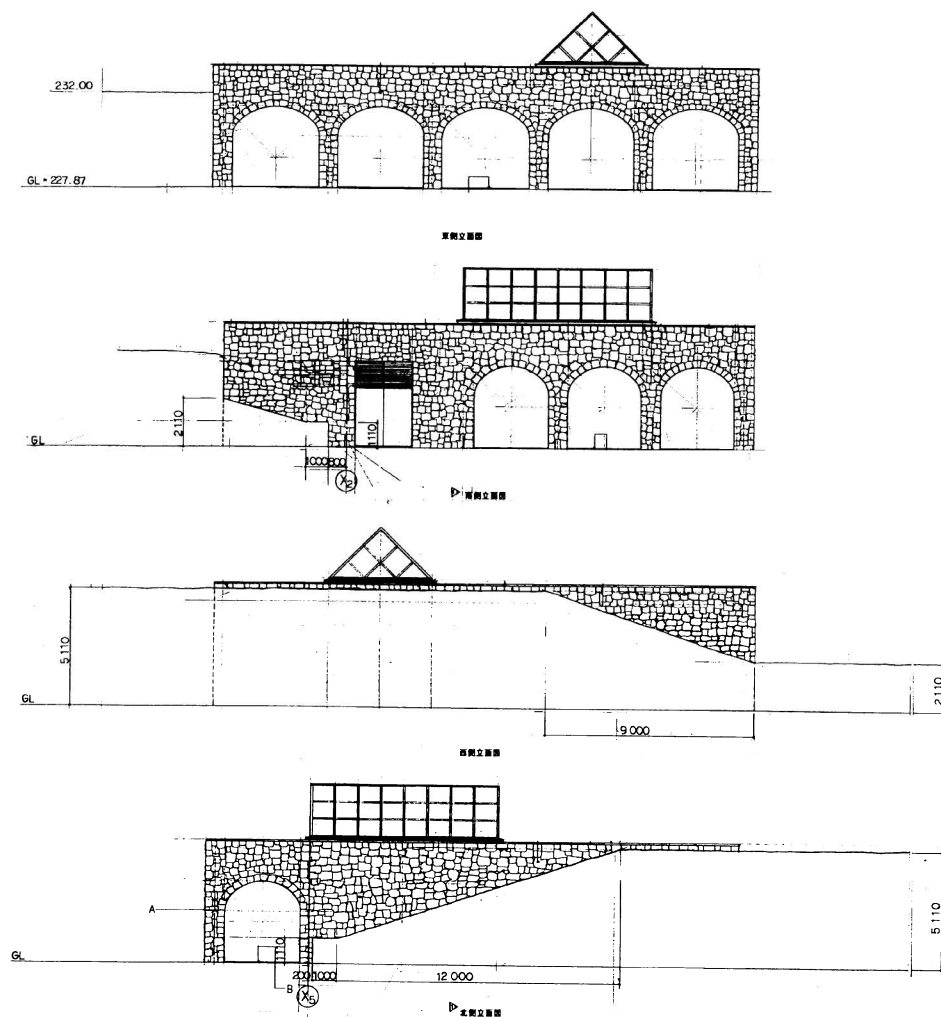
【凡例】

- ：運営維持管理業務対象範囲
：収益施設対象範囲

※1 当該施設は、『裁量施設』です。



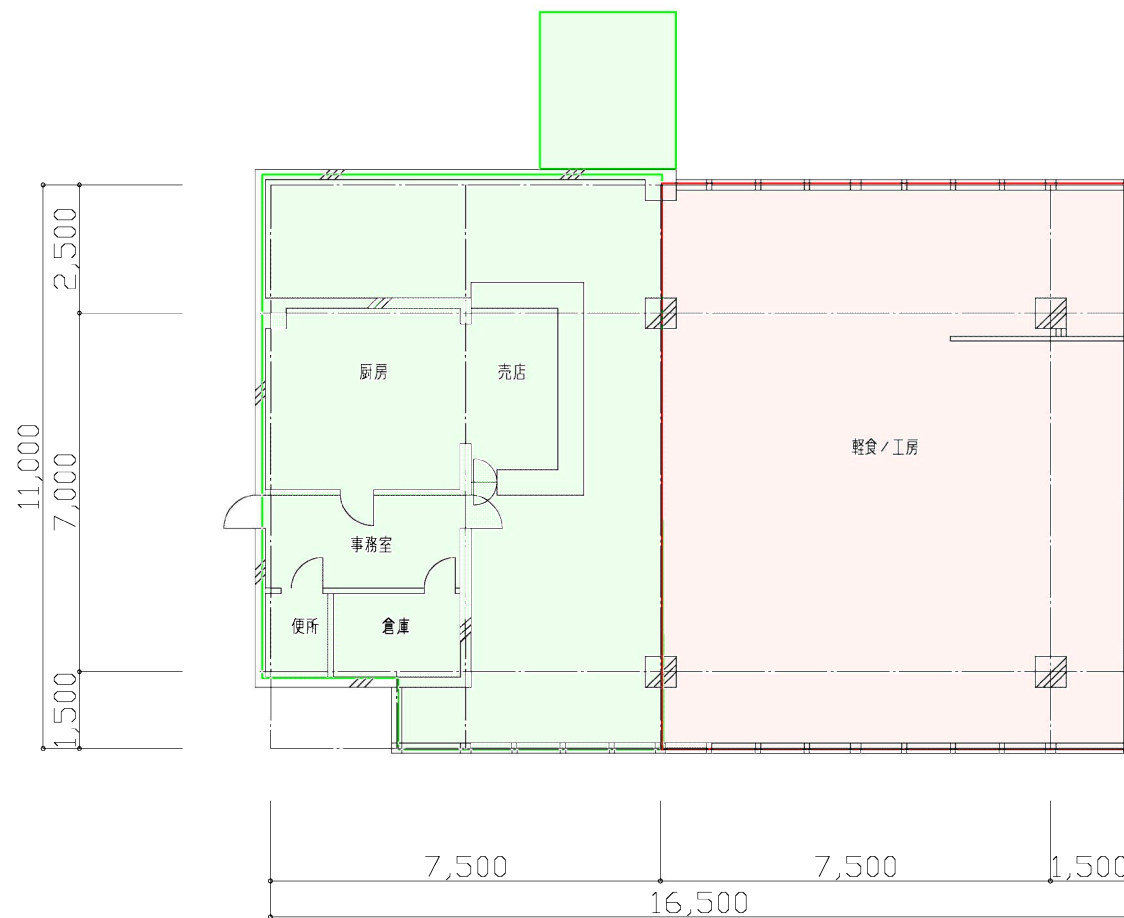
滝野すずらん丘陵公園			
図面名	収益施設運営		
	飲食施設(中央口管理所売店)		
縮尺	—	図番	/
北海道開発局 札幌開発建設部			



S: 1 / 200

: 運営維持管理業務対象範囲
: 収益施設対象範囲

滝野すずらん丘陵公園			
	収益施設運営		
図面名	飲食施設(中央口休憩所売店)		
縮尺	—	図番	/
北海道開発局 札幌開発建設部			

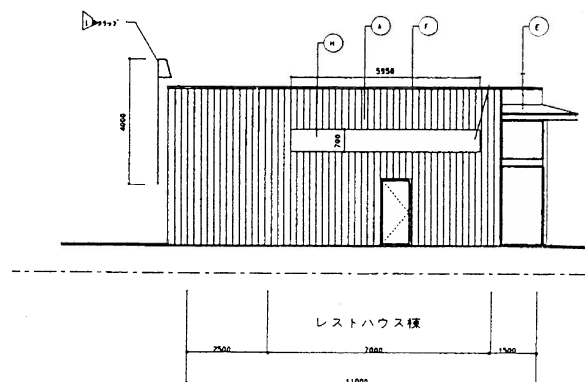


レストラン棟 平面図 S:1/100

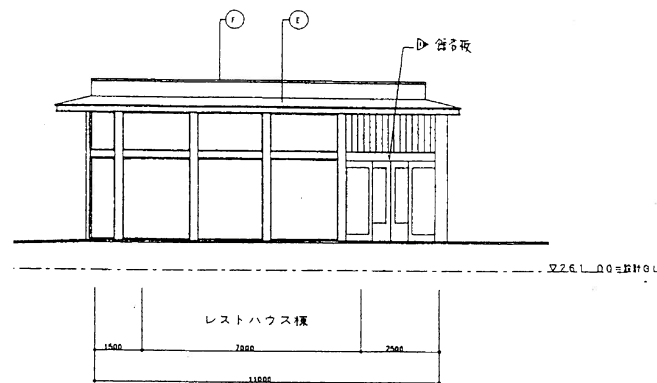
※1 当該施設は、『裁量施設』です。

【凡例】	
	: 運営維持管理業務対象範囲
	: 収益施設対象範囲

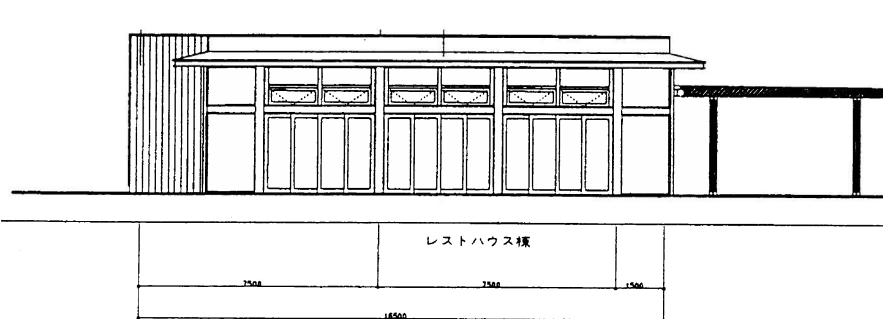
滝野すずらん丘陵公園			
	収益施設運営		
図面名	飲食施設(東口レストハウス棟売店)		
縮尺	—	図番	/
北海道開発局 札幌開発建設部			



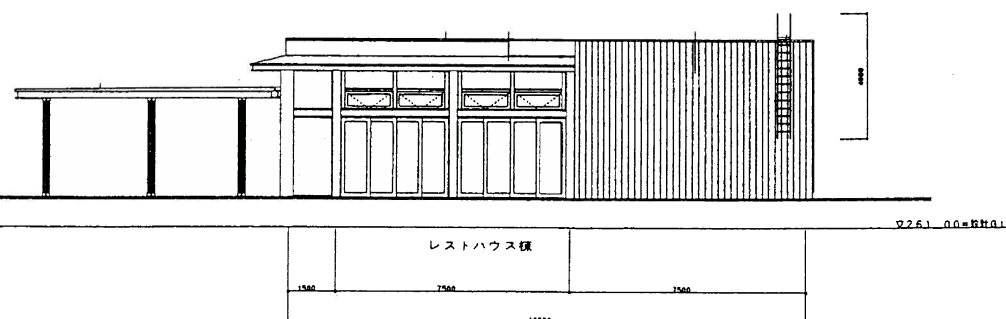
東口レストハウス棟南側



東口レストハウス棟北側

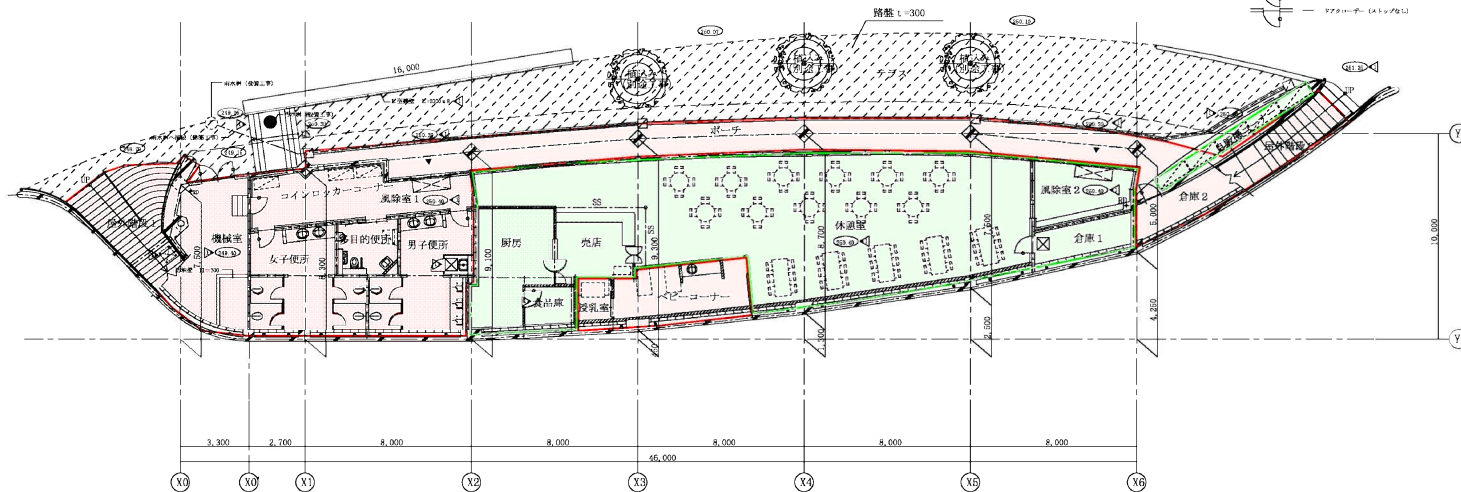
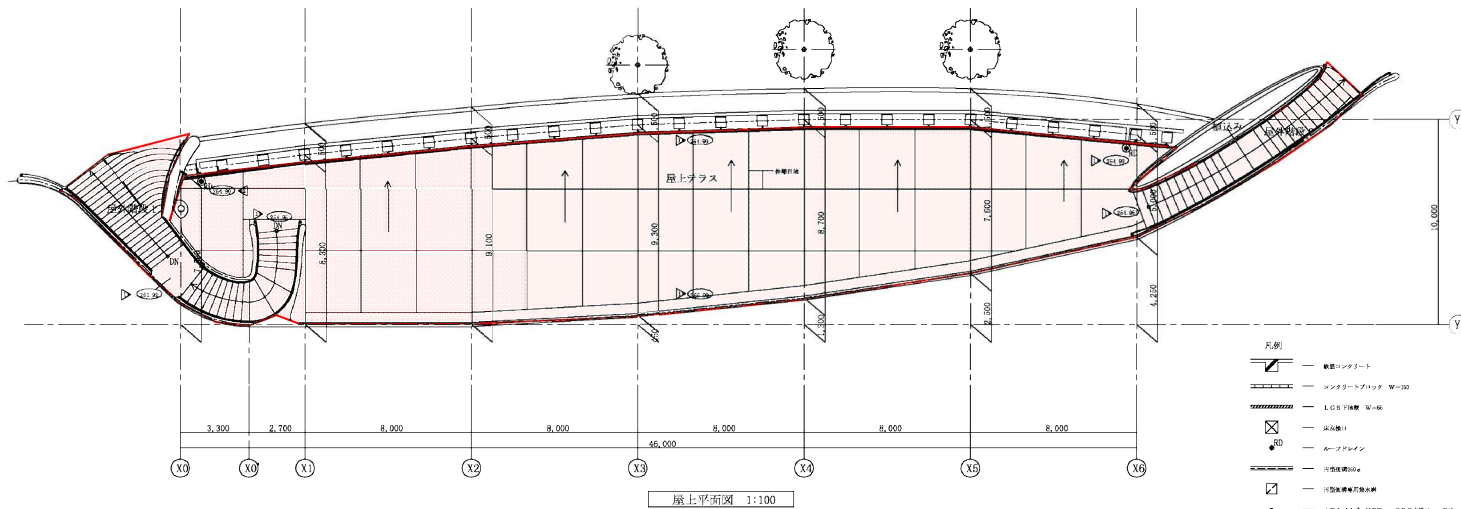


東口レストハウス棟東側



東口レストハウス棟西側

滝野すずらん丘陵公園			
図面名	収益施設運営		
	飲食施設(東口レストハウス棟売店)		
縮尺	—	図番	/
北海道開発局 札幌開発建設部			



【凡例】	
	: 運営維持管理業務対象範囲
	: 収益施設対象範囲

※1 当該施設は、『裁量施設』です。

滝野すずらん丘陵公園	
	収益施設運営
図面名	飲食施設 (子供の谷休憩所売店)
縮尺	— 図番 /
北海道開発局 札幌開発建設部	

器具リスト表（別途工事）

HA04-C04D

No.	品名	MODEL	台数	寸法（規格）m/m			配管接続口径（A）			電気（kw/h）			フ ィ ド	備考
				幅	奥行	高さ	給水	給湯	排水	1φ 100V	1φ 200V	3φ 200V		
1	シェルフ		1	1070	610	1900								棚4段
2	シェルフ		1	1220	610	1900								棚4段
△ 3	冷蔵冷蔵庫	SRR- F1263C2	1	1210	800	2000			40			0.66		2室冷凍仕様
4	電気炊飯器	ERC-9R	1	330	470	395						4.8		7.5kg炊き
5	庫 台		1	900	700	500								
6	卓上電気グリドル	TCG- 9950E	1	900	600	300							11.7	⑤F
7	電子保温ジャー	THS-C80	1	461	390	392				0.08				8リットル
8	ジャー置台		1	450	450	800								ジャー返し込み式 キャスター付
9	欠 壁													
10	電子レンジ	NR- 140GTA	1	422	308	337						2.78		
□11	二槽シンク		1	1200	700	000	15x2	15	50x2					
12	吊戸棚		1	1200	350	600								（縦向き）
13	電磁フライヤー	N-TFL- 87W	1	870	400	800						13.0	⑤F	容量21リットル×2 ライニング取付
14	庫 台		1	1230	700	800								（縦向き）
15	台		1	1920	600	800								（縦向き）
16	電気テーブル	TET-S-90	1	900	600	800							10.4	⑤F
17	炊飯台		1	600	600	800								下壁：カート付
□18	電気ゆで機器	TEU-6	1	550	600	800	15 G.V		40 煎焼機			10.8		
19	台		1	900	600	800								
20	欠 壁													
21	卓上電気ウォーマー	TCW- 3060E-2	2	380	600	300				1.2 x2				9.6リットル×2 下壁：カート付
22	吊戸棚		1	1500	350	600								下壁：レンジ取付
□23	冷蔵冷凍コールドテーブル	SUR- F1561C	1	1500	600	800			40	0.38				
24	移動台		2	900	600	800								キャスター付 下壁：スノコ2枚付
25	電気クレープ焼器	CM-410	1	500	500	200					1.4			
□26	二槽シンク		1	450	600	800	15	15	50					
□27	冷蔵冷凍コールドテーブル	SUR- F1561C	1	1500	600	800			40	0.38				天板交換
28	ホットショーカー	NH-202	2	450	300	450				0.16 x2				
29	貸付台		1	1500	750	600								（縦向き） 下壁：スイング取付
30	スチームマシーン		1	（ ）	（ ）	（ ）				0.95				（変動品）
□31	製氷機	STM-S87J	1	1004	600	800	15		40	0.49				85kg（定容） 天板交換
32	アイスマイサー	HC-80	1	293	427	501				0.18				（変動品）
33	コーヒーマシン	FD	1	380	485	750	15 G.V		40		2.0			（変動品）
34	ソフトドリンクディスペンサー		1	（ ）	（ ）	（ ）	15 G.V			0.31				（変動品）
35	庫 台		1	1300	600	800								（縦向き） 下壁：スイング取付
36	ソフトクリームフリーザー		1	（ ）	（ ）	（ ）	15 G.V		40			（3.2）		（変動品）
□37	ウォータークーラー	SD-P102	1	345	449	555	15 G.V		40	0.17				
38	庫 台		1	900	600	800								下壁：引戸付
△39	冷蔵庫	SRR- F1263S	1	1210	800	2000			40			0.55		
										総合電気容量≦1000V		7.03 kw/h		
										総合電気容量≦200V		4.78 kw/h		
										総合電気容量≦200V		55.11 kw/h		

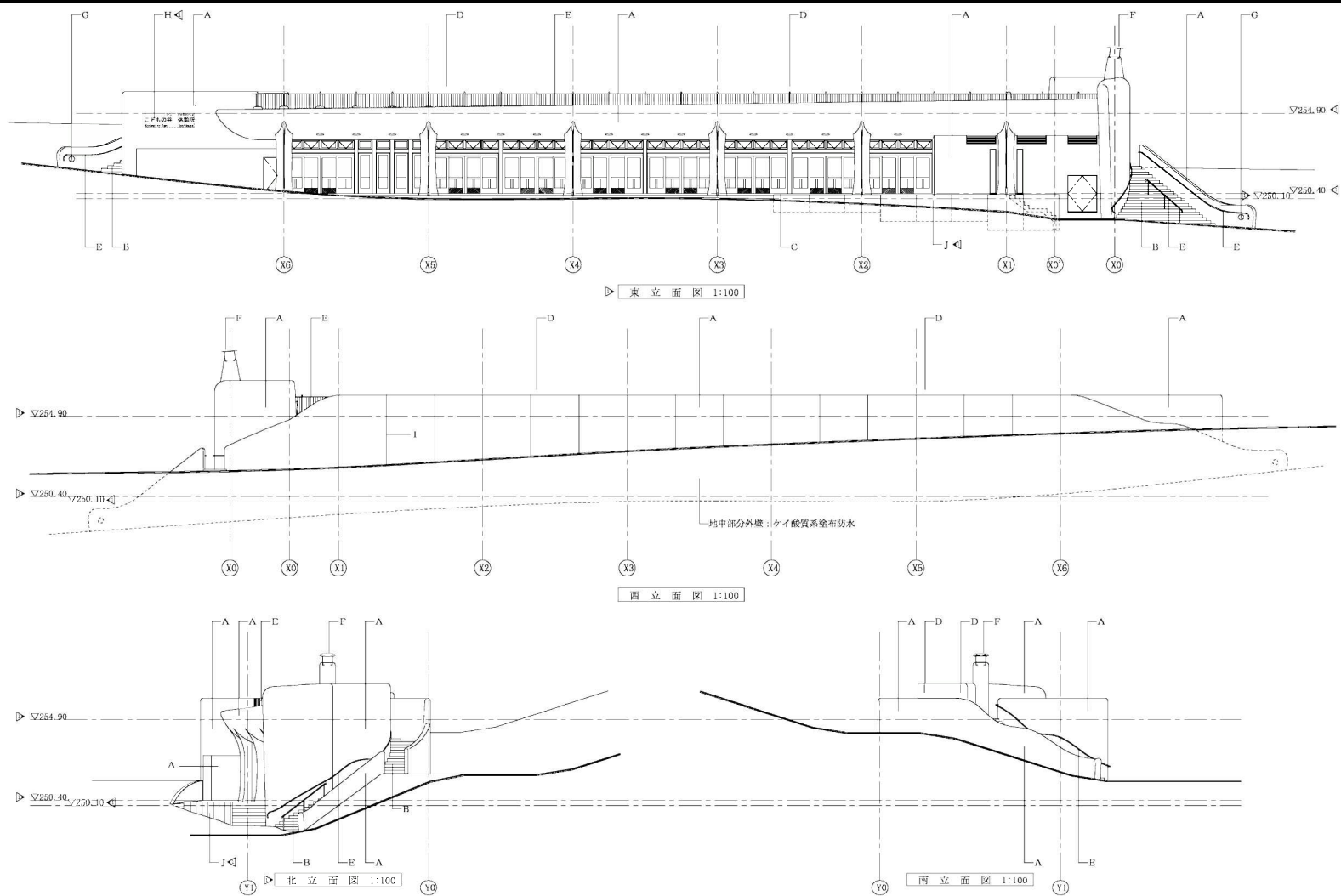
※△印・□印は、本工事を示す。

【凡例】

: 収益施設対象範囲

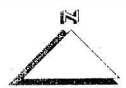
※1 当該施設は、『裁量施設』です。

滝野すずらん丘陵公園	
図面名	収益施設運営
	飲食施設 （子供の谷休憩所売店）
縮尺	— 図番 — / —
北海道開発局 札幌開発建設部	



※1 当該施設は、『裁量施設』です。

滝野すずらん丘陵公園			
図面名	収益施設運営		
	飲食施設 (子供の谷休憩所売店)		
縮尺	—	図番	— / —
北海道開発局 札幌開発建設部			

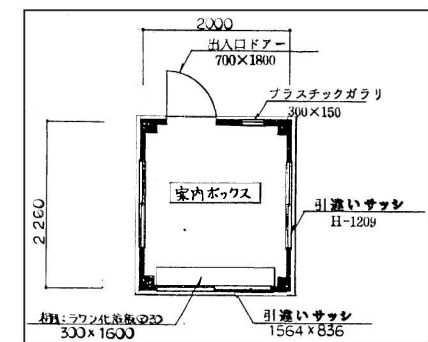
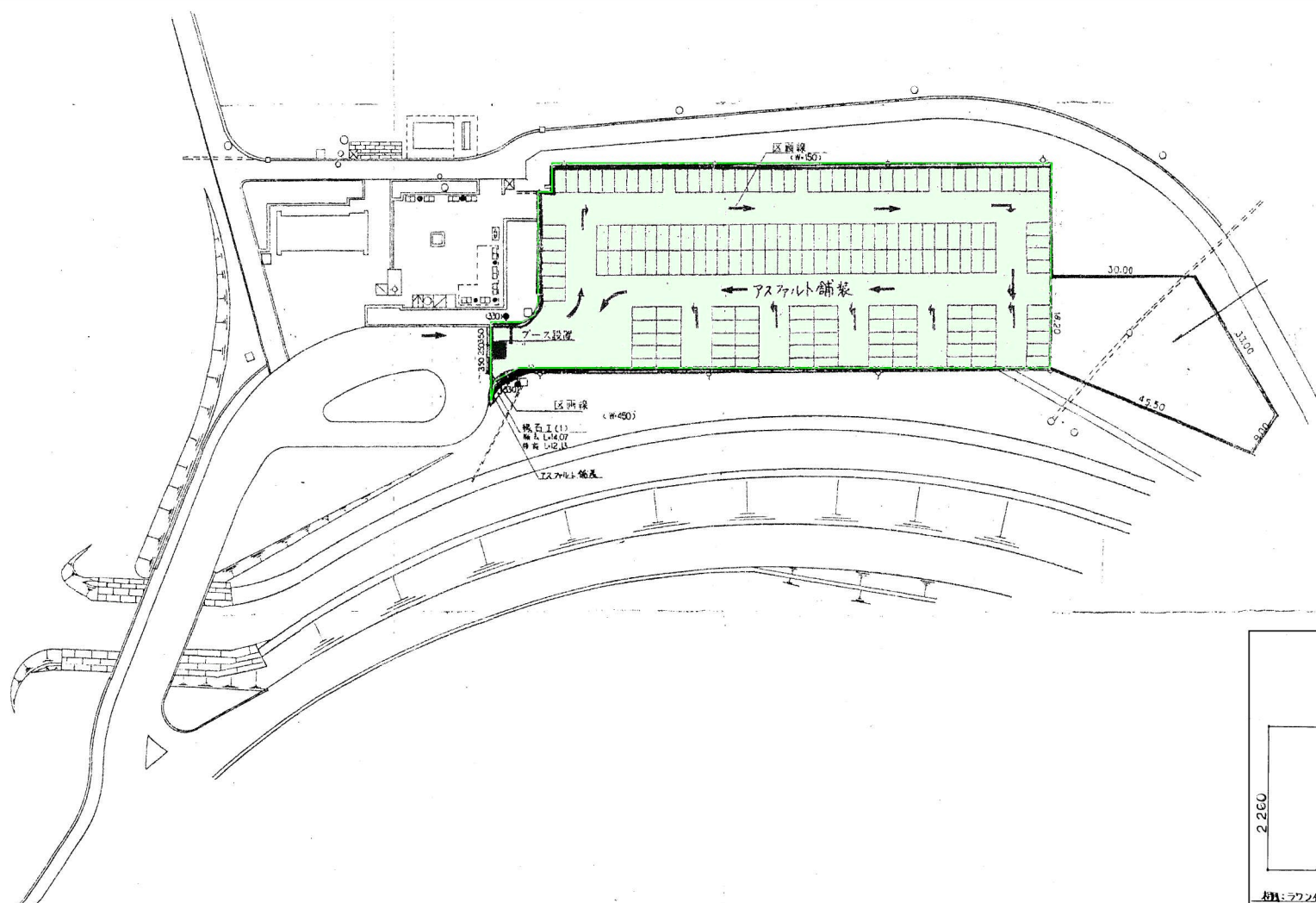


【凡例】

■ : 収益施設対象範囲

※1 当該施設は、『必須施設』です。

滝野すずらん丘陵公園			
図面名	収益施設運営		
	駐車場施設(中央口)		
縮尺	—	図番	/
北海道開発局 札幌開発建設部			

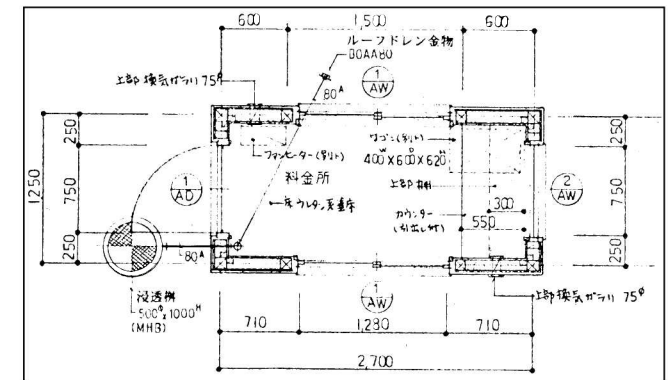
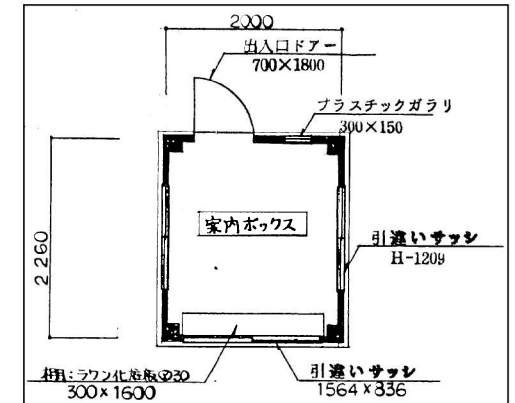
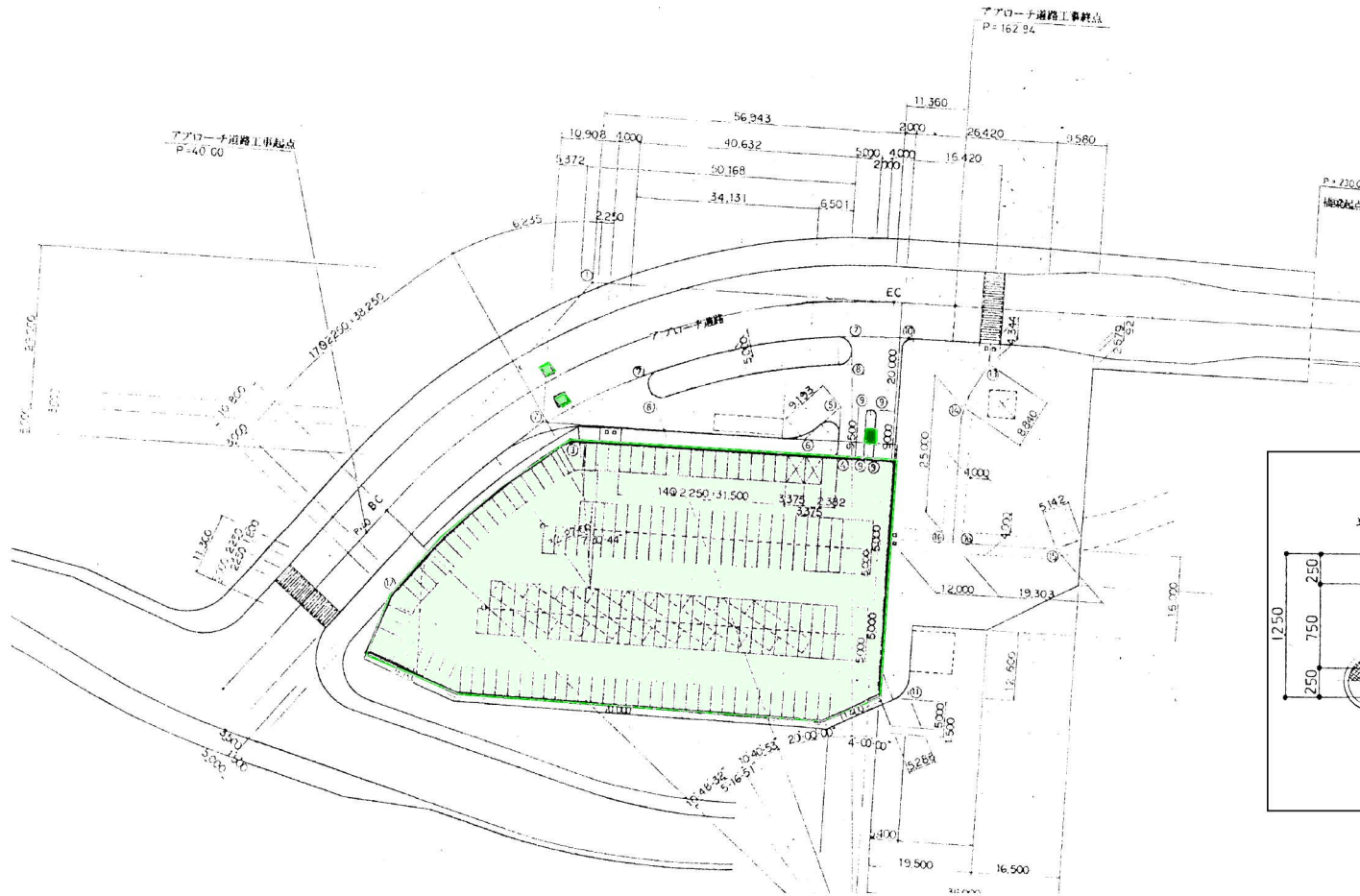
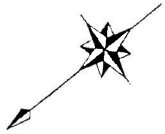


滝野すずらん丘陵公園			
収益施設運営			
図面名	駐車場施設(罎見口)		
縮尺	—	図番	/
北海道開発局 札幌開発建設部			

【凡例】

: 収益施設対象範囲

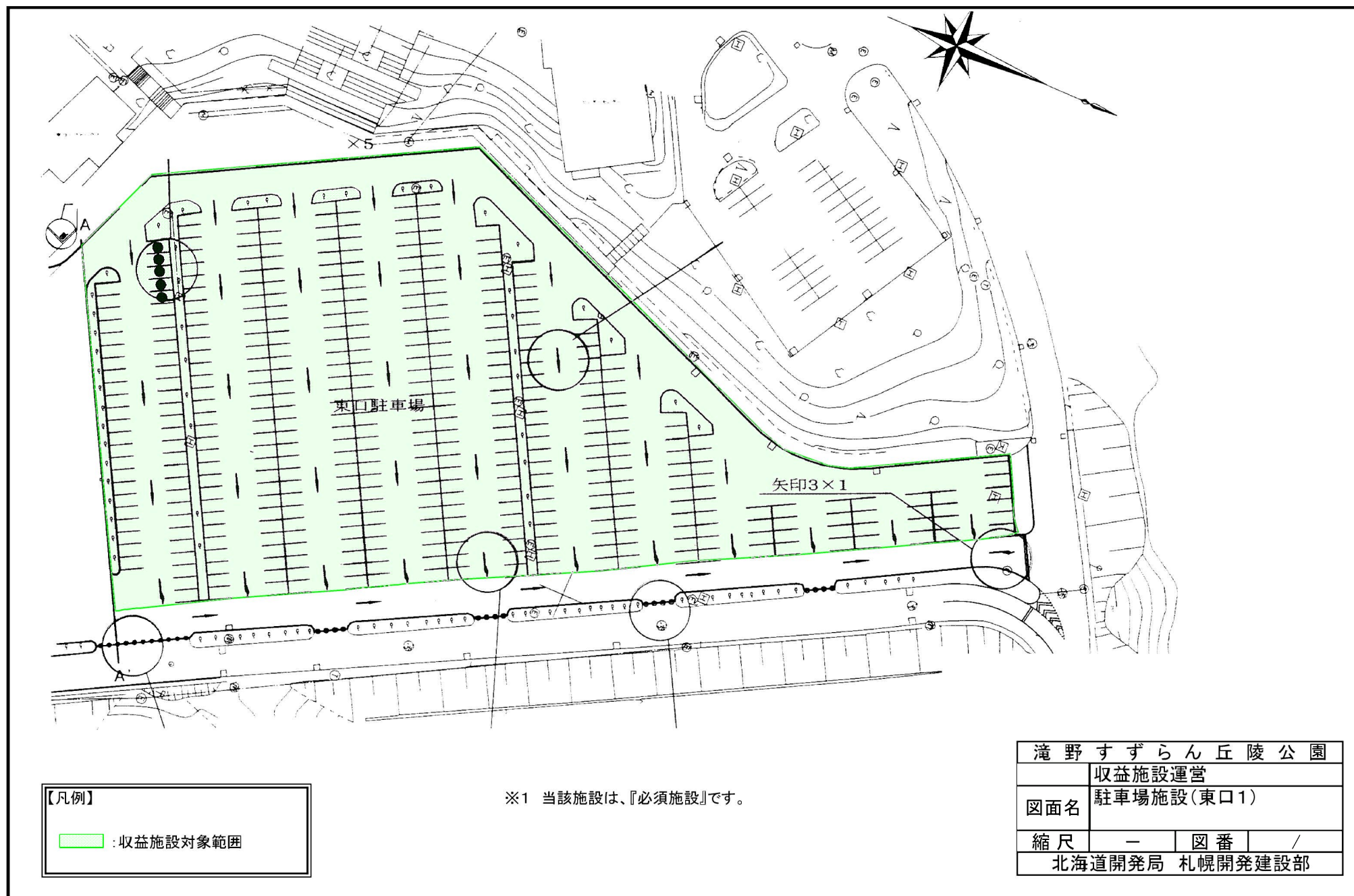
※1 当該施設は、『裁量施設』です。



【凡例】	
	: 収益施設対象範囲

※1 当該施設は、『必須施設』です。

滝野すずらん丘陵公園			
収益施設運営			
図面名	駐車場施設(溪流口)		
縮尺	—	図番	/
北海道開発局 札幌開発建設部			

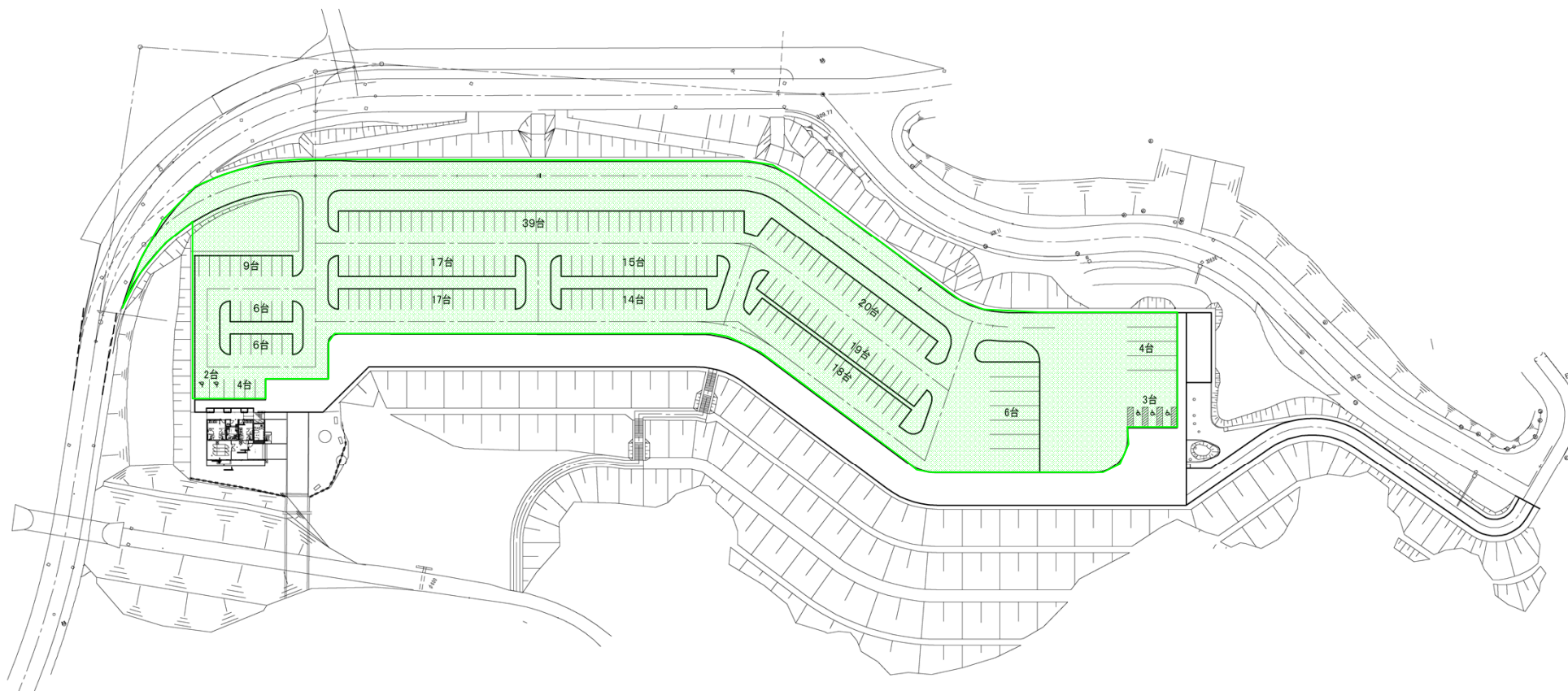




【凡例】	
	: 収益施設対象範囲

※1 当該施設は、『必須施設』です。

滝野すずらん丘陵公園			
収益施設運営			
図面名	駐車場施設(東口2)		
縮尺	—	図番	— / —
北海道開発局 札幌開発建設部			

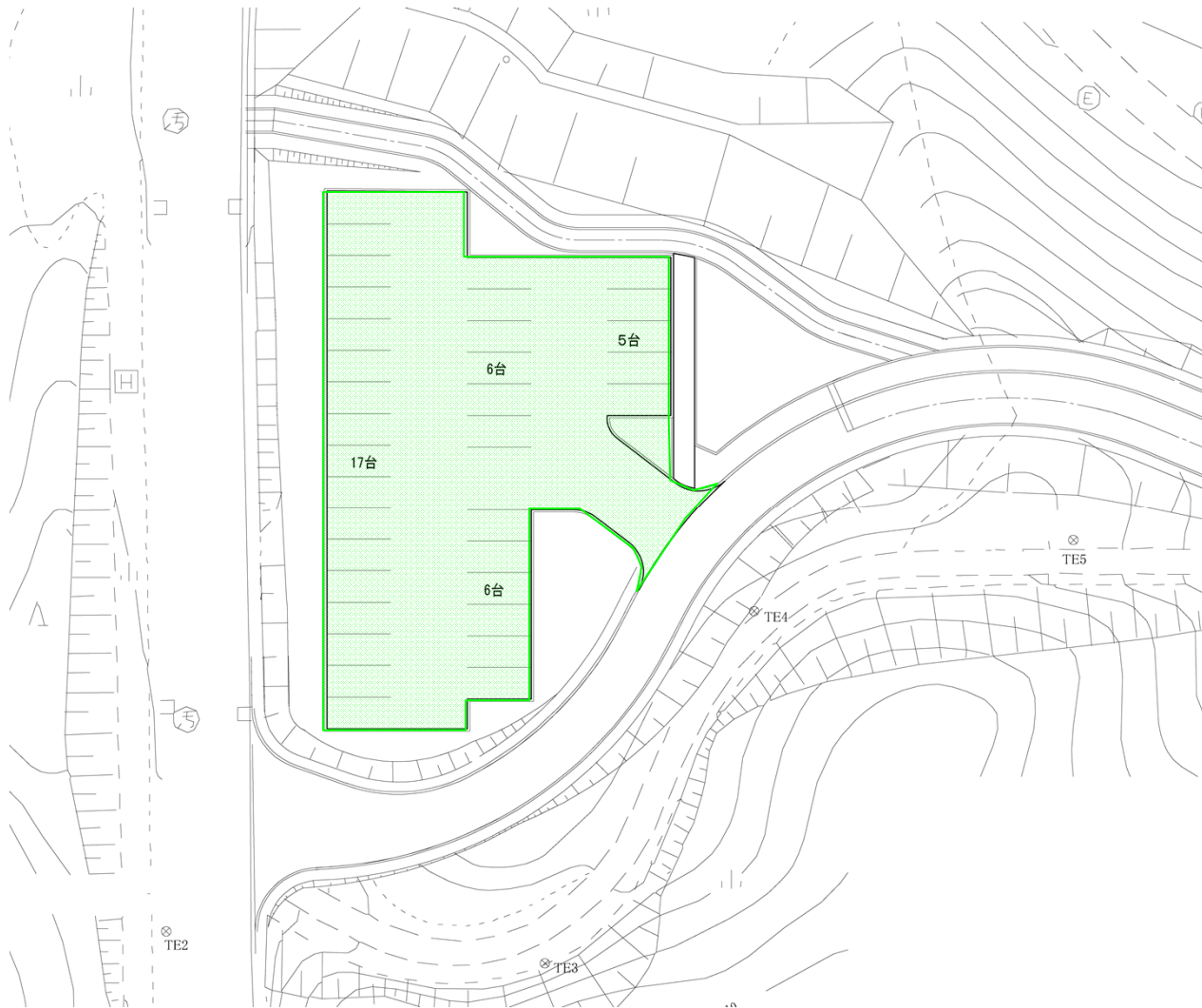


【凡例】

: 収益施設対象範囲

※1 当該施設は、『必須施設』です。

滝野すずらん丘陵公園			
	収益施設運営		
図面名	駐車場施設(南1)		
縮尺	—	図番	/
北海道開発局 札幌開発建設部			

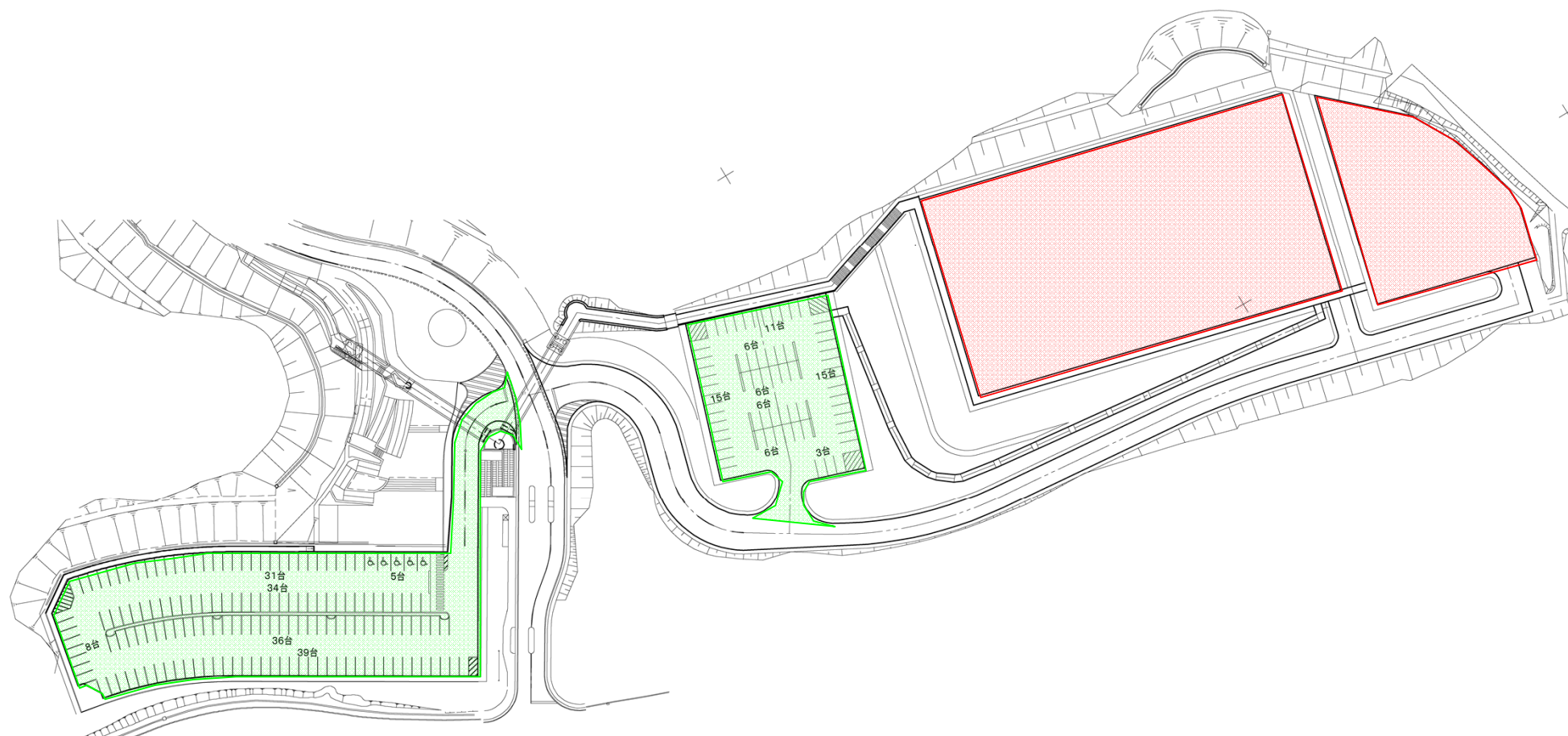


【凡例】

: 収益施設対象範囲

※1 当該施設は、『必須施設』です。

滝野すずらん丘陵公園			
	収益施設運営		
図面名	駐車場施設(南2)		
縮尺	—	図番	/
北海道開発局 札幌開発建設部			

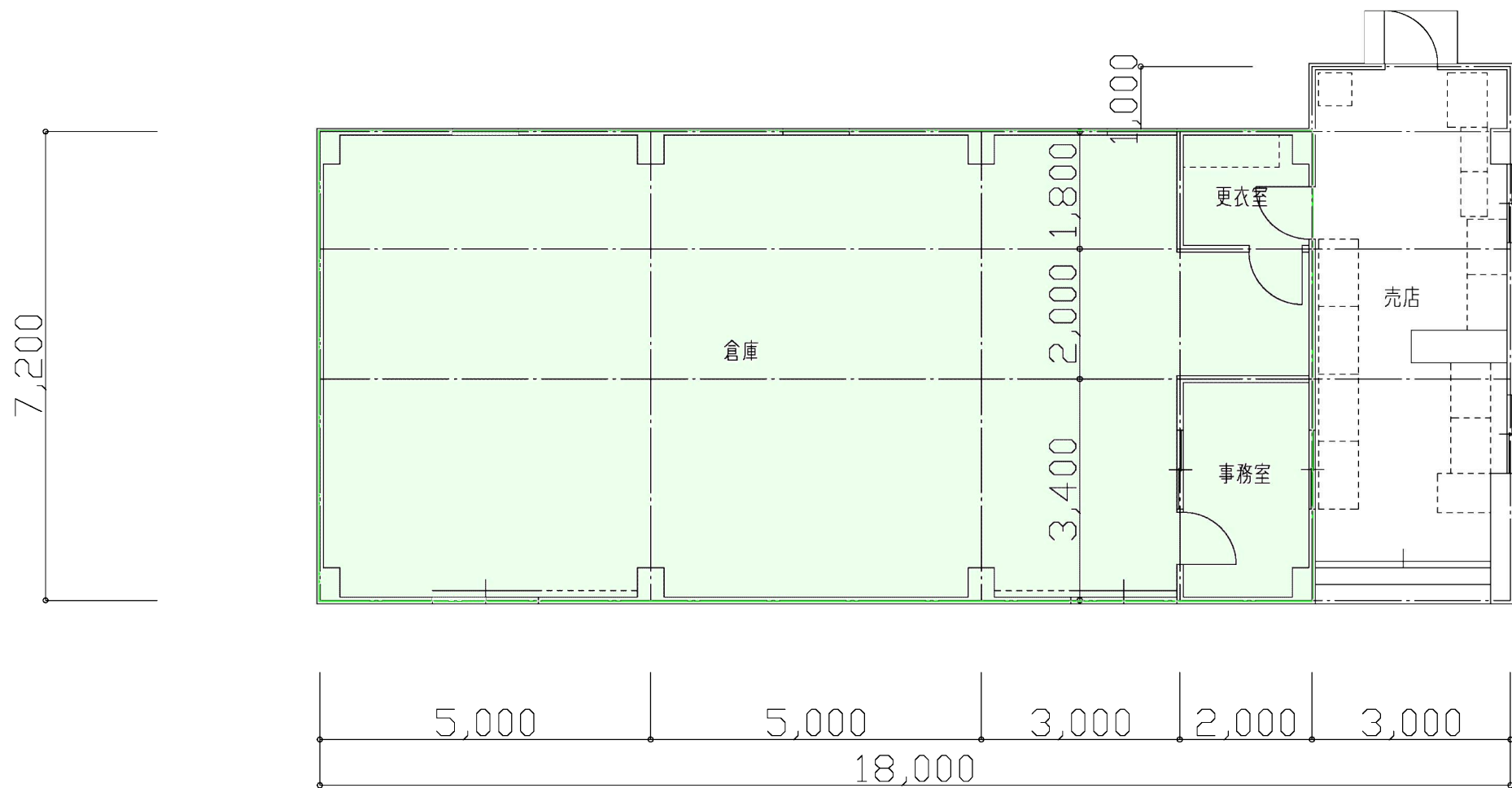


【凡例】

- : 運営維持管理業務対象範囲
 : 収益施設対象範囲

※1 当該施設は、『必須施設』です。

滝野すずらん丘陵公園			
	収益施設運営		
図面名	駐車場施設(滝野の森口)		
縮尺	—	図番	/
北海道開発局 札幌開発建設部			

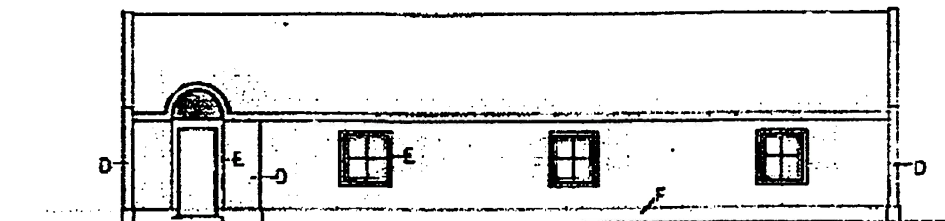


【凡例】

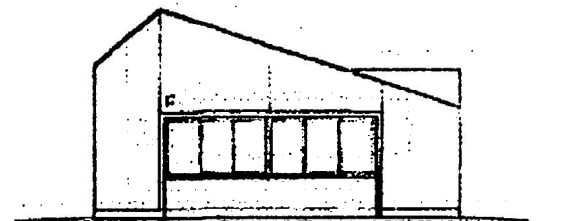
: 収益施設対象範囲

※1 当該施設は、『裁量施設』です。

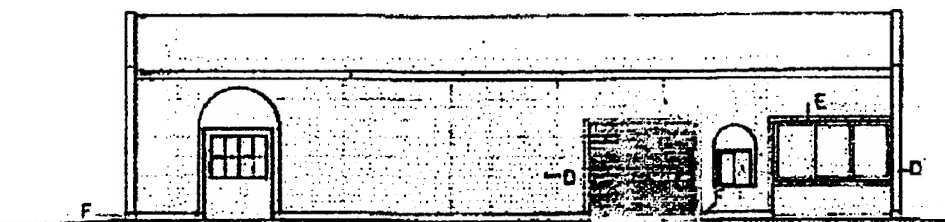
滝野すずらん丘陵公園			
図面名	収益施設運営		
	飲食施設(サイクリング施設)		
縮尺	—	図番	/
北海道開発局 札幌開発建設部			



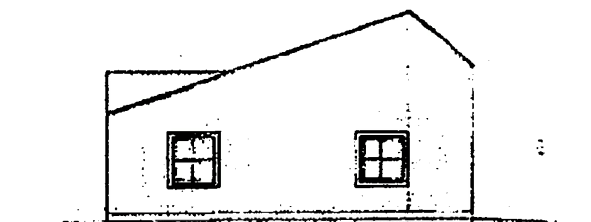
サイクルセンター南側



サイクルセンター西側



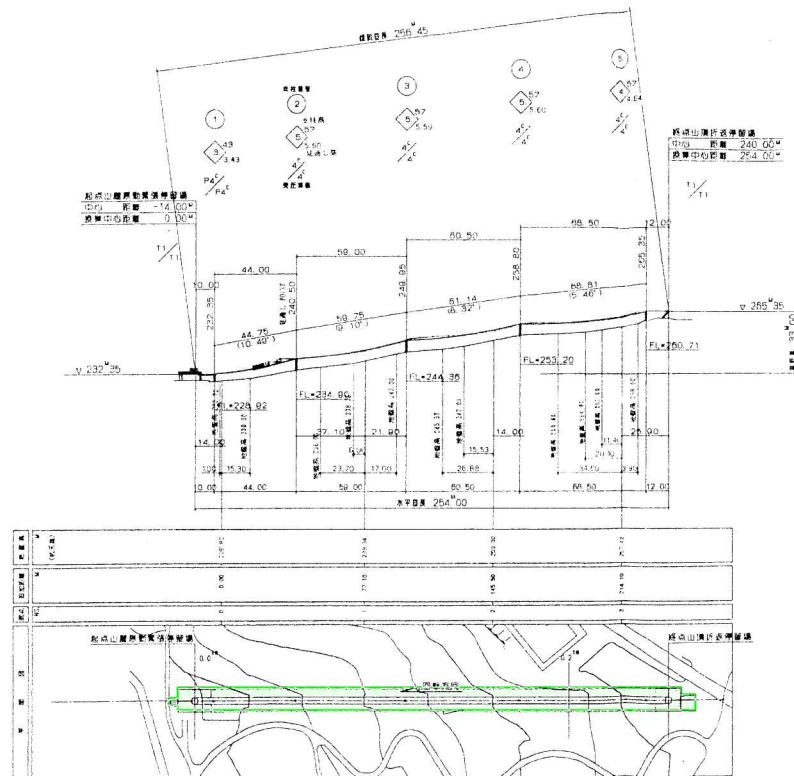
サイクルセンター北側



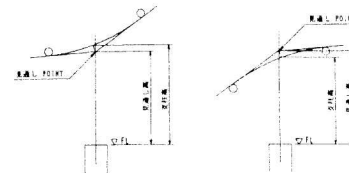
サイクルセンター東側

滝野すずらん丘陵公園			
図面名	収益施設運営		
	飲食施設(サイクリング施設)		
縮尺	—	図番	— / —
北海道開発局 札幌開発建設部			

滝野第1リフト
線路実測断面並平面図



線路全長	256.45m
線路水平距離	254.00m
線路垂直距離	23.00m
線路全長	256.45m
線路全長	256.45m



S=1/1000

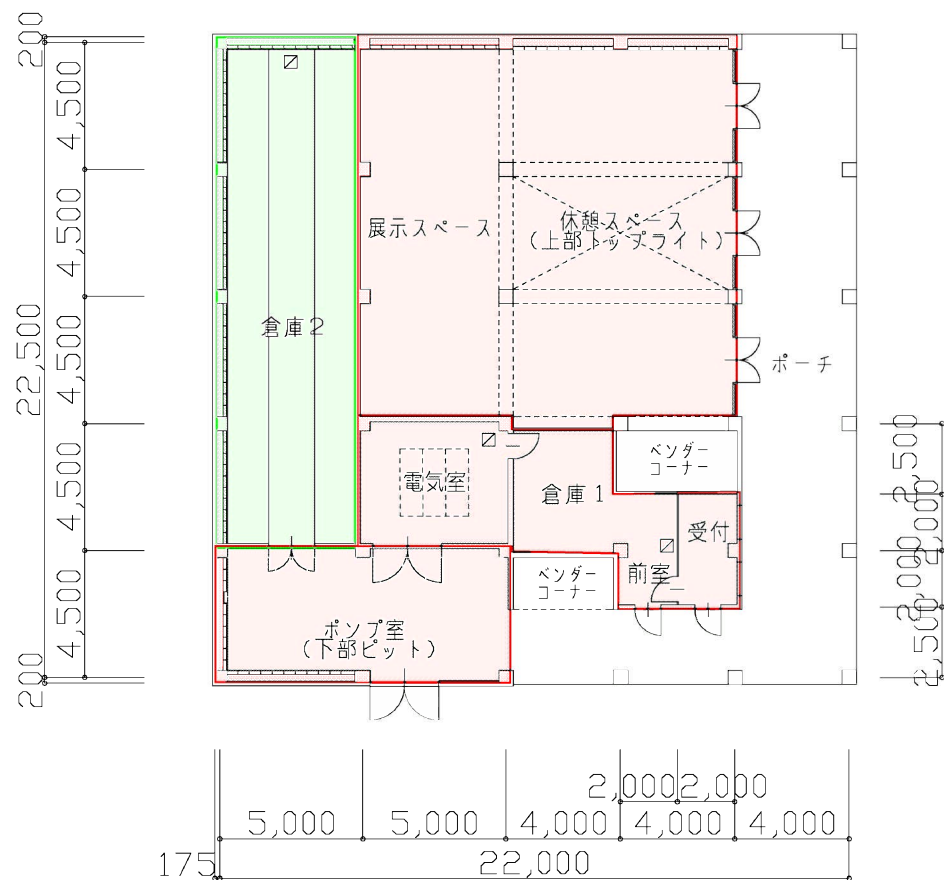
【凡例】

収益施設対象範囲

※1 当該施設は、『裁量施設』です。

施設名	滝野第1リフト
所在地	北海道札幌市 滝野すずらん丘陵公園
施設の形式	単線式往復式吊椅索道
索道の幅員	5.00m
索道の長さ	256.45m
索道の傾斜	9.1%
索道の速度	1.0m/s
索道の容量	1,000人/時
索道の電力	1.0kW
索道の構造	鋼索式
索道の材料	鋼索
索道の設計	北海道開発局 札幌開発建設部
索道の施工	北海道開発局 札幌開発建設部
索道の管理	北海道開発局 札幌開発建設部
索道の点検	北海道開発局 札幌開発建設部
索道の修理	北海道開発局 札幌開発建設部
索道の廃止	北海道開発局 札幌開発建設部

滝野すずらん丘陵公園	収益施設運営
図面名	園内移動用施設(カントリーガーデン)
縮尺	— 図番 /
北海道開発局 札幌開発建設部	



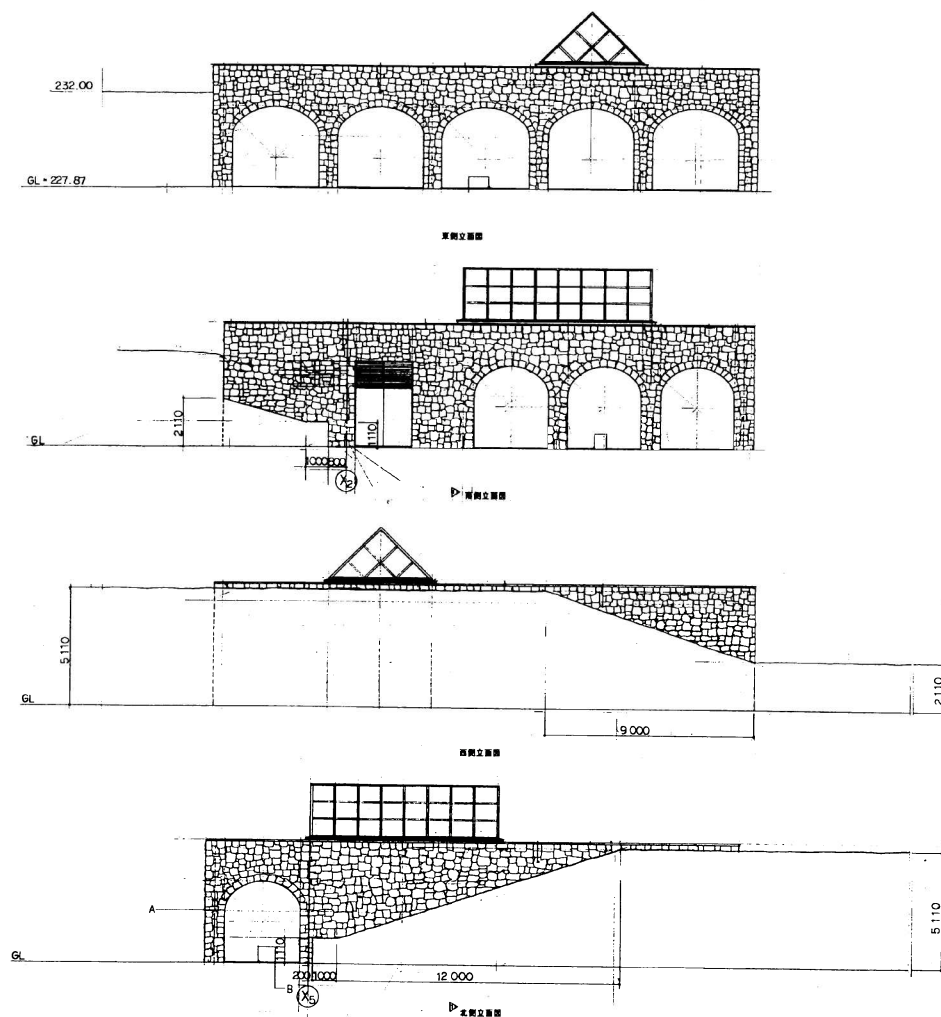
中央口休憩所 平面図

S:1/200

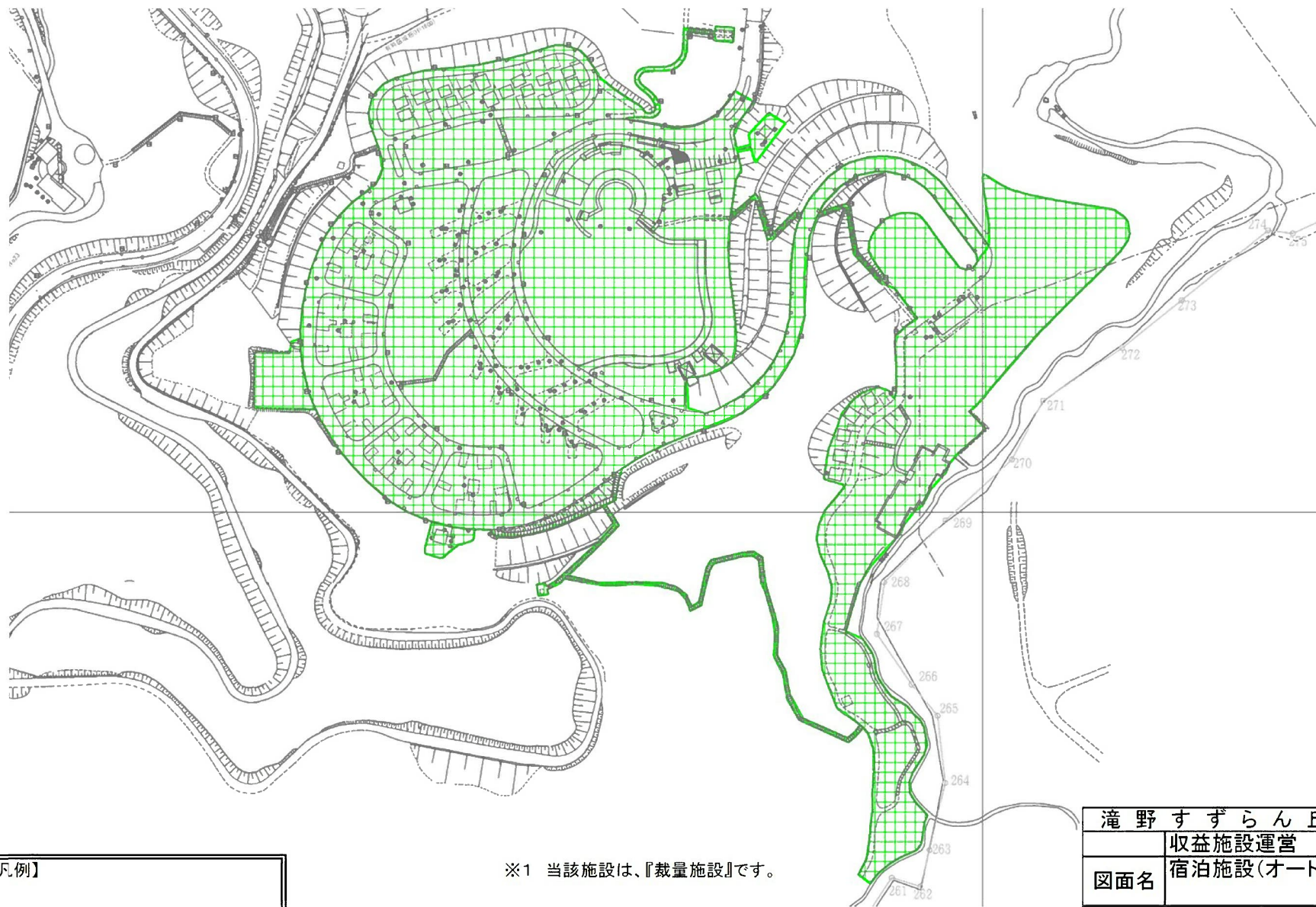
【凡例】


- : 運営維持管理業務対象範囲
- : 収益施設対象範囲

※1 当該施設は、『裁量施設』です。



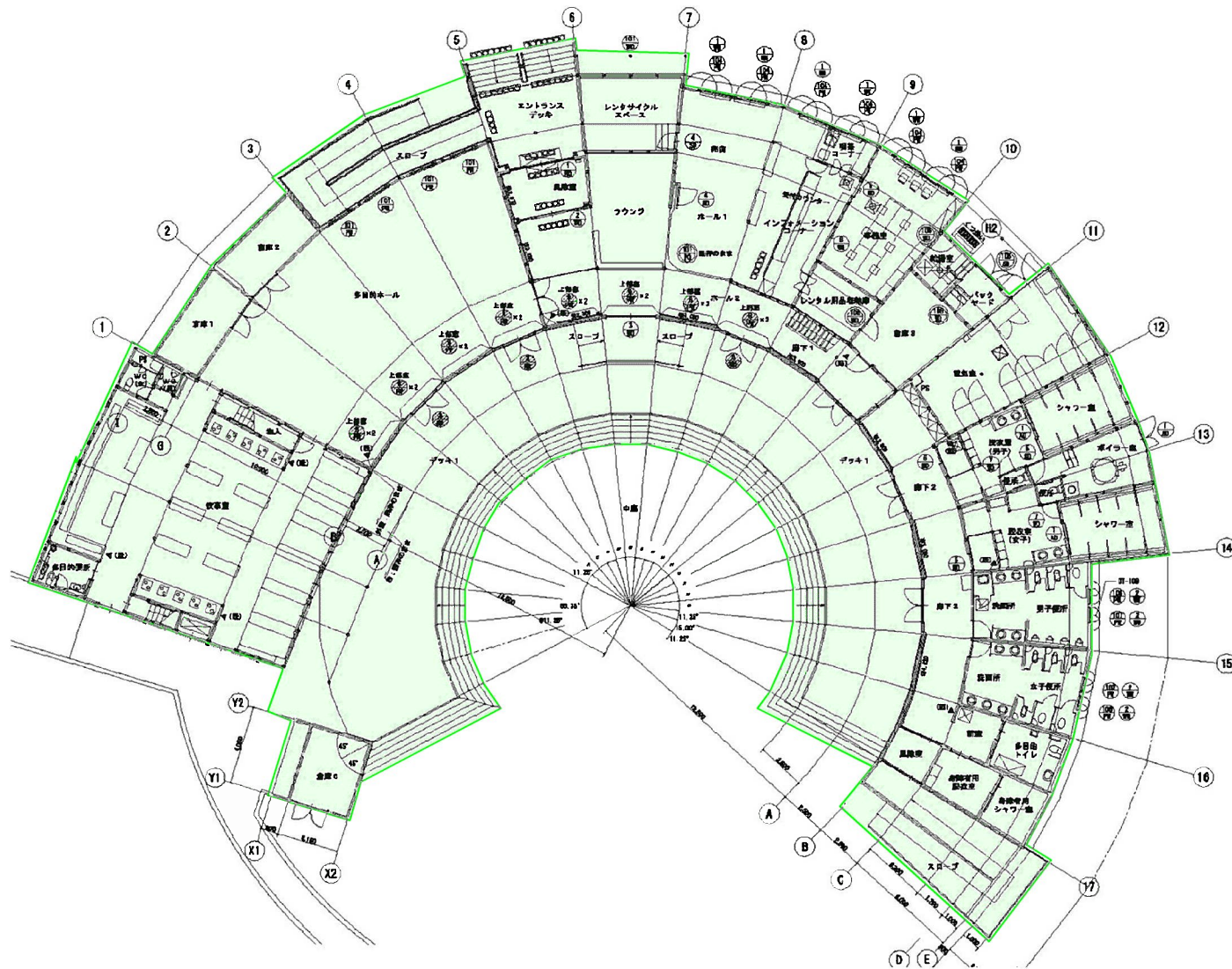
滝野すずらん丘陵公園			
収益施設運営			
図面名	園内移動用施設(カントリーガーデン)		
縮尺	—	図番	/
北海道開発局 札幌開発建設部			



【凡例】	
	: 収益施設対象範囲

※1 当該施設は、『裁量施設』です。

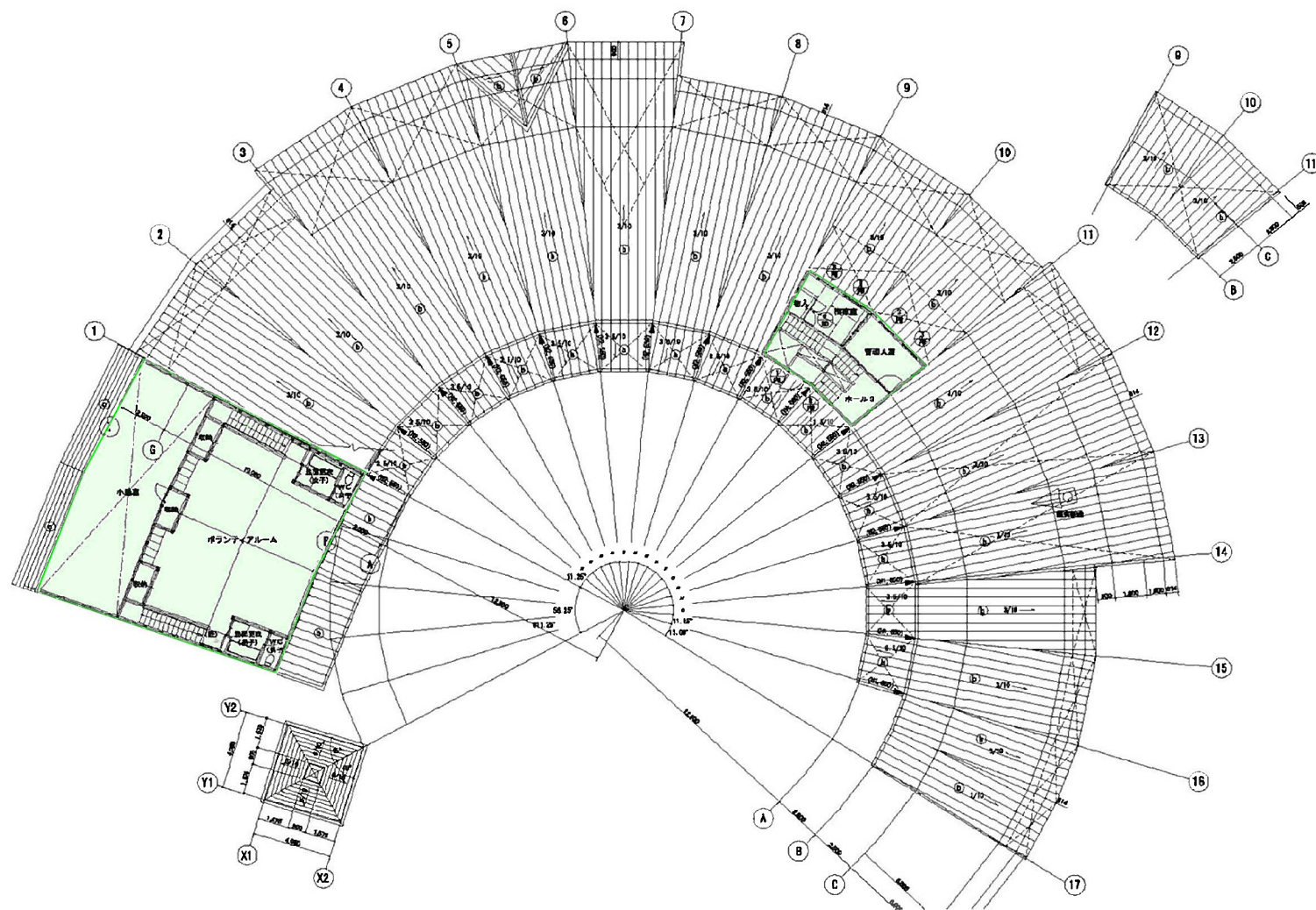
滝野すずらん丘陵公園			
収益施設運営			
図面名	宿泊施設(オートキャンプ場)		
縮尺	—	図番	/
北海道開発局 札幌開発建設部			



【凡例】

収益施設対象範囲

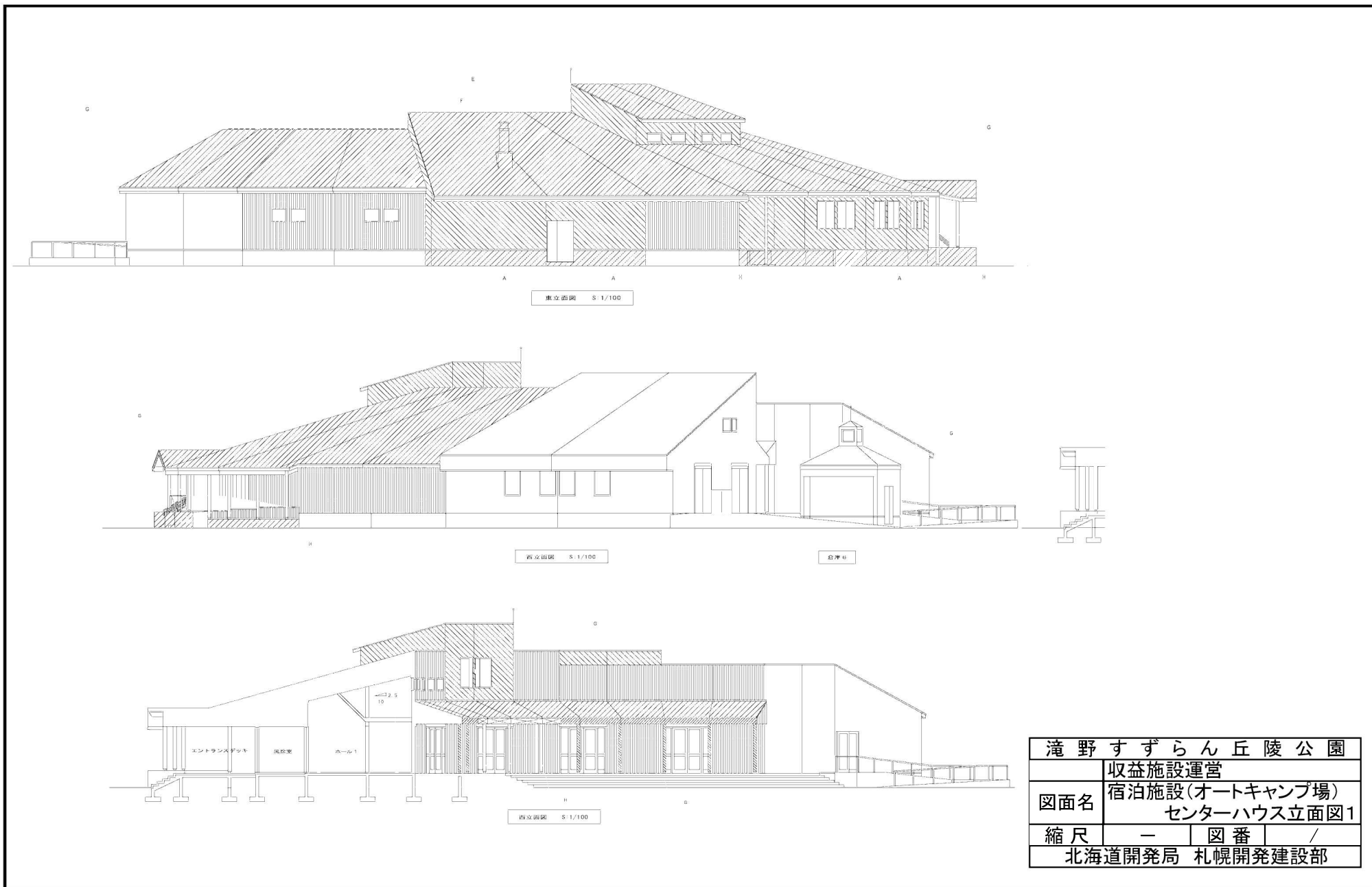
滝野すずらん丘陵公園	
収益施設運営	
図面名	宿泊施設(オートキャンプ場) センターハウス1F平面図
縮尺	— 図番 /
北海道開発局 札幌開発建設部	

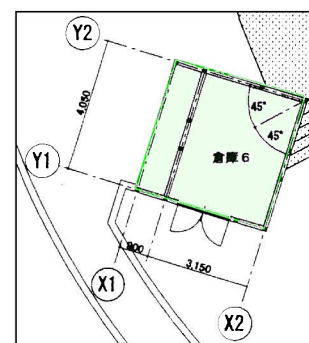
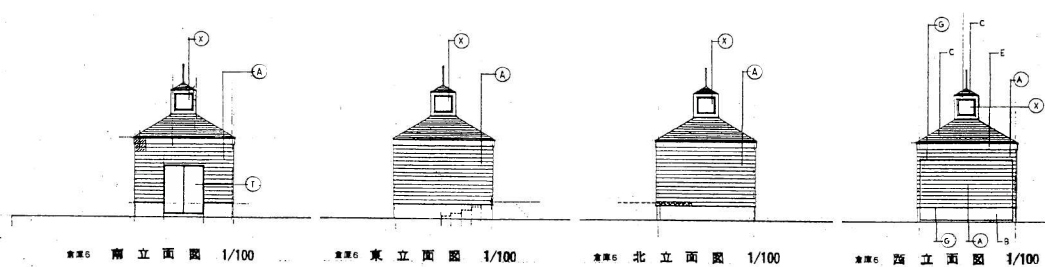
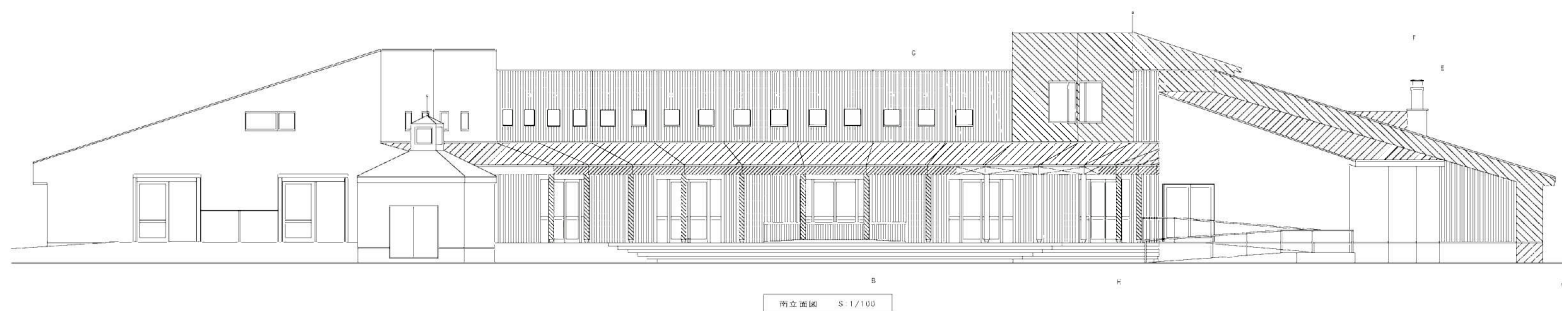
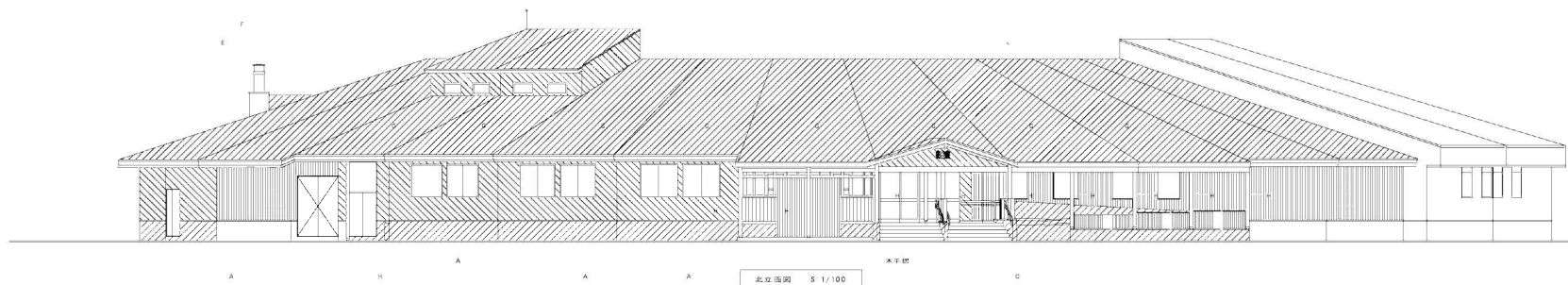


【凡例】

■ : 収益施設対象範囲

滝野すずらん丘陵公園			
	収益施設運営		
図面名	宿泊施設(オートキャンプ場) センターハウス2F平面図		
縮尺	—	図番	/
北海道開発局 札幌開発建設部			





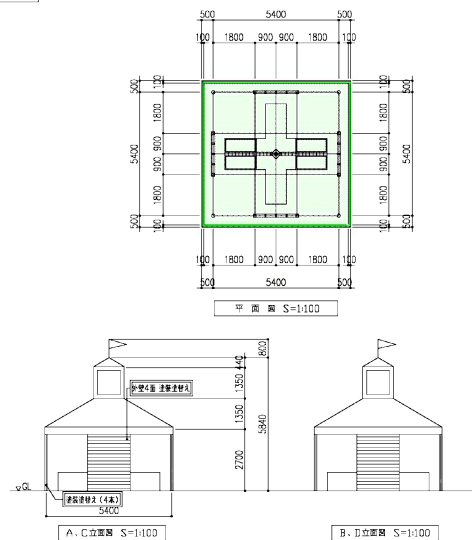
【凡例】

■ : 収益施設対象範囲

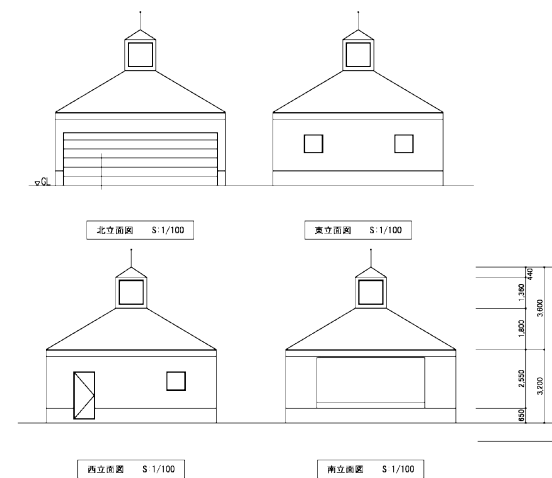
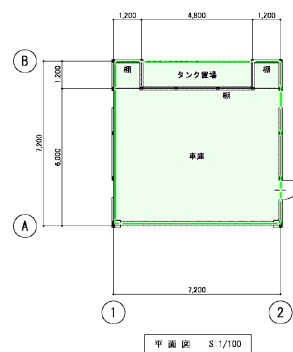
倉庫6平面図

滝野すずらん丘陵公園			
収益施設運営			
図面名	宿泊施設(オートキャンプ場) センターハウス立面図・倉庫6		
縮尺	—	図番	/
北海道開発局 札幌開発建設部			

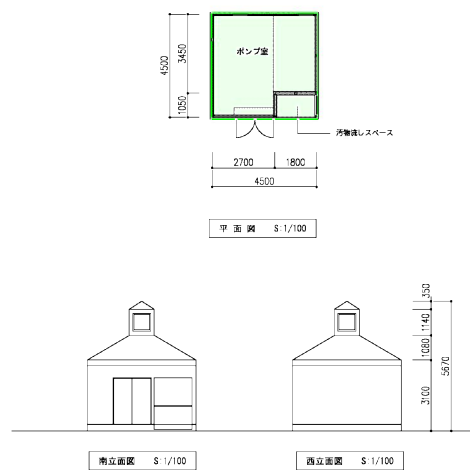
炊事棟



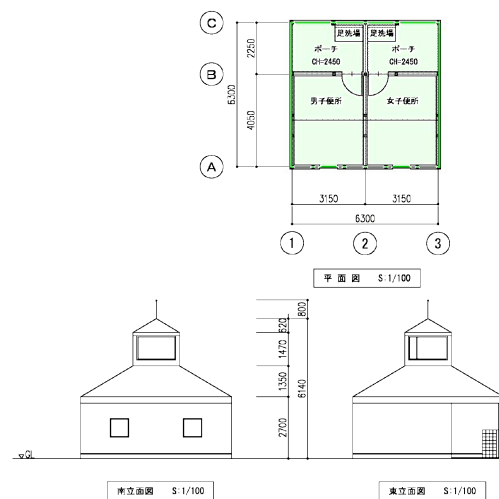
バッテリーカー庫



汚水ポンプ棟



便所棟 (2棟)



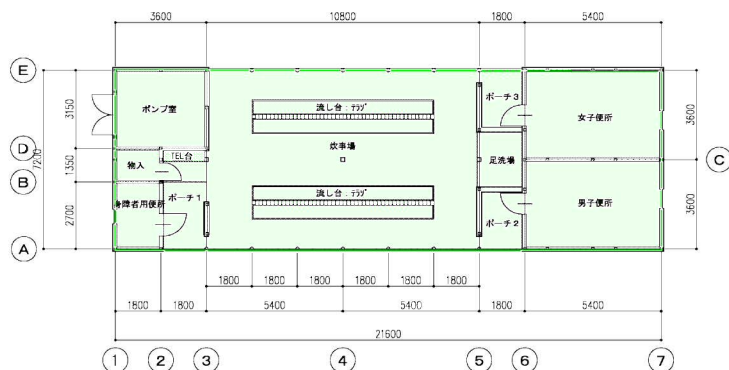
【凡例】

：収益施設対象範囲

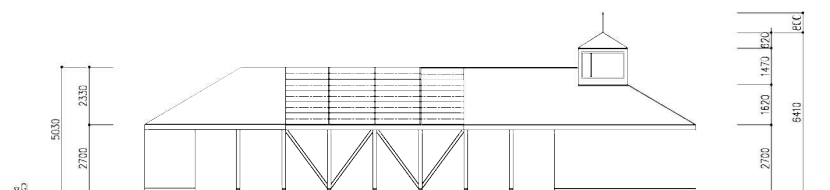
滝野すずらん丘陵公園

	収益施設運営		
図面名	宿泊施設(オートキャンプ場)		
	炊事棟・車庫棟・ダンプステーション・便所		
縮尺	—	図番	/
北海道開発局 札幌開発建設部			

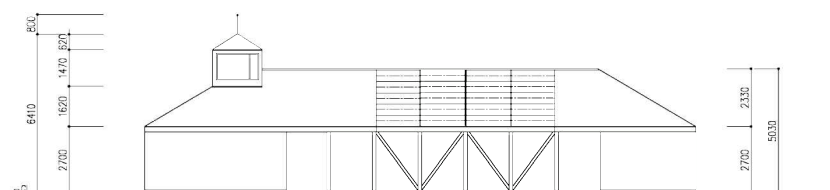
サニタリーハウス



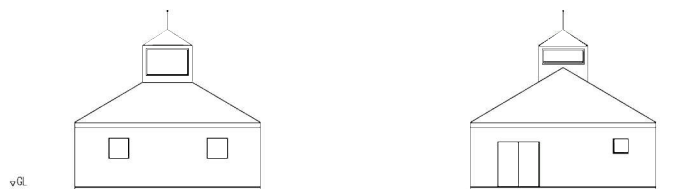
平面図 S:1/100



南立面図 S:1/100



北立面図 S:1/100



東立面図 S:1/100

西立面図 S:1/100

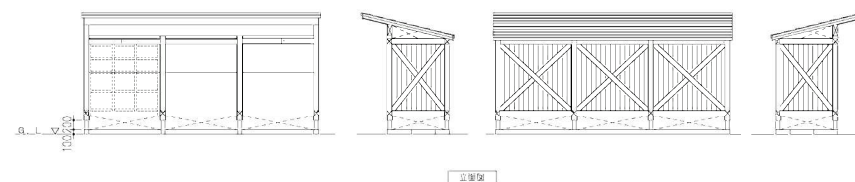
自販機置場



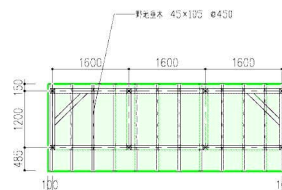
立面図

平面図

ゴミステーション



立面図



平面図

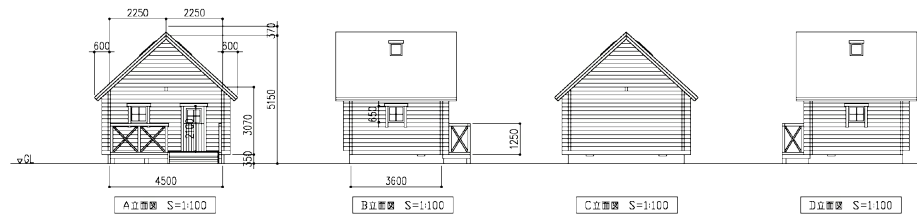
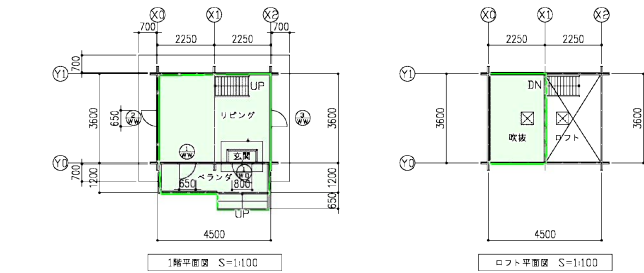
【凡例】

：収益施設対象範囲

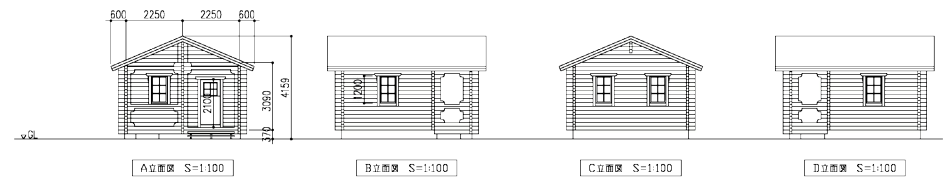
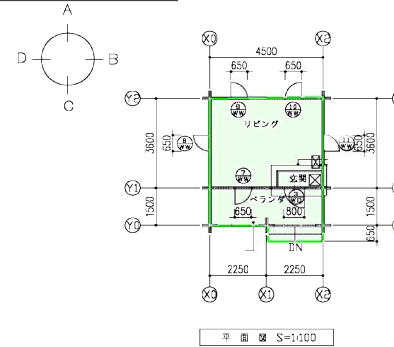
滝野すずらん丘陵公園

	収益施設運営		
図面名	宿泊施設(オートキャンプ場)		
	サニタリーハウス・自販機置場・ゴミステーション		
縮尺	—	図番	/
北海道開発局 札幌開発建設部			

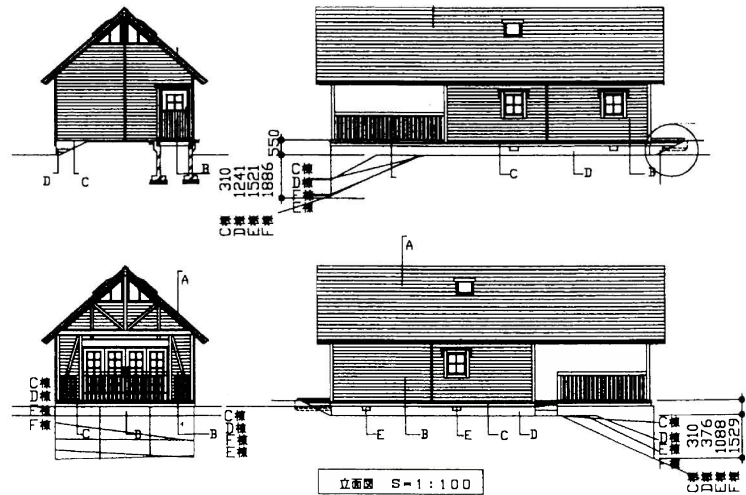
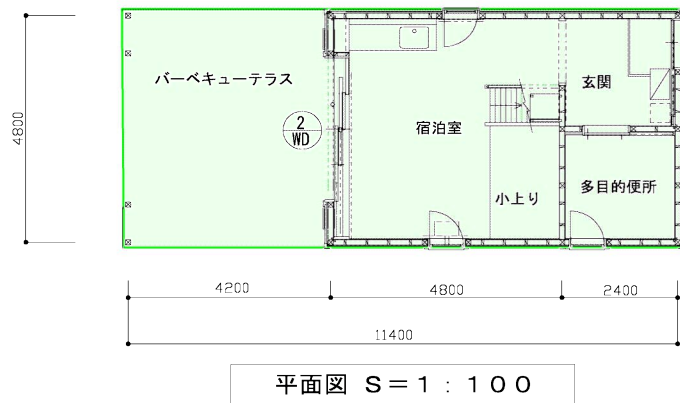
ログハウスカabinA



ログハウスカabinB



ログハウスカabinS



【凡例】	
	: 収益施設対象範囲

滝野すずらん丘陵公園			
収益施設運営			
宿泊施設(オートキャンプ場)			
ログハウスカabinA・B・S			
図面名	縮尺	図番	/
北海道開発局 札幌開発建設部			

■施設資産一覧（1/15）

施設名	区分	詳細	数量等	公簿記載
レストラン	レストラン(カントリーハウス)			
	躯体・設備	カントリーハウス建物（躯体・電気・機械設備等）	一式	国
	設備	厨房機器	一式	テナント
	備品	二段棚	1 台	テナント-01
		ジュース冷蔵庫	1 台	テナント-02
		二段棚	1 台	テナント-03
		ラック	7 台	テナント-04
		食品棚	1 台	テナント-05
		冷蔵ストッカー	1 台	テナント-06
		洗浄機器セット	1 式	テナント-07
		計量器	1 台	テナント-08
		シンク付調理台	1 台	テナント-09
		調理台	1 箇所	テナント-10
		ビールディスペンサー	1 台	テナント-11
		ジュース冷蔵庫	1 台	テナント-12
		調理台	1 台	テナント-13
		調理台	1 台	テナント-14
		調理台	1 台	テナント-15
		ワゴン	8 台	テナント-16
		冷凍庫	1 台	テナント-17
		冷蔵庫	1 台	テナント-18
		調理台	2 台	テナント-19
		茹で麺器	1 台	テナント-20
		ローレンジ	2 台	テナント-21
		保温器	3 台	テナント-22
		シンク	1 箇所	テナント-24
		オープン付ガス台	2 台	テナント-25
		ガス台	1 台	テナント-26
		冷凍庫	2 台	テナント-27
		フライヤー	1 台	テナント-28
		調理台	1 台	テナント-29
		シンク	1 箇所	テナント-30
		調理台	1 台	テナント-31
		ガス釜	3 台	テナント-32
		ジュース冷蔵庫	1 台	テナント-33

■施設資産一覧 (2/15)

施設名	区分	詳細	数量等	公簿記載
レストラン	レストラン(カントリーハウス)			
	備品	アイス冷凍庫	1 台	テナント-34
		調理台	1 台	テナント-35
		二槽シンク	1 台	テナント-36
		洗濯機	1 台	テナント-37
		消毒器	1 台	テナント-38
		調理台	1 台	テナント-39
		順番待ち案内板	1 台	テナント-40
		レジ	1 台	テナント-41
		ジュースディスペンサー	1 台	テナント-42
		コーヒーサーバー	1 台	テナント-43
		調理台	1 台	テナント-44
		製氷機	1 台	テナント-45
		吊戸棚	1 台	テナント-46
		二槽シンク	1 台	テナント-47
		カップウォーマー	1 台	テナント-48
		ソフトクリームフリーザー	1 台	テナント-49
		コールドテーブル	1 台	テナント-50
		ティッシュボックス	5 箱	テナント-51
		サンプルケース	3 台	テナント
		ジュース冷蔵庫	2 台	テナント-52
		レンジフード	1 式	国-01
		吊戸棚	1 式	国-02
		吊戸棚	1 式	国-03
		冷凍室	1 式	国-04
		外部用テーブル、イス類	1 式	国-05
		カウンターテーブル	1 式	国-06
		売店陳列棚	1 式	国-07
	レストラン(カントリーハウス事務室)			
	備品	ロッカー	3 台	テナント-01
		空気清浄機	1 台	テナント-02
		扇風機	1 台	テナント-03
		事務所扉	1 台	テナント-04
		暖房機	1 台	テナント-05
		予定表	1 台	テナント-06
		事務所吊棚	1 式	国

■施設資産一覧 (3/15)

施設名	区分	詳細	数量等	公簿記載
レストラン	レストラン(溪流園)			
	躯体・設備	レストラン建物（躯体・電気・機械設備等）		国
	設備	厨房機器・テーブル・イス		テナント
		プロパン庫		国
		BBQ コーナー		国
	備品	屋内テーブル、イスセット	17 セット	テナント
		ガスコンロ	17 台	テナント
		照明類	1 式	テナント
		食器棚	1 式	テナント
		ガス配管	1 式	国
		ゴミ箱（屋外、大）	2 個	国
		厨房機器	1 式	テナント
		屋外テーブル、イスセット	1 式	国
	魚釣場			
	躯体	魚釣場躯体		国
	設備	給排水路		国
		養魚場		国
		魚釣場園路・四阿・テーブル・イス・灰皿		国
		釣具貸出棟		テナント
		釣具貸出棟内装・釣具一式・休憩所棟ベンチ・看板		テナント
		休憩所棟		テナント
	備品	棚	1 台	国-01
		シンク	1 箇所	国-03
		ブラインド	4 枚	国-05
		シンク	3 箇所	国-01～03
		テーブルセット	6 セット	国
		ゴミ箱	1 台	国
		棚	2 台	国
		灰皿	4 台	国
		ジュース冷蔵庫	1 台	テナント
		調理台	1 台	テナント

■施設資産一覧（4/15）

施設名	区分	詳細	数量等	公簿記載
レストラン				
	魚釣場			
	備品	ガス湯沸し器	1 台	テナント
		洗濯機	1 台	テナント
		冷蔵庫	1 台	テナント
		冷凍庫	1 台	テナント
		傘立て	1 台	テナント
		扇風機	1 台	テナント
		テーブル	1 台	テナント
		テーブル・イス二脚	1 式	テナント
		電子レンジ	1 台	テナント
		レジ	1 台	テナント
		カウンターテーブル	1 台	テナント
		竿立て	1 式	テナント
		バケツ置き	1 台	テナント
		案内看板	1 枚	テナント
		イス	3 脚	テナント
		机	1 台	テナント
		台車	1 台	テナント
		時計	1 台	テナント
売店				
	鱒見口売店			
	躯体・設備・内装	売店建物（躯体・電気・機械設備・内装）		国
	設備	厨房機器		テナント
	備品	アイス用冷凍ショーケース	1 台	テナント-01
		業務用ラック×2、吊戸棚	1 式	テナント-02
		テーブル、イス	1 セット	テナント-03
		殺虫器	1 台	テナント-04
		ガス湯沸かし器	1 台	テナント-05
		レンジフード	2 箇所	国
		調理台	1 台	テナント-06
		ガス台 2 口	1 台	テナント-07
		ガス台 1 口	1 台	テナント-08
		ガスコンロ台	1 台	テナント-09
		コールドテーブル	1 台	テナント-10
		レジ	1 台	テナント-11
		製氷機	1 台	テナント-12

■施設資産一覧 (5/15)

施設名	区分	詳細	数量等	公簿記載
売店	鱒見口売店			
	備品	冷凍ストッカー 大	1 台	テナント
		冷凍ストッカー 小	1 台	テナント
		殺菌灯	1 台	テナント
		電話	1 台	国
		スポット照明	2 個	国
		吊戸棚	1 枚	テナント-15
		棚	1 台	テナント-16
		棚	1 台	テナント-17
		メニューボード	1 台	テナント-18
		ショーケース	1 台	テナント-19
		タバコケース	1 台	テナント-20
		二槽シンク	1 箇所	テナント-21
		ソフトアイスメーカー	1 台	テナント-22
		カウンター	1 台	国
		二槽シンク	1 箇所	テナント-23
		調理台	1 台	テナント-24
		調理台	1 台	テナント-25
		電子レンジ	1 台	テナント-26
		調理台	1 台	テナント-27
		ホットウォーマー	1 台	テナント-28
		ゴミ箱		国
		足置台		不明
		日除け		国
		スピーカー		国
		利用案内		テナント
	溪流口売店(ロッジ雪笹)			
	躯体・設備・内装	売店建物（躯体・電気・機械設備・内装・厨房機器）		国
	設備	厨房機器		テナント
		休憩所		国
	備品	ゴミ箱	1 台	テナント
		テーブル×3、イス×6	1 式	テナント
		灰皿	1 台	テナント
		日除け	3 枚	テナント

■施設資産一覧 (6/15)

施設名	区分	詳細	数量等	公簿記載
売店	溪流口売店(ロッジ雪笹)			
	備品	冷凍庫	2 台	テナント-05、06
		ストーブ	1 台	テナント-07
		金庫	1 台	テナント-08
		扇風機	1 台	テナント-09
		ラック	3 台	テナント-10～12
		ロッカー棚	1 台	テナント-13
		移動カート	1 台	テナント-14
		折りたたみテーブル	1 台	テナント-15
		ロッカー	1 台	テナント-16
		陳列棚	1 台	テナント-17
		メニュー板	1 台	テナント-18
		ストーブ囲い	1 台	国-01
		スキー立て	1 個	国-02
		コインロッカー	1 枚	国
		衝立	1 台	国-03
		トレーディスペンサー	1 台	テナント-01
		グラストレイ	1 台	テナント-02
		ウォーターディスペンサー	1 台	テナント-03
		ビールディスペンサー	1 台	テナント-04
		メニューボード	1 箇所	テナント
		調理台	1 台	テナント-05
		陳列棚	6 台	テナント-06
		暖炉	1 箇所	国
		冷凍庫	1 台	テナント-07
		冷凍庫	1 台	テナント-08
		冷蔵庫	1 台	テナント-09
		台車	1 台	テナント-10
		看板	1 台	テナント-11
		レジカウンター	1 台	テナント-12
		茹で麺器	1 台	国
		ホットウォーマー	1 台	国
		ガス台	1 台	国
		冷凍庫	1 台	国

■施設資産一覧（7/15）

施設名	区分	詳細	数量等	公簿記載
売店	溪流口売店(ロッジ雪笹)			
	備品	吊戸棚	1 台	国
		レンジフード	1 箇所	国
		レジ	1 台	テナント-13
		シンク	1 箇所	テナント-14
		製氷機	1 台	テナント-15
		ソフトクリームフリーザー	1 台	テナント-16
		調理台	1 台	テナント-17
		フライヤー	1 台	テナント-18
		ガス台	1 台	テナント-19
		冷蔵庫	1 台	テナント-20
		電子レンジ	1 台	テナント-21
		シンク	1 箇所	テナント-22
		ガス湯沸かし器	1 台	テナント-23
		冷凍冷蔵庫	1 台	テナント-24
		シンク	1 台	テナント-25
		調理台	1 台	テナント-26
		ガス炊飯器	1 台	テナント-27
		殺虫灯	1 台	テナント-28
	中央口売店			
	躯体・設備	売店建物（躯体・電気・機械設備・テーブル・イス等）		国
	設備	厨房機器		テナント
	備品	ラック	3 台	テナント-01
		冷凍庫	2 台	テナント-02
		調理台	1 台	テナント-03
		調理台	1 台	テナント-04
		冷凍冷蔵庫	1 台	テナント-05
		シンク	1 箇所	テナント-06
		アイス冷凍庫	2 台	テナント-07
		電子レンジ	1 台	テナント-08
		レジ	1 台	テナント-09
		蒸し器	1 台	テナント-10
		ソフトクリームマシン	1 台	テナント-11
		コーヒーマシン	1 台	テナント-12
		調理台	1 台	テナント-13

■施設資産一覧（8/15）

施設名	区分	詳細	数量等	公簿記載
売店	中央口売店			
	備品	棚	3 台	テナント-14
		ワゴン	1 台	テナント-15
	東口情報センター売店			
	躯体・設備	売店建物（躯体・電気・機械設備・テーブル・イス等）	一式	国
	設備	厨房機器		テナント
	備品	冷凍冷蔵庫	1 台	テナント-01
		スープウォーマー	1 台	テナント-02
		ホットウォーマー	1 台	テナント-03
		調理台	1 台	テナント-04
		茹で麺器	1 台	テナント-05
		調理台	1 台	テナント-06
		オープン付ガス台	1 式	テナント-07
		調理台	1 台	テナント-08
		フライヤー	1 台	テナント-09
		二槽シンク	1 箇所	テナント-10
		調理台	1 台	テナント-11
		移動式調理台	3 台	テナント-12
		電子レンジ	2 台	テナント-13
		湯沸かし器	1 台	テナント-14
		冷凍冷蔵庫	1 台	テナント-15
		回転式炒め器	1 台	テナント-16
		調理台	1 台	テナント-17
		ガス炊飯器	1 台	テナント-18
		ワゴン	1 台	テナント-19
		冷凍庫	2 台	テナント-20
		ラック	2 台	テナント-21
		冷蔵庫	1 台	テナント-22
		調理台（小）	1 台	テナント-23
		調理台	1 台	テナント-24
		調理台	1 台	テナント-25
		製氷機	1 台	テナント-26
		レジ	1 台	テナント-27
		カキ氷器	1 台	テナント-28
		シンク	1 箇所	テナント-29

■施設資産一覧 (9/15)

施設名	区分	詳細	数量等	公簿記載
売店	東口情報センター売店			
	備品	ウォーターディスペンサー	1 台	テナント-30
		ホットウォーター	1 台	テナント-31
		コーヒーサーバー	1 台	テナント-32
		タバコケース	1 個	テナント-33
		売店棚	2 面	テナント
		ジュース冷蔵庫	1 台	テナント-34
		ゴミ箱	1 個	テナント-35
		券売機	1 台	テナント-36
		メニューボード	1 枚	テナント-37
		サンプルケース	1 台	テナント-38
		イーゼル	1 台	テナント-39
		フード、戸棚	1 式	国
	子供の谷休憩所売店			
	躯体・設備	売店建物（躯体・電気・機械設備・テーブル・イス等）	1 式	国
	設備	厨房機器	1 台	国
		厨房機器	1 台	テナント
	備品	シェルフ 1070×610×1900	1 台	国
		シェルフ 1220×610×1900	1 台	国
		冷凍冷蔵庫 SRR-F1283C2 1210×800×2000	1 台	国
		電気炊飯器 ERC-9R 530×470×395	1 台	国
		置台 900×700×500	1 台	国
		卓上電気グリドル TCG-9060E 900×600×300	1 台	国
		電子保温ジャー THS-C80 461×390×392	1 台	国
		ジャー置台 450×450×800	1 台	国
		電子レンジ NE-1401GTA 422×508×337	1 台	国
		二槽シンク 1100×700×800	1 箇所	国
		吊戸棚 1280×350×600	1 台	国
		電磁フライヤー N-T1FL-87W 870×100・600×800	1 台	国
		脇台 330×700×800	1 台	国
		台 920×600×800	1 台	国
		電気テーブル TET-S-90 900×600×800	1 台	国
		炊飯台 600×600×800	1 台	国

■施設資産一覧 (10/15)

施設名	区分	詳細	数量等	公簿記載
売店	子供の谷休憩所売店			
	備品	電気ゆで麺器 TEU-6 550×600×800	1 台	国
		台 900×600×800	1 台	国
		卓上電気ウォーマー TCW-3860E-2 380×600×300	2 台	国
		吊戸棚 1500×350×600	1 台	国
		冷凍冷蔵コールドテーブル SUR-F1561C 1500×600×800	1 台	国
		移動台 900×600×800	2 台	国
		一槽シンク 450×600×800	1 箇所	国
		冷凍冷蔵コールドテーブル SUR-F1561C 1500×600×800	1 台	国
		ホットショーケース NH-202 450×300×460	2 台	国
		盛付台 1500×750×600・800	1 台	国
		製氷機 SIM-S87U 1004×600×800	1 台	国
		アイススライサー HC-80 293×427×501	2 台	テナント-10
		コーヒーサーバー FO 380×485×750	1 台	テナント-12
		ソフトドリンクディスペンサー	1 台	テナント-11
		置台 1300×600×800	1 台	国
		ソフトクリームフリーザー	2 台	テナント-09
		ウォータークーラー SD-P102 345×449×555	1 台	不明
		置台 900×600×800	1 台	国
		冷凍庫 SRF-F1283S 1210×800×2000	1 台	国
		ビールディスペンサー	1 台	テナント-13
		ラック	2 台	テナント-01
		券売機	2 台	テナント-02
		サンプルケース	1 台	テナント-03
		看板	1 枚	テナント-04
		電子レンジ	1 台	テナント-05
		冷蔵庫	2 台	テナント-06
		炊飯ジャー	1 台	テナント-07
		エアコン	1 台	国-01
		ロッカー棚	1 台	テナント-08

■施設資産一覧（11/15）

施設名	区分	詳細	数量等	公簿記載
売店				
	子供の谷休憩所売店			
	備品	ホットウォーマー	2 台	テナント-14
		ジュース冷蔵庫	1 台	テナント-15
		レジ	1 台	テナント-16
		アイスストッカー	1 台	テナント-17
		カウンター台	1 台	国-01
		ジュース冷凍庫	1 台	テナント-18
		ゴミ箱	2 個	テナント-19
		ラティス	1 台	テナント-20
園内交通施設				
	園内移動用施設(リフト)			
	躯体	リフト本体・周辺施設一式		国
	備品	リフト用工作物（搬器等）	1 式	国
オートキャンプ場				
	躯体・設備	センターハウス・キャビン建物（躯体一式）・駐車場・放送器材等		国
	設備	事務用品・備品等一部		テナント
	事務所1F		1 式	テナント
	備品	両袖机	2	テナント
		事務用椅子	4	テナント
		平机	2	テナント
		平机用ワゴン	2	テナント
		センターコア	1	テナント
		クリアーキャビネット	1	テナント
		下段両開・上段オープン書庫	2	テナント
		下段両開・上段両開書庫	1	テナント
		スライドボード白（後）	1	テナント
		スライドボード月予定表（前）	1	テナント
		スライドボードレールセット	3	テナント
		MD/CD ラジカセ	1	テナント
		テプラ PRO	1	テナント
		ハンドラベラー	1	テナント
		テレビデオ	1	テナント
		掃除機	1	テナント
		冷蔵庫	1	テナント
		手提げ金庫	1	テナント

■施設資産一覧（12/15）

施設名	区分	詳細	数量等	公簿記載
オートキャンプ場				
事務所1F				
	備品	ペーパーカッター	1	テナント
		電子レンジ	1	テナント
		案内板	2	テナント
		電話機	4	テナント
		コードレス電話機	1	テナント
		タイムカード	1	テナント
売店			1 式	テナント
	備品	業務用掃除機	1	テナント
		ミニコンポ	1	テナント
宿直室			1 式	テナント
	備品	テレビ	1	テナント
		ビデオ	1	テナント
		テレビ台	1	テナント
		寝具セット	3	テナント
外			1 式	テナント
	備品	洗濯機	1	テナント
貸出物品			1 式	テナント
	備品	テント	10	テナント
		タープ	5	テナント
		テーブル	6	テナント
		マウンテンバイク	10	テナント
		マウンテンバイク	10	テナント
		マウンテンバイク	10	テナント
		マウンテンバイク	10	テナント
無線機			1 式	テナント
	備品	携帯用無線機	5	テナント
		バッテリー	5	テナント
		急速充電器	5	テナント
		マイクスピーカー	5	テナント
センターハウス他			1 式	テナント
	備品	直冷式フリーザー	1	テナント
		テント	6	テナント
		卓球台	2	テナント
		デジタルカメラ	1	テナント
		ロッカー	1	テナント

■施設資産一覧（13/15）

施設名	区分	詳細	数量等	公簿記載
オートキャンプ場				
	センターハウス他			
	備品	石釜キット	1	テナント
		石釜用備え付け台	1	テナント
		石釜キット	1	テナント
		テレビ	6	テナント
		テント	5	テナント
		焼印	1	テナント
		スクリーンターフ	1	テナント
		ルームエアコン	1	テナント
		耐火金庫	1	テナント
		キーボックス（60 本）	1	テナント
		商品陳列棚一式	1	テナント
		傘たて（24 本用）	2	テナント
		ホワイドボード	2	テナント
		新聞掛け	1	テナント
		コインランドリー（洗濯機、乾燥機、ラック付）	4	テナント
		ごみ箱	2	テナント
		掛け時計	3	テナント
		ガーデンテーブル	5	テナント
		ガーデン椅子	20	テナント
		ベンチ椅子	3	テナント
		コインロッカー（10 人用）	2	テナント
		小型冷蔵庫	2	テナント
		食卓テーブル（座卓）	2	テナント
		トースター&電子レンジ	1	テナント
		IH クッキングヒーター	1	テナント
		掃除機	1	テナント
		食器棚（ヨドコウ 2 分割式）	1	テナント
		更衣ロッカー	1	テナント
		座卓	19	テナント
		マットレス	109	テナント
		留守番電話	1	テナント
		サッカーゴール	1	テナント
		集会用テント	1	テナント
		リアカー	4	テナント

■施設資産一覧（14/15）

施設名	区分	詳細	数量等	公簿記載
オートキャンプ場				
センターハウス				
	備品	レンタル品陳列棚（メタル）	2	テナント
		水切り大型スクレーパー	3	テナント
		保管整理棚（スチール製）	9	テナント
		営業用かき氷機	1	テナント
		パソコンラック	1	テナント
		縦型冷蔵ストッカー（東芝）	1	テナント
		冷蔵品ストッカー（サンヨウ）	1	テナント
		お天気ボード	1	テナント
		台車	1	テナント
		冷食用ストッカー2 段式	1	テナント
		アイス用ストッカー	1	テナント
		ロツテアイスストッカー	1	テナント
駐車場				
駐車場				
	駐車場料金ブース			
	設備	溪流口・鱒見口ブース	一式	国
		滝野の森口ブース	一式	国
	駐車場表層			
	設備	中央口表層造成		国
		東口・溪流口・鱒見口・滝野の森口・南口表層造成		国
	駐車場ライン、看板			
	設備	東口ライン・看板	一式	国
		中央口・溪流口・鱒見口・滝野の森口・南口ライン・看板	一式	国
		備品等一部（レジ等）		テナント
鱒見口駐車場				
	備品	レジ	1 台	テナント
		無線機	1 式	国
		エアコン 三菱 MSZ-GXV22F	1 台	国
		ブース	1 基	国
		白線、看板等	1 式	国
溪流口駐車場				
	備品	レジ	1 台	テナント
		無線機	1 式	国
		FF ストーブ コロナ FF-326GY	1 台	国

■施設資産一覧（15/15）

施設名	区分	詳細	数量等	公簿記載
駐車場				
渓流口駐車場				
	備品	FF ストープ サンデン FF-441WK	1 台	国
		エアコン 東芝 RAS-225JD	1 台	国
		エアコン 東芝 RAS-2256D	1 台	国
		ブース	1 基	国
		白線、看板等	1 式	国
中央口駐車場				
	備品	表層	1 式	国
		白線、看板等	1 式	国
東口駐車場				
	備品	白線、看板等	1 式	国
サイクリング施設				
	躯体・設備・内装	サイクルセンター建物（躯体・電気・機械設備・内装）		国
	設備	自転車・利用案内看板等		テナント
	備品	レジ	1 台	テナント
		無線機	1 式	国
		電気ストープ	1 台	国
		棚	1 台	国
		机	1 台	テナント
		エアーコンプレッサー	1 台	国
		放送機器	1 式	国
		時計	1 個	不明
		利用案内	2 枚	テナント
		監視カメラ	1 基	国
		電気ポット	1 台	テナント

臨時売店指定設置場所および指定設置期間

1. 臨時売店指定設置場所

臨時売店を設置できる場所は、公園利用重点調整区域および青少年の家を除く公園区域内とする。

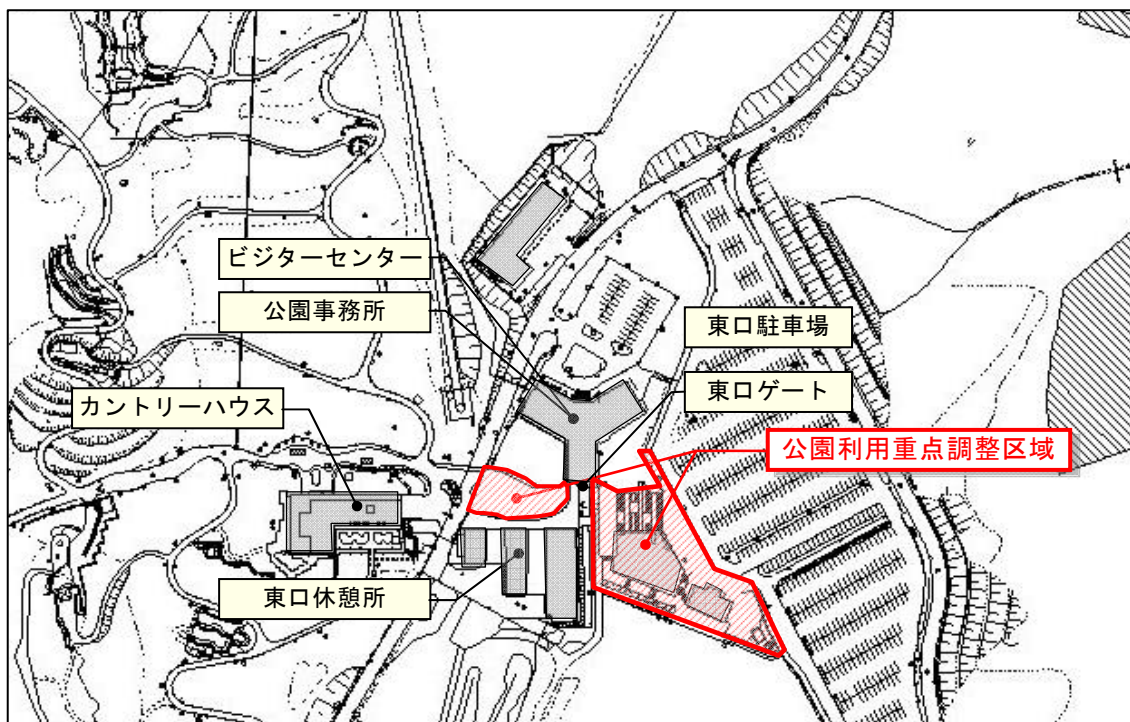
2. 臨時売店設置期間

下記の開園期間を、臨時売店設置可能な期間とする。

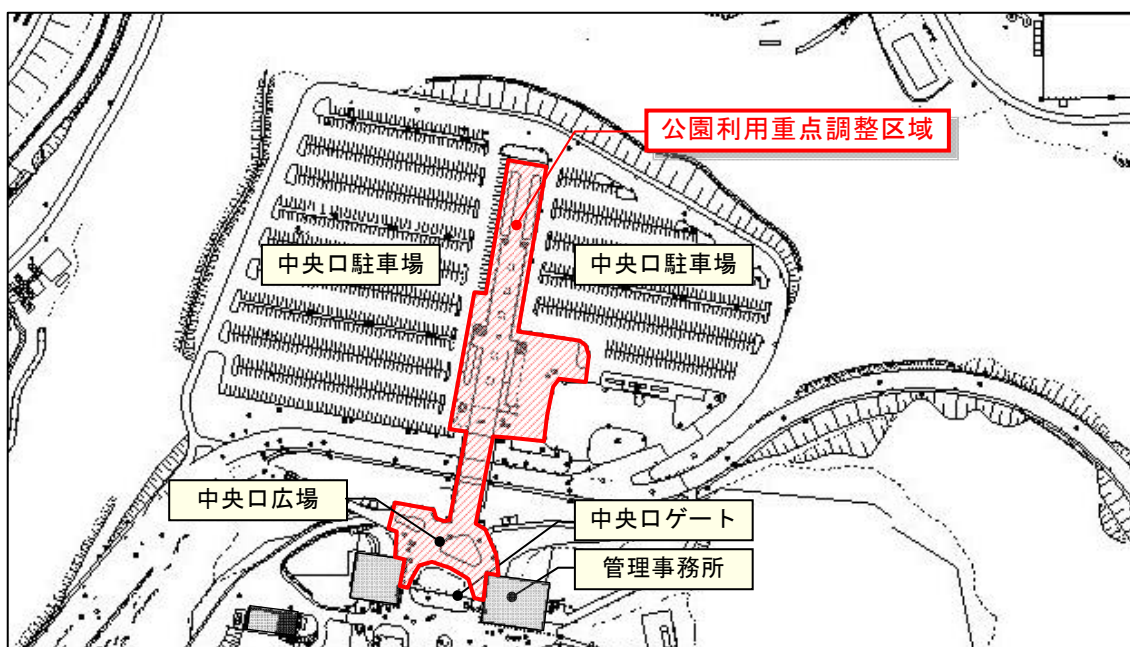
- ・ 夏季期間 4 月 20 日 ～ 11 月 10 日
- ・ 冬季期間 12 月 23 日 ～ 3 月 31 日

公園利用重点調整区域

【東口】



【中央口】



施設の定期点検項目

■施設の定期点検項目(1)

●印：国の法定点検項目
○印：事業者の点検項目
△印：事業者の点検項目（目視等）

中項目	小項目	法定点検
外部	屋根	△
	外壁	△
	ひさし（車寄せ）・とい	△
	軒天井・ひさし下端	△
	外部床	△
	屋外階段	△
	バルコニー	△
	外部建具	△
	外部用自動ドア	△
	エキスパンションジョイント金物	△
内部	内壁・柱・はり	△
	内部天井	△
	内部床	△
	内部階段	△
	内部建具	△
	内部用自動ドア	△
構造部	構造体・基礎	△
電灯・動力設備	照明器具（蛍光灯）	△
	分電盤・開閉器箱	●
	制御盤	●
	幹線	●
受変電設備	配電盤等（内部機器を除く。）	●
	変圧器	●
	交流遮断機	●
	断路器	●
	計器用変成器	●
	避雷器	●
	高圧負荷開閉器	●
	高圧カットアウト	●
	高圧電磁接触器	●
	力率改善装置	●
	指示計器・保護継電器	●
	低圧開閉器類	●
	特別高圧ガス絶縁スイッチギヤ（GIS、C - GIS）	●
	その他の特別高圧関連機器	●

■施設の定期点検項目(2)

中項目	小項目	法定点検
自家発電設備	自家発電設備	●
直流電源設備	共通事項	●
	整流装置	●
	蓄電池	●
		●
通信・情報設備	構内情報通信網設備	●
	構内交換設備	△
	拡声設備	●
	誘導支援設備	△
	情報表示設備	●
	テレビ共同受信設備	●

中項目	小項目	法定点検
通信・情報設備	監視カメラ設備	●
	駐車場管制設備	●
外灯	外灯	●
雷保護設備	雷保護設備	●
構内配電線路・構内通信線路	構内配電線路・構内通信線路	●
温熱源機器	無圧式温水発生機・真空式温水発生機	●
	温風暖房機	△
冷熱源機器	空気熱源ヒートポンプユニット	△
	パッケージ形空調和機	△
空気調和等関連機器	オイルタンク※	●
	熱交換器・ヘッダー・密閉型隔膜式膨張タンク	●
	還水タンク・開放型膨張タンク	●

※「森の交流館」のオイルタンクは、事業者の点検項目とする。

■施設の定期点検項目(3)

中項目	小項目	法定点検
空気調和等関連機器	ポンプ	●
	送風機	●
	天井扇・有圧換気扇	△
	全熱交換器	●
給排水衛生機器	受水タンク	●
	貯湯タンク	●
	汚水槽・雑排水槽	○
	汚水槽・雑排水槽の清掃	○
	給水ポンプ	●
	排水ポンプ	○
	ガス湯沸器	△
	電気温水器	△
	衛生器具	△
ダクト及び配管	ダクト	△
	配管	△
水質管理	飲料水（給水設備）	●
井戸	井戸	●
中央監視制御装置	中央監視制御装置	●
消防用設備等		●
建築基準法関係防災設備	非常用照明装置	●
	防火戸・防火シャッター	●
	防火ダンパー	●
	排煙設備	●

■施設の定期点検項目(4)

中項目	小項目	法定点検
エレベーター	点検共通事項	●
	油圧式エレベーター	●
	機械室なしエレベーター	●
外構	敷地	○
	へい	○
	門	○
	排水枡・マンホール・側溝・街きょ	○
執務環境測定	空気環境測定	△
ねずみ・昆虫等の防除		△

■関係法令

法令名	参照条項	条件の有無	条件に関わる参照条項
建築基準法	第十二条	○	第六条、別表第一 【令】 第十四条の二、第十六条
官公庁施設の建設等に関する法律	第十一条、第十二条	○	官公庁施設の建設等に関する法律第 12 条 第1項の規定によりその敷地及び構造に係る劣化の状況の点検を要する建築物を定める政令
消防法	第十四条の三の二	○	【危険物の規制に関する政令】 第七条の三、第八条の五
	第十七条、第十七条の三の二、第十七条の三の三	× (公共建築)	【令】 第六条、第七条、第三十五条、第三十六条、別表第一
人事院規則 10-4	第十五条、第三十二条、第三十四条	×	別表第七、別表第八
事務所衛生基準規則	第七条、第九条、第十条 第十五条	×	
建築物における衛生的環境の確保に関する法律	第四条	○	第二条 【令】 第一条
水道法	第三十四条	○	第三条 【令】 第二条
電気事業法	第三十九条、第四十二条	○	第三十八条 【令】 第五十条
ガス事業法	第四十条の二	×	第二条 【則】 第一百七条
ボイラー及び圧力容器安全規則	第三十二条、第六十七条	○	第一条 【労働安全衛生法施行令】 第一条

※ [条件の有無] ○：義務付けする施設、設備等について、規模等の条件が付されているもの

収益施設に係る自主点検一覧(1)

■施設の自主点検項目

	建築物	照明負荷	駐車場管制装置 (検知器・カーゲート)	パッケージ型空調和機	FF式温風暖房機	490L 銅板製オイルタンク	90L 銅板製オイルタンク	自動灯油供給装置	送風機	天井換気扇・ 有圧扇・換気扇・ 天井換気扇	熱交換換気扇	制気口類
【 溪流ゾーン 】												
ロッジゆきざさ	1	24			1	1		1	2	1		3
溪流口料金所 (1)・(2)	2	4		2	2							
レストランアシリベツ W	1	75										
釣具舎 W	3	6										
サイクルセンター W	1	17										
鱒見口料金所 W	1	1										
溪流口駐車場ブース	1	1										
【 中心ゾーン 】												
中央口休憩所	1	7										
中央口管理所	1	7										
カントリーハウス	1	238										
レストハウス棟	1	20										
こどもの谷休憩所	1	56				1						
【 宿泊ゾーン 】												
サニタリーハウス W	1	35										
便所1・2 (オートキャンプ場)	2	24										
炊事棟 W	7	28										
汚水ポンプ場 W	1	2										
センターハウス W	1	320	1	2	13	5		1				
バッテリーカー車庫 W	1	3										
ログキャビン1・2 W	19	80			19		19					
オートリゾートコテージ W	6	78			6		6				12	24
【 滝野の森ゾーン 】												
料金所 (A)・(B)	2	4		2							2	

- ※ 1. 建築物の点検内容は個別仕様書【施設・設備維持管理業務】第2編第1章第12条及び13条による。
 2. 照明負荷の点検内容は建築保全業務共通仕様書及び同解説による。なおW標記の施設は、開園期間のみ点検を行う。
 3. 駐車場管制装置の点検内容は建築保全業務共通仕様書及び同解説による。
 4. 他の点検内容については個別仕様書【施設・設備維持管理業務】第2編第3章第22条による。

収益施設に係る自主点検一覧(2)

■水道設備保守点検(水抜き対象施設)

	水抜き装置	感知FV式小便器	FV式和風大便器	FV式洋風便器	ロータンク式洋風便器	洗面器	洗面器自動水栓	手洗器	汚物流し	掃除流し
【 宿泊ゾーン 】										
センターハウス	Dバルブ	4	8	1	7	9	2	6	1	2
便所 1	Dバルブ	2			5		5			
便所 2	Dバルブ	2			5		5			
サニタリーハウス	Dバルブ	4		1	10	1	8			
オートリゾートコテージ (6棟)	Dバルブ			6			6	6		

※ 1. 水道設備点検内容は個別仕様書【施設・設備維持管理業務】第4編第2章第43条及び45条による。

収益施設に係る自主点検一覧(3)

■電気温水器、灯油給湯器及びガス給湯器の保守点検


	売店内	厨房	カウンター	流し台	機械室
パークステーション売店 (旧サイクルセンター)	1				
ロッジゆきざさ		1			
焼肉ガーデン		1	1		
東口軽食コーナー					
オートリゾート滝野センターハウス					
オートリゾート滝野キャビンS 6棟				1	
こどもの谷休憩所					1

※ 点検内容は、建築保全業務共通仕様書及び同解説による。

財団法人 公園緑地管理財団殿

滝野第1リフト

運転操作取扱説明書

 安全索道株式会社

平成 11 年 11 月 19 日 発行

はじめに

本書は、運転取り扱いについて説明するものです。

索道の管理者及び現業従業員各位におかれましては、運転取り扱い及び設備の構造と整備点検に関し熟知せられ、機に応じて善処されるようにお願いします。



安全上のご注意

本書および製品への表示では製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。




その表示と意味は次のようになっています。

内容をよく理解してから本文をお読みになり、正しくお使い下さい。


表示の意味

 警告
この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意
この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。


図記号の意味

 注意
この図記号は警告（注意を含む）を促す事項を示しています。△の中や近くに、具体的な警告内容（例：△感電注意）が描かれています。
 禁止
この図記号はしてはいけない行為（禁止事項）を示しています。○の中や近くに、具体的な禁止内容（例：①分解禁止）が描かれています。
 の事
この図記号は必ずしてほしい行為を示しています。●の中や近くに具体的な指示内容（例：●プラグをコンセントから抜く）が描かれています。


⚠警告

 リフトの運転中は運転係、監視係は持ち場を離れないで下さい。


禁 止

 異常な状態、乗客に危険な状態が発生した場合は、


停 止 直ちに停止操作を行い索道を停止させて下さい。

 水分や湿気の多い場所での電気品の使用は行わないで下さい。

禁 止 火災、感電の恐れがあります。


 自分で改造や分解をしないで下さい。

分解禁止 火災や感電、やけどの恐れがあります。


 異常な臭いがしたり、過熱、発煙した場合は、電源を遮断して下さい。

電源遮断 そのまま使用しますと、火災、故障の恐れがあります。


⚠注意

 リフトの運転は、各機器の構造、機能について十分な知識を持ち、

注 意 運転操作に熟知した係員によって行って下さい。

 リフトが正常に運転されているときの状態を把握し、

注 意 異常の有無を逸早く察知することが必要です。

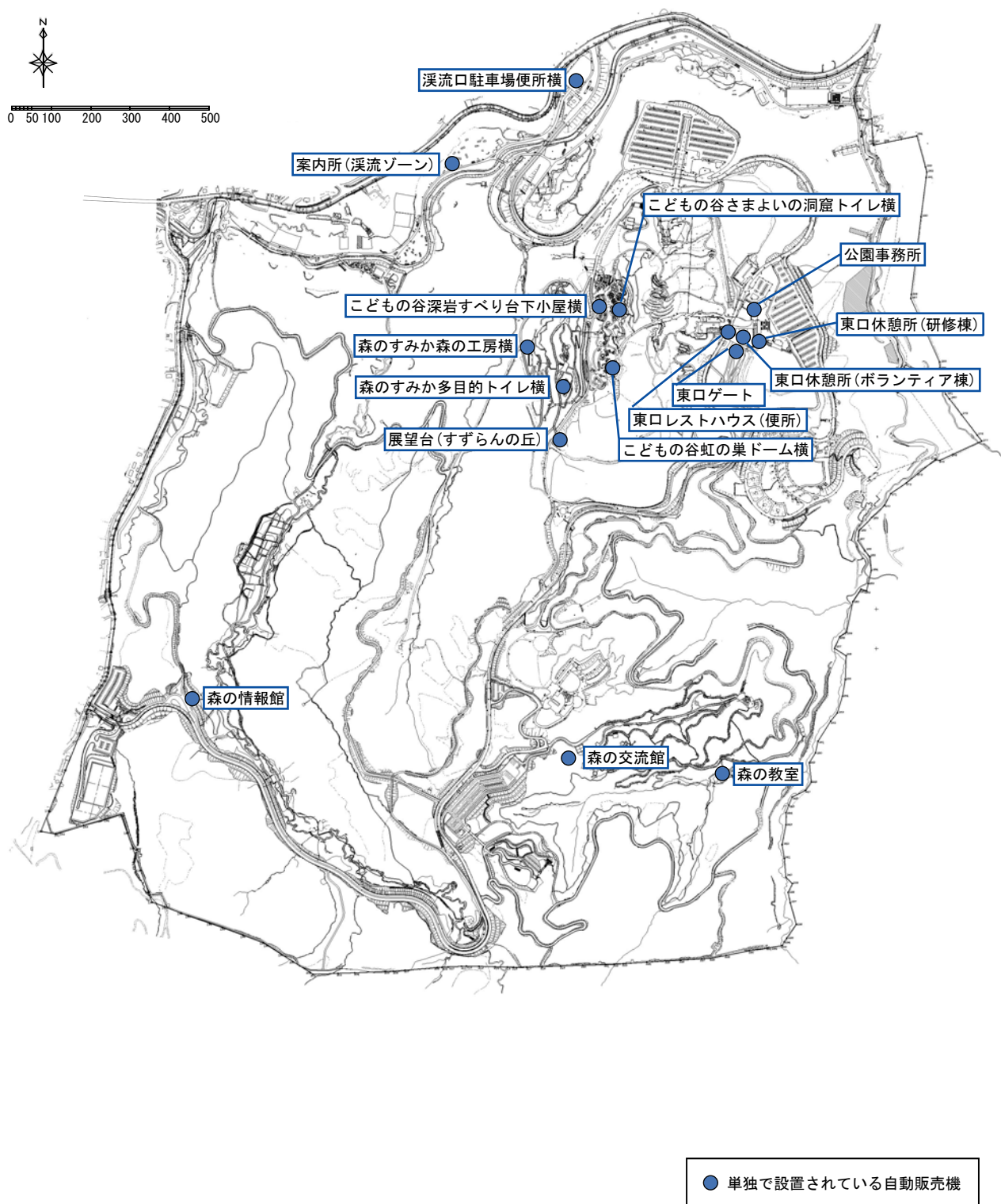
 作業を行うときは必ず電源を遮断して下さい。

注 意

目 次

[1]	計器、スイッチ	4
I.	計器	4
II.	スイッチ	5～6
[2]	表示灯	7
I.	通常運転状態表示灯	7～8
II.	異常状態表示灯	9～10
[3]	運転操作説明	11
I.	電源投入	11
II.	運転準備	12
III.	運転	13
IV.	減速運転	14
V.	運転停止	14
VI.	運転終了	14
[4]	調整及び設定方法	15
I.	限時継電器の設定	15
II.	風速検出装置の設定	15
III.	主電動機過電流の設定	16
[5]	絶縁測定	17
[6]	電気機器の寿命	18
I.	機器の劣化と寿命	18
II.	更新時期	18
III.	電気品点検整備・交換時期	19
[7]	電気回路図	
[8]	制御盤図	
[9]	制御盤端子接続図	
[10]	運転盤図	
[11]	運転盤端子接続図	
[12]	監視盤図	

別冊 整流子電動機取扱説明書



自動販売機(単独設置)位置図

自主事業における飲食・物販施設等の設置運営可能範囲と指定する既存施設の改修運営の対象

設置範囲・改修施設の考え方

設置不可範囲は、新たな建築物の設置を想定していないエリア※¹並びに河川、滝、森林等の自然環境を保全するエリア※²である。

指定する既存施設の改修運営の対象は、別添－５４「指定する既存施設の改修運営の対象一覧表」に示す施設とする。

※¹ カントリーガーデン（花畑）、水の広場（水景施設）、各駐車場、青少年山の家周辺

※² 園内河川、滝、急峻な斜面、滝野の森ゾーン西エリア



指定する既存施設の改修運営の対象一覧表

公園施設の名称	運営施設名称、面積	施設規模（参考）
レストラン (カントリーハウス)	飲食店・売店 363.17m ² プロパン庫 5.46m ²	(鉄筋コンクリート造) 延床面積： 1,562.21m ²
用具貸出所 (カントリーハウス)	用具貸出室 87.69m ² 用具貸出品倉庫 133.85m ²	
中央管理所売店	売店 18.18m ²	管理所 (鉄筋コンクリート造) 延床面積： 506.43m ²
子供の谷休憩所売店	厨房、売店、食品庫、休憩室 192.20m ²	(鉄筋コンクリート造) 延床面積： 369.51m ²
レストラン（溪流園）	レストラン（売店を含む） 304.13m ²	(鉄筋コンクリート造) 建築面積： 304.13m ²
	プロパン庫 5.61m ²	(鉄筋コンクリート造) 建築面積： 5.61m ²
	バーベキュー園 1,552.26m ²	管理面積： 1,552.26m ²
釣堀 (フィッシング・タナ)	釣堀 2,271.08m ² 四阿 10.89m ²	管理面積： 2,281.97m ²
鱒見口売店	売店 60.00m ²	(鉄骨造) 建築面積： 247.00m ²
溪流口売店 (ロッジゆきざさ)	スキー貸出室、物置 42.24m ²	(木造一部鉄筋コンクリート造) 延床面積： 315.36m ²
	倉庫、スナック、休憩室の一部 86.58m ²	
東口情報センター レストハウス棟売店	売店 81.33m ²	(鉄筋コンクリート造) 延床面積： 185.47m ²
園内移動用施設	リフト 256.45m ² 機器保管倉庫 77.4m ²	搬器 48 台
サイクリング施設	レンタル受付、駐輪場 187.00m ²	(鉄骨造) 建築面積： 247.00m ²
ロープトウ	ロープトウ	延長 200m 2 基 管理面積： 600.00m ² ×2 基
オートキャンプ場 (オートリゾート滝野)	キャンプ場 61,330.00m ²	詳細は別紙 9 第 1 条 対象となる収益施設ーオートキャンプ場 詳細を参照

平成●年度 国営滝野すずらん丘陵公園 管理運営月報(●月分)

総括調査職員	主任調査職員	調査職員	総括責任者	検査担当者		
印	印	印	印	印	印	印

		当月	累積	備考
	開園日数(日)			
公園利用者数の確保	年間及び運営シーズンごとの公園利用者数(人)			
	有料区域の利用者数(人)			
	札幌都市圏外の地域からの利用者の割合(%)			
利用満足度の確保	年間及び運営シーズンごとの公園の運営に関する「非常に満足」及び「まあまあ満足」の回答比率(%)			
地域特性を生かした植物管理	春と秋の花風景に関する「非常に満足」及び「まあまあ満足」の回答比率(%)			
多様なプログラムの提供	利用プログラムの開催回数、延べ参加人数	開催回数(回)		
		参加人数(人)		
情報受発信	マスコミによる報道件数(件) (内テレビ件数)			

行催事の実施状況

自主事業の実施状況

その他特記事項

平成31～35年度 国営滝野すずらん丘陵公園 管理運営月報総括表(案)

主 要 事 項	上段:達成すべき質項目 下段:国仕様書		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	グリーン 計	ホワイト 計	累積
公園利用者数の確保	・本公園の年間及び運営シーズンごとの公園利用者数 【平成26年度～平成29年度実績平均値:年間約●人、第1期○人、第2期○人】	計 画	○人	○人	○人	○人	○人	○人	○人	○人	○人	○人	○人	○人	○人	○人	○人
		実 施															
	・有料区域の利用者数 【平成26年度～平成29年度実績平均値:第1期約●人】	計 画	○人	○人	○人	○人	○人	○人	○人	○人					○人		○人
		実 施															
	・本公園の札幌都市圏外からの公園利用者の割合 ※ 【平成26年度～平成29年度実績平均値:約●%】	計 画	○%														○%
		実 施															
利用満足度の確保	・年間及び運営シーズンごとの公園の運営に関する「非常に満足」及び「まあまあ満足」の回答比率 【次の値以上:年間約●%、第1期約○%、第2期約○%】	計 画	○%								○%				○%	○%	
		実 施															
地域特性を生かした植物 管理	・春の花風景に関する「非常に満足」及び「まあまあ満足」の 回答比率 【次の値以上:年間約●%】	計 画			○%										○%		
		実 施			○%												
	・秋の花風景に関する「非常に満足」及び「まあまあ満足」の 回答比率 【次の値以上:年間約●%】	計 画						○%							○%		
		実 施						○%									
多様なプログラムの提供	・利用プログラムの開催回数、延べ参加人数 【平成26年度～平成29年度実績平均値:年間約●人、第1期○人、第2期○人】	計 画	○回	○回	○回	○回	○回	○回	○回	○回	○回	○回	○回	○回			○回
		実 施															
情報受発信	・マスコミによる報道件数(内テレビ件数) 【平成26年度～平成29年度実績平均値:●件/年、そのうち テレビ○件/年】	計 画	○件	○件	○件	○件	○件	○件	○件	○件	○件	○件	○件	○件			○件
		実 施															

※札幌都市圏外の地域からの利用者の割合は、調査実施当月の利用者数を勘案した結果の加重平均のため算出を留意する

管理四半期報(平成○年度 第○半期)

記載例

運営維持管理業務

実施予定						当期までの契約状況				
項		単位	数量	予定額	契約額	業務名等	金額	業務等の内容	実施期間	請負業者名等
植物管理		式	1	〇〇	〇〇					
	芝生管理	式	1	〇〇	〇〇					
	芝生管理	式	1	〇〇	〇〇					
						〇〇工事	〇〇	〇〇	H〇.〇月～〇月	〇〇
						〇〇工事(第1回変更)	〇〇	〇〇	H〇.〇月～〇月	〇〇
	中低木管理	式	1	〇〇	〇〇					
	中低木管理	式	1	〇〇	〇〇					
						〇〇工事	〇〇	〇〇	H〇.〇月～〇月	〇〇
	高木管理	式	1	〇〇	〇〇					
	高木管理	式	1	〇〇	〇〇					
						〇〇工事	〇〇	〇〇	H〇.〇月～〇月	〇〇
	林地管理	式	1	〇〇	〇〇					
	林地管理	式	1	〇〇	〇〇					
	草花管理	式	1	〇〇	〇〇					
	草花管理	式	1	〇〇	〇〇					
建物管理		式	1	〇〇	〇〇					
	維持管理	式	1	〇〇	〇〇					
	維持管理	式	1	〇〇	〇〇					
						〇〇	〇〇	〇〇	H〇.〇月～〇月	〇〇
	設備維持管理	式	1	〇〇	〇〇					
	設備維持管理	式	1	〇〇	〇〇					
						〇〇	〇〇	〇〇	H〇.〇月～〇月	〇〇
	建物清掃	式	1	〇〇	〇〇					
	建物清掃	式	1	〇〇	〇〇					
工作物		式	1	〇〇	〇〇					
	維持修繕	式	1	〇〇	〇〇					
	維持修繕	式	1	〇〇	〇〇					
						〇〇	〇〇	〇〇	H〇.〇月～〇月	〇〇
	その他の維持修繕	式	1	〇〇	〇〇					
	その他の維持修繕	式	1	〇〇	〇〇					

実施予定						当期までの契約状況					
項			単位	数量	予定額	契約額	業務名等	金額	業務等の内容	実施期間	請負業者名等
清掃			式	1	〇〇	〇〇	〇〇工事	〇〇	〇〇	H〇.〇月～〇月	〇〇
	植栽地清掃		式	1	〇〇	〇〇					
		植栽地清掃	式	1	〇〇	〇〇					
			式	1	〇〇	〇〇	〇〇工事	〇〇	〇〇	H〇.〇月～〇月	〇〇
	工作物清掃		式	1	〇〇	〇〇					
		工作物清掃	式	1	〇〇	〇〇					
			式	1	〇〇	〇〇	〇〇工事	〇〇	〇〇	H〇.〇月～〇月	〇〇
	ゴミ回収処分		式	1	〇〇	〇〇					
		ゴミ回収処分	式	1	〇〇	〇〇					
			式	1	〇〇	〇〇	〇〇工事	〇〇	〇〇	H〇.〇月～〇月	〇〇
	清掃諸材購入		式	1	〇〇	〇〇					
		清掃諸材購入	式	1	〇〇	〇〇					
			式	1	〇〇	〇〇	〇〇工事	〇〇	〇〇	H〇.〇月～〇月	〇〇
	除雪工		式	1	〇〇	〇〇					
		除雪工	式	1	〇〇	〇〇					
							賃金等				
							諸材料購入				
諸掛											
	利用者指導		式	1	〇〇	〇〇					
		利用者指導	式	1	〇〇	〇〇					
							〇〇	〇〇	〇〇	H〇.〇月～〇月	〇〇
	自動車維持		式	1	〇〇	〇〇					
		自動車維持	式	1	〇〇	〇〇					
							〇〇	〇〇	〇〇	H〇.〇月～〇月	〇〇
	広報宣伝		式	1	〇〇	〇〇					
		広報宣伝	式	1	〇〇	〇〇					
							〇〇	〇〇	〇〇	H〇.〇月～〇月	〇〇
運営管理											
	人件費										
		人件費	式	1	〇〇	〇〇					
	旅費						職員俸給・諸手当・保険料	〇〇		H〇.〇月～〇月	
		旅費	式	1	〇〇	〇〇					
	庁費						〇〇	〇〇		H〇.〇月～〇月	
		庁費	式	1	〇〇	〇〇			〇〇		
							〇〇費・〇〇費	〇〇		H〇.〇月～〇月	〇〇
小計			式	1	〇〇	〇〇					
一般管理費			式	1	〇〇	〇〇					
消費税			式	1	〇〇	〇〇					
合計			式	1	〇〇	〇〇					

実施予定					当期までの履行状況					摘 要
工事区分・工程	種別・細別	単位	数量	予定額	工事区分・工程	種別・細別	単位	数量	履行額	
植物管理		式	1	〇〇	植物管理		式	1	〇〇	
芝生管理		式	1	〇〇	芝生管理		式	1	〇〇	
	芝生管理	式	1	〇〇		芝生管理	式	1	〇〇	
	〇〇工事					〇〇工事				〇〇
	〇〇工事(第1回変更)					〇〇工事(第1回変更)				〇〇
中低木管理		式	1	〇〇	中低木管理		式	1	〇〇	
	中低木管理	式	1	〇〇		中低木管理	式	1	〇〇	
	〇〇工事					〇〇工事				〇〇
高木管理		式	1	〇〇	高木管理		式	1	〇〇	
	高木管理	式	1	〇〇		高木管理	式	1	〇〇	
	〇〇工事					〇〇工事				〇〇
林地管理		式	1	〇〇	林地管理		式	1	〇〇	
	林地管理	式	1	〇〇		林地管理	式	1	〇〇	
草花管理		式	1	〇〇	草花管理		式	1	〇〇	
	草花管理	式	1	〇〇		草花管理	式	1	〇〇	
建物管理		式	1	〇〇	建物管理		式	1	〇〇	
維持管理		式	1	〇〇	維持管理		式	1	〇〇	
	維持管理	式	1	〇〇		維持管理	式	1	〇〇	
										〇〇
設備維持管理		式	1	〇〇	設備維持管理		式	1	〇〇	
	設備維持管理	式	1	〇〇		設備維持管理	式	1	〇〇	
										〇〇
建物清掃		式	1	〇〇	建物清掃		式	1	〇〇	
	建物清掃	式	1	〇〇		建物清掃	式	1	〇〇	
工作物		式	1	〇〇	工作物		式	1	〇〇	
維持修繕		式	1	〇〇	維持修繕		式	1	〇〇	
	維持修繕	式	1	〇〇		維持修繕	式	1	〇〇	〇〇
その他の維持修繕		式	1	〇〇	その他の維持修繕		式	1	〇〇	
	その他の維持修繕	式	1	〇〇		その他の維持修繕	式	1	〇〇	〇〇
清掃		式	1	〇〇	清掃		式	1	〇〇	
植栽地清掃		式	1	〇〇	植栽地清掃		式	1	〇〇	
	植栽地清掃	式	1	〇〇		植栽地清掃	式	1	〇〇	〇〇
			1	〇〇						
工作物清掃		式	1	〇〇	工作物清掃		式	1	〇〇	
	工作物清掃	式	1	〇〇		工作物清掃	式	1	〇〇	〇〇
ゴミ回収処分		式	1	〇〇	ゴミ回収処分		式	1	〇〇	
	ゴミ回収処分	式	1	〇〇		ゴミ回収処分	式	1	〇〇	〇〇
清掃諸材購入		式	1	〇〇	清掃諸材購入		式	1	〇〇	
	清掃諸材購入	式	1	〇〇		清掃諸材購入	式	1	〇〇	〇〇
除雪工		式	1	〇〇	除雪工		式	1	〇〇	
	除雪工	式	1	〇〇		除雪工	式	1	〇〇	〇〇
	賃金等	式	1	〇〇		賃金等	式	1	〇〇	〇〇
	諸材料購入	式	1	〇〇		諸材料購入	式	1	〇〇	〇〇

実施予定					当期までの履行状況					摘 要
工事区分・工程	種別・細別	単位	数量	予定額	工事区分・工程	種別・細別	単位	数量	履行額	
諸掛					諸掛					
利用者指導		式	1	〇〇	利用者指導		式	1	〇〇	
	利用者指導	式	1	〇〇		利用者指導	式	1	〇〇	〇〇
自動車維持		式	1	〇〇	自動車維持		式	1	〇〇	
	自動車維持	式	1	〇〇		自動車維持	式	1	〇〇	〇〇
広報宣伝		式	1	〇〇	広報宣伝		式	1	〇〇	
	広報宣伝	式	1	〇〇		広報宣伝	式	1	〇〇	〇〇
運営管理					運営管理					
人件費					人件費					
	人件費	式	1	〇〇		人件費	式	1	〇〇	
	職員俸給・諸手当・保険料	式	1	〇〇		職員俸給・諸手当・保険料	式	1	〇〇	〇〇
旅費					旅費					
	旅費	式	1	〇〇		旅費	式	1	〇〇	〇〇
庁費		式	1	〇〇	庁費		式	1	〇〇	
	庁費	式	1	〇〇		庁費	式	1	〇〇	
	〇〇費・〇〇費	式	1	〇〇		〇〇費・〇〇費	式	1	〇〇	〇〇
小計		式	1	〇〇			式	1	〇〇	
一般管理費		式	1	〇〇			式	1	〇〇	
消費税		式	1	〇〇			式	1	〇〇	
合計		式	1	〇〇			式	1	〇〇	